

2015(平成27)年度
事業報告書

学校法人 日本大学

目 次

あいさつ	1
I 法人の概要	3
1 日本大学沿革	5
2 設立の目的等(建学の精神, 教育理念)	6
3 設置する学校	7-9
4 学生・生徒数(入学定員・収容定員・現員)	10-12
5 事務組織	13-14
6 研究所組織	15
7 役員・教職員の概要	16-20
II 事業の概要	21
[参考] 平成 27 年度事業計画(法人全体)	23
1 主な事業の概要	24-28
2 部科校別の事業の概要	29-78
III 事業の概要(データ編)	79
1 一般入学試験志願者数	81
2 修了者数/卒業者数/博士学位授与者数	82-83
3 海外学術交流提携校/外国人留学生数/地域別外国人留学生数	84-89
4 学内奨学金制度	90-94
5 就職状況	95
6 保健体育審議会所属競技部の主な成績	96-97
7 校友数/校友会組織/年間行事/校友会事業	98-100
8 公開講座	101-103
9 学外研究費採択状況/学内研究/発明・技術移転	104-106
10 主な工事/土地・建物延面積/土地購入/蔵書数	107-108
IV 財務の概要	109
1 平成 27 年度資金収支計算書	111
2 資金収支計算書の概要	112-113
3 平成 27 年度事業活動収支計算書	114
4 事業活動収支計算書の概要	115
5 貸借対照表(平成 28 年 3 月 31 日現在)	116-117
6 貸借対照表の概要	118
7 財産目録(平成 28 年 3 月 31 日現在)	119
8 参考資料	
①平成 23 年度～平成 27 年度 財務比率の推移	120
②平成 23 年度～平成 27 年度 資金収支決算の推移	121
③平成 23 年度～平成 27 年度 事業活動収支決算の推移	122-123
④平成 23 年度～平成 27 年度 貸借対照表の推移	124
大学施設等所在地一覧	125-126

あ い さ つ

学校法人日本大学理事長 田中英壽

今回の事業報告に対する事業計画を策定した際に、「2018年問題」や地方創生のため大都市圏における私立大学の定員超過を抑制する助成金交付要件の厳格化等、教育現場をとりまく環境の厳しさについて触れさせていただきました。本学としてもそれに対応すべく、様々な計画の策定を行い、実行に移してまいりました。今回その成果について、本事業報告書をもって、皆様に御報告させていただきたいと思っております。

平成27年4月からは、学校教育法の改正に伴い、大学のガバナンス改革推進の一貫として、学長のガバナンス体制が整い、学長のリーダーシップの下で戦略的に大学の運営を進めていくことが可能となりました。そのため、学長には本学の教学面での舵をとっていただきたく、まず、「教学に関する全学的な基本方針」を示していただきました。これにより、本学が今後進むべき指針（ビジョン）が明確化され、これまで部科校ごとに別々になりがちであった教育方針について、共通の意識の下で整えることが可能となりました。合わせて、諸規程の整備を行い、より学長のリーダーシップが発揮しやすい環境を整えております。また、教学施策を実施する上での基礎基盤となる経営面についても、私から「経営上の基本方針」を示させていただき、経営面からもバックアップできる体制を整えています。具体的には、日本で最も大きな私立大学である「日本大学」のあらゆる資源を集約及び相互活用することにより、プラスでなく乗数的にその力を大きく発揮することが可能となります。そのために、組織や制度改革を実施していますが、それを実行するためには、各教職員が意識改革を行い、高い意識をもって、取り組む必要があると思っております。

また、「2018年問題」が近づく中、本学としても、その状況をそのまま受入れるわけにはいきません。これまで、N方式入試の導入や付属推薦入試制度の改革を実施してまいりました。これら入試制度改革に加え、学生寮の整備及び奨学金の充実等、地方からも学生が進学しやすい環境を整えたことに対する成果も表れ始めました。平成28年度入試においては、17年ぶりに10万人を超える志願者があり、定員の確保はもとより、より優秀な学生を確保することができました。また、平成28年度から、三軒茶屋キャンパスに、薬学部以来となる新学部として、危機管理学部及びスポーツ科学部の2学部を開設しました。これにより、「総合大学」である本学が、さらに学問分野を広めていくことが可能となり、「日本一教育力のある大学」を目指し、着実に改革を進めています。

なお、平成27年度の事業計画策定後、文部科学省から、認可申請を伴う学部・学科の新設及び学生定員増加を行う場合には、一部の例外を除き、平均入学定員超過率を1.05倍未満とする非常に厳しい基準が示されました。今後さらなる厳しい判断が求められることが多々あるかと思われまます。それに速やかに対応するためには、それまでの諸問題について、あらかじめ解決しておく必要があります。そこで、計画の立案、検証及び改善が重要となります。この事業報告は、この報告をもって終わりではありません。各計画に対して達成度をAからDで判定しています。継続して行う事業については、その達成度に応じた対策を講じ、今後も改革の手綱を緩めないよう進めてまいりますので、今後とも皆様の一層の御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

以 上

I 法人の概要

1 日本大学沿革

明治 22 年(1889)	10 月	日本法律学校(現・法学部)創立 学祖は山田顕義(時の司法大臣) 初代校長に金子堅太郎(後の司法大臣)就任	3 月	現・生産工学部)設置 農学部にて獣医学科を増設し、農獣医学部と改称		
明治 23 年(1890)	9 月	皇典講究所で開校式挙行	昭和 29 年(1954)	4 月	歯学部附属歯科技工士養成所を設置(現・歯学部附属歯科技工専門学校)	
明治 26 年(1893)	12 月	第 2 代校長(後に学長、総長)に松岡康毅(後の農商務大臣)就任 校友会を結成	昭和 32 年(1957)	8 月	豊山高校・中学校を合併	
明治 29 年(1896)	5 月	神田三崎町に初の校舎落成	昭和 33 年(1958)	12 月	三島高校を設置	
明治 31 年(1898)	3 月	高等専攻科を設置	昭和 33 年(1958)	1 月	文学部に中国文学科、地理学科、数学科、物理学科を増設し文学部と改称	
明治 34 年(1901)	10 月	高等師範科(現・文理学部)設置			工学部に物理学科を増設し理工学部と改称	
明治 36 年(1903)	8 月	日本大学と改称		4 月	歯科衛生士養成所を設置(現・歯学部附属歯科衛生専門学校)	
明治 37 年(1904)	3 月	商科(現・経済学部ならびに商学部)設置		6 月	会頭に古田重二良就任	
	4 月	専門学校令による大学となる		昭和 34 年(1959)	9 月	第 5 代総長に永田菊四郎就任 「日本大学の目的および使命」を改定
大正 2 年(1913)	2 月	中学校を設置(現・一高、一中)		昭和 35 年(1960)	4 月	明誠高校を設置
大正 3 年(1914)	4 月	「建学の主旨及綱領」を制定		昭和 37 年(1962)	11 月	山形第一高校を合併(現・山形高)
大正 9 年(1920)	4 月	大学令による大学となる		昭和 41 年(1966)	1 月	第一工学部を生産工学部と改称
	6 月	高等工学校を設置(現・理工学部)			3 月	第二工学部を工学部と改称
大正 10 年(1921)	3 月	美学科(現・芸術学部)設置		昭和 44 年(1969)	9 月	豊山女子高校を設置
	4 月	東洋歯科医学専門学校を合併(創立は大正 5 年、現・歯学部)			第 6 代総長に鈴木勝就任	
大正 11 年(1922)	3 月	初代総長に松岡康毅就任			会長に古田重二良就任	
大正 12 年(1923)	11 月	第 2 代総長に平沼騏一郎(後の総理大臣)就任		昭和 46 年(1971)	2 月	日本大学松戸歯科大学を設置(現・松戸歯学部)
大正 14 年(1925)	3 月	専門部医学科(現・医学部)設置		昭和 47 年(1972)	9 月	理事長に永澤滋就任
昭和 2 年(1927)	3 月	第二中学校を設置(現・二高、二中)		昭和 49 年(1974)	3 月	松戸歯科大学附属歯科衛生専門学校を設置(現・松戸歯学部附属歯科衛生専門学校)
	12 月	幼稚園を設置			10 月	総長鈴木勝理事長を兼任
昭和 4 年(1929)	3 月	工業学校を設置(現・習志野高)		昭和 50 年(1975)	10 月	日本大学松戸歯科大学を廃止し、松戸歯学部を設置
	10 月	赤坂中学校を合併(現・三高、三中)		昭和 53 年(1978)	12 月	国際関係学部を設置
昭和 5 年(1930)	3 月	第四中学校を設置(現・日大高、中)		昭和 56 年(1981)	9 月	理事長に柴田勝治就任
昭和 7 年(1932)	1 月	医学科附属看護婦養成所設置(現・医学部附属看護専門学校)		昭和 57 年(1982)	6 月	市ヶ谷に日本大学会館が落成
昭和 8 年(1933)	8 月	第 3 代総長に山岡萬之助就任		昭和 59 年(1984)	9 月	第 7 代総長に高梨公之就任
昭和 18 年(1943)	5 月	農学部を神奈川県藤沢市に設置(現・生物資源科学部)		昭和 62 年(1987)	12 月	薬学部を設置
昭和 21 年(1946)	1 月	第 4 代総長に呉文炳就任		平成 2 年(1990)	9 月	第 8 代総長に木下茂徳就任
	6 月	三島予科を静岡県三島市に開設		平成 5 年(1993)	9 月	第 9 代総長に瀬在良男就任、理事長を兼任
	7 月	理事長に圓谷弘就任		平成 7 年(1995)	12 月	農獣医学部を生物資源科学部に改組
	9 月	理事長に佐藤運雄就任		平成 8 年(1996)	9 月	第 10 代総長に瀬在幸安就任
昭和 22 年(1947)	3 月	専門部工科(現・工学部)を福島県郡山市に移転			理事長に森田賢治就任	
昭和 23 年(1948)	11 月	通信教育部を設置		平成 11 年(1999)	4 月	大学院総合社会情報研究科(通信制大学院)、大学院グローバル・ビジネス研究科を設置
昭和 24 年(1949)	2 月	新学制に移行(第一部の 7 学部 34 学科)		平成 16 年(2004)	4 月	大学院法務研究科設置
	3 月	同 (第二部の 4 学部 15 学科)		平成 17 年(2005)	4 月	大学院総合科学研究科(総合研究大学院)設置
	4 月	農林高校を設置(現・藤沢高)			9 月	第 11 代総長に小嶋勝衛就任、理事長を兼任
	12 月	「日本大学の目的および使命」を制定		平成 19 年(2007)	6 月	教育理念を「自主創造」とし、新ロゴ及びキャッチフレーズを決定
昭和 25 年(1950)	2 月	理事長に古田重二良就任		平成 20 年(2008)	9 月	第 12 代総長に酒井健夫就任
	3 月	世田谷高校を設置(現・櫻丘高)			理事長に田中英壽就任	
昭和 26 年(1951)	2 月	短期大学を設置(現・短期大学部)		平成 23 年(2011)	9 月	第 13 代総長に大塚吉兵衛就任
	2 月	東北工業高校を設置(現・東北高)		平成 25 年(2013)	4 月	総長制から学長制に移行し、学長に大塚吉兵衛就任
	4 月	大学院を設置			4 月	藤沢小学校を設置
	10 月	東京獣医畜産大学付属高等学校を合併、鶴ヶ丘高校と名称変更				
	11 月	農学部を東京獣医畜産大学を合併				
昭和 27 年(1952)	2 月	医学部医学科、歯学部歯学科が新学制に移行 工学部に薬学科(現・薬学部)、工業経営学科(後の第一工学部、				

2 設立の目的等(建学の精神, 教育理念)



学祖 山田顕義

日本大学の前身である日本法律学校は、明治22年(1889)に創立された。同年は大日本帝国憲法が公布され、また欧米の近代法を取り入れた刑法・民法・商法などの諸法典も整備されつつある時期であった。

この頃、司法大臣で本学学祖となる山田顕義は、欧米諸国の法律を学ぶことが主流の法学教育に疑問を持ち、日本の伝統・慣習・文化を踏まえた日本法律を教育する学校構想を抱いていた。同時期、帝国大学教授宮崎道三郎や憲法起草にあたった金子堅太郎などの若き法律学者たちも、日本法学教育の必要性を認識し、日本法律学校設立構想を進めていた。それを知った山田顕義は、彼らを全面的に支援し、明治22年10月4日、日本法律学校は創立されるに至ったのである。

日本法律学校の創立目的は「日本法律学校設立主意書」に記載されている。要約すると、日本の法律は新旧を問わず学ぶ、海外の法律を参考として長所を取り入れる、日本法学という学問を提唱するという3点であり、欧米法教育が主流な時代にあつて、大いに独自性を発揮することとなった。

明治36年(1903)には、校名を日本大学として改組し、翌37年、専門学校令による認可を受けた。大正3年(1914)、「建学の主旨及び綱領」が制定され、本学の建学の理想と教学方針が示された。大正9年(1920)、大学令による大学となり、総合大学への道を歩むこととなる。

昭和24年(1949)、新制大学として再スタートした本学は、「建学の主旨及び綱領」をあらためて「日本大学の目的および使命」を制定した。しかし、この「目的および使命」は、教育基本法に準じたものではあるが本学の伝統から離れており、私学の独自性が発揮されないという意見が出された。そのため改訂の検討がなされ、数年間の審議を経て、昭和34年(1959)、本学70周年を迎える際に、現在の表現に改訂した。

〔目的および使命〕

日本大学は 日本精神にもとづき
道統をたつとび 憲章にしたがい
自主創造の気風をやしな
文化の進展をはかり
世界の平和と人類の福祉とに
寄与することを目的とする

日本大学は 広く知識を世界にもとめて
深遠な学術を研究し
心身ともに健全な文化人を
育成することを使命とする



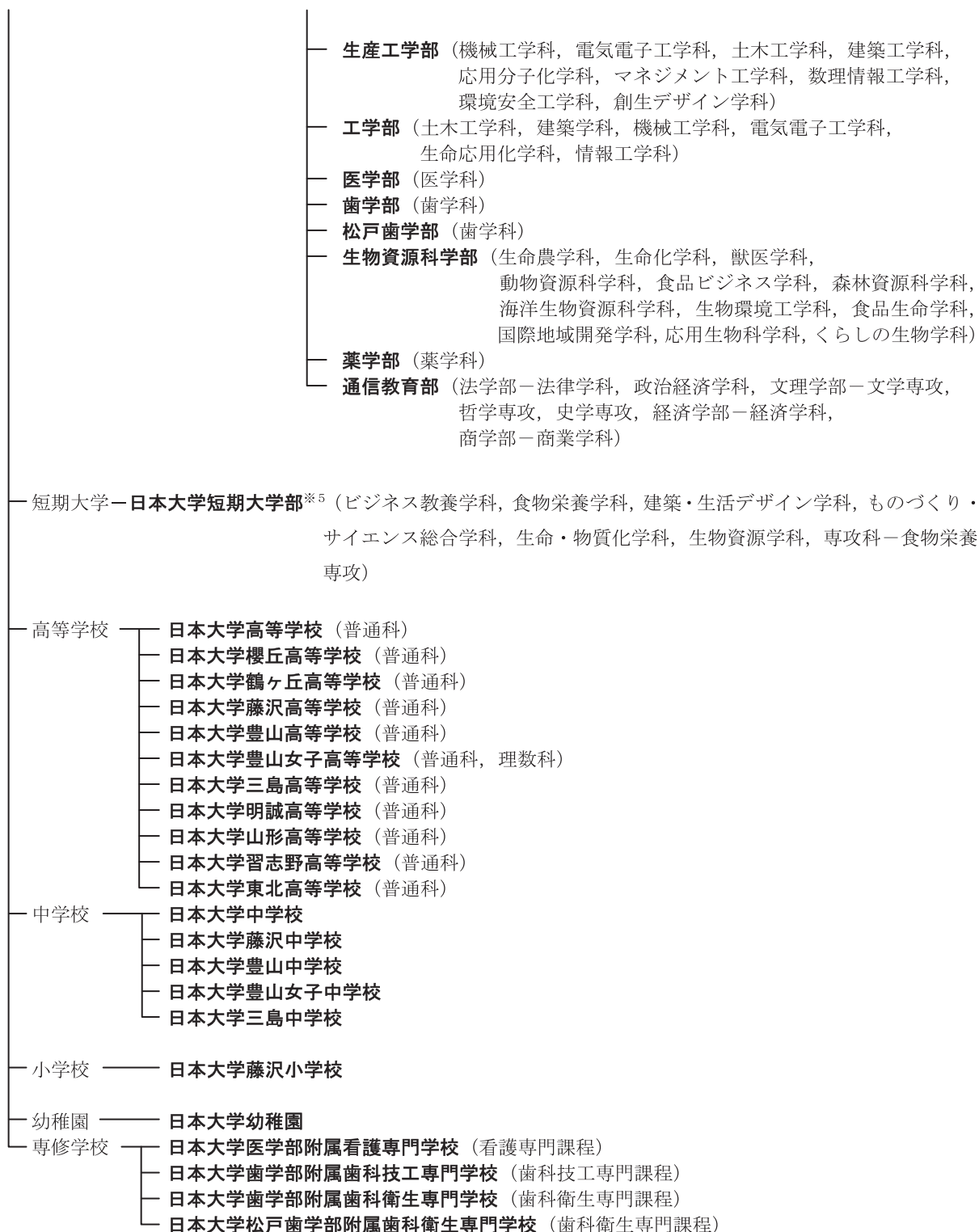
日本大学会館2階の学祖立像と歴代総長・理事長胸像

平成18年(2006)、企画検討委員会において、現在の社会状況に即応し、かつ本学の総合性を発揮することを目的として、新しい理念が検討された。その結果、平成19年、本学の教育理念は「自主創造」と定められた。

3 設置する学校

※平成27年4月1日現在





※1：下記以外は博士前期及び後期課程を設置。

*1：文学研究科史学専攻は博士前期課程。日本史専攻及び外国史専攻は博士後期課程。

人文地理学専攻（学生募集停止中）は修士課程。

*2：芸術学研究科文芸学専攻, 映像芸術専攻, 造形芸術専攻, 音楽芸術専攻及び舞台芸術専攻は博士前期課程。芸術専攻は博士後期課程。

*3, *4, *5, *6, *7：医学研究科, 歯学研究科, 松戸歯学研究科, 獣医学研究科及び薬学研究科は博士課程。

*8：総合社会情報研究科国際情報専攻, 文化情報専攻及び人間科学専攻は博士前期課程。総合社会情報専攻は博士後期課程。

*9, *10：法務研究科及び知的財産研究科は専門職学位課程。

※2：薬学研究科薬学専攻博士後期課程は平成24年4月から学生募集停止。

※3：経済学部第二部経済学科は平成22年4月から学生募集停止。

※4：国際関係学部国際関係学科, 国際文化学科, 国際交流学科及び国際ビジネス情報学科は平成23年4月から学生募集停止。

※5：短期大学部生物資源学科は平成27年4月から学生募集停止。

○準付属校の取扱いに関する契約を締結した学校法人の設置する高等学校・中学校等

法人名	高等学校	中学校	小学校	幼稚園
学校法人日本大学第一学園	日本大学第一高等学校, 千葉日本大学第一高等学校	日本大学第一中学校, 千葉日本大学第一中学校	千葉日本大学第一小学校	
学校法人日本大学第二学園	日本大学第二高等学校	日本大学第二中学校		
学校法人日本大学第三学園	日本大学第三高等学校	日本大学第三中学校		
学校法人大垣日本大学学園	大垣日本大学高等学校			
学校法人土浦日本大学学園	土浦日本大学高等学校, 岩瀬日本大学高等学校	土浦日本大学中等教育学校		土浦日本大学高等学校附属幼稚園
学校法人宮崎日本大学学園	宮崎日本大学高等学校	宮崎日本大学中学校		
学校法人佐野日本大学学園	佐野日本大学高等学校	佐野日本大学中等教育学校		
学校法人長崎日本大学学園	長崎日本大学高等学校	長崎日本大学中学校		
学校法人長野日本大学学園	長野日本大学高等学校	長野日本大学中学校		
学校法人札幌日本大学学園	札幌日本大学高等学校	札幌日本大学中学校		

4 学生・生徒数（入学定員・収容定員・現員）

※平成27年5月1日現在

※（ ）内は女子内数

大学院研究科（博士前期・修士課程）

研究科	入学定員	収容定員	1年次	2年次	計
法学	75	150	17	31	48 (18)
新聞学	10	20	7	9	16 (13)
文学	140	280	47	66	113 (41)
総合基礎科学	20	40	52	42	94 (21)
経済学	30	60	28	33	61 (25)
商学	90	180	29	33	62 (31)
芸術学	75	150	63	59	122 (70)
国際関係	10	20	6	10	16 (5)
理工学	420	840	384	460	844 (78)
生産工学	140	280	108	156	264 (23)
工学	140	280	70	83	153 (10)
生物資源科学	115	230	75	89	164 (57)
総合社会情報	90	180	75	67	142 (62)
計	1,355	2,710	961	1,138	2,099 (454)

大学院研究科（博士後期・博士課程）

研究科	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	計
法学	12	36	3	5	11		19 (5)
新聞学	3	6	1	2	1		4 (3)
文学	30	90	13	10	21		44 (19)
総合基礎科学	4	12	0	1	2		3 (1)
経済学	6	18	0	1	2		3 (0)
商学	13	39	1	1	4		6 (2)
芸術学	8	24	8	8	7		23 (7)
国際関係	3	9	1	0	3		4 (2)
理工学	79	237	10	20	34		64 (7)
生産工学	21	63	11	6	7		24 (4)
工学	12	36	1	1	5		7 (2)
医学	64	256	34	42	40	41	157 (40)
歯学	30	132	34	35	34	41	144 (52)
松戸歯学	30	130	27	27	21	26	101 (42)
生物資源科学	26	78	5	8	11		24 (4)
獣医学	6	24	8	2	4	7	21 (3)
薬学	5	15	6	4	4	3	17 (3)
総合社会情報	9	27	11	12	13		36 (11)
計	361	1,232	174	185	224	118	701 (207)

大学院研究科（専門職学位課程）

研究科	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	計
法務	60	200	17	27	23	67 (13)
知的財産	30	60	10	18		28 (4)

学部(第一部)

学 部	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計
法	1,400	5,600	1,649	1,607	1,703	1,750			6,709 (2,246)
文 理	1,810	7,180	2,120	2,141	2,006	2,426			8,693 (3,329)
経 済	1,400	5,600	1,695	1,557	1,591	1,847			6,690 (1,844)
商	1,200	4,800	1,440	1,350	1,380	1,764			5,934 (2,013)
芸 術	840	3,360	978	1,016	985	1,121			4,100 (2,607)
国 際 関 係	650	2,600	721	722	758	818			3,019 (1,219)
理 工	2,020	8,080	2,262	2,096	2,348	2,607			9,313 (1,235)
生 産 工	1,400	5,600	1,589	1,607	1,553	1,665			6,414 (962)
工	1,030	4,120	1,179	1,137	1,118	1,028			4,462 (391)
医	120	720	131	137	128	114	116	119	745 (220)
歯	130	840	143	147	127	133	109	147	806 (335)
松 戸 歯	130	840	135	154	129	97	119	117	751 (255)
生 物 資 源 科	1,490	5,960	1,833	1,597	1,695	1,690	145	133	7,093 (3,206)
薬	240	1,440	273	270	261	233	255	277	1,569 (857)
計	13,860	56,740	16,148	15,538	15,782	17,293	744	793	66,298 (20,719)

学部(第二部)

学 部	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計
法	300	1,200	177	144	131	201			653 (110)
経 済	0	0	0	0	0	5			5 (0)
計	300	1,200	177	144	131	206			658 (110)

通信教育部

学 部	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	計
法	3,000	12,000	117	96	219	637	1,069 (328)
文 理	3,000	12,000	270	258	660	2,338	3,526 (1,982)
経 済	1,500	6,000	54	42	142	389	627 (129)
商	1,500	6,000	158	130	215	585	1,088 (452)
計	9,000	36,000	599	526	1,236	3,949	6,310 (2,891)

短期大学部

学 科	入学定員	収容定員	1年次	2年次	計
ビジネス教養	80	160	49	68	117 (62)
食物栄養	120	240	118	116	234 (210)
建築・生活デザイン	80	160	99	101	200 (74)
ものづくり・サイエンス総合	60	120	77	69	146 (32)
生命・物質化	40	80	43	35	78 (43)
生 物 資 源	0	150	0	152	152 (81)
計	380	910	386	541	927 (502)

短期大学部専攻科

専 攻	入学定員	収容定員	1年次	2年次	計
食物栄養	20	40	15	21	36 (31)

高等学校

学 校	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	計
日 本 大 学	600	1,800	533	482	447	1,462 (614)
櫻 丘	602	1,806	414	454	469	1,337 (629)
鶴ヶ丘	450	1,350	432	413	472	1,317 (755)
藤 沢	520	1,560	400	377	539	1,316 (687)
豊 山	545	1,715	482	471	471	1,424
豊山女子	240	720	217	290	240	747 (747)
三 島	680	2,200	643	655	667	1,965 (940)
明 誠	440	1,320	345	365	284	994 (255)
山 形	450	1,350	411	426	371	1,208 (422)
習 志 野	370	1,170	439	405	444	1,288 (531)
東 北	480	1,440	457	529	438	1,424 (578)
計	5,377	16,431	4,773	4,867	4,842	14,482 (6,158)

中学校

学 校	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	計
日 本 大 学	400	1,200	248	274	248	770 (346)
藤 沢	120	360	122	123	121	366 (183)
豊 山	240	640	236	227	183	646
豊山女子	160	480	107	135	127	369 (369)
三 島	70	210	61	43	49	153 (71)
計	990	2,890	774	802	728	2,304 (969)

小学校

学 校	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計
藤 沢	72	432	72						72 (29)

幼稚園

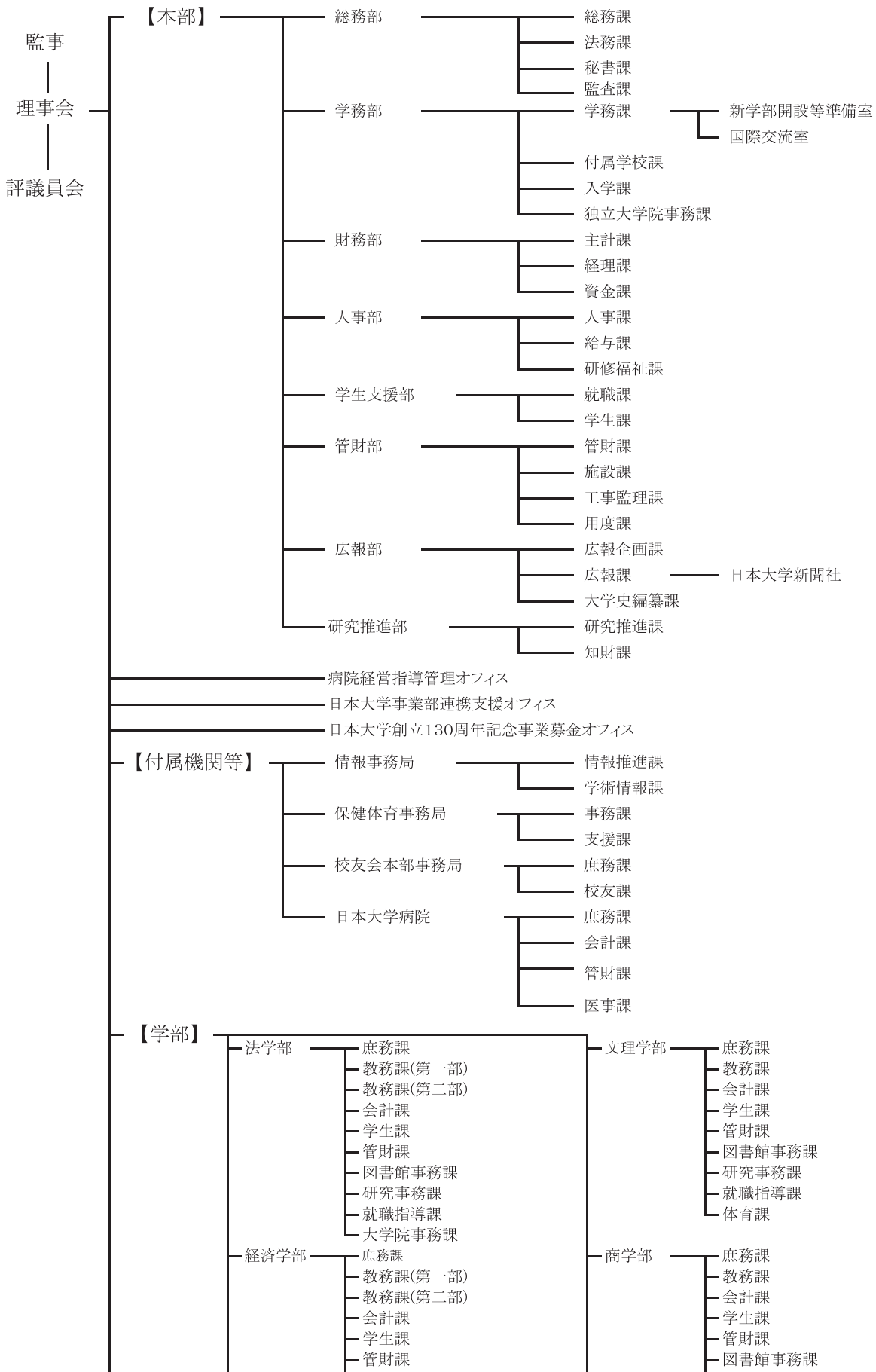
学 校	入園定員	収容定員	3歳児	4歳児	5歳児	計
日 本 大 学	3歳児70, 4・5歳児105	280	48	41	74	163 (70)

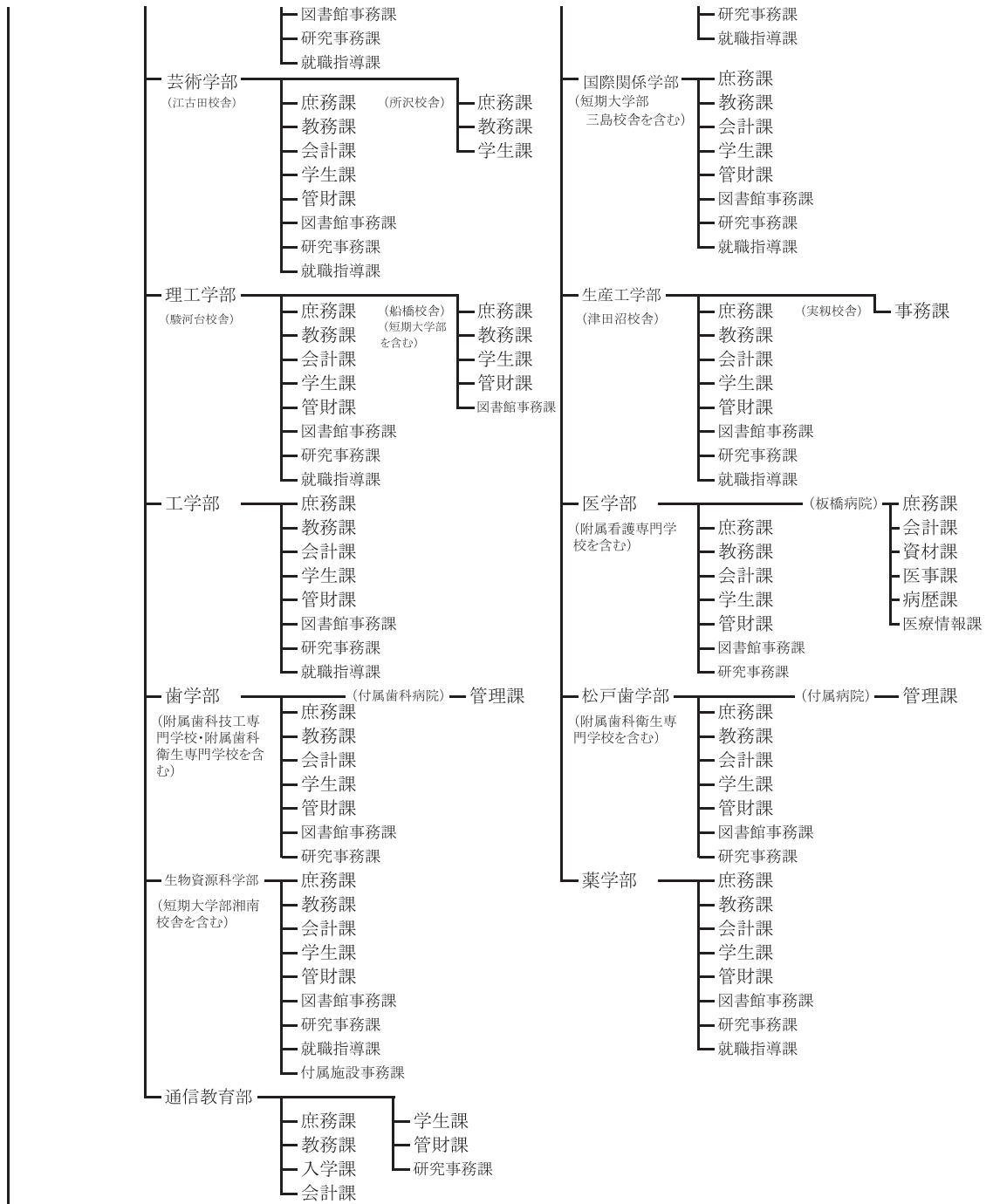
専修学校

学 校	入学定員	収容定員	1年次	2年次	3年次	計	
医学部附属看護専門学校	80	240	100	92	91	283 (267)	
歯学部附属歯科技工専門学校	35	105	28	20	16	64 (20)	
歯学部附属歯科衛生専門学校	40	120	45	40	31	116 (116)	
松戸歯学部附属歯科衛生専門学校	40	120	44	54	42	140 (140)	
計		195	585	217	206	180	603 (543)

5 事務組織

※平成28年3月31日現在





【高等学校・中学校・小学校・幼稚園】

- ※ 櫻丘高校は文理学部併設
- ※ 鶴ヶ丘高校、藤沢高校・中学校・小学校は生物資源科学部併設
- ※ 三島高校・中学校は国際関係学部併設
- ※ 習志野高校は理工学部併設
- ※ 東北高校は工学部併設

- 日本大学高等学校・中学校
- 日本大学櫻丘高等学校
- 日本大学鶴ヶ丘高等学校
- 日本大学藤沢高等学校・中学校・小学校
- 日本大学豊山高等学校・中学校
- 日本大学豊山女子高等学校・中学校
- 日本大学三島高等学校・中学校
- 日本大学明誠高等学校
- 日本大学山形高等学校
- 日本大学習志野高等学校
- 日本大学東北高等学校
- 日本大学幼稚園

- 事務室
- 事務課
- 事務課
- 事務課
- 事務室
- 事務室
- 事務室
- 事務室
- 事務室
- 事務課
- 事務課
- 事務課

6 研究所組織

大学付置研究所

総合科学研究所	(昭和25年7月7日設置)
量子科学研究所	(昭和38年12月3日設置)
教育制度研究所	(昭和31年10月1日設置)
精神文化研究所	(昭和33年4月1日設置)
人口研究所	(昭和55年5月23日設置)

学部付置研究所

法学部法学研究所	(昭和31年10月1日設置)
法学部政経研究所	(昭和57年3月5日設置)
法学部比較法研究所	(昭和57年3月5日設置)
法学部新聞学研究所	(平成19年3月9日設置)
法学部国際知的財産研究所	(平成19年3月9日設置)
文理学部人文科学研究所	(昭和38年4月1日設置)
文理学部自然科学研究所	(昭和38年4月1日設置)
文理学部情報科学研究所	(昭和58年3月11日設置)
経済学部経済科学研究所	(昭和52年4月1日設置)
経済学部産業経営研究所	(昭和52年4月1日設置)
商学部商学研究所	(昭和52年3月11日設置)
商学部会計学研究所	(昭和52年3月11日設置)
商学部情報科学研究所	(昭和57年6月4日設置)
芸術学部芸術研究所	(昭和44年4月1日設置)
国際関係学部生活科学研究所	(昭和38年4月1日設置)
国際関係学部国際関係研究所	(昭和55年7月4日設置)
理工学部理工学研究所	(昭和48年3月16日設置)
生産工学部生産工学研究所	(昭和48年3月16日設置)
工学部工学研究所	(昭和48年3月16日設置)
医学部総合医学研究所	(昭和52年5月13日設置)
歯学部総合歯学研究所	(昭和51年5月14日設置)
松戸歯学部口腔科学研究所	(昭和49年10月18日設置)
生物資源科学部総合研究所	(昭和42年4月1日設置)
生物資源科学部国際地域研究所	(昭和51年5月14日設置)
生物資源科学部生命科学研究所	(平成11年4月2日設置)
薬学部薬学研究所	(平成元年4月7日設置)
通信教育部通信教育研究所	(昭和59年2月3日設置)

7 役員・教職員の概要

① 役員等

※平成28年3月31日現在

	定数	実数	氏名
理事長	1人	1人	田中 英壽
学長	1人	1人	大塚 吉兵衛
副学長	3人以内	3人	加藤 直人 小関 勇 落合 実
常務理事	(若干名)	5人	石井 進 加藤 了 成澤 文 明 古屋 尚 中村 克 夫

理事 (定数:25人以上32人以内 実数32人(常勤24人,非常勤8人))

選任区分(寄附行為第8条)	定数	実数	氏名
学長	1人	1人	大塚 吉兵衛
理事長の推薦した者	1人以上2人以内	2人	加藤 和英 関 秀三
日本大学本部及び日本大学各学部の教職員評議員のうちから選出された者	13人以上15人以内	15人	内田 正人 池村 正道 加藤 直人 小柳 治宣 小関 勇 野田 慶人 渡邊 武一郎 山本 寛宣 落合 実 出村 克夫 高山 忠利 前野 正夫 井手 達雄 大矢 祐治 本橋 重康
この法人の設置する学校の校友評議員のうちから選出された者	5人以上7人以内	7人	石井 進 内田 俊太郎 齋藤 貢 鈴木 俊雄 高野 和雄 田中 英壽 中村 克夫
この法人の学識経験評議員のうちから選出された者	5人以上7人以内	7人	小澤 一郎 小野沢 元久 加藤 了 鴨下 一郎 神野 大乗 成澤 文明 古屋 尚

監事 (定数:3人以上5人以内 実数:4人(うち2人は常任監事))

選任区分(寄附行為第18条)	定数	実数	氏名
監事	3人以上5人以内	4人	越智光昭(常任) 森 晃道(常任) 小磯 一男 鈴木 三郎

評議員（定数:98人以上120人以内 実数116人）

選任区分(寄附行為第24条)	定数	実数	氏名
学長	1人	1人	大塚吉兵衛
日本大学各学部長	12人以上14人以内	14人	池村正道、小野田治宣、山本寛宣、出前野克宣、大矢正夫、高橋祐治、柏原一裕
日本大学本部部長のうちから選出された者	1人以上3人以内	3人	加藤直人、小関武一郎、渡邊合利、落合忠美、高川良佐、本橋重正
日本大学本部教職員のうちから選出された者	2人	1人	呉屋正盛
日本大学各学部、日本大学通信教育部及び日本大学短期大学の教員のうちから選出された者	14人以上17人以内	17人	信藤隆司、宮本沢誠、李原和雅、藤本谷川弥正、長福島田俊、久保卓英、美晃勉夫
日本大学各学部及び日本大学通信教育部の職員のうちから選出された者	12人以上15人以内	15人	紅野謙介、高堅和正、尾水眞一、清國會伊淵雅芳、辰野秀史、三郎文彰、大逆小林達正、小井手藤正
日本大学付属高等学校の教職員のうちから選出された者	2人	2人	野澤拓夫、近藤博七
この法人の設置する学校を卒業した者で、年齢25年以上のものの中から選出された者	30人以上36人以内	35人	阿部正也、新一謙孝、内田俊太郎、江藤輝一、小幡純、齋藤木義雄、鈴高橋中井川野村場井澤下、山岡島沢芳元、野藤沼景、黒上滝藤修、佐々木野根大好、神関澤文、成平澤正、古堀屋川、森末昭
この法人に関係ある学識経験者のうちから選出された者	24人以上30人以内	28人	綾石内梅岡梶齊高竹中手中中梨子、部井倉田野原間野平礼塚西村木田、東和勝匡文和榮思公、洋和勝匡文和榮思公、子進雄利雄優也雄太郎哉敏章理秀次史一、郎彦郎司明廣雄雄孝子司之雄子

② 教員数

※平成27年5月1日現在

大学院研究科

研究科	専任教員						兼任教員	兼任教員
	教授	准教授	専任講師	助教	助手	計		
総合科学	0	0	0	0	0	0	0	0
法学						0	1	28
新聞学						0	0	12
文学						0	11	63
総合基礎科学						0	1	21
経済学						0	60	28
商学						0	36	7
芸術学						0	0	47
国際関係学						0	0	9
理工学						0	220	154
生産工学						0	143	34
工学						0	5	40
医学						0	364	0
歯学						0	141	0
松戸歯学						0	64	0
生物資源科学						0	153	14
獣医学						0	30	0
薬学						0	41	0
グローバル・ビジネス	0	0	0	0	0	0	0	0
法務	18	2	0	3	0	23	0	35
総合社会情報	11	1	0	0	0	12	32	46
知的財産	9	3	0	0	0	12	0	12
計	38	6	0	3	0	47	1,302	550

学部等

学部	専任教員						兼任教員	兼任教員
	教授	准教授	専任講師	助教	助手	計		
法(一部)	89	19	7	12	0	127	13	316
法(二部)	7	5	0	0	0	12	6	93
文理	166	46	2	20	58	292	30	664
経済(一部)	76	24	3	8	3	114	13	317
経済(二部)	0	1	0	0	0	1	0	0
商	49	41	5	0	0	95	9	221
芸術	80	14	10	3	42	149	7	529
国際関係	39	14	0	11	5	69	2	121
理工	154	93	16	61	40	364	10	465
生産工	103	64	21	19	13	220	7	285
工	69	51	10	16	0	146	5	158
医	52	76	40	188	92	448	14	74
歯	30	37	27	74	2	170	57	53
松戸歯	34	29	50	32	12	157	19	44
生物資源科	123	67	33	40	50	313	3	220
薬	27	19	4	18	1	69	1	23
小計	1,098	600	228	502	318	2,746	196	3,583
通信教育部	7	3	1	2	0	13	86	165
計	1,105	603	229	504	318	2,759	282	3,748

研究所

研究所	専任教員						兼任教員	兼任教員
	教授	准教授	専任講師	助手	助教	計		
総合科学研究所	17	4	1	0	0	22	1	0
量子科学研究所	1	1	0	0	0	2	7	0
教育制度研究所	0	0	0	0	0	0	0	0
精神文化研究所	0	0	0	0	0	0	0	0
人口研究所	5	1	0	0	0	6	6	0
計	23	6	1	0	0	30	14	0

短期大学部

学 科	専 任 教 員						兼担教員	兼任教員
	教授	准教授	専任講師	助教	助手	計		
ビ ジ ネ ス 教 養	6	2	0	1	0	9	0	} 34
食 物 栄 養	7	3	0	0	2	12	0	
建 築 ・ 生 活 デ ザ イン	3	4	0	3	2	12	0	} 136
も の づ く り ・ サ イ エ ンス 総 合	4	0	5	1	2	12	0	
生 命 ・ 物 質 化	3	3	1	0	1	8	0	
生 物 資 源	1	0	3	0	1	5	0	16
計	24	12	9	5	8	58	0	186

高等学校

学 校	専任教員	非常勤講師	計
日 本 大 学	48	0	48
櫻 丘	53	0	53
鶴 ヶ 丘	56	0	56
藤 沢	53	0	53
豊 山	53	0	53
豊 山 女 子	34	0	34
三 島	69	0	69
明 誠	42	0	42
山 形	49	0	49
習 志 野	55	0	55
東 北	51	0	51
計	563	0	563

中学校

学 校	専任教員	非常勤講師	計
日 本 大 学	26	0	26
藤 沢	15	0	15
豊 山	23	0	23
豊 山 女 子	16	0	16
三 島	7	0	7
計	87	0	87

小学校

学 校	専任教員	非常勤講師	計
藤 沢	11	0	11

幼稚園

学 校	専任教員	非常勤講師	計
日 本 大 学	6	0	6

専門学校

学 校	専任教員	兼務(学内)	兼務(学外)	計
医 学 部 附 属 看 護 専 門 学 校	16	110	26	152
歯 学 部 附 属 歯 科 技 工 専 門 学 校	5	31	8	44
歯 学 部 附 属 歯 科 衛 生 専 門 学 校	5	70	8	83
松 戸 歯 学 部 附 属 歯 科 衛 生 専 門 学 校	5	91	12	108
計	31	302	54	387

③ 職員数

※平成27年5月1日現在

学部等

学部等	事務系		技術技能系		医療系		教務系		その他		計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
本部	200	69	3	0	0	2	7	0	3	2	213	73	286
法	55	30	1	0	0	2	0	0	2	0	58	32	90
文理	50	37	1	0	0	2	4	1	1	0	56	40	96
経済	42	31	0	0	0	1	0	0	0	0	42	32	74
商	37	23	0	0	0	1	0	0	0	0	37	24	61
芸術	38	20	2	0	0	2	14	1	1	0	55	23	78
国際関係	36	18	1	1	0	1	2	0	0	0	39	20	59
理工	63	40	0	0	0	4	14	7	2	0	79	51	130
生産工	41	28	1	0	0	2	18	0	0	0	60	30	90
工	39	8	1	0	0	2	0	0	2	0	42	10	52
医	81	132	1	9	303	1,523	12	18	14	44	411	1,726	2,137
歯	33	26	0	0	9	47	3	2	1	1	46	76	122
松戸歯	38	30	1	0	11	51	4	2	1	1	55	84	139
生物資源科	43	23	3	0	0	2	23	1	6	0	75	26	101
薬	29	13	0	0	0	1	5	0	0	0	34	14	48
通信教育部	35	10	0	0	0	0	0	0	0	0	35	10	45
計	860	538	15	10	323	1,643	106	32	33	48	1,337	2,271	3,608

短期大学部

校舎	事務系		技術技能系		医療系		教務系		その他		計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	計
三島	2	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	3
船橋	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	3
湘南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	3	2	0	0	0	0	0	0	1	0	4	2	6

高等学校

学校	専任職員数
日本大学	11
櫻丘	9
鶴ヶ丘	9
藤沢	9
豊山	11
豊山女子	10
三島	6
明誠	11
山形	13
習志野	6
東北	7
計	102

中学校

学校	専任職員数
日本大学	3
藤沢	0
豊山	2
豊山女子	3
三島	1
計	9

小学校

学校	専任職員数
藤沢	1

幼稚園

学校	専任職員数
日本大学	5

専門学校

学校	専任職員数
医学部附属看護専門学校	0
歯学部附属歯科技工専門学校	1
歯学部附属歯科衛生専門学校	2
松戸歯学部附属歯科衛生専門学校	1
計	4

Ⅱ 事業の概要

平成27年度事業計画（法人全体）

【1】「大学改革の始点となる基本的な方針」に関する事項

①「1 学部の発想」から「全学的な視野」への転換

- (1) 教職員の意識改革
- (2) 施設設備, 情報, サービス, 物, 人, 財政等の資源の共有化の推進

②学校教育法改正に伴う新たな大学ガバナンス体制の構築及び運用

- (1) 学長基本方針の策定
- (2) 各学部基本計画の策定
- (3) 意思決定プロセスの再整理及び実質化

【2】「教学施策と連携した積極的な環境整備」に関する事項

① 自主創造型パーソンの育成・輩出

- (1) 「全学共通教育プログラム（仮称）」の構築を含む「日本大学版教育スタンダード」の段階的实施
- (2) 教育の質向上を目的とするFD活動の全学的・組織的推進
- (3) 「日本大学国際交流方針」に基づくグローバル化の実現に向けた環境整備の推進
- (4) 卒業前教育及び入学前教育などによる高大連携の充実
- (5) 大学院制度改革による体系的な大学院教育の充実
- (6) N方式入試の更なる拡充などによる入試制度改革の推進
- (7) 基礎学力到達度テストを用いた附属推薦入試改革の推進
- (8) 学生・生徒等に対する教育支援体制の充実による退学防止への全学的な取組

② ビジョンに基づく施策の実現と継続的推進

- (1) 「社会の安全」と「スポーツの振興」に寄与する危機管理学部・競技スポーツ学部開設の推進と1キャンパス2学部制の効率的運用に向けた検討の推進
- (2) 地方出身者等を経済支援する学生寮の更なる拡充
- (3) 幼少教育からの一貫教育を実践し社会に貢献する認定こども園開設の推進
- (4) 日本大学病院の安定的運営の推進
- (5) 初等教育からの一貫教育を実現する藤沢小学校の教育充実
- (6) 法学部と大学院法務研究科の連携強化による「司法の日大」の復活に向けた教育の改善・充実
- (7) 「プライド復活」の象徴となる「スポーツ日大」の飛躍に向けた保健体育審議会の活動環境の充実とトップアスリートを育成するための高大連携の強化

③ 「就職に強い日大」の推進・強化

- (1) キャリア教育充実と就職指導との連携強化等による就職支援体制整備への戦略的取組
- (2) 公務員試験支援センター強化等による各種国家試験対策の充実

④ 研究推進支援基盤の充実

- (1) 研究推進支援機構による総合力を結集した全学横断的学術研究（産官学連携を含む）の推進
- (2) 研究体制の戦略的強化（間接経費の全学的な有効活用を含む）による競争的資金獲得施策の推進
- (3) 研究成果向上に寄与する効果的な資金配分への取組
- (4) 文部科学省ガイドラインに沿った研究倫理の遵守及び研究費の適正使用の徹底

⑤ 安心・安全なキャンパス実現

- (1) 大学の公共性を考慮した省エネルギー及び地球温暖化対策への積極的取組
- (2) 情報管理, 著作権保護, 個人情報保護などに留意したコンプライアンス（社会規範, 社会的要請との調和）の徹底
- (3) リスク発生の予防, 緊急事態発生時の迅速対応などを目途とする危機管理及びリスク管理体制の構築
- (4) 学生・生徒等の就学環境及び教職員の就業環境維持向上への取組

1 主な事業の概要

法人全体の事業計画の進捗状況

[1] 「大学改革の始点となる基本的な方針」に関する事項

① 「1 学部の発想」から「全学的な視野」への転換

- (1) 教職員の意識改革
- (2) 施設設備, 情報サービス, 物, 人, 財政等の資源の共有化の推進

【進捗状況】

学校教育法等が平成27年4月に改正されたことに伴い, 大学ガバナンス改革を全学一体となって対応する必要がある, 経営上の観点による組織の合理的な運営方針を明確に定めるため, 平成27年5月に理事長から「経営上の基本方針」が示され, 理事会にて決定した。

ー経営上の基本方針ー

～教職員の意識改革を推進し, 前例に拘らない新しい発想で実行する。～

[1] 本学資源の効率活用

① 人事配置に関する方針

- (1) 教員配置数の適正化
- (2) 授業科目数及び専任教員の持コマ数の適正化
- (3) 部科校間を越えた授業科目担当教員の積極的な登用
- (4) 地理的に隣接する学部事務局の一元化及び事務職員配置数等の適正化による, 合理的な管理運営体制の構築
- (5) 全学統一の人事評価制度の構築
- (6) 本学出身者の教員採用及び若手教員の育成
- (7) 再雇用教員制度への完全移行を視野に入れた人事計画の策定

② 部科校間における施設, 業務及び財務の効率運用に関する方針

- (1) 校舎等の設計・工事の共同化及びキャンパスの共同利用
- (2) 物品等の調達共同化
- (3) 広報業務の共同・効率化
- (4) 入試業務における日本大学入試センターの効果的な活用
- (5) 入学金等の本部一元管理・再配分

③ 附属機関及び付置研究所の効率運用に関する方針

- (1) 効率運用による経営合理化
- (2) 図書館の共有化

[2] 教学施策との連携による, 「日本一教育力のある大学」の実現と顧客満足度向上

① 学生数の適正維持に関する方針

- ② 授業の魅力向上・維持に関する方針
- ③ 一貫したカリキュラム編成に関する方針
- ④ 学生の学びと質と水準の保証に関する方針
- ⑤ 強みを活かした魅力ある大学づくりに関する方針

[3] 安心・安全なキャンパスの実現

- ① 大学の公共性を考慮した省エネルギー及び地球温暖化対策の積極的取組みに関する方針
- ② コンプライアンスの徹底に関する方針
- ③ 危機管理及びリスク管理体制の構築に関する方針
- ④ 学生等の就学環境及び教職員の就業環境維持向上に関する方針

② 学校教育法改正に伴う新たな大学ガバナンス体制の構築及び運用

- (1) 学長基本方針の策定
- (2) 各学部基本計画の策定
- (3) 意思決定プロセスの再整理及び実質化

【進捗状況】

「経営上の基本方針」が示されたことを受け、学長から「教学に関する全学的な基本方針」が7月に示され、理事会にて決定した。これにより、大学のガバナンス改革推進の一貫として、学長のガバナンス体制が整った。なお、学長ガバナンスに基づく学長のリーダーシップのもと、各学部は、両方針に基づく「学部基本計画」の作成を9月末までに行っている。

ー教学に関する基本方針ー

“自主創造型パーソン”を育成するため、「日本一教育力のある大学」を目指した取組を組織的に推進する。

I 「日本一教育力のある大学」の実現に向けた取組

- 1 学生の学修成果を第一義に捉えた「全学的な教学マネジメント体制」の構築
- 2 学士課程教育の再構築
- 3 教育の質的転換による学位(学士)の質保証

II 大学院教育改革に関する取組

- 1 学位(修士, 博士, 専門職)の質保証に係る取組
- 2 研究者(大学教員等)養成を捉えた大学院教育の質的転換

III 国際交流の推進に関する取組

- 1 学生の国際的なコミュニケーションスキルとしての外国語の向上
- 2 グローバル化の意識を高める教育の実践とキャンパス環境の整備

IV 高大接続と大学入試改革に関する取組

- 1 総合大学の特徴を生かした高大接続教育並びに高大連携教育の推進
- 2 基礎知識と能力・意欲・適性を多面的・総合的に評価・判定する新たな入信制度の構築
- 3 効果的な学生募集戦略の検討(志願者数10万人復活に向けて)

V 学生支援に関する取組

- 1 就学環境維持のための経済的支援の充実
- 2 地方公共団体や地方の企業団体との連携構築
- 3 公務員試験の合格支援

VI 研究推進に関する取組

- 1 学術的貢献による、よりよい未来、健康な社会の実現
- 2 社会の必要に応じた、社会に活力を与える人材の育成
- 3 先駆的・独創的な研究成果の創出・発信及び国内外との共同研究
- 4 学部連携に基づく異分野協働型の融合・統合研究拠点の形成
- 5 学部連携に基づく日本大学発のイノベーション等の実現

[2] 「教学施策と連携した積極的な環境整備」に関する事項

① 自主創造型パーソンの育成・輩出

- (1) 「全学共通教育プログラム(仮称)」の構築を含む「日本大学版教育スタンダード」の段階的実施

【進捗状況】

「自主創造の基礎1」の理念の浸透並びに全学部導入に向けた取組として、学部に向けたヒアリングを行う。また、全学共通初年次教育セミナーを開催し、平成27年度には6学部であった導入学部が平成28年度からは10学部と通信教育部において導入の見込みとなった。

- (2) 教育の質向上を目的とするFD活動の全学的・組織的推進

【進捗状況】

FD活動の全学的・組織的推進を図るため、学内外に向けた調査の結果などを踏まえ、3か年に及ぶ中期計画のまとめとして日本大学としてのファカルティ・ディベロッパーのあり方をまとめている。このような活動を通じて、徐々に学内におけるFDに対する雰囲気も変わり始めており、一部の学部においては学生参画型FD活動に取り組む学部も現れてくるようになった。

- (3) 「日本大学国際交流方針」に基づくグローバル化の実現に向けた環境整備の推進

【進捗状況】

グローバル化実現に向けた環境整備の推進のため、提携校の拡充・交換留学先の増加並びに提携先大学の国・地域の拡充を図るため、新たな交換留学協定に基づく募集活動を開始している。

- (4) 卒業前教育及び入学前教育などによる高大連携の充実

【進捗状況】

進路確定後の高校3年生の学力の維持を図ることを目的として、付属推薦制度により日本大学へ進学する生徒を対象に、授業時間数を確保しながら、全付属高等学校等25校共通テキストによる卒業前教育を実施している。

- (5) 大学院制度改革による体系的な大学院教育の充実

【進捗状況】

大学院教育改革に関する取組みの一貫として、学位(修士・博士・専門職)の質保証を担保するための検討を行う。また、研究者(大学教員等)養成を推進し、特に、各学部等の本学出身専任教員の割合を60%以上とすることを目指す。

- (6) N方式入試の更なる拡充などによる入試制度改革の推進

【進捗状況】

N方式入試の更なる拡充等入試制度改革の推進を行う。平成28年度に開設する危機管理学部及びスポーツ科学部を含め参加部科校が増え、受験者が大幅増加した。平成29年度は全部科校が参加し、N方式が徐々に本学におけるシンボリックな入試に定着しつつある。

- (7) 基礎学力到達度テストを用いた付属推薦入試改革の推進

【進捗状況】

基礎学力到達度テストを用いた付属推薦入試改革の推進を行う。基礎学力選抜、付属特別選抜、国立併願方式及び追加募集の4つの方式からなる新しい付属推薦入試制度を実施し、一定数の付属校の生徒を確保することができた。

- (8) 学生・生徒等に対する教育支援体制の充実による退学防止への全学的な取組

【進捗状況】

修学支援の充実による学生数の適正維持に向けた取組みとして、「教学に関する全学的な基本方針」にて、留年率及び退学率の具体的な数値目標が示された。これに伴い、各部科校にて作成の「学部基本計画」にて、具体的な対応方法の検討及び実施に向けた施策を行う。

- ② ビジョンに基づく施策の実現と継続的推進

- (1) 「社会の安全」と「スポーツの振興」に寄与する危機管理学部・スポーツ科学部開設の推進と1キャンパス2学部制の効率的運用に向けた検討の推進

【進捗状況】

新学部となる危機管理学部及びスポーツ科学部は、1キャンパスでの運用となるため、事務の合理化、重複している役職の整理等、従来とは異なる発想の組織・運用を図る。

- (2) 地方出身者等を経済支援する学生寮の更なる拡充

【進捗状況】

地方出身者等への経済的支援の一環として、さらなる学生寮(平成27年度については、新たに2つの学生寮を整備。また、稲城校地に1棟計画中)の整備を進める。

- (3) 幼少教育からの一貫教育を実践し社会に貢献する認定こども園開設の推進

【進捗状況】

昨今社会問題となっている保育ニーズに応えるだけでなく、大学機関として幼少から一貫した教育を実践する教育研究機能も併せ持つ認定こども園を平成29年度を目標に開設する。なお、認定こども園開設に係わる東京都及び世田谷区への申請業務及び園舎新築工事に関して当初の予定どおり順調に進行している。

- (4) 日本大学病院の安定的運営の推進

【進捗状況】

平成26年に開院した日本大学病院の早期経営安定が求められているため、本部設置の病院経営

指導管理オフィスが定期的に現地確認を行い、適宜指導を行う。また、その他付属病院を含め、月1回日本大学病院経営会議を実施し、各病院の経営状況の報告及び確認を行う。

- (5) 初等教育からの一貫教育を実現する藤沢小学校の教育充実

【進捗状況】

大学院法務研究科を法学部に移管及び隣接地に移転することにより、より効果の高い教育環境を学生に提供できるようになった。

- (6) 法学部と大学院法務研究科の連携強化による「司法の日大」の復活に向けた教育の改善・充実

【進捗状況】

平成27年4月より、法務研究科を本部から法学部へ移管したことに伴い、教育連携のしやすい環境が整った。

- (7) 「プライド復活」の象徴となる「スポーツ日大」の飛躍に向けた保健体育審議会の活動環境の充実とトップアスリートを育成するための高大連携の強化

【進捗状況】

各競技部において付属高等学校等に在籍する将来性豊かな選手を7年計画で育成を行い、高大連携して「スポーツ日大」の飛躍に努めている。

- ③ 「就職に強い日大」の推進・強化

- (1) キャリア教育充実と就職指導との連携強化等による就職支援体制整備への戦略的取組

【進捗状況】

全学部・全学年の学生を対象とした地方就職や地方公務員を目指す学生にセミナーを開催し、早期に就職への意識付けを持たせるイベントを実施する。これにより、地方就職U・Iターンを希望する学生や地方公務員を目指す学生に対し、ブース形式で各自治体担当者からの情報提供や、ガイダンスでの地方就職に有効なネットワークの形成等について講演し、就職活動を控える3年生だけでなく、1・2年生にも将来のキャリア形成に必要なアドバイスを行った。

- (2) 公務員試験支援センター強化等による各種国家試験対策の充実

【進捗状況】

日本大学公務員試験支援センター主催講座における三崎町ランチでの新規講座及び総合職合格支援コースの支援体制を充実することにより、学生が自身の志望先を意識したカリキュラムを作成できるよう受講講座を配置した。また、総合職合格支援コースでは、年間を通して受講生のモチベーションの維持を図ることができるように、個別面談、情報交換会及びセミナー等を実施した。

- ④ 研究推進支援基盤の充実

- (1) 研究推進支援機構による総合力を結集した全学横断的学術研究（産官学連携を含む）の推進

【進捗状況】

全学的横断的研究の推進のため、基礎研究から応用研究への発展と本学における有望な複数学部の研究課題に対して、外部資金獲得に向けた施策を展開する。

- (2) 研究体制の戦略的強化（間接経費の全学的な有効活用を含む）による競争的資金獲得施策の推進

【進捗状況】

学外研究費の獲得支援、共同研究組織構築の推進のため、本学の総合性を活かした共同研究組織構築の萌芽的支持及び研究連携の機会を提供し、新たな共同研究の創生をコーディネートした。

- (3) 研究成果向上に寄与する効果的な資金配分への取組

【進捗状況】

外部研究費獲得のため、学内の競争的研究資金である日本大学学術助成金の助成を行うことで、研究者に対して研究する意識付けを行い、成果があがっている。

- (4) 文部科学省ガイドラインに沿った研究倫理の遵守及び研究費の適正使用の徹底

【進捗状況】

適正な研究費の使用及び研究活動等研究倫理を遵守するための体制を整えた。

- ⑤ 安心・安全なキャンパス実現

- (1) 大学の公共性を考慮した省エネルギー及び地球温暖化対策への積極的取組

- (2) 情報管理，著作権保護，個人情報保護などに留意したコンプライアンス（社会規範，社会的要請との調和）の徹底
- (3) リスク発生の予防，緊急事態発生時の迅速対応などを目途とする危機管理及びリスク管理体制の構築
- (4) 学生・生徒等の就学環境及び教職員の就業環境維持向上への取組

【進捗状況】

省エネルギー及び地球温暖化対策として，クールビズ及びウォームビズの敢行，空調温度の設定の変更及び照明やエレベータの稼働制限等を行い節電の推進，会議資料等の省資源化及びゴミの分別の徹底等による資源対策に努めている。

危機管理体制の強化のため，危機の未然防止，緊急事態発生時の迅速対応等を目的とした危機管理ガイドライン・マニュアルの作成に向けた，危機事象の抽出及び整備を行う。

[3] 学則変更(平成 27 年 4 月 1 日)

当初計画どおり変更を行う。

2 部科校別の事業の概要

達成度については、A:「おおむね達成」、B:「具体的実施中」、C:「検討中」、D:「未実施」として表示

本部

【教育研究】

- 事業計画:留年者や退学者に対するケースに応じたきめ細やかな支援

事業概要:教育の質的転換による学生の満足度向上、転部・転科及び編入試験の実施、学生支援対応策の検討を行う。

進捗状況:「教学に関する基本方針」で留年率及び退学率の到達目標が示されたことにより、各学部目標達成のための施策を「学部基本計画」にて示された。現在、各学部対応中である。(到達度:B)

- 事業計画:「社会の安全」と「スポーツ振興」に寄与する危機管理学部・スポーツ科学部開設の推進と1キャンパス2学部制の効率的運用に向けた検討の推進

事業計画:学生目線に立った事務局とし、関連する課の業務統合を行い、窓口を1本化する。また、1キャンパス2学部制に伴い、2学部共同の事務局とし、合理化を図る。進捗状況:両学部の学生が相談しやすいような窓口とするため、2学部共通で1事務局とするとともに、通常の8課体制を、「教学サポート課」及び「管理マネジメント課」の2課とする。(到達度:A)

- 事業計画:「全学共通教育プログラム」(仮称)の構築を含む「日本大学版教育スタンダード」の段階的实施

事業概要:(1)全学共通初年次教育科目「自主創造の基礎1」の導入及び学内外への浸透策の展開並びに効果的かつ持続的な実施に係る検討(2)「全学共通教育プログラム」(仮称)の構築に向けた具体的な検討

進捗状況:(1)「自主創造の基礎1」の理念の浸透並びに全学部導入に向けた取組として、5月から6月に学部に向けたヒアリングを行った。また、全学共通初年次教育セミナーを春と秋の2回開催し、平成27年度には6学部であった導入学部が平成28年度からは10学部と通信教育部において導入の見込みとなった。また、ガイドラインの改訂も行い、Q&Aを新たに作成するなど統一的な内容が担保されるよう工夫を行った。(達成度A)(2)全学共通教育プログラム(仮称)の構築に向けた検討を重ね、教学戦略委員会のWG会議では「第5次中間答申」を踏まえた具体的展開にむけて意見の集約を図っている。平成28年度中の次なる答申に向けて検討を継続している。(達成度C)

- 事業計画:教育の質向上を目的とするFD活動の全学的・組織的推進

事業概要:(1)日本大学におけるファカルティ・デベロッパー(FDer)の在り方の検討(FD推進センター基本計画〔中期計画〕:平成25年度~平成27年度)(2)学生参画型FD活動の整備・強化(FD推進センター基本計画〔中期計画〕:平成25年度~平成27年度)(3)FDを広義に捉えた「高等教育開発センター」(仮称)としての活動に向けた諸事業の持続的な展開(FD推進センター基本計画〔長期計画〕:平成23年度~平成27年度)(4)FD等教育開発・改善活動に関する調査の実施(5)FD等教育開発推進関連組織に関する調査研究の実施(6)日本大学におけるFDerの在り方に関する調査研究の実施

(7)日本大学における学生参画型FD活動に係る調査研究(8)「学生FDサミット2016春」・「日本大学学生FD CHAmiT 2015」の企画・開催(9)全学FDワークショップ2015の企画・開催(10)全学FDシンポジウム2015の企画・開催(11)『日本大学FDガイドブック』(2016年度版:学生編・教職員編)の発行に向けた企画・編集(12)「日本大学FD NEWSLETTER」(第8号・第9号)の企画・編集(13)『日本大学FD研究』(第4号)の編集ほか

進捗状況:(1)学内外に向けた調査の結果などを踏まえ、3か年に及ぶ中期計画のまとめとして日本大学としてのファカルティ・デベロッパーのあり方をまとめ、全学FD委員会において報告した。(達成度A)(2)文献研究や学外で開催された各種学生FD関連イベントに参加するなどして、情報を集め、本学で開催している「日本大学学生FD CHAmiT」における過去2回のアンケート結果なども分析し、3か年に及ぶ本学における学生参画型FDの在り方についてまとめ、全学FD委員会において報告した。また、この3年間で「日本大学学生FD CHAmiT」を3回開催し、少しずつ学内におけるFDに対する雰囲気も変わり始めており、一部の学部においては学生参画型FD活動に取り組み学部も現れてくるようになった。(達成度:A)(3)5年間に及ぶ調査研究を行い、特に平成24年度に実施した「FD等教育開発関連組織に関する調査」に係る結果などをまとめ、全学FD委員会で報告した。諸事業の持続的展開については、IRに関する検討も含め検討を継続する。(達成度C)(4)毎年、全学部・研究科を対象に実施している「FD等教育開発・改善活動に関する調査」を平成27年度も実施した。平成27年度は、「教育の質的転換に向けた検討事項」や「私立大学等改革総合支援事業」に対応する項目を考慮し、例年の質問項目の一部見直しを図るとともに、質問内容の改善を図った。同調査結果については、「平成27年度FD等教育開発・改善活動に関する調査報告書」としてまとめ、公表した。(達成度A)

(5)(3)と関連する項目であるが、平成27年度途中よりIRに係る検討を全学FD委員会調査・分析WGにおいて検討していくこととなったため、こちらでの対応を含め検討を継続している。(達成度C)(6)(1)に記載のとおり、本年度は、3か年に及ぶ調査を取りまとめた。また、次期中期計画(平成28年度~平成29年度)においても、本項目については、具体的展開について継続して検討することとした。(達成度A)(7)(2)に記載のとおり、本学における学生参画型FDに係る在り方をまとめ、次期中期計画に掲げた部科校における学生参画型FDを通じた教育改善にむけた取組を進めていくことに目処をつけることができた。(達成度A)(8)平成28年3月12日・13日に本学文理学部キャンパスにて、全国66大学から522名の参加を得て、「学生FDサミット2016春」を開催した。「日本大学学生FD CHAmiT 2015」も同時開催し、学外者のみならず、本学の多くの学生・教員・職員に学生とともに進めるFDの重要性などを広く周知することができた。今

後の各学部等における FD 活動や学生参画型 FD 活動の取組拡大に期待するとともに全学的な対応策も立案し進めていく。(達成度 A) (9) 平成 27 年 12 月 25 日・26 日に日本大会館にて、本年度 3 回目となる「全学 FD ワークショップ 2015」を開催した。FD 推進センター基本計画(中期計画)に基づき、平成 25 年度より部科校におけるファカルティ・ディベロップメントの養成を目指し、全学部を対象に開催している。本年度は、教員のみならず、「教員と共に協働し、教育能力の開発を企画・運営する職員」も参加し、教職協働を意識して開催することができた。(達成度 A) (10) 全学 FD 委員会プログラム WG の年度計画として、全学 FD ショボジムの開催を検討したところ、テーマを IR としていく方向となったことから、講演候補者の選定などに時間を要することなども含め次年度以降開催できるよう準備を進めていくこととした。(達成度 C) (11) 『日本大学 FD がイブニングブック 2016』の発行に向け、前年度版に対する部科校からのアンケート結果を踏まえ一部改訂した。『Teaching Guide』『Learning Guide』ともに FD 推進センター基本計画(中期計画)を意識しながら見直しを図り、新たに平成 28 年 4 月開設の 2 学部の対象者にも配布する。(12) 「日本大学 FD NEWSLETTER」(第 8 号)は、平成 27 年 3 月 28 日に開催した「日本大学教学戦略ショボジウム」-「教育のオープン化」の“いま”と“これから”-の特集号として平成 27 年 5 月 13 日に発行した。また、「第 9 号」発行にむけて企画・編集を行った。「第 9 号」は通常号とし、「教職協働」をテーマに教務事務研修会の様子や法学部学務担当と教務課長の対談などを掲載し、平成 28 年 4 月発行に向け企画・製作を行った。(達成度 A) (13) 『日本大学 FD 研究』(第 4 号)の刊行を行った。第 4 号は、論文 1 篇、研究ノート 4 篇、活動報告 3 篇の構成となった。また、次年度以降、随時投稿ができるようにするなど投稿要項等の見直しを行い、次年度から適用となった。(達成度 A)

- 事業計画: A 交換留学先の拡大, B 認定留学制度の創設
事業概要: 日本大学教学戦略委員会第 4 次中間答申に基づき、次の 2 点を重点的に実施することで、教育のグローバル化を促進する。

A 提携校の拡充・交換留学先の増加並びに提携先大学の国・地域の拡充を図る。

B 全学的な認定留学制度を創設し、学生に幅広い留学の機会、形態を提供する。

進捗状況:

A 新たに中国(香港教育学院), スイス(北西スイス応用科学・芸術大学)との交換留学協定に基づく募集活動を開始した。(達成度 B)

B 全学的な認定留学制度実施にあたり、学部担当者向け導入説明会の開催や、学部等における実施状況の確認等、昨年度後期からの運用開始に向け、準備を精進した。(達成度 B)

- 事業計画: 卒業前教育の実施
事業概要: 高校 3 年生の学力の維持を図ることを目的として、付属推薦制度により日本大学へ進学する生徒を対象に、授業時間数を確保しながら、全付属高等学校等 25 校共通テキストによる卒業前教育を実施する。

進捗状況: 国語、英語、数学(文系・理系)の共通テキストを使用し、卒業前教育を実施した。付属推薦制度で日本大学へ進学する生徒を含む約 5,500 名の生徒が受講した。(達成度: A)

- 事業計画: 認定こども園開設の推進

事業概要: 昨今社会問題となっている保育ニーズに応えるだけでなく、大学機関として幼少から一貫した教育を実践する教育研究機能も併せ持つ認定こども園を平成 29 年度を目標に開設する。

進捗状況: 認定こども園開設に係わる東京都及び世田谷区への申請業務及び園舎新築工事に関して当初の予定どおり順調に進行している。(達成度: A)

- 事業計画: 全学部学生対象のキャリア教育及び就職支援イベントの開催

事業概要: 全学部・全学年の学生を対象とした地方就職や地方公務員を目指す学生にセミナーを開催し、早期に就職への意識付けを持たせるイベントを実施。

進捗状況: 地方就職 U・I ターンを希望する学生や地方公務員を目指す学生に対し、ブース形式で各自治体担当者からの情報提供や、カンパンスでの地方就職に有効なネットワークの形成等について講演し、就職活動を控える 3 年生だけでなく、1・2 年生にも将来のキャリア形成に必要なアドバイスを行った。また、従前より実施していたイベントについても、1・2 年も参加可とし、キャリア形成の一助とした。(達成度: A)

- 事業計画: 日本大学公務員試験支援センター主催講座における三崎町プラザでの新規講座開設及び総合職合格支援コースの支援体制の充実

事業概要: 学生が自身の志望先を意識したカリキュラムを作成できるよう受講講座を配置。また、総合職合格支援コースでは、年間を通して受講生のモチベーションの維持を図る。

進捗状況: 学生の志望度が高い国家一般職・地方上級試験対策講座と警察官・消防官試験対策講座を設置。このうち国家一般職・地方上級試験対策講座では入門コースと完成コースを用意し、低学年から勉学意欲の高い学生が教養・専門科目をバランスよく学ぶことで公務員合格に導く内容となっている。また、総合職合格支援コースでは、個別面談・情報交換会・セミナーを開催し、年間を通して学生の相談や目標設定を行い、試験に向けてモチベーションの維持を行った。(達成度: A)

- 事業計画: 日本大学全学文化行事 (NU 祭)

事業概要: 学生・付属高校生との間に文化的事業による交流の場を設けることによって、学部間、学部・付属高校間で各々の部科校の独自性を再認識し、日本大学学生としての帰属意識を育む。

進捗状況: 統一テーマの下、全部科校の学生・生徒が人的・知的財産を結集し、総合閉会式において全学文化行事としての成果を結実させた。全学による募金活動では、国連 UNHCR 協会から感謝状が授与された。(達成度 A)

- 事業計画: 日本大学体育大会

事業概要: 大学(短期大学部を含む)、附属専門学校、付属高等学校等の参加による体育大会。高校、大学、教職員の各部において団体優勝を競う。

進捗状況: 生徒、学生及び教職員の健康管理、体力向上へ意識を高めるとともに、普段は交流が少ない部科校間の交流が行われ、帰属意識を高めることができた。(達成度 A)

- 事業計画: 日本大学本部所属学生団体活動

事業概要: 本部学生支援部に所属する文化団体連合会及び体育団体連合会合計 20 団体の活動。

正課教育以外の学術・文化、体育活動の充実を図ることを目的とする。

進捗状況: 学生の充実した課外活動の場であり、行事等の円滑な運営が図られている。本部団体という特性を活かし、各学部から学生が集まることにより、学部の枠を超えた交流ができています。(達成度 A)

- 事業計画:奨学金の充実
事業概要:スポーツの目大復活に向け、トップアスリートに対し、経済的支援を目的として奨学金を給付する。
進捗状況:日本大学アスリート奨学生 20 名、日本大学付属高等学校出身アスリート奨学生 5 名に奨学金を給付した。(達成度:A)
- 事業計画:学生の自殺を予防するための教職員への啓発
事業概要:学生の自殺を予防するため、教職員向けの自殺予防マニュアルを作成し、教職員へ配布する。
進捗状況:「学生の自殺予防 学校関係者の手引き」を作成し、部科校教職員へ配布した。(達成度:A)
- 事業計画:創立関係者についての小冊子の刊行
事業概要:これまでの調査成果を基に、創立関係者を分かりやすく解説した小冊子を刊行し、本学創立期や建学の精神についての理解を深める。
進捗状況:資料収集の過程において、人物によっては事実関係に不明確な事象が確認され、再調査の必要が認められたため、現在改めて調査を行っており刊行に至っていない。(達成度:C)
- 事業計画:全学的横断的研究の推進
事業概要:基礎研究から応用研究への発展と本学における有望な複数学部の研究課題に対して、外部資金獲得に向けた施策を展開する。
進捗状況:研究支援組織設立等の過渡期であったため、また研究人材マネジメントの活用を実践できず、全学的横断研究推進の実現は困難であった。しかし、本部事務組織改編による学術情報 基盤との連携による研究推進支援策を全学的教学上の基本方針に沿って、各部科校との連携対応により、今後は進めていく。(達成度:C)
- 事業計画:学外研究費の獲得支援、共同研究組織構築の推進
事業概要:本学の総合性を活かした共同研究組織構築の萌芽的サポートとして、ホスターセッションを開催し、研究者自らの研究内容を紹介することによって、マッチングの機会を提供し、新たな共同研究の創生をコーディネートする。
進捗状況:今後の共同研究への発展と若手研究者同士の学部間での交流を目的とした学部連携ホスターセッションを開催した。更なる研究者が交流する機会を提供し、学外研究費の獲得に向けて共同研究組織構築を推進する。(達成度:A)
- 事業計画:日本大学学術助成金の実施
事業概要:外部研究資金獲得のため、学内の競争的研究資金である当該研究助成を行うことで、研究者に対し研究する意識付けを行い、その成果により共同研究の実現を目指す機会を供する。
進捗状況:当該研究課題に対し外部研究資金への申請・獲得状況の調査を実施し、多くの研究課題が、外部研究資金へ申請をし、採択されている。更なる外部研究資金獲得に向け、施策を引き続き検討して行く。(達成度:A)
- 事業計画:理事長特別研究・学長特別研究の実施
事業概要:理事長特別研究においては、本学の研究成果を広く社会に還元すると共に、本学の教育研究及び運営にも積極的に利用できる研究を推進する。学長特別研究においては、学術研究戦略の基本方針、理念、目標をもとに継続して学術研究を推進しているが、社会や本学の状況を鑑み、学長が、特に重点を置くべきと考えられる研究を優先的に推進する。
進捗状況:各プロジェクトにおいては研究成果を発表するシンポジウムが行われる等、順調に研究が進み外部研究助成等への申請も積極的に行われている。(達成度:A)
- 事業計画:私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の実施
事業概要:国の「私立大学戦略的研究基盤形成支援事業」の助成を受け、研究基盤の整備及び研究機能の高度化を図る。
進捗状況:平成 27 年度の私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の実績として、6 件申請のうち、1 件が選定された。上記の新規選定事業を併せて 9 事業が国からの助成を受け、総合大学としての特性を活かした様々な最先端の研究を推進した。(達成度:A)
- 事業計画:研究力の広報活動推進の実施
事業概要:本学の研究成果を広く社会に公開し、強力な研究力を効果的かつ積極的にアピールする。
進捗状況:大学で行われている研究内容の発信を行うため、ホームページニュースの随時更新を行った。今後は広報部と連携して、社会へ対しさらなる研究成果を PR する。(達成度:B)
- 事業計画:研究費適正使用の徹底を図る取組の実施
事業概要:研究費の適正な使用を確保するため、主に①内部監査の充実②コンプライアンス教育の質の向上と標準化に取り組む。
進捗状況:①過去の内部監査指摘事項の対応状況を確認し、その徹底を依頼した。②コンプライアンス教育用の教材として教育用ビデオを作成した。(達成度:A)
- 事業計画:適正な研究活動の徹底を図る取組の実施
事業概要:論文等のねつ造・盗用・改ざん等の研究活動の不正行為を防止するため、研究者倫理向上のための体制を整備し、研究倫理教育の徹底を図る。
進捗状況:研究倫理教育を徹底するため、研究倫理教育教材として、CITI Japan e ラーニングプログラムを導入し、全ての教員に対して受講を義務化した。(達成度:A)
- 事業計画:産官学連携による競争的研究資金の獲得と受託・共同研究の推進による研究活動の促進
事業概要:産業界等との受託・共同研究の実施や外部研究支援機関からの競争的資金の獲得など、産官学連携と研究推進を一体的に行うことにより研究活動を促進する。
進捗状況:産官学連携による研究推進において、研究者及び本学が将来不利益とならないよう、研究推進体制整備の一環として、受託研究契約書の全学統一雛型を作成し、各部科校における契約書の標準化を図った。(達成度:A)
- 事業計画:統一認証システムの運用・管理
事業概要:認証システムを統一することにより、各システムと連携を可能とし、学習・教育・研究活動の利便性を向上させ、セキュリティ管理の徹底を図る。
進捗状況:システム再開発に伴い 27 年度からクラウド化した。また Office365 教職員用サービス開始に伴い、マイクロソフトの ID 認証のため認証システムと連携するシステムを構築した。(達成度:A)
- 事業計画:次期全学共通図書館システムの運用・管理(大学全体)
事業内容:全学共通図書館システムへの新サービス導入及び利用者サービス向上を目指し、図書館システムの機能強化並びに教育研究環境整備を実現する。
進捗状況:全学共通図書館システムへ新サービスのディスプレイサーバを全学的に導入した事により、利用者サービス向上が図られ、図書館システムの機能強化並びに教育研究環境整備を実現した。(達成度:A)
- 事業計画:電子ジャーナルデータベース及び電子ブックの導入・有効活用(大学全体)

事業内容:全学図書館での利用講習会の実施,学部学生へのリテラシー教育等を通じて利用促進を図り,利用状況に即した契約及び競争見積合わせ等で経費節減を実現する。

進捗状況:電子ジャーナルの大きなパッケージについては,円高要因,消費税課税対象等価格高騰が予想される事から,利用状況を精査し,大学全体で契約形態を大きく変更し,大幅な経費節減を図った。(達成度:A)

○事業計画:高大連携事業(スポーツ)

事業概要:各競技部において付属学校等に在籍する将来性豊かな選手を7年計画で育成する。また優秀な選手に対してアスリート奨学金を設ける。

進捗状況:付属高校等に優秀な中学生の獲得及び育成を依頼,付属高等学校等アスリート奨学金は採用を実施した。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:大学史に関する企画展示の開催

事業概要:桜門会館の一部を使用して大学史に関する小展示を実施し,学内外に本学の歴史を広く周知する。

進捗状況:通年で実施し,次年度以降も継続する。また,展示内容については一定期間ごとに内容を変更し,新しい史料を公開することで,多くの校友に関心を寄せて頂くよう配慮している。(達成度:A)

○事業計画:学部が所在する地域における産官学連携の促進による地域社会への貢献

事業概要:各学部がその所在する地域において行う地域連携活動と技術移転・事業化計画を組み合わせることにより,本学の総合力を生かした地域連携による社会貢献を推進する。

進捗状況:「NUBIC 相談窓口」を,工学部及び生物資源科学部において継続実施し,地域企業,研究者のニーズやシーズを吸い上げることで,当該地域も含め,産官学連携の促進に努めた。また,本学の4学部が所在する千葉地域にて産官学連携フォーラムを本学が幹事校となり,他機関と共催し,千葉地域における産学連携活動の推進を行った。(達成度:A)

○事業計画:研究推進や技術移転への活用可能性を重視した研究成果の権利化及び権利の維持管理による効率的・効果的な知的財産活動の推進

事業概要:研究推進や技術移転可能性を重視した厳格な審査による産業財産権の取得,産業財産権の維持管理に係る外部資金の積極的活用,及び保有権利の活用可能性の再検討による精査を行う。これらの効果により,維持経費を適正なものとし,効率的・効果的な知的財産活動を推進する。

進捗状況:知的財産の活用可能性をより重視した案件評価等の基準に基づき知的財産管理を行い,特許性,活用可能性等のほか,技術移転状況等を加味した審議を行った。また,効率的な委員会運営により,技術移転に関する審議を効率的に行った。(達成度:A)

○事業計画:学内における研究・産官学連携に関する啓発活動の実施

事業概要:学部の研究者を対象に研究費獲得に向けたサポート及び産官学連携・知的財産活動の啓発活動を実施することにより,研究を推進し,その成果の社会還元を推進する。

進捗状況:学部に開設している「NUBIC 相談窓口」における,学部研究者に対する研究費獲得に向けたサポートや産

学連携の啓発活動の成果として,企業との共同研究に進展した案件が出てきており,今後も成果が得られるべく継続して,積極的な研究推進に向けた活動を行う。(達成度:B)

○事業計画:学内における産学連携活動に係る利益相反マネジメントの適正な運用

事業概要:学内における適切な利益相反マネジメントにより,安心・安全に研究活動に注力できる環境を整備し,産官学連携研究による研究成果の社会還元の促進及び社会への説明責任を果たすことを通じて本学の社会貢献を促進する。

進捗状況:利益相反マネジメントについて,学部研究事務課等と連携を図り,適正な運用を行った。また,研究事務研修会で,他大学の事務担当者を招へいし,利益相反マネジメントの講演を行う等,学内啓発に努めた。(達成度:A)

○事業計画以外:市区町村とのタイアップ

事業概要:杉並区教育委員会が主催する同区内在住の中学生及び小学生を対象とした次世代トップアスリートの育成・支援事業を目的とした「チャレンジ・アスリート」への協力を行った。本学の八幡山総合体育施設を訪れ,施設及び競技部のプレーを見学して競技体験も実施した。

進捗状況:杉並区が作成した募集要項に本学の名前を記載,また事業報告でも記載されている。次年度以降も協力していく予定である。(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画:「学部の発想」から「全学的な視野」への転換を機軸とした施設設備,情報,サービス,物,人,財政等の資源の共有化の推進

事業概要:①隣接する学部間の校舎等の共用化②教職員的人的相互活用③共同調達による経費削減④未利用地の有効活用

進捗状況:①近接部科校で新築計画のある場合は,相互で利用できる統合した施設となるよう推進する。(達成度:C)②各種基本方針を示すことにより各部科校で検討中である。(到達度:C)③平成27年度については,設計1件,工事2件,設計・工事に係る調査等の業務3件を共同発注する。また,物品等再利用率システムを構築し,各部科校で発生した未利用品の再利用を促進する。(達成度:B)④未利用地であった目黒(東か丘)校地に学生を建設し有効活用を行った。(到達度:B)

○事業計画:学校教育法改正に伴う新たな大学ガバナンス体制の構築・運用に係る諸規程整備

事業概要:大学ガバナンスが有効に発揮できるように諸規程の整備を行う。

進捗状況:諸規程の整備を行った。(到達度:A)

○事業計画:付属高等学校・中学校外部評価の実施

事業概要:3年に1度,学外者が部科校で行っている自己点検・評価について検証を行う。

進捗状況:実施済。(到達度:A)

○事業計画:危機管理体制の強化

事業概要:危機の未然防止,緊急事態発生時の迅速対応等を目的とした危機管理ガイドライン・マニュアルの作成により危機管理体制を強化する。

進捗状況:危機管理ガイドライン,マニュアル作成に向けた危機事象の抽出,整備を行った。(達成度:C)

○事業計画:N方式の更なる拡充

事業概要:同一試験日,同一問題で実施するN方式への参加を積極的に働きかけ,全学的な統一入試の実現を目指す。

進捗状況:平成28年度入試では、新たに医学部と2つの新学部が参加し、その結果、第1期及び第2期とも昨年度より志願者数が増加した。来年度は全学部が参加する見込みである。(達成度:B)

○事業計画:新付属推薦入試制度の推進

事業概要:基礎学力到達度テストの結果に基づく全付属高校共通の評価による推薦入試の実現を目的に、平成28年度入試より新しい付属推薦入試制度を導入する。

進捗状況:基礎学力選抜、付属特別選抜、国公立併願方式及び追加募集の4つの方式からなる新しい付属推薦入試制度を実施、一定数の付属校の生徒を確保した。(達成度:A)

○事業計画:会計業務の効率化

事業概要:学校法人会計基準の改正に伴う新基準対応の会計システムの導入及び効率的運用、また積極的な情報提供による会計業務の効率化と全学的統一

進捗状況:学校法人会計基準の改正に伴う新基準対応の会計システムの導入を推進するとともに、経理事務研修会、担当者勉強会を随時開催するなど積極的な情報提供を行った。(達成度:A)

○事業計画:ホームページでの理解しやすい財務情報の公開

事業概要:グラフ・図表及び財務分析結果の活用などにより、新基準の趣旨である社会への説明責任を果たす「開かれた大学」としての認知の徹底

進捗状況:収支計算書、貸借対照表の理解を得るため、企業会計との相違点及び記載科目・収支内容の説明を継続して行った。また、グラフ及び図表のカラー化など資料の見易さにも努めた。(達成度:A)

○事業計画:日本大学公務員試験支援センター主催行事関連学生情報管理システム(NU公務員システム)の機能拡充

事業概要:日本大学公務員試験支援センター主催行事への参加学生等の諸情報を一元管理し、行事運営や参加学生の現状把握及びフォローアップを効果的に行う。

進捗状況:開発が今年度で全て終了し、学生の講座の受講状況、模擬テストの成績管理、各種行事への参加状況、進路先までが一元管理出来るようになり、試験合格までのきめ細かなフォローが可能となった。また、今後は情報を蓄積することで、円滑な行事運営の参考として利用できる。(達成度:A)

○事業計画:創立130周年に向けての大学ブランドのイメージアップ

事業概要:前年度に引き続き、テレビ・看板広告等の媒体を通じて広報展開し、本学の教育理念と教育・研究活動を広く社会にPRすることにより、本学のブランド価値を高めた。

進捗状況:費用対効果を鑑み、幅広い媒体を使った合理的な広告戦略を展開。(達成度:A)

○事業計画:日本大学公式ホームページコンテンツ最適化かつ充実化

事業概要:ホームページの使いやすさ、利用者の度合いの向上や改善、コンテンツの充実などに取り組み、本学の総合力を社会へアピールする。

進捗状況:ホームページのリニューアルを行い、視覚的印象の向上を図ると同時に、コンテンツを整理し、利便性の高い配置変更を行った。同時に各コンテンツの内容充実を図るため、写真・文面の入れ替えを含め、相対的な再構成を実施した。(達成度:A)

○事業計画:統一仮想環境、統一バックアップソリューションの構築

事業概要:日本大学統一システムを部科校に提供し、新規購入機器や保守メンテナンスを削減し、災害時や障害のリスクへ備える。

進捗状況:仮想基盤については外部データセンターに新たに仮想サーバーを構築。バックアップシステムについても本部(所沢)に構築。全部科校への提供が可能となった。(達成度A)

○事業計画:情報共有システム「事務の友」リニューアル

事業概要:現行システム提供から10年を経過し、システム環境の変化などによる不具合に対応し、更に利便性の高いシステムを構築する。

進捗状況:27年度構築を完了し28年度よりリリース。(達成度A)

○事業計画:情報機器端末及びソフトウェアの適正な運用管理

事業概要:全部科校のソフトウェア監査の実施。ソフトウェアの包括契約による、経費削減及びコンプライアンスの徹底。

進捗状況:新たにアドビ社との包括契約を結び、全教職員にアドビ社のソフトの提供をすることができた。(達成度A)

○事業計画:「スポーツ日大」の飛躍に向けた保健体育審議会の活動環境の充実

事業概要:学生が学生生活と部活動の両方に全力で取り組めるように活動環境の整備を進める。当該年度は稲城学生寮新築工事、稲城校地サッカー場改修工事、テニス部学生寮の新築継続工事を行った。

進捗状況:稲城学生寮、テニス部学生寮は今年度も継続事業、練習場の改修工事は完了。(達成度:A)

○事業計画以外:「スポーツ日大」の広報誌の発行

事業概要:東京リビックへの選手派遣とメダル獲得を目指した選手勧誘と各競技部の魅力を広く社会へ伝えるなどが目的である。

進捗状況:進学がイトへの折込、全国の各競技部顧問宛への郵送、大学及び付属高校の在校生への配布を実施。(達成度:A)

○事業計画:日本大学病院の経営指導管理

事業概要:日本大学病院の経営指導管理を行う。

進捗状況:定期的に現地に赴き、指導管理を行う。また、日本大学病院経営会議を月に1度開催し、状況報告を行う。(到達度:A)

○事業計画:付属病院の診療報酬請求等に係る指導管理

事業概要:付属病院の診療報酬請求等に係る指導管理を行う。

進捗状況:定期的に現地に赴き、指導管理を行う。また、日本大学病院経営会議を月に1度開催し、状況報告を行う。(到達度:A)

【施設設備】

○事業計画:目黒(東が丘)学生寮(仮称)の設置

事業概要:東京都目黒区に150名収容できる女子学生寮が完成し、「創立130周年記念事業」の一環として、平成28年4月から運用が開始される経済支援寮である。優秀な地方出身の新入生の獲得及びその学生を対象に、整った生活環境を提供することを最大の目的とする。進捗状況:入寮希望者も多く、学生への経済支援という目的を十分に果たしている。(達成度A)

○事業計画:郡山学生寮(仮称)の設置

事業概要:福島県郡山市に100名収容できる男子学生寮が完成し、「創立130周年記念事業」の一環として、平成28年4月から運用が開始される経済支援寮である。優秀な福島県以外の地方等出身の新入生の獲得及びその学生を対象に、整った生活環境を提供することを最大の目的とする。

進捗状況:入寮希望者も多く、学生への経済支援という

目的を十分に果たしている。(達成度 A)

- 事業計画: 東京都稲城市に学生寮の建設設計
事業概要: 「創立 130 周年記念事業」の一環として、平成 29 年 4 月からの運用開始を目指す。
進捗状況: 実施設計が完成し、平成 28 年 2 月から施工に着手した。(達成度 A)
- 事業計画: テニス部学生寮新築工事
事業概要: 老朽化したテニス部学生寮を建替えを行う。
進捗状況: 設計が完了し、工事中である。(進捗状況: B)
- 事業計画: 稲城校地運動部第 2 学生寮新築工事
事業概要: 八幡山学生寮の収容能力がこえているため、稲城校地に運動部用の学生寮を新築する。
進捗状況: 設計が完了し、工事中である。(進捗状況: B)
- 事業計画: 稲城校地グラウンドサッカー場改修工事
事業概要: 稲城校地グラウンドを人工芝のグラウンドに改修を行う。
進捗状況: 整備済み。(到達度: A)

【財政・各種基金】

- 事業計画: 日本大学創立 130 周年記念事業募金
事業概要: 日本大学創立 130 周年記念事業募金の募金活動を実施
進捗状況: 平成 34 年度まで募金活動実施中である。平成 27 年度までの寄付金受入累計額は 32 億円となった。(達成度: B)
- 事業計画: 収支均衡の実現
事業概要: 次の目標値達成を目指し、幅広い収支改善策を継続的に実行することによる、教学施策実行を後押しするための盤石な財政基盤の実現
①長期的な目標値: 学校法人の永続的な維持を鑑み、基本金組入後収支比率が 100%を超えないこと。
②短期的な目標値: 事業活動収支差額比率が継続的に 5%以上となること。
進捗状況: ①基本金組入後収支比率は予算の 112.88%から、6.25%改善し 106.63%となった。(達成度: A)
②事業活動収支差額比率は予算の 0.37%から、予算執行段階での再検証などにより、予算時より 0.54%改善し 0.91%となった。(達成度: A)
- 事業計画: 過去の決算の検証に基づく効率的な予算配分の徹底
事業概要: 経営資源の共有による有効活用により運営の合理化を図り、相乗効果による総合力の発揮
進捗状況: 財務関係諸会議などにおいて、ゼロベース予算方式及び予算差異解消の徹底、また経営資源の共有

による有効活用などの効率的な予算配分に向けての指導・助言を随時行い、運営の合理化に努めた。

(達成度: A)

- 事業計画: 受配者指定寄付金制度や税制控除制度の周知による募金活動の積極的な推進
事業概要: 寄付者が法人税、所得税について税法上の優遇措置を受けることができる同制度を全学的に周知することで、更なる募金活動の積極的な推進を図る。
進捗状況: 特別寄付金収入は、20 億 5,603 万円となり、そのうち受配者指定寄付金収入は、4 億 4,215 万円であった。(達成度: A)
- 事業計画: 補助金等競争的資金の積極的獲得に向けた情報発信
事業概要: 教育研究基盤の充実に欠かすことのできない国庫補助金及び地方公共団体補助金の積極的な申請を行うために、有用な情報を全学的に発信し、更なる補助金獲得を図る。
進捗状況: 補助金交付額は総額 155 億 0,784 万円、大学経常費補助金においては、改革総合支援事業 2 つのタイプで支援対象校に選定され、交付額全国第 1 位を堅持することができた。(達成度: A)
- 事業計画: 資金の効率的運用に資する総合運用資金制度の積極的活用
事業概要: 本学のスケールメリットを活用した資金の効率的運用により、受取利息・配当金収入の増収を図る。
進捗状況: 部科校保有の諸引当資産のうち、78%を総合運用資金制度にて運用することができた。(達成度: A)
- 事業計画: 本部の収支改善へ向けた効率的な予算配分の徹底
事業概要: 収支安定の指標である事業活動収支差額比率 5%以上を実現するため、部局単位の経常的経費は、教育研究経費支出及び管理経費支出の平成 26 年度予算額のマイナス 2%を目標とする。
進捗状況: 各部局との予算折衝で、過去 2 年間の実績有無検証による予算適正化とゼロベース予算方式の徹底、更に事務連絡交通費、会合費、学生教育用以外の消耗品費及び印刷製本費の一律 10%削減を行い、事業活動収支の均衡に努めた。(達成度: A)

総合社会情報研究科

【教育研究】

- 事業計画: 新カリキュラムの実施
事業概要: 大学院教育カリキュラム全般を見直し、その整備・充実を図るため、大学院教育プログラム全般を見直し、「グローバルな課題に立ち向かう専門研究者を育成し、また、政治、経済、経営、文化、教育、安全、医療などの多様な領域で指導力を発揮し、活躍できるグローバル人材の育成」に資するよう教育課程を変更した。
進捗状況: 新カリキュラム導入年度入学生となる平成 27 年度入学試験(平成 26 年度実施)において博士前期課程で 75 名(前年度比 12 名増)の候補者を得ることができた。
開講講座に受講生のいない科目が見受けられたが、2 年次に受講をする予定の科目と想定している。

平成 27 年度日本大学学術研究助成金(総合研究)「グローバル人材育成のためのオープンエデュケーションに関する総合的研究」を完遂し、国際シンポジウム「文化翻訳が拓く異文化間コミュニケーションの可能性」を開催、報告書をまとめた。国際交流基金による「海外インターシップ 日本語教育」を仁川大学にて実施した。(達成度: A)

- 事業計画: 研究生・科目等履修生の一般からの受入れ
事業概要: より多くの人々に多様な形態において教育機会を提供するという教育のオープン化に資する。
進捗状況: 平成 28 年度科目等履修生(一般)選考試験において、3 名の候補者を得ることができた。(達成度: B)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:3.11 後の福島県いわき市における児童教育活動支援
事業概要:3.11 以後、修了生による地域教育活動の支援を継続している。平成 26 年度は活動の記録である『いわき通信』を発行した。平成 28 年度も支援活動を継続し、研究科の教育研究活動の社会還元および東日本大震災の記憶のアーカイブ化「ひなぎく」プロジェクトなどに寄与貢献する。
進捗状況:東日本大震災の記憶のアーカイブ化「ひなぎく」プロジェクト収録を果たした。支援活動を継続し、記憶の風化を押し止めるべく努めている。(達成度:B)

【経営・人事】

- 事業計画:研究生・科目等履修生の一般からの受入れ
事業概要:本研究科修士のみを対象とした制度だったが、一般からも受入れすることで、その後の正課生志願者増を図る。
進捗状況:平成 28 年度科目等履修生(一般)選考試験において、3 名の事務者を得ることができた。(達成度:B)
- 事業計画:専任教員の採用
事業概要:新カリキュラムに沿った教育を提供する。
進捗状況:平成 28 年度新任教員として、国際情報専攻 1 名、文化情報専攻 3 名、人間科学専攻 2 名を採用した。(達成度:A)

法学部・法学研究科・新聞学研究科・法務研究科・知的財産研究科

○法学部

【教育研究】

- 事業計画:キャリア教育講座の充実
事業概要:社会に出てから各方面で活躍できる基礎力、自己の進路決定に向けた意識付けの強化を図り、幅広い知識の習得を促進
進捗状況:ニュース検定試験・日本語検定、ビジネスの基本講座、キャリアコンサルタントによるキャリア教育講座の実施等、進路の選択肢について学生に熟考させる機会を種々提供した。(達成度:A)
- 事業計画: 業界・職種研究がイタンスの充実
事業概要: 就職戦線の変化(説明会開始-3 年次 3 月、選考開始-4 年次 8 月)に伴い、種々の情報の分析・研究から諸々の技術的対策等を早期から実施し、かつ、さらなる内容の充実により実力向上を図る。
進捗状況:前期には総合がイタンスを実施して就職に対する意識付けをし、後期には専門カウンセラー、各企業の協力のもと、業界や職種について理解を深めるがイタンスを実施した。(達成度:A)
- 事業計画: 保護者への情報提供
事業概要:保護者に対して適切な情報を提供することにより大学・家庭の双方から学生をサポートし、学生の就職への意識を高める。
進捗状況:後援会総会時に、就職指導委員長・外部講師による就職状況等に関する講演、個別の就職相談を実施するとともに、「保護者のための就職がっく」を 3 年生の保護者に郵送した。(達成度:A)
- 事業計画: 講堂 AV 卓及び天吊りモタの購入
事業概要:本館及び 2 号館の講堂の一部の AV 卓について老朽化が著しい。また、天吊りモタについては故障が頻発している。そこで、新たな AV 卓及び天吊りモタを購入することにより、学生の教育環境の拡充を行う。
進捗状況:施工が完了し、教員への操作説明会も行った。(達成度:A)
- 事業計画: 貴重書の電子化
事業概要:ブックサーバー利用し、貴重書の電子化を行う。
①デジタルデータによる貴重書・特別書の有効利用及び教員の研究環境の拡充を図ることができる。
②資料原本が劣化・破損することを防止し、将来的に資料保存の効果が期待できる。
進捗状況:平成 26 年度に引き続き、専門領域の教員の協力を得て、スキャンする貴重書の優先順位を決定し、電子化作業を進めている。(達成度:B)
- 事業計画: 図書館の日曜開館
事業概要:年度内 30 回、日曜開館を実施する。
- 法学部の学生・教職員の学術研究環境の拡充を図ることができる。
進捗状況:当初の計画に従い、年度内に 30 回開館し、1 日あたりの延べ入館者数は約 150 人~640 人、年度合計では 7,943 人であった。学生の学術研究環境の向上や定期試験、資格試験時に学生に対して利便を図ることができた。(達成度:A)
- 事業計画: 貴重書データの登録及び目録作成
事業概要:図書館システムに、貴重書の書誌・所蔵情報を登録し、目録を作成する。
①OPAC(蔵書検索システム)で検索が可能になり、研究者の研究環境の拡充を図ることができる。
②さらに適正な蔵書管理の実現が期待できる。
③貴重書の永久保存
進捗状況:所蔵情報の登録は完了し、平成 26 年度に引き続き書誌情報を登録している。さらに専門家の協力のもと、書誌情報の確認を行い、より正確な目録作成作業を進めている。(達成度:B)
- 事業計画: キャリア教育の推進
事業概要:学生が卒業後自らの資質を向上させ、社会的及び職業的自立を図るために必要な能力を培う。
①正課キャリア教育科目と連携し、各種講座・講演を実施し、自己の進路決定に向けた意識付けの強化を図り社会に出てから各方面で活躍できる基礎力、幅広い知識の習得を促進する。
②自立意識の涵養を通じ人間力向上を実現し、社会の変化に柔軟に対応できる社会人を育成する。
進捗状況:正課キャリア教育科目の受講によって学生の自主性・行動力が涵養され、課外の各種講座・講演の受講、企業等のインターシップへの積極的参加が促された。(達成度:B)
- 事業計画: 大学生基礎力調査(1・2 年次対象)
事業概要:毎年変化する「学生の実態」や「成長度」を経年で把握することにより、入試広報、キャリア教育、初年次導入教育及び退学者の予防対策等への活用が期待される。
進捗状況:調査を実施し、その結果について教員・関係部署等にフィードバックした。(達成度:A)
- 事業計画: 学務システムの導入
事業概要:新カリキュラムの導入に伴い、現在のニーズにあったシステムの導入。
学務システムの導入により、学生情報の共有化及び WEB での履修登録による早期に履修登録の確定などができ、教育効果をより一層向上させることが可能となる。

進捗状況: 学生情報の共有化を進められたことで、入学者情報との連携がし易くなり、学修及び学生生活においても学生へのサービス向上が図られた。また、WEB 履修に伴う早期の履修確定は、教育効果向上の一助となった。(達成度:A)

○事業計画：新カリキュラムの導入

事業概要: 平成26年4月より、セメスター制度を主軸とした新たなカリキュラムの導入。

新カリキュラム導入後2年目となり、展開する科目が増えることで、より一層の教育効果向上が期待できる。また、セメスター制は、留学等国际交流の要望に対応し易いカリキュラムとなっており、国際的な視野を持つ学生にとって効果的な活動が望め、より優秀な学生の育成が可能となる。

進捗状況: 新カリキュラム導入時に、初年次教育科目(自ら考え行動することを主眼とした科目)を受講した学生が2年次生となり、その学生達が更に多くの専門科目を受講できるようになったことで学修効果が高まった。(達成度:A)

○事業計画：FD活動の充実

事業概要: 授業アンケート結果の学生への情報公開及び教員の授業改善報告の実施等、教育のより一層の向上を目指した検討を行う。

学生への情報公開により、学生の授業に対する意欲向上が期待できる。また、教員が授業アンケート結果に基づく授業改善報告を行うことで、教育効果の向上が期待できる。

進捗状況: 科目群ごとではあるが、授業アンケート結果のホームページ上での公開を行った。また、授業アンケート結果を踏まえた教員からの授業改善計画(アクションプラン)の提出も行き、教育のより一層の向上を図った。(達成度:A)

○事業計画：電子資料の導入

事業概要: 法学部の学生・教職員に必要な電子資料を導入し、学術情報を収集できる環境を整備する。

法学部の学生・教職員の学術研究環境の拡充を図ることができる。

進捗状況: 現在27種類の電子資料を導入しており、本部総合学術情報センター等が提供している電子資料とともに、図書館ホームページにリンクして利用できるようにしている。(達成度:A)

○事業計画：貴重書等の展示会

事業概要: 本館所蔵の貴重書等の企画展示会を開催する。

①法学部の学生・教職員の学術研究の拡充を図ることができる。

②地域社会に貢献することができる。

進捗状況: 前期には学祖展「学祖・山田顕義を知ろう」、後期には図書館所蔵の資料より、写本・刊本の様子や装丁を紹介する「法学部図書館のさまざまな資料」展を開催した。

(達成度:A)

○事業計画：日本大学杉林奨学金の制定

事業概要: 弁理士試験の受験を志す者を対象とした奨学金制度の制定

進捗状況: 学部・大学院生併せて9名の学生を採用し、給付を行った。(達成度:A)

○事業計画：法学研究所

①研究所研究員の受入れ

②専門職養成研究室

③学術研究の推進

事業概要: ①研究所にて研究員の受入れを行う。

研究員を受入れること、研究員自身の研究の推進及び研究所における多角的な研究体制を構築することにより、研究所の活性化を図る。

②司法書士・税理士を目指す学生のための研究室を開催すると同時に、事業内容の見直しを行う。

司法書士科・税理士科の各研究室を設け合格を目指すための各種講義・演習等を行うと同時に、現時点の講座及び指導體制の評価・見直しを行い、合格者の継続的な輩出を目指し、社会の要請に応えた高度専門職業人の養成を具現化する。

③領域研究会の実施及び研究成果の出版。

研究所において学内及び学外の研究者による領域研究会を開催し、関連研究者の研究推進を図ると同時に、その成果を出版し、本学の学際的研究成果の社会的還元を行うと同時に、研究所として更に高度な研究の推進を得る。

進捗状況: ①4名の再委嘱を行い、新規1名を受入れた。(達成度:A)

②司法書士科・税理士科研究室生に対し、本試験科目の講座を実施し、合格者を輩出しており、更なる充実を図っている。(達成度:A)

③研究会38回、法学紀要第57巻の発刊(達成度:A)

○事業計画：政経研究所

①共同研究の再編

②研究所研究員の受入れ

③学術研究の推進

事業概要: ①研究所として実施してきた共同研究の成果を評価し、研究体制の改廃を行うと同時に、新たな学際的研究プロジェクトを実施する。

研究所の共同研究について、学際的評価の観点から検討し、研究所としての社会的評価を高め、その研究成果の社会的還元を行う為の研究体制の充実を図ることにより、直間的に学部所属の研究者の研究意識を高め、新たな研究を推進する。

②研究所にて研究員の受入れを行う。

研究員を受入れること、研究員自身の研究の推進及び研究所における多角的な研究体制を構築することにより、研究所の活性化を図る。

③領域研究会の実施及び研究成果の出版。

研究所において学内及び学外の研究者による領域研究会を開催し、関連研究者の研究推進を図ると同時に、その成果を出版し、本学の学際的研究成果の社会的還元を行うと同時に、研究所として更に高度な研究の推進を得る。

進捗状況: ①新たな研究課題「東アジアと日本政治」を定め、研究成果を学内紀要に発表し、さらに研究を推進した。(達成度:A)

②1名の再委嘱を行い、共同研究にて研究推進の役割を担った。(達成度:A)

③研究会6回、法学紀要の発刊(達成度:A)

○事業計画：比較法研究所

①研究所研究員の受入れ

②学術研究の推進

事業概要: ①研究所にて研究員の受入れを行う。

研究員を受入れること、研究員自身の研究の推進及び研究所における多角的な研究体制を構築することにより、研究所の活性化を図る。

②領域研究会の実施及び研究成果の出版。

研究所において学内及び学外の研究者による領域研究会を開催し、関連研究者の研究推進を図ると同時に、その成果を出版し、本学の学際的研究成果の社会的還元を

行くと同時に、研究所として更に高度な研究の推進を得る。

進捗状況：①1名の再委嘱を行った。(達成度:A)

②研究会5回、紀要『Comparative Law Vol.32』の発刊(達成度:A)

○事業計画：新聞学研究所

①研究所研究員の受入れ

②学術研究の推進

事業概要：①研究所にて研究員の受入れを行う。

研究員を受入れること、研究員自身の研究の推進及び研究所における多角的な研究体制を構築することにより、研究所の活性化を図る。

②領域研究会の実施及び研究成果の出版。

研究所において学内及び学外の研究者による領域研究会を開催し、関連研究者の研究推進を図ると同時に、その成果を出版し、本学の学際的研究成果の社会的還元を行うと同時に、研究所として更に高度な研究の推進を得る。

進捗状況：①3名の再委嘱を行った。(達成度:A)

②研究会4回、紀要『ジャーナリズム&メディア Vol.9』の発刊(達成度:A)

○事業計画：国際知的財産研究所

①研究所研究員の受入れ

②専門職養成研究室

③学術研究の推進

事業概要：①研究所にて研究員の受入れを行う。

研究員を受入れること、研究員自身の研究の推進及び研究所における多角的な研究体制を構築することにより、研究所の活性化を図る。

②弁理士を目指す学生のための研究室を開催すると同時に、事業内容の見直しを行う。

弁理士の研究室を設け合格を目指すための各種講義・演習等を行うと同時に、現時点の講座及び指導体制の評価・見直しを行うことで、合格者の継続的な輩出を目指し、社会の要請に応えた高度専門職業人の養成を具現化する。

③領域研究会の実施及び研究成果の出版。

研究所において学内及び学外の研究者による領域研究会を開催し、関連研究者の研究推進を図ると同時に、その成果を出版し、本学の学際的研究成果の社会的還元を行うと同時に、研究所として更に高度な研究の推進を得る。

進捗状況：①なし(達成度:C)

②弁理士科研究室生に対し、本試験科目の講座を素養レベルに応じて実施し、継続的に合格者を輩出しており、更なる充実を図っている。(達成度:A)

③研究会7回、紀要『日本大学知財ジャーナル Vol.9』の発刊(達成度:A)

○事業計画：①奨学金制度の更なる充実

②継続教育の実施

③昼夜開講・長期履修制度の実施

事業概要：①平成25年度から拡充した法務研究科奨学金について、給付規程を改正し、学費(入学手続時納入金を含む)に充当できるようにした。これにより、入学試験志願者数の増加と優秀な学生の確保、司法試験合格者数の増加を図る。

②実務に携わる法曹関係者に対して、法科大学院の開講科目の履修できる制度(科目等履修生制度)を設置し、社会への要請に応じる。

③社会人等の多様な人材の法科大学院での学修を支援するため、昼夜開講や3年を超える教育課程を設定する

ことができる長期履修制度を設置し、入学試験志願者数と優秀な学生の確保を図る。

進捗状況：①平成27年度採用人数は、日本大学大学院法務研究科奨学金第1種(年額98万円)19名、第2種(第3種金額適用年額98万円)1名、第2種(年額50万円)15名、第3種(年額98万円)3名、第4種(年額50万円)2名、第5種(年額50万円)5名とした。(達成度:A)

②法曹有資格者ではないが、社会人1名(2科目)の応募があり、選考試験を経て当該者を科目等履修生として受け入れた。(達成度:A)

③平成27年度入学者は30名であり、うち夜間主学生は12名、長期履修学生は5名であった。(達成度:A)

○事業計画：法曹資格取得希望学生への対応

事業概要：法曹資格取得希望学生に対し、法科大学院進学や司法試験予備試験合格、及び司法試験合格を目的とし、個々の技能の向上を図る。

司法試験の受験資格を得るための法科大学院への進学又は司法試験予備試験の合格を目的とした講座を充実させることで、法曹育成の過程の中で学部からの予備試験・司法試験合格者を輩出すると同時に、法科大学院に進学する学生の基本的能力の底上げを行い、法科大学院終了後の司法試験合格に十分な実力を学部在籍期間中に養成する。

進捗状況：法曹資格取得希望学生に対し、法科大学院進学や司法試験予備試験合格、司法試験合格のための各種講座を実施している。本学の法科大学院志願者は大幅に増加しており、司法試験予備試験及び司法試験合格者増加へ向けて更なる講座の充実を図っている。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画：法律相談会・行政相談会の開催

事業概要：無料法律相談会(定期・巡回)、行政相談会を行うことで、本学の研究成果の社会的還元を具現化した形です。なお、日頃の本学部における研究成果を社会に還元することにより、現代社会における本学部の社会的貢献を具現化すると同時に、学生に対する実践的かつ教育的機会を設け、よりよい法曹の育成に資する。

進捗状況：法律相談会は、特別巡回無料法律相談会を平成27年7月5日(日)新潟県上越市にて実施、巡回無料法律相談会を平成27年11月29日(日)静岡県三島市にて実施した。また、定期無料法律相談会を法学部3号館にて年間6回開催した。

行政相談会は、学部祭期間中に「行政なんでも相談」として2日間、相談窓口を開設した。

いずれも一般社会への貢献と住民との交流活動として大きな成果を挙げた。(達成度:A)

○事業計画：千代田区立図書館との相互協力

事業概要：利用条件を満たす千代田区民に図書館利用サービスを提供し、地域社会に貢献することができる。

進捗状況：平成27年度の千代田区民の利用登録者は20人、延べ入館者数は580人であり、大学図書館として地域社会に貢献している。(達成度:A)

○事業計画：授業(クリック・ローリング)の一環として無料法律相談の実施

事業概要：学生参加型の無料法律相談を通じて地域・社会に貢献する。従来の新聞折り込みに加えて、千代田区役所及び神保町出張所を通じて相談者を募り、広く地域社会に貢献する。

進捗状況：5月28日から7月2日の毎週火曜日各1時間、授業の一環として無料法律相談を実施し、6名の相談を受けた。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画：受験生向け HP・モバイルサイトの充実化
事業概要：年々、HP・モバイルサイトともにアクセス数が増加しており、引き続き受験生にとって有益な情報を提供するためにコンテンツの充実を図り、志願者の増加につなげる。
進捗状況：HP とモバイルサイトの掲載内容に差異があるためページ数等の見直しを行うとともに、内容の統一化を図った。(達成度:A)
- 事業計画：高等学校への訪問
事業概要：一般入学試験実績校や付属高校を中心に、定期的に訪問し有益な情報を提供することでパイプ作りを行い志願者の増加につなげる。
進捗状況：付属高校については定期的に訪問したが、実績校への訪問は十分に実施できなかった。(達成度:B)
- 事業計画：WEEKDAY CAMPUS VISIT の実施
事業概要：受験生が通常の授業に参加できる本企画を実施することにより入学後の具体的なイメージを把握してもらうことが可能となる。また、本企画を周知し多くの受験生に参加してもらうことで志願者の増加につなげる。
進捗状況：在学生が受けている授業を受講さらにはキャンパス内の様子を見てもらうことで、入学後のギャップを少しでも減らせるように8回実施した。(達成度:A)
- 事業計画：専任教員組織の充実
事業概要：中期的な人事計画を策定し、助教の昇格の検討及び若手研究者等の採用により、長期・継続的に教員組織の充実、年齢構成の適正化を図る。
進捗状況：平成27年4月1日付け、助教から准教授に1名昇格した。また、平成27年4月1日付けで刑事系教授を2名、平成27年9月1日付けで民事系教授を1名採用した。今後も、定年を迎える教員の充足を行うため、若手研究者教員を採用し、教員組織の充実、教育研究の向上を図るための採用計画を継続して実施する。(達成度:A)
- 事業計画：法務研究科の移管
事業概要：法務研究科は本部所管であったが、法学部と教育連携の強化及び施設の共用を行うことにより、より

効果の高い教育環境を学生に提供できるため、本部から法学部へ法務研究科を移管する。
進捗状況：過年度から移管の検討を重ねてきたが、準備が整ったため、平成27年4月から法学部に移管を行う。なお、校舎についても、法学部の近接地にある通信教育部校舎に移転を行い、教育連携しやすい環境を整える。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画：本館6階～7階研究室空調機更新工事
事業概要：教員の研究環境の向上を意識した空調機更新工事。
進捗状況：平成27年4月～5月にかけて空調更新工事を実施。完了した。(達成度:A)
- 事業計画：箱根仙石原寮浴室改修工事
事業概要：学生・教職員の課外活動環境の向上を見据えた浴室改修工事。
進捗状況：平成27年4月～7月にかけて防水改修工事を実施。完了した。(達成度:A)
- 事業計画：本館6階～9階研究室内の既存空調機撤去工事
事業概要：研究室内の有効活用による教育研究環境の向上を図るための既存空調機撤去工事。
進捗状況：平成27年8月～9月にかけて改修工事を実施。完了した。(達成度:A)
- 事業計画：5号館新築工事
事業概要：学生の就学環境の充実・教員の研究環境の向上を意識した新築工事
進捗状況：平成26年4月より着工し、平成28年2月竣工した。(達成度:A)
- 事業計画：三崎町キャンパス施設設備の更なる充実
事業概要：三崎町キャンパス移転に伴い、第1期改修工事において未実施であった施設設備につき、第2期改修工事を実施する。
進捗状況：平成27年2～3月にかけて法科大学院1・2号館防火・防煙シャッター(8条区画)改修工事を実施。完了した。(達成度:A)

文理学部・文学研究科・総合基礎科学研究科

○文理学部

【教育研究】

- 事業計画：教職志望者への支援
事業概要：教職ボランティア、教員採用試験、教員免許取得等について、「教職支援センター」が一元的に支援を行う。さらに各種教職関係行事の改善を行い、より効果的な支援体制を目指して検討する。
進捗状況：同センターによる教職志望者への一元的な支援を行うことで、学生の利便性を図ることができた。行事についても改善を行い、次年度に新しい講座(教師力養成講座(仮称))の実施を計画している。(達成度:A)
- 事業計画：外国語教育センターにおける外国語能力の向上
事業概要：専任教員、学生アドバイザーによる個別相談対応、英会話サロンや課外講座の運営、語学検定・留学説明会開催、団体テストを実施し、語学力向上の支援を行う。
進捗状況：ネイティブ教員の配置により、学生の外国語能力が向上した。教職支援センター共催で、教員採用試験を見据えた英語面接対策講座を開催することで、学生のニーズに合わせた企画を実施している。(達成度:A)
- 事業計画：教育の質の向上への取り組み
事業概要：文理学部FD委員会に設置した専門委員会が、「学生FDワーキンググループ」による本学部学生FD活動の環境整備を行い、FD活動を支援する。
進捗状況：本学部で3月に開催した「学生FDサミット」及び「日本大学学生FD CHAmmit」に学生FDワーキンググループの学生を派遣した。また、学生提案によるプロジェクト教育科目において、同グループが発案した2科目を開講した。(達成度:A)
- 事業計画：キャリア教育に関する講座の開講
事業概要：プロジェクト教育科目「総合研究9」及び「総合研究10」において、社会人講師による、職業や生き方を考える講義や、自己表現や職業選択に係るワーク形式の講義を実施する。
進捗状況：ゲストティーチャーとして様々な業界の方を招聘した。ムニハ形式による講座を実施し、23名の社会人講師が講座を担当した。(達成度:A)
- 事業計画：GPAの実質化による教育の質保証
事業概要：学生の学修成果がGPAに正しく反映されるよう成績評価がトラインの策定を検討する。
進捗状況：検討中である。(達成度:C)
- 事業計画：学生による授業評価アンケート結果の公表

- 事業概要:教員・科目を特定しない形式でアンケート結果をホームページに公開する。
- 進捗状況:本アンケートを年2回実施し、教員・科目を特定しない形式でホームページに公開したが、形式を含め、活用方法を継続的に検討する。(達成度:B)
- 事業計画:教育課程全体についての卒業時・修了時における学生による評価
- 事業概要:卒業・修了時の学生・大学院生による教育課程全体の評価について、その利用方法及び必要性の有無を含め検討する。
- 進捗状況:検討中である。(達成度:C)
- 事業計画:経済的困窮者に対する奨学金制度の充実
- 事業概要:各種奨学金を創設・運用し、経済的困窮者を救済する。
- 進捗状況:①文理学部後援会奨学金については、父母(父母不在の場合は、代わって家計を支える者)の合計収入が600万円以下(ただし、給与所得者以外の場合は合計収入が355万円以下であること)の条件を備えた経済的困窮学生50名に対して、計12,000,000円を給付した。
- ②日本大学事業部奨学金については、本学が、株式会社日本大学事業部から毎年度受け入れる収益を原資とする奨学金制度に本学部も参画し、上述の文理学部後援会奨学金と同条件の経済困窮学生10名に対して、計2,400,000円を給付した。
- ③文理学部校友会奨学金制度については、文理学部校友会からの寄付金を原資とする文理学部校友会奨学金制度を創設し、文理学部後援会奨学金と同条件の経済困窮学生10名に対し計2,400,000円を給付した。(達成度:A)
- 事業計画:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う特別措置
- 事業概要:授業料等の減免措置を講じる。
- 進捗状況:東日本大震災被災学生及び生徒に対する特別措置に関する規程に基づき、同規程の条件を備えた学生44名に対して、授業料等の減免措置を講じた。(達成度:A)
- 事業計画:文理学部学術出版助成制度
- 事業概要:専任教員の研究成果を公開するため、出版が困難と認められる学術論文等の出版に対して助成を行う。
- 進捗状況:申請者には科学研究費補助金「研究成果公開促進費」に応募することを申請条件とし、当年度は申請3件の内1件が採択されたが、結果的に辞退された。今後も本学部の研究成果を広く社会に還元し、さらに外部研究費を獲得することを目指す。(達成度:A)
- 事業計画:科学技術振興機構・戦略的創造研究推進事業
- 事業概要:地圏熱環境の変化が、地下物質循環や微生物生態系に及ぼす影響を考慮した地下水・地圏熱利用のための環境影響評価ツールの開発を行う。
- 進捗状況:当年度は、物質・力学・熱連成解析モデルに組み込める形式のフォーマットへの変換を継続して行い、物性値の割当によりグリッドモデルを作成した。(達成度:A)
- 事業計画:文理学部科学研究費再申請支援研究費
- 事業概要:科学研究費の申請で当該年度に不採択となった研究課題に対して、研究者が継続的な取組みを行うことで、研究力を強化・充実させるために必要な経費を支給する。
- 進捗状況:平成25年度に新設し、平成26・27年度と3年間の検証を行った結果、制度内容の見直しが必要であるとの結論に至ったことから、本制度を一旦中止することとした。(達成度:B)
- 事業計画:科学研究費への申請及び機関管理の拡大
- 事業概要:専任教員が、任期満了後も継続して計画する科学研究費の申請及び機関管理を行う。さらに、研究員にも拡大していく。
- 進捗状況:若手の研究所研究員に対して科学研究費等への申請の門戸を開き、平成28年度申請分より科学研究費の機関管理を実施し、研究資金獲得をはじめとして若手研究者が自立して研究できる環境を整えた。平成28年度の科学研究費に5名の研究員が応募した。(達成度:A)
- 事業計画:選書ツアー
- 事業概要:学生に選書させることで、図書館への関心を喚起し、利用促進や学生ニーズに応える。
- 進捗状況:年2回の実施で計24名が参加し、333冊の図書を購入した。(達成度:A)
- 事業計画:大学院生への研究支援(大学院/文学研究科、理工学研究科(地理学専攻)、総合基礎科学研究科)
- 事業概要:従前の奨学金制度を見直し、特に博士後期課程の大学院生の研究活動に対する支援を充実させる。
- 進捗状況:博士後期課程の大学院生には、大学院博士後期課程奨励研究費を給付した。また、博士前期課程を含めた大学院生には、学会参加補助金及び学術論文奨励助成金を給付した。(達成度:A)
- 事業計画:学内における競争的研究費の獲得推進(研究所/人文科学研究所・自然科学研究所・情報科学研究所)
- 事業概要:応募採択制による同一学科内の複数の専任教員による共同研究と複数学科の専任教員による総合研究を設け、研究費の効率的助成を行う。
- 進捗状況:本制度は、学科内及び複数学科にわたる研究の活性化に貢献している。今後も学外への大型研究資金獲得へと発展できるよう、更なる体制づくりを目指していく。(達成度:A)
- 事業計画:研究成果の公表(研究所/人文科学研究所・自然科学研究所・情報科学研究所)
- 事業概要:講演会・シンポジウムの開催及び研究紀要等を発行する。
- 進捗状況:人文科学研究所において公開講演会を実施し、各研究所において研究紀要等を発行したが、シンポジウムの開催には至らなかった。(達成度:B)
- 事業計画:学修環境の向上への取組み
- 事業概要:単位の実質化等に鑑み、学生の授業時間外における自主的な学修を促進するため、キャンパス内で学生が自由に学修できる環境を整備する。
- 進捗状況:学生の学修スペースとして、3号館1階に「ラニングモンス」を設置し、学生の意見を随時取り入れ一層の充実を図っている。さらに、図書館及び7号館エントランスホールの照明を入れ替え、自由な学修空間としての利便性を高めた。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:公開講座の実施
- 事業概要:受講生が興味を持ち、且つ多方面の知識が得られるテーマを選び実施する。講座を通じて、本学部における教員の研究を紹介することも、本学への理解に繋がると考えている。
- 進捗状況:前期は「省エネルギー・防災・安全キャンパス作り」をテーマに、後期は「古都鎌倉にみる時代と場所の検証」をテーマに、各8回の講座を実施した。なお次年度は、後期に定員の余裕があれば追加募集を行い、より多くの地域住民の参加を募る予定である。(達成度:A)
- 事業計画:地域貢献事業の実施

事業概要:地域住民の子育て支援を目的とした「桜つ子カフェ」を開催し、保護者が子供に対する理解や関わり方を学ぶ機会と、保護者同士の交流を図る機会を提供する。
進捗状況:地域密着の活動として地域住民の理解を得るとともに、本活動を通じて、大学院生が臨床心理士の指導下で、子供との関わり方を学ぶ機会が提供されている。当年度は、前期10回と後期10回の計20回開催した。(達成度:A)

○事業計画:地域住民等への図書館開放

事業概要:地域住民等の生涯学習への取組みを支援する。

進捗状況:地域住民等への図書館利用及び館外貸出を行った。(達成度:A)

○事業計画:資料館企画展の実施

事業概要:人文科学・社会科学・自然科学といった本学部の教育研究分野に関する資料の収集、保管、調査研究並びに展示を行い、教職員、学生及び地域住民をはじめ一般の利用に供することで、教育・研究成果を社会に還元する。

進捗状況:当年度における企画展の開催実績は、計4回、111日間、入場者数は延べ5,598名であった。(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画:ホームシングデーの開催

事業概要:学部祭期間中に校友を招き、校友の愛校心向上及び校友会への入会増加に繋げるべく、各種イベントを交えながら、文理学部校友会とのタイアップで年1回実施する。

進捗状況:10月31日(土)に落語会・抽選会を交えた内容で実施し607名が参加した。(達成度:A)

○事業計画:就職意識の高い学生への選抜就職支援

事業概要:就職意識の高い3年生を選抜し「本気就職塾」を実施した。

進捗状況:25名の学生に早期に就職活動のノウハウを提供したことにより、当該学年をリードする核となる学生を育成することができた。参加した学生は主体的、積極的に就職活動を行っている。(達成度:A)

○事業計画:OB・OG懇談会の実施

事業概要:民間企業や公務員として働くOB・OGを招聘し、仕事内容や就職活動体験談を聞く懇談会を実施した。

進捗状況:OB・OGの仕事や就職活動体験を聞いたことにより、先輩の職業意識に触れ、就職活動を本格的に開始する前に、どのように準備しなければならないかを明確にすることができた。(達成度:A)

○事業計画:優良企業研究会の実施

事業概要:OB・OGが在籍し、業界シェアを有する優良企業に特化した合同説明会を実施した。

進捗状況:参加企業のほぼ全てから毎年内定者が出ており、学生は知名度が低くても優良な企業の探し方が理解でき、また、より深い企業研究の手法を習得することができた。(達成度:A)

○事業計画:就職が「ト」ブックの作成

事業概要:3年生に向けた就職が「ト」ブック「ジョブが「ト」」を作成した。

事業状況:例年6月に、4年生の内定情報を収集し、OB・OG、企業人事担当者など約150人を取材して、同「ト」ブックを作製し、10月に3年生に対して配布していたが、当該年度は就職活動時期の変更によって、4年生の内定獲得前に配布が必要となり、前年度版を重版することとなり、最新情報を伝達することができなかった。(達成度:B)

○事業計画:インターシップの実施

事業概要:教職及び公務員関係のインターシップを実施した。
事業状況:提携を結んだ公立・私立学校及び地方自治体等で就業体験を行い、それぞれの仕事への理解と就業意欲を醸成することができた。(達成度:A)

○事業計画:4年生未内定者への就職支援

事業概要:求人情報配信及び面接会等の事前研修会を実施した。

事業状況:求人情報を多数配信したほか、積極採用企業学内説明会の実施、公的機関による就職支援事業、民間企業の優良新卒紹介事業の情報を提供し、多数学生の内定獲得に至った。(達成度:A)

○事業計画:保護者向け就職活動説明会

事業概要:就職活動期を迎えた3年生の保護者に向けて、就職活動における保護者の役割を説明するとともに、就職指導課の取組み等を紹介した。

事業状況:学部3年生及び大学院1年生の保護者を対象として6月に説明会を開催し、364名が参加した。なお、就職活動時期の変更に対する不安感を払拭できるよう留意し、当該学年の就職活動の特徴を解説し、就職指導課の支援事業を説明し、また保護者の役割について情報提供を行うことができた。(達成度:A)

○事業計画:防災備蓄

事業概要:災害対策用の物資を備蓄する。

進捗状況:東京都帰宅困難者対策条例(従業員が施設内に留まれるように、3日分の水・食料・その他必要物資の備蓄が努力義務となっている)にできるだけ沿えるように、飲料水・乾パンを9,000名分確保するべく購入したのに加えて、マンホールトイレ・毛布・災害用ウェットタオル等を別途購入した。(達成度:A)

【施設設備】

○事業計画:1号館耐震補強工事

事業概要:平成26・27年度にかけて、1号館の耐震補強を実施する。

進捗状況:当該工事は完了した。(達成度:A)

○事業計画:新本館(仮称)新築工事

事業概要:5号館(昭和38年竣工)、6号館(昭和39年竣工)及び本館(昭和42年竣工)等の老朽化に伴い、代替施設として新本館(仮称)の新築工事を実施する。

進捗状況:地下1階立ち上がり工事中である。(達成度:B)

○事業計画:キャンパスマスタープランの構築

事業概要:将来に向けて、限られたキャンパスを有効活用するための基本構想を構築する。

進捗状況:総合体育館、第二体育館及び2号館建替えまでの基本構想を構築した。(達成度:B)

○事業計画:図書館利用者用検索機器の更新

事業概要:全学共通図書館システムの基盤再構築の完了をうけて、利用者へのサービス充実と質の向上を図るため、検索機器を更新する。

進捗状況:図書館内に設置している図書館利用者用検索機器を更新した。(達成度:A)

○事業計画:図書館マスタープランの再構築

事業概要:資料の収容数が限界に近づいているため、書架の増設等を検討する。

進捗状況:平成28年度に図書館地下2階書庫Aの改修工事を行い、資料収容数の増加を図り、新本館(仮称)に移る学科の図書館への移設希望図書を受入れる。(達成度:B)

○事業計画:マルチメディアスペースPCの更新

事業概要:利用者へのサービス向上を目指すため、老朽化したPCを更新する。

進捗状況:図書館内のマルチメディアスペースに設置されているPCについて、半数の機器を最新機種に更新した。(達成度:B)

【財政・各種基金】

- 事業計画:文理学部後援会奨学基金への組入れ
事業概要:経済的理由により学費等の支弁が困難な学生に奨学金を給付するため、毎年度1,000万円を文理学部後援会奨学基金(第3号基本金)に組み入れる。
進捗状況:組入計画に基づき1,000万円を基金に組み入れた。(達成度:A)
- 事業計画:文理学部校友会奨学基金の新設及び組入れ
事業概要:経済的理由により学費等の支弁が困難な学生に奨学金を給付するため、毎年度1,000万円を文理学部校友会奨学基金(第3号基本金)に組み入れる。
進捗状況:組入計画に基づき基金を設定し、1,000万円を基金に組み入れた。(達成度:A)

○人文科学研究所,自然科学研究所,情報科学研究所共通

【教育研究】

- 事業計画:学内における競争的研究費(人文科学・自然科学・情報科学 各研究所)の整備
事業概要:応募採択制による同一学科内の複数の専任教員による共同研究と複数学科の専任教員による総合研究を設け、研究費の効率的助成を行う。
進捗状況:平成23年度から3研究所で実施したこの助成制度は研究の活性化に貢献している。今後は学外への大型研究資金獲得へと発展できるような体制づくりを目指していく。(達成度:A)
- 事業計画:研究成果の公開(人文科学・自然科学・情報科学 各研究所)
事業概要:講演会・シンポジウムの開催及び研究紀要等の発行
進捗状況:人文科学研究所では講演会を実施し、各研究所において研究紀要等の発行を予定通りに行なったが、シンポジウムの開催には至らなかった。(達成度:B)

経済学部・経済学研究科

○経済学部

【教育研究】

- 事業計画:学習環境の改善における学習支援システムの導入(E-Learning含む)
事業概要:学習支援システムとして、新たなシステム(Web Class)を導入することにより、学習環境の改善を図る。
進捗状況:平成28年度在学生在が使用できるように、新たなシステム(Web Class)への移行を完了した。(達成度:A)
- 事業計画:中国・アジア研究プロジェクト外のシンポジウム開催
事業概要:研究成果の一環としてアジア諸国や日本のインフラ運営に反映しうる政策提言をテーマにシンポジウムを開催する。
進捗状況:11月に国際シンポジウムを開催し、その他各プロジェクト研究のテーマを基に多面的な考察による研究会を開催した。(達成度:A)
- 事業計画:中国・アジア研究プロジェクト外の研究成果本の出版補助
事業概要:中国・アジア諸国の実証分析及び研究データを集約し、出版を行う。
進捗状況:各プロジェクトから研究成果として、著書の出版及びワーキングペーパーが提出され、予定していた研究成果本の出版補助を行った。(達成度:A)
- 事業計画:年間留学プログラムの拡大
事業概要:年間留学プログラムを4大学へ拡充し、派遣交換留学を推進する。
進捗状況:本プログラムにて、3ヶ国4大学に71名の学生が留学(9~10ヶ月間)しており、留学生に対しては、派遣先校での修得科目を本学部の科目に置き換え、単位認定を行う。(達成度:A)
- 事業計画:海外提携校の拡大
事業概要:海外提携校の拡大に向けて大学を視察し、また、すでに覚書を提携している提携校では長期プログラム実施に向けての調査を行う。
進捗状況:オーストラリア(ブリスベン)及び台湾(台北)への留学制度について検討を始めている。また、一部提携校との再調整等を進めており、ニーズに合致した大学との連携強化を図っている。(達成度:B)
- 事業計画:入学前教育の充実

事業概要:早期入学手続者を対象に、入学までの間に社会科学系の学問概要を紹介するテキストを使った入学前教育プログラムを導入する。

進捗状況:課題の提出率は100%となり、高校で様々な科目選択をしていた入学予定者に経済学に関する学問分野の理解を図ることができた。(達成度:A)

- 事業計画:付属校との連携強化

事業概要:付属高校等を訪問し情報の収集・発信を強化する。模擬授業及び学部説明会等を実施する。

進捗状況:戦略室メンバーによる新付属推薦入試の実施後の情報収集を全付属校に対して行ったほか模擬授業・学部説明会等に延べ32回出席した。多人数による学部見学も8回を教えた。(達成度:A)

- 事業計画:就職指導支援事業

事業概要:①学部3年生を主対象に就職支援セミナーを開講する。就職活動開始時期が変更になることを踏まえ、イベントは実施時期を見直すとともに就職ガイダンスは内容を見直し約30種90回開講する。

②国家公務員・公認会計士・税理士等の受験を志す学生のために国家試験受験準備室を設け、受験勉強の支援を行う。

③資格取得支援講座では、9講座(学内講座4種・学外講座5種)を開講する。開講講座は簿記講座、公認会計士・税理士試験対策の講座等で資格取得のための体制を整える。

進捗状況:①3年生を対象とした就職活動支援講座は、32種93回実施し、さらに3月には2種の企業研究会を開催した。(達成度:A)

②国家試験受験準備室には19名の入室者を受け入れ、公認会計士・公務員として活躍している卒業生による学習相談会を実施した。(達成度:A)

③資格取得支援講座9種を開講。述べ252名が受講し、検定試験の合格者数は、日商簿記検定2級15名、証券外務員(二種)4名、リテールマーケティング(販売士)2級23名である。(達成度:A)

- 事業計画:キャリア形成支援事業

事業概要: (1) 学部 2・3 年生を対象にインターシップを正規授業「キャリア形成論」として実施する。

(2) 学部 1 年生全員の履修科目「基礎研究」において「キャリア教育」を 2 コマ実施し、さらに、学部 1 年生から参加できる講座を約 40 回開講する。

進捗状況: (1) 「キャリア形成論」でのインターシップは、ビジネスクラス 53 名、行政コース 22 名が実施、それを通して社会人基礎力等が養われ、大学での学修意欲の向上等が図られた。(達成度:A)

(2) 「基礎研究」でのキャリア教育は、2 週間で合計 8 回実施、高評価が得られた。1 年生から参加できる講座は、33 回開講した。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画: 図書閲覧サービス

事業概要: 千代田区民で経済・経営分野を研究テーマとする方への開架資料の図書閲覧サービスを提供する。

進捗状況: 千代田区立図書館のホームページで広報したが、平成 28 年 3 月 26 日現在の利用者及び登録者数は皆無である。(達成度:B)

【経営・人事】

○事業計画: 新聞広告の掲載

事業概要: 本学部の教育・研究に関する取り組みを幅広く情報発信する。

進捗状況: 読売新聞朝刊(750 万部)に本学部教員による社会問題への経済学的な説明広告を 4 回掲載した他、学部説明を 1 回、オープンキャンパス・入試日程告知を各 2 回行い、情報発信に努めた。(達成度:A)

○事業計画: 保護者向けパンフレット(仮)作成

事業概要: 受験生が大学を選ぶ際、影響力が大である保護者を対象に本学部の情報発信を目的としたパンフレットを作成する。

進捗状況: 保護者向けに在学生のライフスタイルや就活体験を紹介すると共に入試制度の違い等を紹介したパンフレットを 5,000 部作成し、オープンキャンパス等で配布し、好印象を得た。(達成度:A)

○事業計画: 広報活動の強化

事業概要: JR 山手線に窓上連合広告を掲出する。

進捗状況: 平成 27 年 4 月 1 日から 1 年間、JR 山手線に窓上連合広告の掲出を行い、認知度を高めた。(達成度:A)

【施設設備】

○事業計画: ネットワーク環境の整備充実

事業概要: CAL(パソコン)教室のネットワーク機器を更新する。

進捗状況: 老朽化により安定運用に懸念があったネットワーク機器の更新が完了した。(達成度:A)

○事業計画: 三崎町キャンパス整備事業

事業概要: 経済学部校舎をシンボリックな学びの舎とし、更には三崎町地区のランドマーク的存在の確立を目指す。

進捗状況: 平成 27 年度中に基礎工事、地階工事及び鉄骨組立が完了し、工事行程どおり進捗している。

(達成度:B)

【財政・各種基金】

○事業計画: 経済的困窮者への奨学金給付

事業概要: 経済的困窮者に対して、学部又は学部後援会奨学金の給付を行う。

進捗状況: 経済的困窮者に対して、学部第 3 種奨学金(1 名採用)、学部後援会第 1 種奨学金(37 名採用)を給付し、経済的支援を行った。(達成度:A)

○事業計画: 学業成績優秀者への奨学金給付

事業概要: 学業成績優秀で人物が優れている者に対して、学部校友会奨学金の給付を行う。

進捗状況: 特待生に準じた成績を修めた学部 2 年生以上の学生に対して、学部校友会奨学生として 7 名を採用し、給付を行った。(達成度:A)

商学部・商学研究科

○商学部

【教育研究】

○事業計画: 海外大学等との交流事業拡大等

事業概要: 海外で異文化に触れ、国際社会への適応力向上を目指す。

進捗状況: フランス・オーストラリア及びオーストラリア・モナッシュ大学短期語学研修を実施している。(達成度:A)

○事業計画: 学修支援センターの機能充実

事業概要: 学生への効果的な学修支援を行う。

進捗状況: 平成 29 年度実施予定のカリキュラム改正と連動させるため、センター機能の再構築を検討中である。(達成度:C)

○事業計画: 横断的プロジェクト共同研究実施

事業概要: 既存の研究所等の枠を超えた学際的な共同研究を実施することにより、学内の研究活動を活性化させ、将来的には大型外部資金獲得が可能なプロジェクトへの発展を目指す。

進捗状況: 前年度に引き続き、「IEO 市場の変貌とグローバル展開」(研究代表者: 相原 修 教授)を実施し、精力的に活動した。(達成度:A)

○事業計画: キャリア教育支援

事業概要: 1 年次からの大学生活に対する意識付けを行い、職業選択に至るまで段階的かつ体系的に構築し、就職意識の向上を図る。

進捗状況: 2 年次は、コンピテンシー診断テストを実施し、個人の行動特性を理解する。また、3 年次は、社会との接合を考慮しながら、幅広く就職プログラムを実施した。(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画: 広報活動の強化

事業概要: 中期広報戦略により情報を体系的・統合的に発信し(学部紹介映像の配信等)、本学部及び本大学全体の社会的価値を高める。

進捗状況: 受験生等に教育・研究活動情報を積極的に発信し、本学部及び本大学の社会的評価を高め、就職支援及び受験生獲得等に繋げた。(達成度:B)

【施設設備】

○事業計画: ネットワークシステムの導入

事業概要: 教育系パソコンを当システムで一元管理し、アプリケーションの変更等を短時間で反映、かつセキュリティ強化において大きな効果を見込み、円滑な利用を目的とする。

進捗状況: 平成 27 年 4 月本稼働後、ネットワークシステム環境及び学内ネットワークの両面から最適化のチューニングを図り、現在は円滑に運用している。(達成度:A)

○事業計画: 図書館 2 階グループ学習室等改修工事

事業概要: ラーニングコモンズ整備として、ガラス張りの明るく開放的な透過空間に改修し、学生同士諸活動の「見える化」により知的好奇心を刺激し、能動的な学びの相乗効果狙う。

進捗状況:平成27年9月改修完了,利用手続きもWeb予約システムを導入した。3室から5室への増室効果もあり,より多くの,そして効率的な利用に繋がっている。(達成度:A)

- 事業計画:オートコン自動貸出ロッカーの設置
事業概要:オートコン貸出業務を,スタッフの手を介さずに自動化することにより,サービスの向上と効率的な対応を図る。
進捗状況:1階と2階に計76台分の貸出ロッカーを設置した。利用者は対面による手続きなくして借り出すことができ,利用し易くなった。(達成度:A)
- 事業計画:砧キャンパス新本館(管理・研究棟)(仮称)建設工事
事業概要:既存本館及び4号館を解体し,新たに管理及び研究機能を有する新本館を建設する。
進捗状況:平成26年7月に新本館が竣工した。平成27年4月には外構工事が完成し,全ての工事が終了する。(達成度:A)

- 事業計画:大蔵校地管理棟(仮称)及びグラウンド改修工事
事業概要:大蔵校地に管理棟を新築し,グラウンドを人工芝に改修する。
進捗状況:平成27年度に設計,平成28年度に工事施工を計画している。(達成度:C)
- 事業計画:キャンパス内コンビニエンスストアの出店
事業概要:キャンパス内にコンビニエンスストアを誘致・出店する。
進捗状況:2号館食堂の一面を改修し,平成26年4月から営業を開始した。(達成度:A)
- 事業計画:カフェハウスの新築
事業概要:キャンパス内にカフェハウスを建設する。
進捗状況:平成27年度に設計,平成28年度に工事施工を計画している。(達成度:C)
- 事業計画:創設90周年記念館改修工事
事業概要:創設90周年記念館を女子学生対象の学生寮に一部変更し,改修工事を行う。
進捗状況:平成27年度及び28年度に設計,平成29年度に工事施工を計画している。(達成度:C)

芸術学部・芸術学研究科

○芸術学部

【教育研究】

- 事業計画:芸術教養課程を含む新カリキュラムの実施推進
事業概要:江古田校舎通年化に向けカリキュラムを見直し,自校教育の内容を包括しながら,学部の特徴である芸術総合教育を推進し,その成果を高める。
進捗状況:平成24年度の学則変更は平成27年度に完成年度を迎え,芸術教養課程も真の芸術総合教育として促進・完成に至った。(達成度:A)
- 事業計画:芸術総合講座の実施
事業概要:芸術総合学部としての特色を教育・研究両面において反映でき,かつキャリア・スタディとしての効果も高める効果が生み出せる。
進捗状況:6講座を実施し,いずれも芸術総合学部としての学生への教育効果が高まった。(達成度:A)
- 事業計画:募集定員のバランスを考えた調整
事業概要:多様化した入試方式では,それぞれの入試のバランスを考えて入学者の調整を行ない,今後の効果に繋がっていく。
進捗状況:一部学科の入試区分ごとの募集人員の見直しを行い,またN方式入試の詳細が決定された。(達成度:A)
- 事業計画:教員の教育力の向上を目指すためのFD
事業概要:授業評価の実施と活用方法を情報として公表することで,教育方法の改善・カリキュラムの見直し・多面的で質の高い成績評価の厳格化を推進させ,学びの質の転換に繋がる効果が得られる。
進捗状況:学生からの授業評価アンケートを実施し,結果を公開し教育力向上に活用した。(達成度:B)
- 事業計画:地震等に対する特別措置に係る授業料等免除
事業概要:東日本大震災による被災者への継続的支援が可能となる。
進捗状況:21名(全額免除7名,半額免除14名)の被災学生に対し授業料等を免除し,経済的援助を行った。(達成度:A)
- 事業計画:米国ワシントン州立大学サマースクールの実施
事業概要:英会話への恐怖心を取り除きコミュニケーション力を強化する目的と,心身のバランスを整えるためのフィットネスプログラムを応用した2週間の単位認定研修プログラムを実施する。
進捗状況:参加者11名,引率者2名で実施。次年度の継続の準備を進行中。(達成度:A)
- 事業計画:中国伝媒大学並びに韓国龍仁大学との交流推進
事業概要:中国伝媒大学,韓国龍仁大学とは提携校として教員の交換,研究・作品の交換を主に推進することを目的としている。
進捗状況:中国伝媒大学との交流では,教員2名の交換を行なった。また,韓国・釜山で行なわれた第2回アジア大学生映画祭の共同主催校として正式に参加した。この結果から次年度は,第3回映画祭を芸術学部で開催することに決定した。韓国龍仁大学との交流は日韓関係の現状から全く動いていない状況が続いている。(達成度:A)
- 事業計画:米国カリフォルニア州立大学ハースツェ校訪問及びハリウッドスタジオ研修ツアーの実施
事業概要:相手校との覚書から,大学訪問による学生交流とハリウッドスタジオ研修ツアーによって見聞を広めることを目的とし,グローバルな視野を持った人材の創出に貢献する。
進捗状況:アメリカ西海岸での相次ぐ銃乱射事件によって,応募が最少催行人数に至らずに中止とした。(達成度:B)
- 事業計画:英国ボーツマス大学との交流推進
事業概要:本部国際室との連携から,教員と学生のサマースクールを推進するための覚書を交わしている。
進捗状況:具体的な交流内容を検討する段階で進んでない状況が続いている。(達成度:C)
- 事業計画:JICEによるJENESYS2.0等の国際交流プログラムへの積極的推進活動
事業概要:アジアの若き学生たちに日本の文化・芸術を体験してもらうための独自のプログラムをその都度開拓し,提供する。
進捗状況:全ての国際交流プログラム実施の要請に応じており,JICEからの評価も高い。(達成度:A)
- 事業計画:グローバル意識改革推進のための国際交流方針の明確化

事業概要:短期海外研修や本部の交換留学制度、留学後の単位認定などの制度とカリキュラム(学生の育成目標)の整合性を明確にすることを目標にする。

進捗状況:短期海外研修はリントン州立大学マースカールのみ実施(単位認定)したが、他のプログラムは募集段階で海外事情を鑑み中止。交換留学制度においては、本部の交換留学制度を希望する学生に勧めており、今年度はドイツ語圏に1名合格した。また、本部国際室の協力を得てオランダ、イギリス、フランス、アメリカの交換留学制度を希望する芸術系大学の訪問者を積極的に受け、可能性を模索中である。単位認定とカリキュラムの整合性の明確化については、通年化のためのカリキュラム改革のなかで検討中である。(達成度:B)

- 事業計画:海外留学のための学生支援(定期的留学相談窓口等)

事業概要:留学相談や認定留学を希望する学生のための定期的留学相談窓口を開設することを目的に検討する。

進捗状況:固定的な定期的留学相談窓口を開設することは、職員・教員共に無理である結論に至った。国際交流課が学部になく中で相談窓口の開設は時間的に不可能であることが要因であり、その都度留学経験教員が対応することで学生の相談に対応している。また、本部海外交流室のサポートも得ながら連携を図っている。現在4名の学生・院生からの相談に答えている。(達成度:C)

- 事業計画:英語での専門授業科目の推進

事業概要:外国語科目に限らず、専門授業科目の英語での授業は、世界に寄与するグローバル人材の育成の一環として捉え直す改革を推進する。

進捗状況:通年化のためのカリキュラム改革を学務が推進する中で、芸術教養課程の専門授業のグローバル化することの具体的な検討を依頼している。芸術と文化、アートなサブカルチャー学、英語で落語、日本の伝統芸術などの留学生のニーズに応えられる授業科目の開発の可能性を検討している。(達成度:C)

- 事業計画:日藝図書館情報の発信(カカログ誌の発行)

事業概要:マンガ関連カカログ誌第四弾として『わたしが魅せられた漫画』を作成・発行する。

進捗状況:4年間継続してマンガカカログ誌を発刊したことにより、日藝図書館の独創的な活動に対して一定の理解が得られた。(達成度:A)

- 事業計画:日藝図書館情報の発信(『日藝ライブラリー』<前身『日藝・図書館案内』>の発行)

事業概要:『日藝ライブラリー』第2号作成・発行する。

進捗状況:今号は「展示」について特集し、日藝図書館の展示への考え方や取組みについて発信できた。(達成度:A)

- 事業計画:日藝図書館情報の発信(展示会「畑中純の世界」展の開催)

事業概要:7月7日から31日まで、芸術資料館にて「畑中純の世界」展を開催する。「顔の見える図書館運営」方針に基づき⑭・⑮の刊行物や展示会を通して図書館活動事情を学内外に広く周知することにより、日藝図書館に対する更なる理解の深まり、図書館資料の利活用の促進等につながることを期待できる。

進捗状況:当該展示会における多数の来館者(延べ490名)に畑中純の世界を通して日藝図書館活動の一端を周知できた。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:日藝賞の授与及び記念講演会の開催

事業概要:第9回日藝賞受賞記念講演会【絵本作家の荒井良二氏、脚本家の中園泳氏】の開催並びに第10回日藝賞受賞者の投票選出並びに入学歓迎式への招聘。

進捗状況:第9回受賞記念講演会については、両氏合わせて443名の来場者を迎え大盛況となった。第10回受賞者選出投票では、中村獅童氏並びに池松壮亮氏を選出し、日藝賞授与式への本人出席及び受賞記念講演会を実施することが決定している。(達成度:A)

- 事業計画:日藝賞創設10周年記念事業の実施

事業概要:平成27年度に創設10周年を迎える「日藝賞」を記念して、第5回日藝賞受賞者の林真理子氏並びに第9回日藝賞受賞者の中園泳氏を招聘し、記念講演会を開催。記念事業を通し、学生の明確な目標意識や創作活動意欲の高揚、学部イメージ戦略へ寄与する。

進捗状況:創設10周年企画として芸術祭期間に開催した林真理子氏と中園泳氏の対談は、江古田校舎中ホール満席の盛況にて成功し、平成28年度入学歓迎式では歴代受賞者の広報用ポスター制作・展示等、の開催に向けて順調に進行している。(達成度:A)

- 事業計画:江古田・所沢両校舎にて公開講座を実施

事業概要:地域(練馬区・所沢市)への教育研究成果の還元と交流の促進を図れる。

進捗状況:練馬区との共催で、江古田校舎で3日間実施し、127名が受講した。また、所沢校舎でも3日間開催し、44名が受講した。(達成度:A)

- 事業計画:芸術資料館企画展の実施

事業概要:これまで芸術学部が教育・研究のために収集した資料を基に学科を主体とした企画展を実施する。また、芸術資料館の所蔵資料を広く公開するための将来的な方策としてアーカイブ化が考えられるが、そのための保有資料の基礎データの整備を進める。

進捗状況:学部所蔵のオリジナルプリント展など10展の企画展を開催。のべ193日間実施し、8,543人が来場。また、次年度実施予定の所蔵資料データベース作成のため、基礎データ整備を実施。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:江古田校舎通年化

事業概要:教育の通年化に向けた計画。一貫教育の実現及び経費削減を目指す。

進捗状況:通年化に伴って江古田校舎大ホール棟横に建設する新校舎について、本部管財部とともに基本設計をまとめ、実施設計及び工事について本部に内申した。(達成度:B)

- 事業計画:企画委員会での入試対策を多角的検討【学部】

事業概要:学部長直轄で入試・広報対策を企画・実行してきた入試対策室の機能を企画委員会に吸収し、より多角的に検討する。

進捗状況:オープンキャンパスや進学相談会の在り方を検証し、編入学試験対策や「日藝の卒博」についても検討した。(達成度:B)

- 事業計画:「日芸の卒博」の実施

事業概要:全学科の卒業制作・作品等を集中的に展示・上映(演)・演奏する「日芸の卒博」を実施し、オープンキャンパスと並ぶ受験生向けのイベントと位置付け創作の学部をアピールし、志願者獲得を目指す。

進捗状況:企画委員会の中にワーキンググループを組織し、学生・教職員が一体となって実施した。平成28年4月に「日藝の卒博、延長戦」と題して学外の施設で実施することを決めた。(達成度:A)

- 事業計画:学生募集広告充実化

事業概要:従来掲載していた「電車広告」及び「映像広告」及び「毎日進学ナビ学校案内」を更に充実化させ効果的な入試広報活動を展開することで、幅広い受験者層を取り込み、入学志願者増加を目指す。

進捗状況:計画通り募集広告を掲載し、平成 28 年度入学試験における一定の成果を得た。(達成度:A)

○事業計画:危機管理体制の構築

事業概要:大規模災害に備えた防災備蓄品を調達し、災害時における学生・教職員の安全を図ると共に、東京都条例に基づき、帰宅困難者用備蓄品を整備する。

進捗状況:災害時に学生及び教職員の帰宅困難者に配布する非常用防災袋の完備、移動式格納ラックを用いた保管場所の分散等を行い、東京都帰宅困難者対策条例に基づく食料品等の備蓄も両校舎 12,000 食の調達を完了した。(達成度:A)

○事業計画:教員の年齢構成を踏まえた人事計画実施

事業概要:若手・中堅教員の養成・採用を図り、偏った年齢の教員構成を是正し、新しい芸術教育・研究に寄与する。

進捗状況:平成 27 年度新規採用教員は、50 歳代の教授 2 名、30 歳代の専任講師・助教 3 名を採用し、年齢構成の是正はもとより、新しい芸術教育・研究の達成に向けても前進した。(達成度:A)

○事業計画:学生教職員の衛生環境維持のための害虫駆除

事業概要:校舎内の衛生環境維持・向上の一環として、媒介害虫(蚊等)の駆除を定期的に実施し、伝染病等の発生を防止する。

進捗状況:安全衛生委員会にて検討した計画に基づき、平成 27 年 6 月～10 月に媒介害虫(蚊等)の駆除を実施し、一定の成果を得た。(達成度:A)

○事業計画:学部主催による合同企業説明会の充実

事業概要:参加企業数を 24 社から 32 社に増やし、日程を 1 日から 4 日間に変更することで、学生が参加しやすいようにして、就職活動へのモチベーションを高めて就職率の向上を図る。

進捗状況:平成 28 年 3 月 8 日～11 日に江古田校舎東棟において 64 社を招いて開催し、2,000 名以上の延べ参加者数を得て、学生の職業選択肢の増大に努めた。(達成度:A)

○事業計画:就職指導講座の充実

事業概要:就職活動開始時期変更に伴い、3 月の開始直前に活動に関する重要事項をまとめた講座を開催することで、円滑に就職活動が進められるように支援する。

進捗状況:従来の 5 月初旬開始からの講座に加え、就職活動解禁直後の平成 28 年 3 月 7 日に活動に関する重要事項をまとめた講座を 2 講座実施し、多くの出席者の活動支援を行った。(達成度:A)

【施設設備】

○事業計画:江古田キャンパス整備事業(第 2 期)

事業概要:経費の削減はもとより、教育の総合性・一貫性を図る目的で、江古田校地に 1 棟の建物を新築、既存西棟 6 階を改修し、1 キャンパスによる学修環境をつくり、江古田通年化を実現する。

進捗状況:平成 26 年 10 月に本整備事業の承認を受け、平成 27 年 2 月に基本設計実施についての承認を受け実施設計に向けて準備中である。(達成度:B)

【財政・各種基金】

○事業計画:文化庁の補助金への申請

事業概要:「大学を活用した文化芸術推進事業」、「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」の補助金を獲得することにより、大学の質的評価、社会貢献及び研究の充実と活性化が図られる。

進捗状況:「大学を活用した文化推進事業」については、不採択だったが「次代の文化を創造する新進芸術家育成

事業」は継続採択となり、他大学と協働し映画祭を 6 日間実施した。(達成度:B)

○芸術学研究科

【教育研究】

○事業計画:教員情報を掲載した芸術学研究科案内冊子 GSA の継続作成

事業概要:大学院広報誌として情報を公開するとともに、FD 活動においても重要な役割を果たす。

進捗状況:教員の研究内容を公開することによる、FD 活動の推進並びに受験希望者により深い研究科への理解が得られた。(達成度:A)

○事業計画:芸術学研究科博士課程研究誌「芸術・メディア・コミュニケーション」の継続発行

事業概要:芸術学研究科博士課程在籍者の研究発表の場として重要な役割を果たす。

進捗状況:後期課程在学者の研究発表の場が欲しいとの要望に応え発行している。また図書館での閲覧も可能である。(達成度:A)

○事業計画:博士論文審査創作成果発表会の開催

事業概要:博士論文(創作系)の審査に加味するために、作品の展示・上演・上映など、創作成果を発表する機会と場所を設けることにより審査体制の向上を図る。

進捗状況:創作系の対象が無かったため開催せず。(達成度:B)

○事業計画:新カリキュラムの実施推進

事業概要:各専攻に連携研究部門を新設し、単独の芸術の深化をはかるだけでなく、専攻の垣根を越えた教育効果を図る。

進捗状況:3 専攻にて複数の講座が開講され、受講生への教育効果が高められた。(達成度:A)

○芸術研究所

【教育研究】

○事業計画:学部研究費(個人・共同)の確保と研究・創作成果の発信の支援

事業概要:学部における研究および創作活動の成果を公表することで、本学部の社会的な評価を高めるとともに、研究・創作意欲の更なる向上を図る。

進捗状況:学部研究費は、個人 96 件・共同 5 件を採択し、額も従来レベルを維持。後期より若手研究者育成を目的に助手の研究・創作活動支援のため、研究費の配分を開始し 17 件を採択。(達成度:A)

○事業計画:学科単位の研究活動支援(学部長指定研究)

事業概要:学科単位での申請に基づき研究課題を選定し、各学科の特徴を活かした高度な研究拠点を形成し、研究活動の活性化を促進することにより、他大学との一層の差別化を図る。

進捗状況:「科学と芸術の融合をめざしたサイエンスコミュニケーションの研究」他 5 件を採択し、学科内のみならず、他学部や他大学との共同による研究活動成果の発信等を実施。(達成度:A)

○事業計画:補助金獲得を視野に入れた研究活動支援

事業概要:学外研究資金(特に芸術分野の外部資金)の獲得を視野に入れ、本学部の研究活動の一層の活性化を目指した支援を行うとともに、若手研究者の育成を図る。また、個人研究費の傾斜配分のための評価にあたり、研究計画内容の評価に加え、科学研究費補助金等の競争的資金への応募・獲得状況を加味することで、学外研究資金獲得の動機付けとする。

進捗状況:科学研究費に係る説明会を継続開催の結果、新規4件を含む11件が採択。文化庁補助事業には1件が継続採択。インセンティブとして科研費申請者には個人研究費を満額支給する。(達成度:A)

- 事業計画:学科横断的かつ情報発信型の研究活動支援(日藝アートプロジェクト)

事業概要:芸術総合学部の特徴を活かした日々新しい研究・教育・創作活動を実施し、その活動内容を学外に対し積極的に情報発信するとともに、若手研究者の育成を図る。

進捗状況:日藝アートプロジェクトとして、学部を挙げて「越後妻有アートトリエンナーレ 2015」に参加。作品制作の外、「日芸フェスティバル」としてワークショップや公演を実施する。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:研究成果の活用による産学官連携活動の実施
事業概要:本学部の研究成果の公開により、産業界や地方公共団体等との産学官連携活動の実施に結びつけることで、外部研究資金を獲得し研究・創作活動の更なる活性化を図る。また、他学部の研究者とのコラボレーションにより産学官連携活動を実施し、研究・創作活動の更なる活性化を図る。
進捗状況:医学部、理工学部の研究者との協働で日本大学学術研究助成金に採択され、研究開発に着手。企業を含めた産学連携での研究開発を実施し、プロトタイプを作成する。(達成度:A)

国際関係学部・国際関係研究科・短期大学部(ビジネス教養学科,食物栄養学科,専攻科食物栄養専攻)

○国際関係学部,国際関係研究科,短期大学部共通

【教育研究】

- 事業計画:日本大学三島後援会特別奨学金
事業概要:三島後援会から支援を受け、自宅通学困難な者に対しては「下宿補助」、また、新幹線通学者に対しては「新幹線通学補助」奨学金として春期、秋期の年2回、選考の上、奨学金を給付した。

進捗状況:平成27年度日本大学三島後援会特別奨学金給付者述べ人数202名

「下宿補助」158名(国際関係学部生154名,短期大学部生4名)

「新幹線通学補助」44名(国際関係学部生44名)(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:エコキャップ運動の推進
事業概要:ペットボトルのキャップ収集を行い、再資源化を促進し、その売却益でボランティアを寄贈する。

進捗状況:平成28年2月現在のキャップ収集総数は68,465個,ボランティア79.6人分(平成27年度分19,075個,ボランティア22人分)(達成度:A)

- 事業計画:図書館内の国際機関資料室の市民への開放、国連デーやEUフレンドシップウィーク企画展示、上田彦次郎が「乾板写真展「昭和30年ごろの伊豆と富士山」等の開催

事業概要:市民を対象とした国連・EUを理解するための展示会や所蔵資料の公開展示を開催することにより、市民の国際理解や地域の歴史理解を図るものである。

進捗状況:EUフレンドシップウィーク:「写真で見る現代のオランダ展」/国連デー:「国連創設70周年を記念して-国連の歩みを振り返る」/上田彦次郎が「乾板写真公開事業」が2015年度私立大学図書館協会協会賞を受賞(達成度:A)

- 事業計画:学部指定学生寮の確保

事業概要:土地・建物は業務委託先の学生寮運営業者からの提供によるものであるが、学部指定学生寮として紹介する。

進捗状況:三島市内に学生寮5棟(158室)を確保し満室である。(達成度:A)

【財政・各種基金】

- 事業計画:寄付金募集
事業概要:「日本大学国際関係学部教育振興募金」の募集
進捗状況:募集期間最終年度となり、総額1,719万7,000円の寄付を父母、校友等から受けた。(達成度:B)

○国際関係学部,短期大学部共通

【教育研究】

- 事業計画:学生の自己実現及び就職率向上を図るための就職支援講座の実施

事業概要:教育課程と連携し、学生の社会人基礎力を育成するため、次の就職支援講座を実施。

- ①筆記試験に備えたSPI対策講座・模試、一般常識模試
- ②書類選考や面接選考に備えた業界セミナー、自己分析講座、文章力強化講座、面接対策講座、模擬面接、内定者報告会等
- ③公務員試験に備えた、コース別公務員講座、個別面談
- ④学内合同企業説明会

進捗状況:①SPI試験対策講座は言語、非言語講座をそれぞれ設置し、半期毎に実施した。

合計196名が受講し、学生自身の弱点を確認することによって就職活動に備えた。

模擬試験は、168名が受験し全国レベルでの実力を確認した。(達成度:A)

②各就職支援講座に延べ2,660名が受講し、自己PR、志望動機の作成方法を学ぶ他、模擬面接を体験し本番の面接試験に備え就職活動の準備を進めた。

また、内定者報告会では先輩から就職活動の実体験を聞き、模擬グループディスカッションを聴講することにより、就職活動の対策や不安解消につなげた。(達成度:A)

③本部主催の3年生向け教養講座を中心に、低学年向けの入門講座(教養科目、専門科目)は98名が受講し、国家公務員一般職を目指す試験対策講座(教養科目、専門科目、集中特訓)は58名が受講した。(達成度:A)

④3月8日から3月11日の4日間にわたり開催し、参加企業は143社、参加学生数は延べ426名であった。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:市民公開講座・エクステンション講座の実施
事業概要:市民公開講座は、近隣自治体の後援を得て年2期・全10講座を開講する。

エクステンション講座は、春・秋の2回外国語講座を開講する。

進捗状況:上期市民公開講座(平成27年5月27日より5回、統一テーマ「世界の中の日本経済-資本主義の終焉か日本の衰退か-」)、下期市民公開講座(平成27年9月30日より5回、統一テーマ「文学に描かれたさまざまな愛」)を開催した。エクステンション講座は、春期7講座・秋期6講座を実施した。(達成度:A)

○国際関係学部

【教育研究】

○事業計画:英語特別クラスの設置

事業概要:平成 26 年度から英語特別クラスを設置した。内容は、入学後にクラス分けを行い、英語力の強化のみならず、1 年次から英語で行う専門科目の授業を履修することにより、留学者の増加及び英語のスキルアップを目指したエリート教育を実施するものである。

進捗状況:平成 27 年度は 1 年次 46 名, 2 年次 32 名が在籍した。2 年次でのクラス在籍は学期末実施の TOEFL-ITP を 1 年次英語 4 科目の成績評価の一部とした。平成 27 年度では、学部派遣交換留学生(英語圏)1 名, 中期留学 1 名, 認定留学 2 名が留学した。(達成度:B)

事業計画:入学前学習支援プログラム実施(国際関係学部)

事業概要:A0 入学試験及び推薦入学試験等, 入学試験選抜の早期化に対応し, 入学予定者に対する事前学習支援プログラム(国際関係をテーマにした日本語及び英文)を課す。進捗状況:年内の推薦入試等合格者 514 名に対し入学前教育の実施を案内し 441 名が受講した。

内容としては、日本語及び英文の課題を課した。(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画:准教授 1 名, 助教 2 名を採用予定

事業概要:准教授は「英語科教育法」, 助教は「英語」で採用し, それぞれの分野を強化する。

進捗状況:教授 1 名, 助教 1 名を採用した。(達成度:A)

○短期大学部

【経営・人事】

○事業計画:教授 2 名を採用予定(短期大学部)

事業概要:教授 2 名が定年退職し, 「栄養学」, 「疾病学」それぞれの分野で補充採用する。

進捗状況:教授 2 名を採用した。(達成度:A)

【施設設備】

○事業計画:11 号館各教室空調設備改修工事

事業概要:11 号館の空調設備を改修し, 授業等の教育環境の整備を行う。

進捗状況:平成 27 年 9 月に改修工事を実施した。(達成度:A)

○生活科学研究所

【教育研究】

○事業計画:学術講演会開催及び『生活科学研究所報告』の発行(生活科学研究所)

事業概要:有識者を招へいし, 学生を対象に学術講演会を開催する。研究の報告・発表として『生活科学研究所報告』を発行する。

進捗状況:平成 27 年 11 月 27 日に学術講演会(講演者:中島京子氏, 演題:食べ物でみる『小さいうち』の時代)を開催した。

平成 28 年 1 月 18 日～30 日に研究発表会(ポスター発表による)を開催した。

平成 28 年 3 月に『生活科学研究所報告』第 38 号を発行した。(達成度:A)

○国際関係研究所

【教育研究】

○事業計画:①国際シンポジウムの開催(国際関係研究所)

②学術講演会開催及び『国際関係研究』の発行

事業概要:①国内外から研究者を招き, 国際諸問題に沿ったテーマで国際シンポジウムを開催する。

②有識者を招へいし, 学生を対象に学術講演会を開催する。研究の報告・発表として『国際関係研究』を発行する。進捗状況:①平成 27 年 12 月 10 日・11 日に海外提携校であるセント・ノバート・カレッジより教員 4 名を招へいし, 本学部において国際シンポジウムを開催。「戦後 70 年と世界構造変化のアジア太平洋地域へのインパクト」をテーマに発表, 討論を行った。

②平成 27 年 7 月 23 日に学術講演会(講演者:坂口大作氏, 演題:海洋国家における陸上戦力-日本固有の地理条件と国土防衛-)を開催した。

平成 27 年 10 月に『国際関係研究』第 36 巻第 1 号, 平成 28 年 2 月に『国際関係研究』第 36 巻第 2 号を発行した。(達成度:A)

理工学部・理工学研究科・短期大学部(建築・生活デザイン学科, ものづくり・サイエンス総合学科, 生命・物質化学科)

○理工学部, 理工学研究科, 短期大学部, 理工学研究所共通

【教育研究】

○事業計画:研究推進戦略の確立

事業概要:理工学部各種研究費の再構築

進捗状況:学内研究費による横断的プロジェクト等の実施により, 将来の本学部の核となる研究, 外部の競争的研究資金の獲得に繋がる研究を支援するために学部内の研究費を, 申請状況, 研究ニーズ等に沿って再構築し, 本学部の研究に対する総合力の向上を図った。(達成度:A)

○事業計画:理工学研究所施設の充実

事業概要:理工学研究所施設でのリサーチ&ディベロップメント体制の強化, 研究部門の利活用

進捗状況:理工学研究所では, 研究開発, 支援及び実験領域での 8 研究施設を有し, 研究開発, 支援体制の強化を図り, 共同利用によって本学部が有する研究資源の利活用に務めた。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:産官学連携

事業概要:委託研究・共同研究推進による産官学連携研究, 東葛テクノラサへの参加等。

進捗状況:委託研究・共同研究を積極的に推進し, 研究活動の促進を図っている。平成 23 年度から地域産官学共同研究拠点「千葉大学サイエンスパークセンター」へ参画し, 船橋校舎が所在する千葉県域と連携した研究及び交流を図っている。(達成度:A)

○理工学部, 理工学研究科, 短期大学部共通

【教育研究】

○事業計画:理工学部学術講演会の開催

事業概要:第 59 回理工学部学術講演会

進捗状況:平成 27 年 12 月 5 日に開催された理工学部学術講演会においては, 理工学部及び理工学研究科学生を

中心として16部会により約600件の研究発表が行われ、優秀発表者に対する表彰も実施された。(達成度:A)

- 事業計画:理工学部学術賞等表彰式の開催
事業概要:第38回理工学部学術賞等表彰式
進捗状況:学術の発展に顕著な功績があり、本学部における学術の振興と学術水準の向上に資する者として理工学部学術賞の授与の他、優れた研究業績を挙げて国内外の学会・協会等の学術団体からの表彰者等を、奨励のために再表彰した。(達成度:A)
- 事業計画:就職指導対策の充実
事業概要:キャリア教育の充実、公務員試験対策の充実、eラーニングの充実、後期の未内定者フォローの充実
進捗状況:公務員試験合格者の増加や、eラーニング受講者の合格率アップ、4年生未内定者への個別企業セミナーからの内定獲得など、成果があった。(達成度:A)
- 事業計画:低学年からのキャリア支援の充実
事業概要:1年生向け「キャリアポートフォリオ」、保護者用「保護者版キャリアポートフォリオ」の作成、コンピテンシー診断の実施、キャリアカウンセラーの充実
進捗状況:1年生向け及び保護者向けの冊子を発行し、キャリアに関する意識付けを行った。また、低年次に対するキャリア講座のほか、コンピテンシー診断を実施した。(達成度:A)
- 事業計画:リサーチ応援プロジェクト
事業概要:理系女子向け講座・各種イベント・企業とのコラボレーション等の企画
進捗状況:化粧品メーカーと協力して、理系女子学生に特化した就職プログラムを実施した。(達成度:B)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:日本大学理工学部科学技術史料センター(船橋校舎)特別展の開催(年1回)
事業概要:日本大学理工学部科学技術史料センター(船橋校舎)特別展の開催
進捗状況:(1)第11回特別展日大理工のちからⅦ「海から繋げていく未来 都市空間と海洋環境の融合を目指して」を平成26年7月31日から平成27年6月30日まで開催(2)第12回特別展日大理工のちからⅧ「理工系短大の65年の実績とあゆみ」を平成27年7月30日から平成28年6月30日まで開催(達成度:A)
 - 事業計画:日本大学理工学部図書館(駿河台)の千代田区民への開放(館内閲覧及びセルフレポートサービス)及び日本大学理工学部図書館(船橋)の船橋市民への開放(館内閲覧及びセルフレポートサービス)
事業概要:大学図書館の地域住民への利用開放
進捗状況:駿河台図書館は千代田区立図書館、船橋図書館は船橋市立図書館や近隣の公共図書館等と相互利用の提携を締結しており、理工学部図書館ホームページに地域住民への利用案内を掲載するとともに、館内閲覧及びセルフレポートサービス等を実施している。(達成度:B)
 - 事業計画:地球温暖化防止への取組
事業概要:キャンパス毎の電力使用抑制計画に基づき実行することにより、地球温暖化対策(二酸化炭素削減)に寄与する。
進捗状況:キャンパス毎に設置した電力使用量(テマント)計での監視や空調運転方法の見直しをするなど、省エネルギーを図った。(達成度:A)
- ### 【経営・人事】
- 事業計画:新教員人事制度の施行
事業概要:定年後の教授は、限定的に特任教授(月手当)を委嘱するのみにし、教員組織若返り、年齢構成改善により効率的な人件費支出を図る。

進捗状況:関係内規の制定・改正により、教員人事計画の組織的検討体制を整え、また、平成32年度までの人事計画を定め、当該計画に基づく採用等を行っている。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:校舎の耐震計画
事業概要:駿河台校舎及び船橋校舎の既存建物の耐震診断を実施し、校舎の耐震化を推進する。
進捗状況:平成23年度に策定した耐震補強工事実施順位計画に従い、駿河台校舎においては2号館、船橋校舎においては9号館の耐震補強工事を実施した。(達成度B)
- 事業計画:駿河台校舎キャンパス整備事業(南棟)
事業概要:老朽化した建物及び実験施設等の建替えにより、学生・教職員への安全・安心なキャンパスを形成すると共に、周辺住民の災害時の一時避難場所など地域貢献という大学の社会的使命を果たす。
進捗状況:駿河台校舎5・6・9号館の建替えによる南棟(仮称)新築工事に着手し、現在建設中である。さらに都市型機能を生かした教育・研究キャンパスを目指し、北棟(仮称)の重要整備計画が承認され、設計に向けて検討中である。(達成度B)
- 事業計画:駿河台校舎及び船橋校舎キャンパス内改修・補修工事
事業概要:両校舎共に、築年数が多い建物を中心に改修・補修を実施し、より良い教育環境を提供する。
進捗状況:駿河台校舎においては、約200件、船橋校舎に於いては約320件の修繕工事等を実施した。(達成度A)

○理工学部,理工学研究科,理工学研究科共通

【教育研究】

- 事業計画:学術研究戦略事業の推進
事業概要:文部科学省私立大学戦略的研究基盤形成支援事業の遂行
進捗状況:理工学部研究施設を利活用し「超短時間光・物質相互作用の理解・制御が切り開く新材料・物性・デバイス」の探索と創生」を研究テーマに3年度目を実施し、研究計画に掲げた目標を概ね遂行した。(達成度:A)

○理工学部,理工学研究科共通

【教育研究】

- 事業計画:FDの取組の推進
事業概要:ファルティティイノベーション(FD)委員会をFDの取組の推進における主たる委員会として、FD研修会及び授業改善のためのアンケートなどを実施している。
進捗状況:授業改善のためのアンケートは、平成26年度から科目区分及び学科によるアンケートの各設問平均値による集計結果並びに学科ごとの改善に向けた取組みを公表している。また、アンケートの実施方法に関して、教員及び学生の利便性並びにアンケート結果の学生へのフィードバックによる教育効果をスムーズにできるようにシステムを平成27年度に刷新し、個々の教員がアンケート結果を即時的にフィードバックできるように改善した。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:日本大学理工学部図書館(駿河台)公開講座の開催(年2回)
事業概要:理工学部図書館の図書資料等に基づき理工学部教員等が講演する公開講座の実施。

進捗状況: (達成度:A)

① 第27回(平成27年6月開催)

講演テーマ: ドイツ・ベルギーを旅して～街並み、暮らしに触れる～

講演者: 教授 田所 辰之助, 助教 石部 尚登, 助教 時田 伊津子

② 第28回(平成27年12月開催)

講演テーマ: 風災害 ～風の脅威から身を守る～

講演者: 教授 野村卓史

○事業計画: 八海山ゼミナールの有効活用(外部貸出)

事業概要: 地元小中高生及び本学部と関連の深い学校の生徒が利用することにより、収支改善が図れると共に「日大理工」をアピールできる。

進捗状況: 地元高校生の勉強合宿(20名2泊)及び東京近郊小学生の体験教室(83名2泊)の受入れを行った。また、中高大連携教育活動の一環で、天文台を用いたサイエンスキャンプを実施し、6校51名の生徒が参加した。(達成度:B)

○理工学部,短期大学部共通

【社会貢献・環境活動】

○事業計画: 理工学部及び短期大学部(船橋校舎)共催による、公開市民大学講座の開催

事業概要: 日本大学理工学部, 短期大学部(船橋校舎)が有する人的・知的財産等を地域社会の市民に提供し、大学の自己実現及び社会貢献のために、10月10日(土), 17日(土), 24日(土)に合計6講座を開催した。

進捗状況: 平成27年度のテーマは「コミュニケーション」とし、学術的要素を取り入れた3講座を実施した。講師の都合によりパソコン教室は、Excel 初級編のみとし、またテニス教室は雨天のため中止した。全講座とも好評のうちに終了した。受講人数合計264名。(達成度A)

○事業計画: オープンラボ(公開イベント)の充実

事業概要: 学内外に限らず、普段から行っている実験や講義を一般向けに公開し、オープンキャンパスとは一味違った理工学部の学びを体験してもらう。

進捗状況: 年々、オープンラボへの参加学科や種類も増え、選択肢が増えてきたことで参加者も増えている。告知の仕方に改善の余地がみられる。(達成度B)

○事業計画: COC(センター オブ コミュニティ)の構築

事業概要: 大学が「教育」や「研究」を通して地域のコミュニティの中心になることにより、大学としての機能を強化するというもの。

進捗状況: 地域の自治会と連携しての理科実験教室を兼ねた子供向けイベント、千代田区に後援していただいていた小学生向け理科教室等積極的に行った。(達成度A)

○事業計画: 防災機能の強化

事業概要: 大規模災害発生時に緊急消防援助隊及びヘリコプター臨時離発着場所、近隣地域の救出・救助・消火活動の拠点となる。

進捗状況: ヘリコプター離発着場所、緊急避難場所を定期的に巡回して障害物等が無いよう点検を行っている。(達成度B)

【経営・人事】

○事業計画: 広報活動の転換・充実

事業概要: 高校生とその保護者対象の広報手段の見直し。社会人及び卒業生対象に様々な広報媒体との連携。

進捗状況: 昨年はじめた学部公式 Facebook は日々更新され、学部の状況がリアルタイムにわかる。1日5000人ものアクセスがあり学生、保護者、校友等帰属意識が高まっているのが実感できる。(達成度A)

【財政・各種基金】

○事業計画: 第3号基本金引当資産への組入れ

事業概要: 学生へ奨学金の給付を行うため、500万円を第3号基本金(日本大学理工学部校友会奨学金基金)に組み入れる。

進捗状況: 学生へ奨学金の給付を行うため、500万円を第3号基本金(日本大学理工学部校友会奨学金基金)に組み入れた。

○理工学部

【教育研究】

○事業計画: 教育方法の改善

事業概要: インセンティブ科目及びステイ・スキルズ科目の授業内容の見直し、卒業達成度評価科目の授業内容の見直し

進捗状況: 平成20年度入学生より開設している初年時教育であるインセンティブ科目及びステイ・スキルズ科目については、全学で導入する全学共通初年時教育科目の内容に照らして次期カリキュラム変更に向けた作業の中で学務委員会にて検討している。(達成度:B)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画: 資源ごみの有効利用

事業概要: 資源の有効な利用の確保を図るとともに廃棄物の発生の抑制及び環境保全に寄与する。

進捗状況: 駿河台校舎及び船橋校舎では分別の徹底を行い、資源ごみとしての回収率が高まるよう取り組んでいる。(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画: 防災体制の充実

事業概要: 学生及び教職員の防災意識の向上を図る。非常時に効果的な災害援助ができる体制づくりの構築。

進捗状況: 避難場所を示したポスターを新たに作成し、各教室等に掲示。また、災害時に必要となる救助資器材等を新たに購入し、防災体制の充実を図る。(達成度:A)

○短期大学部

【教育研究】

○事業計画: 学生支援(経済的)

事業概要: 主な奨学金情報をHP等に掲載し、保護者を含め周知することにより経済的な事由により退学学生の減少を図る。

進捗状況: 学生課掲示板、ポータルサイト、HP等こまめに情報を開示している。(達成度B)

○事業計画: 学生生活満足度調査

事業概要: 学生生活に関するアンケート(旧名称 キャンパスライフに関するアンケート)を実施し、学生生活の現状把握及び施設改善等の検討資料に活用している。

進捗状況: 調査名称等の一部内容変更を行う。(達成度B)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画: オープンカレッジ「ものづくり&サイエンス・スクール」の開催

事業概要: 短期大学部(船橋校舎)のPR活動の一環として、大学施設を利用した体験学習の場を提供し、小学生から大人まで参加できるようなものづくりの面白さが体験できる催しを実施し、社会貢献に寄与する。

進捗状況: 11月3日(火)に船橋校舎において建築系、機械系、電気電子系、サイエンス系の7プログラムによるものづくり体験が実施された。いずれのプログラムも子供から大人まで大勢の地域住民(合計303名)の参加があり計画通り遂行した。(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画: 高等学校訪問

事業概要: 短期大学部(船橋校舎)の特色をアピールするために、教職員が年数回、入学実績校、指定高校、オープンキャンパス参加校、沿線高校などの訪問を行う。

進捗状況: 第1回(6月中旬～7月中旬)、第2回(12月中旬～2月上旬)と年2回高等学校を訪問し、進路指導教員を通じて受験生に短大の情報を伝えた。第1回73校、第2回46校、第2回(追加)80校を訪問した。(達成度:A)

○事業計画: 学校説明会

事業概要: 大学施設・設備等の環境面を実際に見てもらい、機会を設け本学の理解の場を提供する。

進捗状況: 11月28日(土)に船橋校舎で入試個別相談・学科別相談会を開催し、52名が参加した。(達成度:A)

○理工学研究所

【教育研究】

○事業計画: 理工学部理工学研究所講演会の開催

事業概要: 第12回理工学部理工学研究所講演会

進捗状況: 平成27年度より発足した学部内の競争的研究費「先端研究推進助成金」による研究計画の概要及び研究成果の一端の中間報告会を開催した。(達成度:A)

生産工学部・生産工学研究科

○生産工学部, 生産工学研究科共通

【社会貢献・環境活動】

○事業計画: 地球温暖化防止への取組

事業概要: 地球温暖化対策を推進し、CO₂などの温室効果ガスの排出量の削減を図る。

進捗状況: カーボン・フットプリント対策を積極的に実施し、節電対策を強化したことにより、熱・電気等のエネルギー使用量を削減した。また、津田沼校舎25号館体育館の照明器具改修工事を実施し、照明器具の即時点灯による作業の効率化等により電気使用量が抑制され、省エネ効果が得られた。(達成度:A)

○事業計画: 近隣住民への図書館開放

事業概要: 近隣住民(習志野市、船橋市、八千代市)へ図書館サービス(閲覧等)を提供し、大学の広報的役割を担う。

進捗状況: 平成5年度から実施し、市内在住・在勤で18歳以上の方へ資料の閲覧等のサービスを提供しており、年々利用者も増え浸透してきている。(達成度:A)

○事業計画: 習志野市との包括協定等に基づく地域・社会貢献活動の推進

事業概要: 習志野市との包括協定等に基づき、習志野市等の地方自治体と協力して、近隣地域に対する社会貢献活動を推進することにより、大学への理解が深まるとともに、教育・研究環境の整備を図る。

進捗状況: 習志野市が主催した市内3大学生「まち・ひと・しごと」政策提案発表会に生産工学部の学生が参加し、学生による地域課題の解決のための政策提案を行う。(達成度:A)

○事業計画: 公開講座・公開セミナーの開催

事業概要: 土曜日を中心に公開講座・公開セミナーを開講し、生涯学習支援として近隣住民等への学習の機会を随時提供する。

進捗状況: 公開講座では①『防災講座2015』、②『建設とアニメのコラボに始まる未来』、③『知らなきゃ損する-健康保険制度を理解して賢く病院を受診しよう-』の3講座を、公開セミナーでは①『パソコン入門講座』、②『生涯スポーツ(ゴルフ)』、③『ホットで遊ぼう』、④『生涯スポーツ(水泳)』、⑤『少年野球教室』の5セミナーを開催した。参加者総数は950名であった(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画: 適正な教職員採用及び人員配置等の人事計画の検討

事業概要: 多数の教職員が定年退職を迎える中で、後任の補充を必要最小限に抑えることにより、人件費を抑制する。また、特色ある科目に重点を置いて教員を配置することにより、学部の特色をアピールする。

進捗状況: 各学科の教員数・年齢構成の適正化を図った人事計画に基づき、教員の採用を行った。また、教員の採用にあたり、特色ある科目を担当する教員を採用した。(達成度:A)

【施設設備】

○事業計画: 津田沼校舎新14号館(仮称)新築工事

事業概要: 耐震性を満たしていない14号館を建て替え、より良い教育研究環境の提供を行う。

進捗状況: 津田沼・実籾両校舎の将来計画を総合的に再検討した結果、津田沼校舎新14号館(仮称)建設計画の機能(土木工学科研究室、教養系研究室、軽食等)と共に実籾校舎の津田沼校舎への機能移転等も含めた新たな施設の構想がまとまり、計画を見直すべく設計を取りやめた。(平成27年5月11日付け、生管財内発第4号)

(達成度:C)

○事業計画: キャンパス施設整備計画

事業概要: キャンパス施設整備計画を策定し、教育・研究・施設のより良い教育研究環境の提供を行う。

進捗状況: キャンパス施設整備計画並びに修繕計画の策定を行い、教学及び管理運営の将来計画との整合性を図り、より良い教育研究環境を提供するための基礎作りができた。(達成度:A)

○事業計画: 自習室並びに特別研究室の整備

事業概要: 図書館本館北側2階自習室並びに3階の一部特別研究室をレクチャールームとして使用できるよう整備する。

進捗状況: 本館北側2階自習室に12人掛け机10列を整備、プロジェクターや可動式大型スクリーン3台を設置し、初年次ゼミや各種講義でも利用できるようになった。また、同3階の特別研究室3室をグループ学習室として、机・椅子等を設置し、学生に開放した。利用状況は平成28年2月までで延べ899名、444時間であった。なお、3階には今年度中に「図書館ラウンジ」、「女子トイレ」が新設される予定である。(達成度:A)

【財政・各種基金】

○事業計画: 寄付金の募集

事業概要: 新校舎建設及び教育研究に要する経常的資金を確保するため、日本大学生産工学部創設60周年記念事業募金を募集する。

進捗状況: 平成22年度から寄付金の募集を継続して行い、募集期間が終了した。(達成度:A)

○生産工学部

【教育研究】

○事業計画: JABEE(日本技術者教育認定機構)への対応

- 事業概要: JABEE 認定コースを 4 学科に設置し、認定を受けることにより、当該プログラムが国際水準にあることが認められるとともに、国際的に通用する技術者に必要な基礎教育の要求水準への到達を図る。
- 進捗状況: JABEE 認定コースを取り入れている 4 学科に設置の JABEE 連絡協議会において、教育課程の適切性を学科教員の研修会等で検証するとともに、教育目標も含めたカリキュラム、シラバスの整合性及び妥当性について検証を行った。(達成度:A)
- 事業計画: 出席管理システム、学生カレッジの構築及びボータル課の再構築
 事業概要: 退学者及び留年者削減の施策として、出席管理システムと学生カレッジシステムとの連携及びボータル課の強化、再構築を行う。
 進捗状況: 各授業の出席状況の把握に留まらず個々の学生の出席状況を把握することにより、不登校など退学予備群を早期に発見し、その要因を含め学生への指導を行うことが可能となった。(達成度:A)
- 事業計画: 英語教育(「グローバル・ビジネスエンジニア人材育成プログラム」の構築)
 事業概要: ビジネスエンジニアリングをグローバルな視点から見ることができる技術者の育成を目的としたプログラムを新規に導入した。
 進捗状況: プログラム受講希望者の中から 51 名を選抜しプログラムを実施。本プログラムの受講により、英語を使ってコミュニケーションすることへの抵抗感が低減されたとともに自信が醸成された。また、これからのグローバル社会で何が必要か認識する意識付けを行う。(達成度:A)
- 事業計画: FD 取組の推進
 事業概要: 教育貢献賞の推薦基準の改正及び受賞講演会の実施
 進捗状況: 推薦基準改正後の新たな基準に基づき、教育貢献賞受賞者の選考を行い、優れた教育活動の実施が認められる教員 5 名、及び 2 グループを表彰するとともに、受賞講演会を実施した。(達成度:A)
- 事業計画: 入学者、在学生の学業及び学生生活面等、支援の取組
 事業概要: 従来実施している入学前教育(各種推薦入学試験等での入学予定者への入学前学習用問題集の課題提示及びの委託業者による DVD 教材の学習の推奨)の改善
 進捗状況: A0・各種推薦入試等による入学予定者を対象に WEB による基礎学力確認テスト(数学)を行い数学基礎力を確認、数学基礎力が充分ではない者及び希望者を対象に「ステップアップ 数学プログラム(通信教育・2 月講座・3 月講座)」を実施した。(達成度:A)
- 事業計画: 学修到達度確認試験の実施
 事業概要: 学生の学修到達度の確認及び教育効果の検証・把握を行うために学修到達度確認試験を実施する。この試験結果の検証により学生の理解度が低いと思われる科目について、より効果的な授業の開講が行えるよう改善を図り、教育の質の保証を高める。
 進捗状況: 学科からの試験結果等に関する報告書に基づき、学務委員会において教育効果の検証・評価を行い、効果的な授業が行えるよう改善を図り、教育の質の保証をさらに高めていく。(達成度:A)
- 事業計画: 退学者・卒業延期者削減を意識した父母懇談会(津田沼校舎[4 月, 9 月実施予定]及び地方会場[10 月実施予定])の開催
 事業概要: 出席管理システム構築により、学生自身による自己管理の醸成や父母が当該学生の出席状況等を閲覧、現在構築中の学生カレッジとの連携により、日頃の学生指導において父母との連携を高めた上で、父母懇談会を年 3 回実施。
 進捗状況: 4 月, 9 月, 10 月に父母懇談会を開催して、成績不振者(学科基準に基づく)も呼び出すなど、退学者・卒業延期者削減をより意識した指導体制、支援体制を確立した。(達成度:A)
- 事業計画: 中国科技大学管理學院(台湾)との覚書に基づく交流の推進
 事業概要: 中国科技大学と特別聴講学生の受入れについて合意書を交わし、これに基づき学生の受入れを行う。
 進捗状況: 中国科技大学と特別聴講学生の合意書を締結し、規則設計學院から 1 名、管理學院から 3 名の特別聴講学生の受け入れを行う。(達成度:A)
- 事業計画: 全学共通初年次教育(自主創造の基礎 1 及び自主創造の基礎 2)に準じた初年次ゼミ及び 2 年次ゼミの実施
 事業概要: 全学共通初年次教育科目「自主創造の基礎 1」がドラインの内容で実施可能なものについて、初年次ゼミ及び 2 年次ゼミの内容の見直し及び精査を行う。
 進捗状況: 「自主創造の基礎 1」の実施方法が、現行の「初年次ゼミ」から変わることから、「自主創造の基礎 1/ガイドライン」においてポイントとなる手法の幾つかを組み込んだ「初年次ゼミ/ガイドライン」の作成を行った。(達成度:A)
- 事業計画: 大学改革実行プランに則した対応の検討
 事業概要: 文部科学省の大学改革実行プランを軸に学部教育改革のロードマップが示される可能性が高まっているため、早期に対応が求められる可能性が高い事項に関して、対応を検討する組織作りの確立と検討を進める。
 進捗状況: 大学改革実行プラン「グローバル化に対応した人材の育成」を視野に入れた方策の一つとして、本学部の国際化を図る目的で、国際交流センターを設置した。(達成度:A)
- 事業計画: 新入生に対する学外リエンションの実施
 事業概要: 新入生がスムーズに大学生活をスタートできるように、入学直後に一泊二日の学外リエンションを学科単位で実施。更に、フォローアップとして 9 月の後期ガイダンス時にクラス担任による個人面談を実施している。
 進捗状況: 平成 27 年度は 4 月中に全学科が学外リエンションを実施した。全学科平均の参加率は 97%を超え、学生生活を送る上でのきっかけとして機能している。(達成度:A)
- 事業計画: 課外活動への経済支援
 事業概要: 課外活動が人格形成、並びに社会経験への効果を期待できることから、課外活動の重要性を認め積極的な支援を行う。
 進捗状況: サークル活動助成として、基本助成金(一律 3 万円)を 55 団体に、総額 165 万円を支給した。また、27 万円を上限とした特別助成金を 41 団体に、総額 500 万円を支給した。また、特定行事助成金として 1 団体に 5 万円を支給した。(達成度:A)
- 事業計画: 内規・要項で定めている独自の奨学制度による積極的な奨学支援
 事業概要: 学業成績・人物ともに優秀な者、あるいは優良な資質を持ちながら経済的事情により学費等の支弁が困難な学生・大学院生並びに私費外国人留学生に対し、独自の奨学助成制度により就学援助を行う。
 進捗状況: 学部生・大学院生合わせて 29 名に 990 万円(生産工学部第 1 種奨学生 9 名、生産工学部第 2 種奨学生 5 名、生産工学部第 3 種奨学生 2 名、生産工学部校友会奨学

- 生6名,大学院前期課程から後期課程進学者奨学生7名)を給付した。(達成度:A)
- 事業計画:学生相談支援体制の強化
事業概要:学生相談の対応として,相談室(ホートン)へのカウンセラーの派遣,更に日本大学学生相談研修会へ教職員の参加を促し,インター認定者の増員を行い,学生相談に対する体制強化を図る。
進捗状況:カウンセラーの派遣は,津田沼校舎に週4回,実籾校舎に週1回である。更にインター認定者増員のため日本大学学生相談研修会への教職員の積極的な参加を促し,潜在的クライアントの早期発見・対応への体制強化を図る。(達成度:A)
 - 事業計画:WINCOM(風力発電コンペ)の実施
事業概要:自然環境エネルギーを効率よく利用するための風力発電装置を作製し,発電量やデザインを競う風力発電コンペ WINCOMを実施する。
進捗状況:発電量部門・オープン参加の部に本学部・専攻の学生による4チームが参加した。なお,高校生を対象とした発電量部門・高校の部に18チームが参加。(達成度:A)
 - 事業計画:東日本大震災(含福島第一原子力発電事故)に伴う特別措置
事業概要:東日本大震災(含福島第一原子力発電事故)に伴う授業料減免に係る特別措置を実施する。
進捗状況:次のとおり,特別措置を実施した。
住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除 11名
住居半壊 :授業料等半額免除 19名
原発事故避難地区 :授業料等全額免除 前期6名・後期6名
※住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除に大学院生2名を含む。(達成度:A)
 - 事業計画:新入生に対する図書館がイグナスの実施
事業概要:「初年次ゼミ」授業の中で,図書館員が図書館利用について講義し,学生に情報を提供する。また,学習支援の場である図書館を利用してもらうことで学習の効率化を図る。
進捗状況:図書館利用案内をベースに資料を作成し,館内にある資料の配列,日本十進分類法やOPACを利用した情報の検索方法等について講義した。1学科を除く8学科から依頼があり,延べ14回実施する。(達成度:A)
 - 事業計画:キャリアデザイン講座の構築
事業概要:就職指導課で実施しているキャリアデザイン講座と正課授業としての講義,さらには生産実習(インターシップ)との連携を図る。
進捗状況:正課授業としての講義と生産実習(インターシップ)との連携により,就職に対する学生の自覚を促し,人材育成が図られた。(達成度:A)
 - 事業計画:生産実習(インターシップ:必修科目)の実施
事業概要:本学部の特徴である生産工学系科目の必修科目として生産実習(インターシップ)を継続して実施する。
進捗状況:仕事を実際に体験することで,理論と実践の相乗的な教育効果が得られ,社会人基礎力の向上が図られた。また,学部と企業との良好な関係構築にも寄与した。(達成度:A)
 - 事業計画:就職対策講座の実施
事業概要:採用試験の多様化に対応した就職講座を実施する。
進捗状況:企業の採用スケジュールに対応した講座を,体系的かつ具体的に実施することにより,学生の就職活動の効果的な支援が達成された。(達成度:A)
 - 事業計画:SPI実践講座の実施

- 事業概要:全国で多数の企業が導入しているSPI適性検査について,模擬試験及び実践講座を実施する。
進捗状況:実践講座の受講料を無料とした結果,申込者が大幅に増加し,言語・非言語系問題の解法スキルを多くの学生が修得した。(達成度:A)
- 事業計画:生産工学部就職セミナーの実施
事業概要:本学部学生の採用実績がある優良企業を,4日間で約400社(1日約100社)招き,学生と直接面談する機会を設ける。
進捗状況:4日間で409社が参加し,具体的できめ細かい面談が行われた。また,就職セミナー対策として,研究講座をセミナー直前に開催した結果,セミナー参加者が増加した。(達成度:A)
- 【社会貢献・環境活動】**
- 事業計画:地球温暖化防止への取組
事業概要:地球温暖化対策を推進し,CO₂などの温室効果ガスの排出量の削減を図る。
進捗状況:カーボン・フットプリント対策を積極的に実施し,節電対策を強化したことにより,熱・電気等のエネルギー使用量を削減した。(達成度:A)
 - 事業計画:近隣住民への図書館開放
事業概要:近隣住民(習志野市,船橋市,八千代市)へ図書館サービスを提供する。
進捗状況:平成5年度から実施しており,市内在住・在勤で18歳以上の方へ資料の閲覧・複写サービスを提供している。(達成度:A)
 - 事業計画:公開講座・公開セミナーの開催
事業概要:土曜日を中心に公開講座・公開セミナーを開講し,生涯学習支援として,近隣住民等への学習の機会を随時提供する。
進捗状況:公開講座では①『防災講座2014』,②『ボランティアをはじめよう』,③『日本国憲法入門講座-憲法第9条を読む』の3講座を,公開セミナーでは①『パソコン入門講座』,②『生涯スポーツ(ゴルフ)』,③『ホットで遊ぼう』,④『生涯スポーツ(水泳)』,⑤『少年野球教室』の5セミナーを開催した。参加者総数は918名であった。(達成度:A)
- 【経営・人事】**
- 事業計画:適正な教職員採用及び人員配置等の人事計画の検討
事業概要:多数の教職員が定年退職を迎える中で,後任の補充を必要最小限に抑えることにより,人件費を抑制する。また,特色ある科目に重点を置いて教員を配置することにより,学部の特色をアピールする。
進捗状況:各学科の教員数・年齢構成の適正化を図った人事計画に基づき,教員の採用を行った。また,教員の採用にあたり,特色ある科目を担当する教員を最大限採用した。(達成度:A)
 - 事業計画:キャリアデザイン講座の構築
事業概要:就職指導課で実施しているキャリアデザイン講座と正課授業としての講義,さらには生産実習(インターシップ)との連携を図る。
進捗状況:正課授業としての講義と生産実習(インターシップ)との連携により,キャリアデザインに対する学生の自覚を促し,人材育成が図られた。(達成度:A)
 - 事業計画:生産実習(インターシップ:必修科目)の実施
事業概要:本学部の特徴である生産工学系科目の必修科目として,生産実習(インターシップ)を継続して実施する。
進捗状況:仕事を体験的に理解することで理論と実践の相乗的な教育効果が得られ,社会人基礎力の向上が図られた。(達成度:A)

- 事業計画:就職対策講座の実施
事業概要:採用試験の多様化に対応した就職講座を実施する。
進捗状況:企業の採用スケジュールに対応した講座を具体的かつ効果的に実施することにより、学生の就職活動の支援ができた。(達成度:A)
- 事業計画:SPI 実践講座の実施
事業概要:全国で多数の企業が導入している SPI 適性検査について、模擬試験及び実践講座の他、教育効果検証作業を実施する。
進捗状況:実践講座の受講料を軽減した結果、受講者が大幅に増加し、言語・非言語系問題の解法スキルを多くの学生が修得した。(達成度:A)
- 事業計画:生産工学部就職セミナーの実施
事業概要:本学部学生の採用実績がある優良企業を、4日間で約 400 社(1 日約 100 社)招き、学生と直接面談する機会を設ける。
進捗状況:4日間で 399 社が参加し、具体的できめ細かい面談が行われた。また、就職活動を総括する講座をセミナー直前及び当日に開催した結果、セミナー参加者が大幅に増加した。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:津田沼校舎 15 号館耐震補強壁設置工事
事業概要:15 号館(部室棟)の耐震性能向上を図るため、耐震補強壁の設置工事を行う。
進捗状況:15 号館(部室棟)の耐震補強壁の設置工事を実施し、耐震性能の向上が図れた。(達成度:A)

【財政・各種基金】

- 事業計画:寄付金の募集
事業概要:新校舎建設及び教育研究に要する経常的資金を確保するため、日本大学生産工学部創設 60 周年記念事業募金を募集する。
進捗状況:平成 22 年度から寄付金の募集を継続して行っている。(達成度:A)

○生産工学研究科

【教育研究】

- 事業計画:広報活動による入学志願者増と大学院定員充足率の向上
事業概要:大学院パンフレット、ホームページの充実を図ることで、入学者の増加を図る。
進捗状況:現状の大学院パンフレットをより受験生目線に立ち、見直しを行うことで、大学院への興味を促したとともに、次年度にホームページをリニューアルすることから、より大学院に興味・関心を持ってもらうようなコンテンツ等について検討を行った。(達成度:A)
- 事業計画:シブスの充実による国際化
事業概要:ホームページ上でシブスに英語表記をすることにより、留学生の増加を図る。
進捗状況:全ての授業科目に英語科目名を併記し、可能な限り授業のねらいや講義内容も併記することでシブスを充実させた。(達成度:A)
- 事業計画:大学院担当教員の増員による教育・研究の多様化及び経常費補助金の増額獲得
事業概要:横断的分野の演習科目を設けることで大学院担当教員を増員し、教育の充実を図るとともに補助金の増額を図る。
進捗状況:生産工学系科目を中心に各学科の若手教員や、教養・基礎科学系の教員が加わったことで、専任教員に占める大学院教員の割合が増加した。その結果、教員間の連携が生まれやすい環境となり、教育・研究のこれま

で以上の多様化が進むことになった。(達成度:A)

- 事業計画:課題解決型の特別実習による高度な実践的教育・研究の推進
事業概要:博士前期課程においては研究・開発に重きを置く課題解決型の特別実習を国内・海外で実施することにより、学生の研究テーマに沿った研究の推進と高度な職業人の育成を目指す。
進捗状況:国内における実習は、9 名が企業・研究機関等でそれぞれ実施した。また、海外における実習を中国科技大学管理學院(台湾)にて 1 名が実施した。これらは大学院生の交流に向けた取り組みを推進させることとなり、大学院生の社会人教育のための基盤の構築に一定の成果を得た。(達成度:A)
- 事業計画:大学院進学説明会の実施
事業概要:在学生に大学院の高度な教育・研究を知る機会を設けるとともに、父母の大学院への関心を高めるために大学院進学説明会を実施する。
進捗状況:4 月と 9 月に父母懇談会と同日程で学生及び父母を対象に説明会を実施した。父母懇談会と同日程で実施することにより、父母に対し大学院進学に対する意識の向上を図った。(達成度:A)
- 事業計画:グローバル化の実現に向けた国際交流の推進
事業概要:本学部の提携校である中国科技大学(台湾)へ大学院生を派遣して交流を図り、国際感覚を養うことを目指すと共に、派遣実績の無い慶尚大学校(韓国)や全南大学校(韓国)への大学院生の派遣を目指す。
進捗状況:中国科技大学(台湾)との覚書に基づき、同大管理學院において 1 名の大学院生(博士前期課程 1 年)がインターシップを実施した。(達成度:B)
- 事業計画:生産工学特別演習及び生産工学特別実習の実施
事業概要:特別演習では、専攻を跨いだ大学院生で構成されたチームで、設定された課題を解決する過程を通し、役割と責任を持って業務を遂行する自立性を養うことを目指す。また、特別実習では、国内外を含めた企業や研究所、大学等でインターシップを行う。
進捗状況:3 年目となる本年度は 1 年目、2 年目の検証・評価を行い、更なる改善を図ることで、さらに踏み込んで継続した研究を行うことができた。(達成度:A)

○生産工学研究所

【教育研究】

- 事業計画:研究基盤の強化
事業概要:学部の核となる研究拠点形成を目指した研究グループの指定・支援、研究活性化のための研究所共用研究機器の新規導入・既存機器の点検・修繕と利用管理システム構築、及び若手研究者のステップアップを支援する研究費の交付。
進捗状況:リサーチセンター 1 件、リサーチグループ 3 件等計 7 件を指定し、環境整備等支援を開始した。研究所共用研究機器として三次元人体動作計測・筋骨格モデル動作解析システムを新規導入した。若手研究者支援では 10 名に研究費上限 50 万円を交付した。(達成度:A)
- 事業計画:科学研究費補助金受領者に対する特別研究費交付
事業概要:科学研究費補助金受領者へ、当該年度補助金額(直接経費)の 30%の額を研究費として交付する。研究者にインセンティブを与え、外部資金獲得へのモチベーション向上を図る。
進捗状況:平成 27 年度科学研究費補助金受領者に対する「文部科学省科学研究費補助金受領者に対する研究

- 費」を延べ50名に交付した。(達成度:A)
- 事業計画:生産工学研究所の研究成果に関する報告書刊行
事業概要:研究所員の研究成果を「所報」として、研究所員を含む生産工学部教職員の成果を「研究報告A(理系)」、「研究報告B(文系)」として刊行し、研究活動を広く社会にアピールする。
進捗状況:所報を3月に、研究報告Aを6月、12月に、研究報告Bを6月に刊行し、国内外の研究機関に送付した。(達成度:A)
- 事業計画:生産工学部学術講演会の開催
事業概要:専任教員の日頃の研究成果を公表する場を設けることにより、教育研究の向上発展を図るとともに、企業や学外研究機関等共同研究者との交流活性化と新たな外部資金導入を図る。
進捗状況:12月に津田沼校舎で開催。生産工学部専任教員・大学院学生、学外研究機関所属者等により、分野別で360余件の研究発表が行われた。(達成度:A)
- 事業計画:学協会賞等受賞研究者への生産工学部学術賞及び学術賞(奨励賞)の授与
事業概要:生産工学部の専任教員が学術的業績等によって学協会賞等を受賞し、生産工学部の研究部門における社会的名誉を著しく高めた場合に、選考により生産工学部学術賞を授与する。
進捗状況:学会賞等を受賞した専任教員7名に生産工学部学術賞を授与した。(達成度:A)
- 事業計画:情報関係施設(研究センター入出力室)を利用した研究の実施
事業概要:研究センター入出力室設置の研究機器等を利用した研究を行う。既存の研究機器の更なる活用により、生産工学部の研究活動の一層の活性化を図る。
進捗状況:生産工学研究所研究センター入出力室に設置の画

- 像処理関係機器を研究者の用に供した。(達成度:A)
- 事業計画:自動車工学リサーチセンターによる自動車工学研究の推進
事業概要:生産工学研究所に自動車工学リサーチセンターを設置し、本学部の特徴ある研究を推進することにより、研究活動の一層の活性化を図る。
進捗状況:各学科の教員・学生・学外の研究者により共同で各施設を利用し、6件の委託・共同研究を受けたほか、産学連携フォーラム、研究成果報告会、5周年記念シンポジウム等を開催した。(達成度:A)
- 事業計画:委託・共同研究の受入れ
事業概要:企業や官公庁からの委託・共同研究を受け入れることにより、研究活性化、研究基盤の維持強化及び人的、知的、物的(研究施設、装置・設備等)資産の社会還元を図る。
進捗状況:平成27年度の委託・共同研究の受入れ状況は、受入件数約50件(契約額約9千万円)であった。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:研究・技術交流センターによる産官との研究・技術交流
事業概要:産官との連携により研究・技術交流を推進し、生産工学部の人的、知的、物的(研究施設、装置・設備等)資産の社会還元を行うと共に、地域社会発展に貢献する。
進捗状況:千葉県等主催の企業交流会での講演・技術相談、広報誌「CERT REPORT」の刊行(8月)、並びに「千葉エリア産学官連携オープンフォーラム2015」の開催(9月)、外部関連フォーラムへの出展・参加等を通じ、地元企業等との連携を図った。また、習志野商工会議所との連携協力協定を締結(3月)した。(達成度:A)

工学部・工学研究科

○工学部

【教育研究】

- 事業計画:学習・学生生活の支援
事業概要:学費等の特別減免措置を実施し、学生が経済的に安心して学べる環境を確保する。
進捗状況:「東日本大震災被災学生及び生徒に対する特別措置に関する規程」に基づき、平成27年度においても住居被害及び原発事故の被災者に学費減免措置を実施した。対象者数、工学部275名、工学研究科16名、計291名。(達成度:A)
- 事業計画:学生生活環境の安全・安心の確保
事業概要:工学部キャンパス内の放射線量をより一層低減化させるシステムを構築する。また、内部被曝を防止するために、学内上水道及び学生食堂で提供する商品中の放射性物質濃度を測定し公表する。更に、大学-学生間の連絡・通信網を整備する。これらにより、学生及び学費支弁者が安心できる環境を保証する。
進捗状況:学内上水道及び学生食堂で提供する商品中の放射性物質濃度を測定しホームページ上で公開している。また、測定結果は検出限界値内で問題なしである。
大規模災害に備え必要な物資(非常食、飲料水、ブランケット等)の備蓄を計画的に進めており、今年度は賞味期限を迎える物資の入替えを行った。

- Eメールによる安否確認連絡が可能ないように、専用のメールアドレスを設けている。また書面による安否報告の仕方についても記入例を防災マニュアルに記載し、周知した。(達成度:A)
- 事業計画:21世紀の社会が必要とする分野を担う学科設立の検討
事業概要:工学の発展を支え、社会の要請に応えられる、新学科を含む学科の再編及び学科定員の見直しを行う。
進捗状況:VISION2020検討委員会の平成24年6月30日付け答申に基づき、平成27年11月19日付けで、「設置、名称変更及び収容定員変更等の計画」について、大学本部に対して回答を行った。(達成度:A)
- 事業計画:人材の養成(A)-設置科目等の検討
事業概要:人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的及びDPを達成するために必要な、設置科目の種類、科目数及び科目配置を検討する。
①平成25年度カリキュラムの検証及び平成29年度カリキュラムの策定②ブレスメントの実施③日本大学共通初年次教育の実施検討
進捗状況:①平成25年度カリキュラムの検証を行い、学長の「教学に関する基本方針」に基づき授業科目の削減並びに再履修科目の設置等による退学者や留年者を抑止する体制を平成29年度カリキュラムで実施できるよう検討を行い、平成28年度にカリキュラムの改訂を行う予定である。
②平成27年4月3日(金)に学部新入生全員を対象として4教科5科目を実施した。

- ③平成29年度から正規科目としての実施に向け、ガイドラインに沿って、本年度より試行的に実施した結果を基に検証を行い、平成29年度カリキュラムで実施する。(達成度:B)
- 事業計画:人材の養成(B)-資格取得科目の強化
事業概要:資格取得のための科目群について、資格の検討、科目数及び科目配置を検討する。
①臨床工学技士課程の実施及び運営②FE試験対策講座の実施
進捗状況:①平成25年度に学則を設置し、平成26年度から授業を開始。平成27年度は、2年次生40名、3年次生35名、計75名が履修。また、3年次生に対して、国家試験を想定した模擬試験を実施した。②試験対策のための課外講座を開講。平成27年度はFE試験に1名が合格した。(達成度:A)
- 事業計画:人材の養成(C)-教育システムの構築
事業概要:多様な学生に対して、基礎学力の充実、モチベーションの向上、専門分野の学力の充実を図る教育システムを構築する。
①リメディアル教育の充実により学力の底上げを図る。②入学準備学習の学習内容を再検討し、入学後の大学教育との連動を図る。③海外語学研修における単位認定の検討④英単語コンテストの実施⑤JABEEの継続(土木工学科)⑥チューター制度の新設(大学院)
進捗状況:①プレースメントテストの成績不振学生に対して、前・後学期において、自然科学系の基礎科目(数学305名・物理256名・化学398名)及び英語275名についてリメディアル教育及び学修指導を行う。②各学科において入学準備学習内容を専門科目学修の基礎科目を中心として検討を行い、数学・物理・英語・化学・生物について推薦入試による入学予定者及び受講希望入学予定者に対して実施した。③単位認定の可能性を確認するため、英語担当教員が同行し、検討中である。④平成27年9月14日(月)に1年次生を対象に実施し、132名が参加し優秀者26名に対して平成27年10月22日(木)に学部長より賞状と記念品の授与を行った。⑤土木工学科において、JABEEを継続し、教育システムの改善を図っている。(6)20名のチューターを採用し、学部学生に対する学修支援を行った。(達成度:B)
- 事業計画:高大連携の推進
事業概要:付属高校及び連携高校等との連携を深め、高校と大学とが良好に接続された教育システムを構築する。
①オープン講座の実施②連携講座の実施
進捗状況:①日本大学東北高校生徒を対象として、7講座を実施し延べ830名が受講した。②県内の連携高校12校を対象として、8講座を実施し延べ489名が受講した。(達成度:A)
- 事業計画:工学部独自の奨学金制度の整備・拡充
事業概要:工学部独自の奨学金(工学部奨学金、工学部父母会・校友会奨学金)の見直し・整備・拡充を図り、学生が安心して学べる環境を確保する。
進捗状況:次年度に向けて、経済的理由により学費の支弁が困難である者に対して救済措置の拡充及び給付事業の改善に取り組んでいる。具体的には貸与条件の拡充、給付者数の増員等である。(達成度:B)
- 事業計画:学生支援の推進
事業概要:多様な学生に対して、社会人として必要な能力を備えさせるために、学生と教員の接点が多くなるような学生支援システムを構築する。
進捗状況:サークル統括組織が集まり、体育祭やサークル勧誘など、今まで学生課が運営してきた行事を、学生が主となり、教職員とが共同で行えるようなシステムを構築した。(達成度:A)
- 事業計画:グローバルなエンジニアの育成
事業概要:グローバルな視野に立つエンジニアを育成するために、海外研修を充実する。
進捗状況:第45回ヨーロッパ研修旅行を平成28年2月20日~3月4日の14日間にて実施した。
第2回海外語学研修(英語)プログラムをオーストラリアにて平成27年8月22日~9月6日の16日間実施した。さらに、英語教育に実績のある神田外語大学と協定を結び、大学院の講義及び学部生に対する英会話教室を平成28年度より実施する。(達成度:A)
- 事業計画:学生生活に係る諸施設・キャンパスの充実
事業概要:学生生活に係る諸施設(厚生施設や学生寮など)の活用・運用やキャンパス内のあり方を検討し、学生が有意義に活動できる環境を提供する。
進捗状況:弁当販売会社を1社増やし、食事の選択の幅を広げた。また、学生寮も3月に竣工し、定員を大きく上回る入寮希望者がおり、平成28年4月から運用を開始する予定である。(達成度:A)
- 事業計画:課外講座の充実
事業概要:就職がイタンス、キャリア研究講座、資格取得・公務員試験対策のための課外講座の充実及び受講者数の増加を図る。
進捗状況:就職がイタンスは3年生を対象に5月から翌年2月まで年10回、体系的内容で実施し、延べ4,184名(前年3,347名:837名増加)が受講した。キャリア研究講座は1・2年を対象に全4回開講し、延べ693名(前年695名:2名減)が受講した。資格取得講座についてはSPI試験、自己分析テストなど全9種を14回開講し、延べ2,237名(前年1,698名:539名増)が受講した。公務員試験対策としては全8種の対策講座を開講し、延べ687名(前年530名:157名増)が受講した。概ね前年より受講者数が増加している。(達成度:A)
- 事業計画:職業適性の把握
事業概要:インターシップの利用などによる自己の職業適性の把握の推進を図る。
進捗状況:インターシップとは何か、仕事とは何か、実際の体験を通じた企業理解と社会人基礎力の獲得などについて参加前にがイタンスを通し、インターシップの有用性を周知しており、学生自ら積極的に受入企業を探してくる傾向にある。(達成度:A)
- 事業計画:多分野への就職を可能にする教育
事業概要:多様な分野への就職を可能にする教育を実施する。
進捗状況:専門分野の試験対策および各種資格取得講座として学科独自による課外講座を設置しており、当該講座への受講を推奨した。また、教員志望学生のために教職講座を開講し、4教科で延べ47名が受講した。さらに現職教員による講義の実施により、より実践的な教職への理解が得られた。(達成度:A)
- 事業計画:工学部校友会連携による就職支援システムの構築
事業概要:工学部校友会との連携による就職支援システムを構築する。
進捗状況:工学部校友会各支部の有する求人情報を学生へ提供を行うために現在、工学部校友会と連携を進めている。またこれに合わせ、工学部の求人情報システム(CSNav)に工学部校友会からの求人検索機能を追加するよう求人情報システムの再構築を平成28年度中に実施予定である。(達成度:B)
- 事業計画:FDの活用

事業概要:FD(教育改善)の活性化を図る組織の検討と授業評価の活用を図る。

進捗状況:活性化を図る教員の裾野を広げ、さらに、授業評価活用の参考とするため、教職員を研修会に派遣した。また、教職課程において、教育システムの充実を検討するためのワーキング・グループを設置し、外部委員を交え検討を行い、平成28年度から1年後期より履修可能とし、科目履修系統図に則し、科目を学年配置するとともに各科目のルーブリックをシラバスに明記し、学生に対し各科目の学修目標を明確にすることにより、学修効果が上がるよう変更し授業を展開することとした。(達成度:B)

○事業計画:図書館設備の充実

事業概要:図書館設備を充実させ、利用環境の更なる改善を図る。

進捗状況:書架及び館内掲示を改善し、利用環境の更なる改善を図った。(達成度:A)

○事業計画:資料の充実

事業概要:利用者のニーズに適した資料の充実を図る。

進捗状況:電子資料導入に関する打合せ等において、費用対効果を考慮しつつ、利用者ニーズに適した資料の見直しを図った。(達成度:A)

○事業計画:校史資料室活動の充実

事業概要:関係部署並びに学部校友会・父母会とも連携し、校史資料室活動の充実を図る。

進捗状況:通年での見学対応のほか、平成27年10月25日に開催した「母校を訪ねる会」に合わせて一般開放し、延べ109名が来場した。(達成度:A)

○事業計画:研究成果の結実

事業概要:2つの研究センターを中心とした研究活動、インキュベーションセンター等による地方公共団体・地域産業界との産学官連携によって、応用研究・実用化研究において実績をあげるとともに研究成果の社会への還元を図る。

進捗状況:企業との共同研究を積極推進するとともに、地域機関との共催による技術者養成講座の開講や大学本部知財課との連携により、ものづくり系の新事業創出を支援している。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:復旧・復興活動支援

事業概要:ふるさと創生支援センターを中心に福島県の復旧・復興に寄与する活動を行う。

進捗状況:郡山市や葛尾村等の地域の市町村と共同で再生可能エネルギー等の研究開発を積極的に推進するとともに、ふるさと創生支援センタープロジェクトについては募集も含め、震災後5年を経て新しい展開方法を検討中である。(達成度:B)

○事業計画:地域貢献

事業概要:地域社会の活性化と地域文化の向上に資するため、各種教育・文化行事を開催する。

進捗状況:(1)桜の一般開放:桜の開花時期に合わせキャンパスの一般開放を行い、期間中の日曜日には、花見団子の無料配布を行った。来場者は延べ5,613名であった。

(2)教養講座の実施:「感謝」を総合テーマとして、4名の講師を招き、全4回の日程で開催した。聴講者は延べ4,028名であり、そのうち市民の聴講者は延べ286名であった。

(3)小・中学生の学校訪問受入れ:生徒が体験や見学を通して、工学に対する理解や関心が深まることを目的として実施し、計20校612名の生徒を受入れた。(達成度:A)

○事業計画:省エネルギー化の促進

事業概要:各研究・教育施設の運用における省エネルギー化を促進する。

進捗状況:事務各課におけるノ残業の実施、夏季軽装励行、照明の間引き、長期休業中の70号館の利用制限やエレベータ運転停止等の節電対策に取り組んだ。(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画:広報活動の充実・拡大

事業概要:原発事故の風評被害を払拭するとともに、18歳人口及び工学部入学者の減少に備え、本学部の特色や取り組みをアピールし、本学部の認知度を高めるため、積極的な広報活動を展開する。

進捗状況:多くの人が視聴する情報番組内でCMを放映するとともに、県外者が多く利用する場所へ広告を掲出し、全国的な本学部の認知度向上を図った。(達成度:A)

○事業計画:入試広報の充実

事業概要:オープンキャンパス等の入試広報活動を充実させるとともに、大学広報活動と連動させ、本学部のイメージアップと志願者数・入学者数の確保に努める。

進捗状況:インターネット、雑誌及びパブリック等の媒体による入試広報を始め、オープンキャンパス・高校・全国各地での進学相談会の実施回数や内容の見直しを行い、今年度実施した。さらに、高校訪問においては、これまでの訪問先に加え、新たに石川県及び富山県の高校を訪問し、志願者数・入学者数の確保に努めた。(達成度:B)

○事業計画:中長期入試戦略の構築

事業概要:社会情勢を勘案した上で、入学者数確保のための充実した中長期入試戦略を構築する。

進捗状況:中長期入試戦略については、東日本大震災以降、現状の入試制度を維持し、安定した入学定員確保を最優先しており、中長期入試戦略の検討及び構築には至っていないが、入学定員管理の厳格化が通達等により求められており、推薦入試日程及び一般入学試験における試験科目の見直しを行い、平成29年度入試から実施する。(達成度:B)

○事業計画:教員組織の適正化

事業概要:新教員制度検証結果、改正労働契約法に係る問題、大学設置基準の充足状況、郡山キャンパスの新展開案を踏まえた教員組織を構築する。

進捗状況:VISION2020の答申を基に、引き続き施策を具現化するための資料収集、調査を行った。また、新たに策定された「教学に関する全学的な基本方針」を踏まえ、学部運営の視点により教員配置計画の検討を行い、諸会議で方針・内容について報告を行った。(達成度:B)

【施設設備】

○事業計画:施設の安全性確保

事業概要:工学部発展期に建設された施設群の老朽化、耐震性等に対する安全性確保を早急に行うとともに、教育研究及び学生の修学環境の改善を図るため、インフラ整備を含め、老朽化した構内設備の更新を進める。

進捗状況:建物の耐震補強工事は、耐震診断結果を基に順次実施している。老朽化対策として、今年度は本館空調改修工事及び9号館トイレ改修工事等を実施した。(達成度:B)

○事業計画:未利用地の検討

事業概要:未利用地・遊休地の有効活用及び処分等を含めて検討する。

進捗状況:研修会館の有効活用については関係する部署とも協議し、検討を行っている。用地買収代替地の飛び地については売却処分するべく、売却先探しを継続している。(達成度:C)

【財政・各種基金】

- 事業計画:東京電力(株)に対する賠償額の請求
事業概要:除染費用及び風評により受けた損害等について東京電力(株)に平成26年9月～平成27年8月分の賠償請求を申請する。
進捗状況:ADRへ申し立てていた工学部の賠償請求については平成26年度に和解が成立し、大学本部へ賠償金が支払われた。工学部へは学費の特別措置に対する他学部からの財源援助額等を控除した額が、平成28年1月29日に送金された。(達成度:A)
- 事業計画:本部の総合運用制度の積極的活用
事業概要:早期に財政基盤の再構築を図るべく、1年以上使用しない凍結資金については、本部の総合運用制度(0.4%)を積極的に活用する。
進捗状況:財政基盤再構築を目標に掲げ、本部の特定目的引当特定資産に4億円を9月末に繰入れすることができた。(達成度:A)
- 事業計画:財政基盤の強化
事業概要:財政基盤の強化を図る。
①資金収支上の単年度黒字化を図り、5年後の引当資産プラス20億円を達成する。
②事業活動収支上、5年後の消費支出比率95%を達成する。
進捗状況:①決算見込みにおいては、資金収支上約1億4,800万円の収入超過であり、4億円を9月末に総合運用資金として繰入れた(平成26年度から累計7億円)。

- ②消費支出比率は予算ベースで99.77%であったが、決算見込みでは99.99%となっている。(達成度:B)
- 事業計画:外部研究資金の積極的獲得
事業概要:大学評価につながる経常費補助金、科学研究費補助金、企業等との共同研究、受託研究等の外部研究資金を積極的に獲得する。また、文部科学省等の大型研究プロジェクトの獲得を目指す。
進捗状況:科学研究費助成事業は新規採択者14件を含め52件の採択件数を数え、昨年並みの研究プロジェクトが進められている。また、共同研究、受託研究は58件の受入れがあった。(達成度:A)

○工学研究科

【教育研究】

- 事業計画:博士前期・後期課程における収容定員の充足
事業概要:大学院工学研究科博士前・後期課程が恒常的な定員割れをしている現状から、収容定員に対する充足率の向上のための入学試験制度、教授方法の改善を図る。
進捗状況:充足率向上のため、平成28年度学部内選考試験出願基準の見直しを行った。また、大学院における英語教育充実のため、平成28年度カリキュラムの改訂を実施した。このことにより、教授方法の改善が図れる見込みである。(達成度:B)

医学部・医学研究科・医学部附属看護専門学校

○医学部

【教育研究】

- 事業計画:東日本大震災に伴う特別措置
事業概要:被災し、経済的に修学が困難になった学生に対し、学費の減免を行う。
進捗状況:被災した学生2名に対し、被災状況に応じて、学費のうち半額の減免を行う。(達成度:A)
- 事業計画:医学部特定医療奨学金など奨学金等制度の整備
事業概要:有為な人材の育成、確保を通して、医療の質の向上を図り、また付属病院の医師不足解消を図る。
進捗状況:奨学金貸与者のうち2名が、大学院(産婦人科専門医取得プログラム)の履修を修了し、1名が大学院(同プログラム)を履修中である。(達成度:A)
- 事業計画:医学教育の国際標準化に向けた取組み
事業概要:世界医学教育連盟の提唱する国際基準に準拠した教育カリキュラムを平成27年度入学者から適用する。また、平成35年までに国際認証評価を受審する。①「医師」という世界共通の専門職を育成する。②医学教育の質保証を継続的、かつ自律的に行うための自己点検・評価の体制を確立する。
進捗状況:今年度から新カリキュラムに移行し、特に大きな支障もなく実施初年度を終えた。学務委員会内では、平成28年度以降の新カリキュラムに係る実習用機器等の選定を行い、教育資源の確保に努めた。また、認証評価受審に向けた準備として、これまでのカリキュラムの自己点検・評価のため、臨床医学教育の中核を占める3・4年次PBLテュートリアルに関するアンケートを卒業生・在学生を対象に実施した。(達成度:A)
- 事業計画:臨床実習の充実
事業概要:臨床実習の更なる充実を図る。6年次選択臨

- 床実習については、学外関連医療機関との連携を強化する。新カリキュラムにおける実習時間の拡大(平成31年から4年次において12週増加)に向けて、実習内容及び指導体制の整備を進める。
進捗状況:新カリキュラムの4年次初期BSLから6年次選択臨床実習までの教育指導の一貫性を担保することを念頭に置いて、既存の小委員会構成の見直しを図り、平成28年度からの小委員会の構成について検討を重ねた。(達成度:A)
- 事業計画:医学英語教育の充実
事業概要:英語を実践的に使える医師を養成するため、1年次から6年次までの一貫した医学英語教育の充実を更に進める。
進捗状況:海外の大学教員を招聘し、特別講義を実施したほか、外国人模擬患者の協力の下、医療面接を実施し、診療作法や語句の使い方等実際の臨床現場で使用するための英語に重点を置いた実践的な授業を展開した。(達成度:A)
- 事業計画:横断型医学専門教育プログラムの充実
事業概要:平成20年度に開設した、大学院教育と並行して専門医資格取得に必要な指導を行う横断型医学専門教育プログラムの推奨及びコース内容の充実を図る。
進捗状況:平成26年度に発足した日本専門医機構が本格的に稼働し始めたことにより、新専門医制度が少しずつ明らかになってきたことから、今後の動向を注視し、必要があればプログラムや制度の見直しも含めて検討していく必要が出てきた。(達成度:B)
- 事業計画:大学院指導教員の充実
事業概要:大学院担当教員の増員を図り、大学院教育の充実を図る。
進捗状況:研究指導補助教員を増員したことにより、よ

り専門的な研究指導を行うことが可能となった一方で、豊富な人材を有効に活用するため、学系分野横断的な指導体制を構築している。(達成度:A)

- 事業計画:外部資金・公的研究資金の獲得を意識した研究活動

事業概要:新たな研究資金の獲得につなげるため、外部資金・公的資金の獲得を目指した研究プロジェクトを遂行する。

進捗状況:新たな外部資金や継続的な公的資金の獲得につながる研究プロジェクトを遂行した結果、公的資金の規模の増大につながった。(達成度:A)

- 事業計画:戦略的研究基盤形成支援事業の遂行による先端的研究の実践

事業概要:最先端の研究のための基盤的整備とその実施により、新たな研究拠点を形成する。

進捗状況:戦略的研究基盤形成支援事業として継続の3課題に加え、昨年に引き続き1課題の新規プロジェクトから選定されことにより、更なる研究拠点の基盤が整備された。(達成度:A)

- 事業計画:医学部高度化推進事業による大型プロジェクト研究への支援

事業概要:医学部の研究高度化を図るため、大型プロジェクト研究を支援することで、大型公的資金の獲得を目指す。

進捗状況:医学部高度化推進事業による大型プロジェクト研究として支援した研究プロジェクトが戦略的研究基盤形成支援事業に新規で選定された。(達成度:A)

- 事業計画:大学の総合性を活かした研究プロジェクトへの参画

事業概要:研究テーマの設定によっては、学際的研究の導出及び研究活動の新たな創成が期待されるため、そのスケールメリットを活かす。

進捗状況:学術研究助成金の採択に加えて学長特別研究が新規採択されたことにより、学部間連携に基づく学際的研究を遂行することができた。(達成度:A)

- 事業計画:外国人研究員の受入れによる国際的研究交流の推進

事業概要:人的な交流に基づき、国内外の知識・技術を互いに供与し合うことで、インタラクティブな国際的研究の推進につなげる。

進捗状況:本学研究員制度等の活用による外国人研究者の受入れに加え、JSPS 外国人特別研究員の新規採択があり、国際的研究交流を持続的に推進することができた。(達成度:A)

- 事業計画:研究倫理教育における e-Learning の導入及び推進

事業概要:研究倫理教育において e-Learning を用いることで、効率的で実効性のある倫理教育につながり、研究者として求められる倫理観等が醸成される。

進捗状況:大学本部が中心となって研究倫理教育の e-Learning が導入されたことにより、大学として組織的な体制整備の中で e-Learning が推進された。(達成度:A)

- 事業計画:研究活動の更なる活性化に向けた医学研究支援部門における利用環境の充実

事業概要:研究ニーズを考慮した共用機器及び利用案内等を検討することにより、利用環境の充実と学内共同利用への対応を目指す。

進捗状況:新たな研究基盤形成に基づいて共用機器等を整備したことで、共同利用研究施設としての利用環境を向上させることができた。(達成度:A)

- 事業計画:研究所紀要を通じた研究成果の持続的公開に

関する検討

事業概要:研究所紀要の内容を継続的に検討し、研究所での成果を広く社会に公開することで、大学の社会的説明に寄与する。

進捗状況:研究所紀要及び研究所で実施している研究プロジェクト概要等を継続的にホームページで掲載することで、研究活動内容を継続的に情報発信した。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:学生サークル活動の一環として保育園・幼稚園での保健教育活動を実施

事業概要:保育園や幼稚園で保健教育の普及を図る

進捗状況:近隣の学童保育所、小児病棟、学園祭の企画において、子供達に医療に対する親しみと健康に対する意識を育み、また保護者に対して、食育や小児保健教育の普及にも努めた。(達成度:A)

- 事業計画:徳澤診療所における奉仕活動

事業概要:診療所において登山者の傷病対応の補助をボランティアとして参加する。進捗状況:7月20日から8月15日にかけて、長野県にある徳澤診療所を開設し登山者の傷病対応の補助を行った。(達成度:A)

- 事業計画:学園祭企画で、来場者への健康チェック及び救命処置の体験

事業概要:来場した近隣住民等に対し、各種検査を実施し、健康に対する意識の向上を図る。また、心臓マッサージやAEDの操作体験を通して救命処置の普及を図った。

進捗状況:翠心祭企画(1日総合病院)で、来場者に血圧、骨密度、肺機能、脈波、血管年齢等の検査を実施。また、BLS(AEDの操作等)体験ブースを設け救命処置の普及に努めた。(達成度:A)

- 事業計画:NUBIC との更なる連携による技術移転の促進
- 事業概要:技術移転等における研究ニーズと社会ニーズとのマッチングの促進により、その応用・実用化を通じて社会貢献を目指す。

進捗状況:公的資金によるプロジェクトの遂行に基づき、NUBIC との継続的な連携により、将来的な応用・実用化に向けてインタラクティブに検討している。(達成度:B)

- 事業計画:寄附講座及び共同研究・受託研究の推進による産学官連携の活性化

事業概要:産学官連携の活性化は、すなわち、大学としての社会貢献の増大をもたらすことから、寄附講座による研究及び共同研究・受託研究を推進する。

進捗状況:多様化する産学官連携の形態を見据えて、共同研究・受託研究の受入れに加え、新規で寄附講座を設置したことで、産学官連携が更に活性化された。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:志願者増を図るための事業計画

事業概要:学部主催のオープンキャンパスの更なる充実及び大学主催の進学相談会や日本私立医科大学協会主催の進学相談会への積極的な参加。

進捗状況:オープンキャンパスの実施、各種進学相談会への参加を通じ、受験生への直接的なアピールが奏功し、平成28年度入学試験志願者数も4,500名を超える結果となった。(達成度:A)

- 事業計画:入試制度の見直し

事業概要:平成28年度の一般入試N方式導入を実施する。一般入試II期についても実施の検討を行う。受験生に対し、複数の受験機会を提供する。入学者選抜方法の多様化により、受験者数の増加に繋げる。

進捗状況:平成28年度一般入試(N方式)を実施し、156名の志願者を集め、3名の合格を出した。(達成度:A)

○事業計画:人件費削減の取組み

事業概要:現状の業務対応と教職員数を検証し、適正数を定め、業務の合理化及び人事政策を進める。教職員数の適正数を定め、人件費の削減及び抑制に努める。
進捗状況:臨床に従事する教員は、各診療科の売り上げにより、人員配置することを決め、適正な人数となるように毎年見直していくこととなった。さらに関連病院への出向が推進され、徐々に人件費削減がなされている。職員に関しても、退職者への補充は臨時職員にシフトし、削減及び抑制を行っている。(達成度:B)

【施設設備】

○事業計画: 医学部各棟空調機器設備の整備改修及び更新

事業概要:老朽化した医学部各棟の空調機器設備に対し整備改修及び更新を実施し、教育研究活動を良好に維持する。進捗状況:夏季に基礎教育棟の空冷ファン設備を交換、冬季に実験医学研究棟の空調設備を改修した。その他各室(23 件)の空調機を更新及び機能維持のための作業を行った。効率性を考慮し、順次更新・機能維持を行う。(達成度:B)

【財政・各種基金】

○事業計画: 寄付金の積極的募集

事業概要:日本大学創立 130 周年記念事業募金を新入生のみならず、在学生・同窓生等にも呼びかけ、積極的に推進する。募集範囲の拡大により、より多くの収入が見込める。
進捗状況:2 月末日現在で新入生父母より約 2 億 1,700 万円、在学生父母より約 1,100 万円、同窓会員より約 5,800 万円の寄付があり、予算目標額の約 78%に達した。(達成度:B)

○医学部附属看護専門学校

【教育研究】

カリキュラムの評価結果に基づいた改善・充実を図り看護の実践者を育成する教育環境の整備強化を行う。

○事業計画:基礎学力向上の取組み

事業概要:学年目標・学習目標を設定し 1 年次から学習方法のガイダンス、成績低迷者への個別支援、補習講義などを行う。
進捗状況:学年・学習目標達成に向けた「指導内容及び計画」を策定し、成績低迷者へ学習支援及び補習講義を行い効果的な学習となっている。また、その到達度の検証も進めた。(達成度:A)

○事業計画:授業改善計画に基づく対応

事業概要:学生のニーズを踏まえた授業内容や指導方法への改善を図る。
進捗状況:授業評価に基づき「授業改善計画」を作成し、教員間で共有した。引き続き充実した授業に向け継続していく。(達成度:B)

○事業計画:東京都補助金の獲得による実習機材の充実

事業概要:補助金や助成金で臨地実習に必要な看護技術の習得及び向上のための学習用器材を整備する。
進捗状況:情報科学用 PC(54 台)、DVD ソフト(5 式)、VHS/DVD レコーダ(1 台)、入浴・介助練習用モデル人形(1 体)、電子血圧計(3 台)、小児プレパレーション(1 体)を公益財団法人東京都私学財団助成金で整備し、日々の教育で使用している。(達成度:A)

○事業計画:卒業時の看護技術到達度の経年評価

事業概要:卒業時の看護技術到達度を評価し、教育内容・指導方法の改善を図る。
進捗状況:「実習では経験できない技術」また「臨床では実践していない技術」の存在を明らかにし、効果的な技術習得につながっている。技術教育内容の検証のため、継続していく。(達成度:B)

○事業計画:FD への取り組み

事業概要:平成 26 年度から看護教員の継続教育に関する委員会を設置した。
また、専任教員個々の目標設定を行い、研修等に積極的に参加させる。
進捗状況:看護教員のラダーが策定され、次年度から運用する。平成 28 年度東京慈恵会教務主任養成講習会へ本校から専任教員が 1 名参加することが決定している。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:本校外の日本大学の部科校等での講義(1) 付属病院臨床指導者勉強会(2) 日本大学通信教育部

事業概要:付属病院及び通信教育部において看護や看護教育について講義を行う。

進捗状況:定期的に臨床指導者への勉強会に教員を講師として派遣し、本校の教育方針・目標を理解が高まり充実した実習指導を可能としている。(達成度:A)

○事業計画:東京都看護教員養成研修事業(講義・看護教育実習生受け入れ)

事業概要:将来看護教員となる研修生への講義・指導を行う。
進捗状況:看護教員志望者への講義・指導を通じて看護とその教育の意義を発信した。また、教育実習生の受け入れにより本校指導教員の専門領域の再確認の機会となっている。(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画:入学試験の志願者増を図る①3 期に分けた入学試験の実施②付属高校進学相談会のみならず日本大学短期大学部及び文系学部へ広報③臨床と連携した学校説明会

事業概要:①3 期に分けた入学試験の実施し、志願者の増加を図る。②高校・業者主催の学校説明会に積極的に参加する。③実習施設との連携・充実という本校の強みに特化した内容の学校説明会を開催する。また、大学卒や社会人の志願者が相談しやすい場を設定する等で他校との差別化を図る。

進捗状況:付属・一般高校への出前講義や学校見学者への説明及び病院職員協力の学校説明会を行い実習施設との連携の良さを強く発信した。入学志願者は、前年度より若干ではあるが増加した。(達成度:B)

○事業計画:入学試験制度の見直し

事業概要:推薦入学試験及び一般入学試験(I 期及び II 期)の選考方法の見直しを行う。
進捗状況:平成 29 年度入学試験から高校生及び社会人等が受験しやすい科目設定とするため、選考方法を見直し、適性検査を廃止・学科試験を選択科目制とした。(達成度:A)

歯学部・歯学研究科・歯学部附属歯科技工専門学校・歯学部附属歯科衛生専門学校

○歯学部

【教育研究】

○事業計画:カリキュラムの改定

事業概要:近年の歯科を取り巻く社会情勢に鑑み、卒業時に歯科医師として十分な知識及び技術を有する学生を育成するために各学年に歯科学統合演習を配置する。進捗状況:改定により、学生の当該学年における学修到達度を測ることができ、本学部の教育目的及び教育目標に掲げる歯科医師の育成に効果が出ている。(達成度:A)

○事業計画:全学共通の初年次教育の導入

事業概要:大学入学前の受動的な学習から大学における能動的な学修への転換を図り、主体的な学びの体験を通じて大学で学ぶための基本的な学修スキルを修得させる。進捗状況:平成25年度から教学戦略委員会が示すシラバス案に即した内容に変更して試験的に実施した。平成26年度から松戸歯学部との学生交流も行い、実質的な運用が開始され、平成27年度からは、学則改正に伴い、新カリキュラムとして実施した。(達成度:A)

○事業計画:教学推進センターの設置(歯学部)

事業概要:教育に関わるさまざまな課題に取り組む教育の内部質保証システムとして、今後の歯学教育の認証評価においてPDCAサイクルのもとで教学運営を検証・改善するための学部長直轄の機関として設置する。進捗状況:歯学教育の分野別認証評価の審査に向けて、改善すべき課題について抽出するなど準備を進めている。(達成度:B)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:公開講座の充実

事業概要:地域住民等を対象とし歯科医療分野で生活に密着した関心の高いテーマを選定し実施する。進捗状況:講演テーマ及び参加者数は「口の中にもがんができるの?—早期発見のセルフチェック法について—(平成27年6月実施,参加人数104名)」「若さと健康を保つために知っておきたい歯周病の知識—予防から治療法まで—(平成27年10月実施,参加人数134名)で、聴講した参加者から好評を得た。(達成度:A)

○事業計画:生涯学習講演会の充実

事業概要:医療従事者を対象とし卒業後における継続的な学習機会を提供。進捗状況:講演会は「口腔顔面の痛みを解明 ①原因不明の痛み②痛みの発症メカニズム」(平成27年9月実施,参加人数45名)、「遠隔画像診断ってなんだろう? ①パノラマから学ぶ歯科用CT画像診断—今日から役立つ臨床診断—②遠隔画像診断—ヒスについて」(平成28年2月実施,参加人数37名)を実施した。また、生涯研修講演として歯学部専任教員のプロフィール及び講演テーマをまとめた「生涯研修講演テーマ一覧」をホームページに掲載し、医療従事者を対象に学習機会を提供している。(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画:ホームページの改善

事業概要:より効果的な情報の発信ができるよう、ホームページの掲載内容、デザインを見直す。進捗状況:平成26年4月にホームページのリニューアルを行い、掲載内容、デザインの見直しを行った。従前は、学部、大学院、専門学校及び病院で構成が異なっていたが、リニューアルにより、受験生、在学生、卒業生及び患者が閲覧、検索等利用しやすいホームページを構築することができた。(達成度:A)

【施設設備】

○事業計画:歯学部新校舎新築工事

事業概要:歯学部創設100周年記念事業として新校舎建築工事を行う。建築場所は駿河台日本大学病院跡地と現2号館跡地で、老朽化した歯科病院(昭和39年取得)及び1号館(昭和31年取得)の機能を移転する。進捗状況:平成27年2月から始まった旧駿河台日本大学病院の解体工事が約8割終了し、平行して新校舎新築の杭打工事が行われている。(達成度:B)

【財政・各種基金】

○事業計画:歯学部同窓会奨学基金(第3号基本金)

事業概要:学業成績優秀者、課外活動において顕著な成果を収めた者等に奨学金を給付する(組入期間平成21~30年度,目標額8,200万円)。進捗状況:組入計画に基づき、500万円を基金に組み入れた。(達成度:A)

○歯学研究科

【教育研究】

○事業計画:私立大学戦略的研究基盤形成支援事業(細胞移植による口腔感覚機能回復を目指した基礎研究の拠点形成)

事業概要:口腔顔面領域の外傷、外科的な侵襲、腫瘍あるいは慢性炎症等に伴う神経の退行性変化によって引き起こされる様々な神経性口腔感覚機能障害に対して多分化機能を有する移植細胞を樹立し、この細胞を移植することによって口腔感覚障害の再生治療を目指す。進捗状況:樹立された移植細胞群を三叉神経損傷マウス動物に用いて応用し、抹消神経系と中枢神経系における細胞移植後の感覚機能変化について口腔感覚を司る高次脳にターゲットを絞って解析を行う。(達成度:B)

○歯科技工専門学校,歯科衛生専門学校

【教育研究】

○事業計画:学則改正

事業概要:歯科技工士国家試験が全国統一試験になり、教育カリキュラムの再編成が平成28年度に行われる。進捗状況:新カリキュラムを作成し、学則改正の準備をしている。(達成度:B)

○事業計画:奨学金給付制度の充実(歯科技工専門学校・歯科衛生専門学校)

事業概要:①平成27年度新入生から、奨学金として5万円を給付し、学習活動を支援することを目的とした学習支援金制度が導入された。(歯科技工専門学校)
②同窓会奨学金制度が平成25年度から導入されたことに伴い、第3学年学生2名に5万円ずつ給付した。(歯科衛生専門学校)

進捗状況:①平成27年度新入生を対象に実施済み(歯科技工専門学校)(達成度:A)

②平成26年度から第3学年を対象に実施済み(歯科衛生専門学校)(達成度:A)

○事業計画:レックスシステムを活用した教育(歯科技工専門学校)

事業概要:優れた技工物を作製する最先端教育を実施する。

進捗状況:臨床模型実習準備教育においてセックシステムを活用し,CAD/CAM についての知識を得た。(達成度:A)○事業計画:マスカード作製装置の購入
事業概要:優れた技工物を作製する最先端教育を実施する。
進捗状況:第3学年の臨床模型実習において約70ケース製作し,製作方法と技術を身に付けた。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:小学校,幼稚園での歯の衛生教育の充実(歯科衛生専門学校)
事業概要:千代田区及び練馬区の小学校や幼稚園において児童及び園児の保護者への指導を含めた健康教育の実施。
進捗状況:練馬区の小学校2校の4年生と6年生を対象に,咀嚼学習指導を実施。
千代田区の小学校4校の4年生を対象に,咀嚼学習指導を実施。
千代田区の幼稚園4園の年長組,年中組を対象に,赤染め及びブラッシング指導を実施。
保護者に対する歯科保健指導を実施。(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画:入学志願者増加対策(歯科技工専門学校)
事業概要:高等学校訪問数を増やすとともに,歯科技工所,同窓会へ入学希望者推薦の依頼状を送付する。

進捗状況:5月,6月に,56件の学校訪問を行った。また,同窓会200件,技工所50件,訪問以外の高等学校45件に入学希望者推薦の依頼状を送付した。(達成度:B)

○総合歯学研究所

【教育研究】

○事業計画:総合歯学研究所研究費における研究費(A),研究費(B)の交付による研究の推進
事業概要:研究費(A)は競争的資金としての性格を持たせることにより,研究者の研究レベル向上に寄与する。研究費(B)は各講座における研究活動の推進を支援する。
進捗状況:研究費(A)は6件に総額500万円を給付。研究費(B)は各講座1件を採択し,24件に総額2,400万円を給付。なお,受給者には給付年度終了後2年以内に研究成果物の提出が求められる。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:委託研究費の積極的受入れと特許権の取得の推進について
事業概要:本部研究推進部知財課と連携し,企業との委託研究による製品開発,特許申請等研究成果の社会への還元を図る。
進捗状況:本部知財課経由における本学部の平成27年度ロイヤリティ受入実績は,6,000万円超となっている。(達成度:A)

松戸歯学部・松戸歯学研究科・松戸歯学部附属歯科衛生専門学校

○松戸歯学部,松戸歯学研究科,松戸歯学部附属歯科衛生専門学校共通

【教育研究】

○事業計画:東日本大震災被災学生への特別措置
事業概要:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う授業料減免に係る特別措置を実施。
進捗状況:①学部住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除3名 住居半壊:授業料等半額免除7名,原発事故避難地区:授業料等全額免除前期0名・後期0名②大学院住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除0名,住居半壊:授業料等半額免除0名,原発事故避難地区:授業料等全額免除 前期0名・後期0名③衛生専門学校住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除0名(達成度:A)

○松戸歯学部

【教育研究】

○事業計画:教育・学修総合センター
事業概要:学生教育の質を高めるため,学生個々の理解を促進することを目的に教育支援システムを構築し,教育上必要かつ有効な情報及び教材を作成する。また,教育・学修の基礎データを分析し,結果を教員並びに学生に還元する。
進捗状況:各学年の歯科医学総合講義の総合試験,再試験の問題作成,印刷,採点システム及び集計システムの稼働,併せてシラバス入稿システムの稼働により教員の負担減を図った。歯科医学総合講義の定期試験問題等を解析するシステムを稼働させ,出題内容の改善に努め歯科医師国家試験合格率上昇に繋げる。授業出欠状況調査の集計を厳密に行い,欠席をなくす取組みに反映させ,欠席率の減少に努める。(達成度:A)
○事業計画:学修支援システムの構築
事業概要:教育・学修総合センターの業務の一環として,学生個人のさまざまな情報をデータ化し,それを解析し,教員

に学生への学修支援の資料として提供すると共に,学生にもフィードバックし,自らの不得意分野を把握させ,勉学意欲を向上させるためのシステムを構築する。

進捗状況:学生個々のデータは,徐々に整理されてきている。学生個々の成績分布作成システム及び学生連絡用メールアドレスの管理システム等を開発し,実用している。(達成度:A)

○事業計画:FD教育講演会の実施・外部企画への参加
事業概要:学内での後援会,ワークショップの実施回数を増やし,内容もより実践的なものと改善している。外部へのFD関係の企画にも積極的に参加できるように予算を付けて教員のレベルアップを求めている。

進捗状況:年間を通して学内教員向けのFD講習会を2回ほど実施した。また,外部講師を招聘し,「臨床研修プログラム講演会」の実施や,新任教員へのカリキュラムランニングを主題としたワークショップを開催。特に学務を担当する教員については積極的に外部の教育講演会への参加があり,着実に学内教員のレベルアップにつながっている。(達成度:A)

○事業計画:特別研究生制度
事業概要:既卒者で歯科医師国家試験不合格者の学修をサポートする制度。

進捗状況:既卒者への手厚いサポートは,松戸歯学部の特徴の一つとして,受験生の確保にも繋がっている。同時に松戸歯学部の既卒者合格率のアップに貢献していた。歯科医師国家試験が不合格になってしまった既卒者にも歯科医師国家試験合格まで親身に指導する姿勢は,松戸歯学部の不変な姿である。今後も予備校より安価で内容の良い講義を提供したい。平成27年度は,在籍生は0名であったが,周知方法等改善を図りたい。(達成度:C)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:生涯研修
事業概要:生涯研修コースの定期的開催。
進捗状況:平成27年度は13回開催。(達成度:A)
○事業計画:公開講座
事業概要:年2回開催

進捗状況: (1) 6月演題「頭痛持ちのあなたが仕事を休まないためのお話」講師 牧山康秀(頭頸部外科学講座教授) 74名参加。(2) 10月 演題「生活習慣から見た、今“身体(そこ)”にある危機」講師 坂巻達夫(内科学講座教授) 71名参加。(達成度:A)

- 事業計画:市民まつりへの参加
事業概要:毎年1回10月に開催される「松戸まつり」へ本学部のブースを出展。
進捗状況:「お口の悩み よろず相談コーナー」と題し、歯科医師による「よろず相談コーナー」及び歯科衛生士、附属歯科衛生専門学校生による「歯磨き相談コーナー」を実施し、10月3日・4日の2日間で823名来場。(達成度:A)
- 事業計画:松戸市こども発達センターの摂食指導
事業概要:同センターの摂食指導事業に対する歯科医師の派遣。
進捗状況:月2回定期的に歯科医師を派遣。(達成度:A)
- 事業計画:教職員・学生等への節電・節水の啓蒙
事業概要:空調の設定温度に対する基準の設定(夏季28℃、冬季20℃)、夏季期間軽装(ノーネクタイ)の義務付け等
進捗状況:「みんなで節電!」をキャッチフレーズに、教職員、学生全員で取り組んだ。
(達成度:A)
- 事業計画:茨城県歯科医師会 災害時身元確認活動
事業概要:災害時、茨城県歯科医師会からの要請により身元確認作業に協力する。
進捗状況:災害発生時、瞬時に協力できるよう、常時万全な体制をとっている。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:教員定員数の削減
事業概要:5か年計画(平成23年度から)に基づき、平成27年度末までに教員定員数を現在の156名から149名にする。
進捗状況:新規採用専任教員の抑制に努めた。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:廃水処理施設改修工事
事業概要:竣工後30年近くが経過し、老朽化が著しいため改修工事をする。
進捗状況:本事業は、平成25年度から27年度までの中期計画であり、今年度竣工している。(達成度:A)

【財政・各種基金】

- 事業計画:第3号基金組入れ
事業概要:教育研究基金等の組入れ

進捗状況: 第3号基本金は、すべて目標額を達成しており、運用果実の未使用残額及び募集によらない特別寄付金を基本金に組み入れている。(達成度:A)

○松戸歯学部附属歯科衛生専門学校 【教育研究】

- 事業計画:カリキュラムの改正
事業概要:平成27年度入学生よりカリキュラムを改正し、学習意欲を高め、国家試験の高い合格率を維持することを目的とする。
事業内容:完成年度を目指して、より良いカリキュラムの改正を目標に学務を担当する教員を中心として、新カリキュラムの点検・評価を進めているところである。また、学部のカリキュラムにならない、日本大学の教育理念である「自主創造」を浸透させるべく、学生の能動的な学習を促す実践的な科目の拡充を目指している。(達成度:A)
- 【社会貢献・環境活動】
- 事業計画:臨地実習現場の開拓
事業概要:幼稚園・小学校・中学校・保健センター等での実習実施。
進捗状況:実際の現場で保健指導を幅広く経験することで、医療従事者としての自覚を身に付け、歯科衛生士として必要な知識と技術を修得させることを目的として実施している。
実習先からの評判は非常に良いので、継続していきたい。また、新カリキュラムに基づき実習時間が増加するので、新たな臨地実習現場の拡充のための足固めとしている。
(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:高等学校訪問
事業概要:各高等学校への積極的な啓蒙活動の実施。
進捗状況:松戸市近郊の高等学校を訪問し、進学説明会・進路がイブンス(模擬授業)を行った。訪問先からの評判は非常に良いので、継続していきたい。受験生の確保に繋がっている。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:実習用エットの整備
事業概要:基礎実習室(2)の実習用エットを整備する。
進捗状況:専門学校の学生の実習のために長年の夢であったエットの 신설・増設を行った。在校生にはより充実した環境を提供できた。また、学生確保のためのPR活動にも繋げていきたい。(達成度:A)

生物資源科学部・生物資源科学研究科・獣医学研究科・短期大学部 (生物資源学科)

○生物資源科学部

【教育研究】

- 事業計画:入試制度の改善・改革の推進
事業概要:適切な学生数確保、入学者選抜方法の点検と改善、編入学者の受け入れ、広報活動強化、入学センターの機能充実
進捗状況:適切な入学者数を確保した。広報活動については地元の学習塾と連携して、小・中学生を対象に「科学実験」等を行い、農学系統の学問に関心を寄せるよう努めた。(達成度:B)
- 事業計画:フィールドサイエンス教育の充実

- 事業概要:フィールド実習(新入生対象)による新たな自然科学教育の実践、西富士校舎新実習棟(仮称)新築工事、八雲実習所の整備
進捗状況:八雲実習所の整備を引き続き推進し、新たな自然科学教育を実施した。西富士校舎新実習棟については建築中であり、平成28年度に竣工する。(達成度:B)
- 事業計画:学術協定校との国際交流の促進
事業概要:単位認定制度の拡大による国際教育・研究の促進
進捗状況:来年度より実施する本学部における「日本大学認定留学制度」の留学前認定留学申請及び留学後単位認定に関する取扱を整備した。(達成度:B)
- 事業計画:教育組織の見直し

事業概要:学科カリキュラム見直しと学科名称変更, うちの生物学科新設, 短大改組・転換への取組
進捗状況:短期大学部については, 在校生を全員卒業生させ, 廃止に向けて取り組んでいる。
学科カリキュラム見直しと学科名称変更については, 引き続き検討している。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:教育研究施設設備の充実
事業概要:総合グラウンド改修工事等体育施設の整備, 老朽化した教育設備の取替更新
進捗状況:総合グラウンドを含む体育施設の改修及び2号館を新築し, 整備した。(達成度:A)

○生物資源科学研究科, 獣医学研究科 【教育研究】

- 事業計画:大学院の改善
事業概要:TA システムの強化, PD 制度の充実, 経済的支援の強化, 組織の改編への取り組み
進捗状況:TA について配属先教員との面談を継続して実施し, 大学院生の専門分野に関わる科目の補助を通じて, 教育研究能力の向上に貢献している。(達成度:B)
- 事業計画:私立大学戦略的研究基盤形成支援事業への計画的参加
事業概要:研究拠点を形成する研究で平成25年度1件, 平成26年度1件採択
進捗状況:2件とも継続中で, 引き続き研究が進められている。(達成度:A)

薬学部・薬学研究科

○薬学部

【教育研究】

- 事業計画:薬剤師国家試験対策講座・模擬試験
事業概要:外部講師を招へいし, 薬剤師国家試験に向けた対策講座, 模擬試験を実施。
進捗状況:6年生対象の対策講座及び模擬試験を7回実施した。5年生対象の対策講座及び模擬試験2回を実施した。(達成度:A)
- 事業計画:共用試験(CBT)対策講座・模擬試験
事業概要:共用試験CBTの合格に向けた学力充実のための対策を行う。
進捗状況:4年生を対象にCBT対策講座を集中講義の形式で土曜日に4月から12月まで実施した。また, 模擬試験を2回実施した。(達成度:A)
- 事業計画:教育支援システム運用
事業概要:共用試験(CBT)及び薬剤師国家試験合格を目指した教育支援システムの運用。
進捗状況:ASP 演習システムを開設した。これにより学生は自分のパソコンを使用して学内・外から学習を進めることができた。(達成度:A)
- 事業計画:実務実習進捗ネットワークの活用
事業概要:実務実習をより効果的なものとするための実務実習進捗ネットワークを活用する。
進捗状況:webによる一元管理が可能なシステムの運用を開始した。これにより薬学実務実習における実習生への指導効果を向上させた。(達成度:A)
- 事業計画:薬学教育研究センターの運営
事業概要:本学部の教育についての企画・提言及び6年間の学びに対する総合的支援等の実施。
進捗状況:質問を共有できるシステム及び授業デザインのためのノートシステムを運用した。また, e-ポータルサイト等の企画を行った。(達成度:B)
- 事業計画:就職のためのランチョンセミナー
事業概要:4年生を対象に昼休みに企業を大学に招き情報収集, 業界研究のためのセミナーを実施。
進捗状況:企業63社に対し, 延べ2,142名の学生が参加, 就職活動に向けての情報収集, 業界研究の機会を得た。(達成度:A)
- 事業計画:出席管理システムの運用
事業概要:ICカードを利用した出席管理を行う。

進捗状況:ICカードリーダーを導入し, 学生証をIC(Felica)化した学年から暫時実施した。
学生の出席状況を把握・共有し, 退学防止策の一助としている。(達成度:B)

- 事業計画:文部科学省が行う私立大学戦略的研究基盤形成支援事業への申請
事業概要:ヒト体内時計概日モデルの簡易測定法を用いて社会の24時間化に伴い増加する健康リスクの評価を行い, 地域密着型健康管理ネットワークモデルの構築を目指す。
進捗状況:不採択となり実施できていない。(達成度:D)
- 事業計画:奨学事業の充実
事業概要:学費支弁困難な学生に対する新規奨学金制度を実施。
進捗状況:新規奨学金制度を設ける計画であったが, 諸般の事情により, 保留となった。引き続き, 設置に向けて努力を継続する。(達成度:C)
- 事業計画:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う特別措置
事業概要:東日本大震災(含福島第一原子力発電所事故)に伴う授業料減免に係る特別措置を実施した。
進捗状況:①学部 住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除 6名
住居半壊:授業料等半額免除 7名
原発事故避難地区:授業料等全額免除 前期0名・後期0名
②大学院住居全壊(含大規模半壊):授業料等全額免除 0名
住居半壊:授業料等半額免除 0名
原発事故避難地区:授業料等全額免除 前期0名・後期0名(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:薬学生涯教育講座
事業概要:薬剤師としてのスキルアップ, 専門的知識の体系的修得などを目指した講座を実施。
進捗状況:日本大学薬学生涯教育講座を開催した。薬剤師認定制度認証機構より認証を受けた。(達成度:A)

- 事業計画:公開講座の実施
事業概略:地域貢献及び開かれた大学を目指し,地域住民・一般市民に対し公開講座を実施。
進捗状況:6月に開講し,272名の受講者があった。
(達成度:A)
 - 事業計画:薬草教室,薬用植物園公開
事業概要:地域住民・一般市民に対し薬草教室と薬用植物園の公開を行う。
進捗状況:春と秋に薬草教室を開催した。また,公開講座,オープンキャンパス等でも薬用植物園を公開する。(達成度:A)
 - 事業計画:地球温暖化防止の取組
事業概要:カーボン・フットプリントの導入等により省エネルギー,節電対策を実施。
進捗状況:空調設定温度を夏季28℃,冬季20℃とし,照明,パソコン,家電製品等の不要時消灯を実施した。(達成度:A)
 - 事業計画:エコキャップ運動の推進
事業概要:学生,教職員のリサイクル意識の高揚と地球環境保護への関心の醸成を目的として,ペットボトルのキャップ回収箱をキャンパス内に設置する。
進捗状況:キャップの回収を継続している。(達成度:B)
- 【経営・人事】**
- 事業計画:体験入学の実施

事業概略:より詳細に本学部や薬学の学問分野について紹介する。
進捗状況:オープンキャンパスの一環として事前登録制の体験入学を行った。少人数による実施のため細かな学部紹介を行うことができた。(達成度:A)

- 事業計画:SDの取組
事業概要:職員研修会を開催する。
進捗状況:「職場内コミュニケーション活性化を目指したアンガーマネジメント」を演題として8月26日(水)に専任職員を対象に実施した。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:空調設備・換気設備の改修工事
事業概要:6号館一般研究室関係空調機器及び3号館一般研究室関係換気設備の更新を行い,高効率機器の導入により省エネルギー化を図る。
進捗状況:平成27年8月~9月に実施し完了した。
(達成度:A)
- 事業計画:食堂厨房内の機器備品等の更新
事業概要:良質な食事を提供できるように厨房機器等を更新する。
進捗状況:計画どおり,厨房機器の一部を更新した。今後も引き続き更新を行い,良質な食事の提供を図る。
(達成度:A)

通信教育部

○通信教育部

【教育研究】

- 事業計画:メジャー授業の改善と拡充
事業概要:毎年ニーズの高い主要科目の中から2~3科目を計画的に作成することで拡充を図る。
進捗状況:社会人や地方在住学生のスクーリング単位を,メジャー授業で充足しやすい環境を整備するため,2科目2講座を開発した。内容の再検討と効率的な制作により,学修効果維持と制作費抑制を実現した。(達成度:B)
- 事業計画:スクーリング開講形態等の改善
事業概要:「サテライトスクーリング」の導入
進捗状況:通信教育部(東京)での開講授業を地方(大垣日大高校)へ同時配信する「サテライトスクーリング」を開講した。双方向性授業を実現し,中京圏在住学生の旅費の負担軽減にも寄与した。(達成度:A)
- 事業計画:学籍簿及び成績簿の電子化
事業概要:学籍簿及び成績簿のデータベース化
進捗状況:紙媒体等で管理していた学籍簿・成績簿を電子化し,検索機能を搭載することで学籍情報照会等の業務軽減を図り,予定どおり昭和40年から平成元年分を中心に実施した。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:入学説明会及び学校訪問
事業概要:入学生募集のための説明会及び学校訪問の実施
進捗状況:本大学での説明会,主要都市説明会及び高校訪問等の実施により,平成27年度の入学者数が増加した。継続的な実施により次年度以降の入学者増につなげる。(達成度:A)
- 事業計画:基幹事務システムの新規開発

事業概要:業務上の問題点を見出し改善していくために,あらたに基幹事務システムを開発して業務の向上を図る。
進捗状況:平成27年度から基幹事務システムを新規に導入した。運用当初は追加機能の必要が多く発生したが,現在は追加機能の希望も減りつつあり,着実に業務効率の向上に資するところがある。(達成度:A)

【財政・各種基金】

- 事業計画:学費改定
事業概要:平成27年度入学生から,入学金及び正科生授業料をそれぞれ10,000円増額改定し,学生生徒等納付金の収入増を図る。
進捗状況:学費の増額改定により,対前年度比で入学金収入が2,380万円,正科生授業料収入が3,043万円の増収となった。(達成度:A)
- 事業計画:第3号基本金への組入
事業概要:基本金果実配分率の低下に伴い,研究基金組入額を新たに追加し,研究費給付額の安定的な確保と適切な配分により,研究活動の活性化を図る。進捗状況:5か年の組入計画の4年目にあたり,計画に基づき平成27年度に2,000万円を組入し,基金残高は3億8千万円となった。(達成度:A)
- 事業計画:本部特定目的引当資産への組入
事業概要:平成27年度予算の資金収支状況を鑑み,本部特定目的引当資産へ新たに8,000万円を繰入れることで,総合運用制度の有効な活用を図る。
進捗状況:平成27年度に当初の予定どおり,本部特定目的引当資産へ8,000万円を繰入れし,引当資産の残高が36億8,000万円となった。(達成度:A)

○日本大学高等学校,日本大学中学校 共通

【教育研究】

- 事業計画:日本大学進学相談会の実施
事業概要:中学から高校まで全学年を対象に実施し,本学への理解を深めさせ,本学への帰属意識と進学意識を高める。
進捗状況:保護者の方への案内が徹底でき,参加者を増やせた。早期の進路意識が喚起でき,本学への本意進学に向けたサポートとして十分機能した。(達成度 A)
- 事業計画:自立学習支援室の設置(チューター制度)
事業概要:放課後や長期休暇中に自習室を開き,外部委託によるチューター制度を導入し,生徒に自立型学習のスタイルを身につけさせ,校内完結システムを確立する。
進捗状況:募集時期が遅れたため,生徒・保護者に十分周知できず,多くの参加者を集めることができなかった。(達成度 C)
- 事業計画:ロボット講習会の実施
事業概要:理工学部精密機械工学科と連携したロボット製作やコンテストへの参加を通して,チームワーク力醸成,理科力増強,本学理系学部への進学意欲を高める。
進捗状況:チームワーク力でロボットコンテストにおいて高校が準優勝,中学も上位入賞を果たした。理工学部との連携が強まり,本校の文化祭に理工学部の展示室を設置できた。(達成度 A)
- 事業計画:海外語学研修の実施(中学:イギリス,高校:カナダ)
事業概要:語学力の向上のみならず探究心を向上させ,異文化体験及び外国に一人身を置くことで自立心を育む。
進捗状況:充実したカリキュラム,学習・生活環境も好評で,十分にその目的を果たせた。(達成度 A)
- 事業計画:各教科の研究授業・授業参観の実施
事業概要:教員を対象に研究授業・授業参観を行うことで,指導力・授業力の向上を図る。
進捗状況:各教科とも,特に非常勤講師の指導力・授業
- 事業計画:理数系教育の充実
事業概要:数学の授業を習熟度別に1クラスを2分割し,少人数教育を行う中で,個に応じた指導を行うことができる。
進捗状況:苦手意識を持つ以前に指導の徹底が図れたため,有効に機能した。(達成度 A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:学校施設の貸出し
事業概要:近隣幼稚園の運動会,英語検定試験,国及び地方選挙投票の会場として施設を貸出し地域社会との融和を図る。
進捗状況:運動会,英語検定試験,選挙投票の会場貸出しを行った。(達成度 A)
- 事業計画:社会奉仕活動
事業概要:赤い羽根共同募金,緑の募金,盲導犬育成支援などの各種募金活動への参加,集団献血の実施などを通じて,生徒の社会貢献に対する意識を高める。
進捗状況:文化祭等で協力を呼びかけることにより十分な結果を得た。(達成度 A)

【経営・人事】

- 事業計画:広報活動の充実

事業概要:①学校説明会,受験雑誌への広告掲載,ホームページ等の見直しによって新たな受験者層を開拓し,志願者数の増加を図る。②校長・教頭が公立中学校を訪問して,校長との直接面談を実施することで,本校の生徒募集の在り方などについて,責任を持って伝える。

進捗状況:①中学・高校ともに志願者数を増やしたが,特に中学では新たな2コース制と試験回数を増やしたと相俟って,志願者数を昨年度より1,000名以上増やせた。(達成度 A)②昨年度,現校長が実施。募集内容に変更がなかったため,来年度,新校長による実施を予定し,今年度実施は見送った。(達成度 C)

- 事業計画:人件費削減(教員の計画的採用)

事業概要:定年退職に係る教員の新規採用にあたり,生徒数及びクラス等を充分勘案したうえで,適正な人員配置を実施し,人件費削減を図る。

進捗状況:適正な人員配置を心掛けたが,人事異動による教員の増加等もあり,計画どおりに人件費削減を図ることはできなかった。(達成度 C)

【施設設備】

- 事業計画:記念館(中学棟)エレベーター耐震補強工事

事業概要:地震時管制運転装置,停電時自動着床装置の取り付けを含む耐震補強工事を行う。

進捗状況:平成28年1月7日工事が完了(達成度 A)

- 事業計画:入退室管理システム一部更新工事

事業概要:入退室管理システムの更新を行うとともに,各室の電子錠も防犯上の優先順位を考慮の上,順次更新する。

進捗状況:平成27年9月1日工事が完了(達成度 A)

【財政・各種基金】

- 事業計画:収入改善策の実行

事業概要:①事業収入項目を再検討し,事業内容等実態に則した取扱いとする。②入学分納金の納入方法の改善

進捗状況:①夏季休暇中の勉強合宿(特進合宿)等を,希望生徒と旅行業者との直接取引に変更したことにより,事業収入の改善が図れ,消費税負担の一部軽減につながった。(達成度 A)②昨年度から開始したコンビニ決済の導入に続き,今年度からWEB出願の導入に伴い,出願や入学手続の利便性が飛躍的に向上したことにより,約1千万円の増収となった。(達成度 A)

- 事業計画:冗費の削減

事業概要:経費関係(一部を除く)を,昨年度予算額を上限とし,増大防止を図る。

進捗状況:長期休暇中に使用できる自習室を,個別空調が可能な校舎にまとめることにより,光熱水費を一部削減することができた。(達成度 B)

○日本大学高等学校

【教育研究】

- 事業計画:卒業生による進路説明会の実施
事業概要:卒業生による進路説明会の実施回数と実施内容についてさらなる充実を図る。
進捗状況:学年別,特別進学クラス・総合進学クラスに分けて実施したことが有効に機能した。(達成度 A)
- 事業計画:高校3年生対象の夏期講習(2回)の実施

事業概要:本学の新推薦入試制度(9月実施)への対応を図ることで、本学への進学者をさらに増加させることが期待できる。

進捗状況:参加者が増加し、新推薦入試制度への対応を図ることができ、好結果につながった。(達成度:A)

○事業計画:各種検定試験の実施

事業概要:①GTECの受験を通して、グローバル化に向けた学力・学習意欲の向上を目指させる。②TOEIC IPの受験を通して、グローバル化に向けた学力・学習意欲の向上を目指させる。③日商簿記検定の受験を通して、資格取得を目指させる。

進捗状況:①より高い目標を生徒自身が設定することが習慣づき、学習意欲の向上につながった。(達成度:A)

②より高い目標を生徒自身が設定することが習慣づき、学習意欲の向上につながった。(達成度:A)

③より高い目標を生徒自身が設定することが習慣づき、学習意欲の向上につながった。(達成度:A)

○櫻丘高等学校

【教育研究】

○事業計画:国際化に対応した語学教育研修制度

事業概要:①夏期休暇期間中にイギリスへの語学研修を実施。

②ネイティブスピーカーによる週27コマの授業を実施する。

進捗状況:①希望者に対して、夏期休暇期間中にイギリスへの語学研修(7/19~8/3)を実施。

②ネイティブスピーカーによる週27コマの授業を1学年に対して実施。(達成度:A)

○事業計画:教員研修制度

事業概要:①外部機関が実施する研修会に本校教諭を派遣。

②英語教諭を対象に英語教育能力の向上を目指し、当年度から海外への研修派遣として、本部主催の英語教授法スキルアップ研修会(7/20~8/7)に参加。

進捗状況:①外部機関が実施する研修会に、夏期などの休暇期間を中心に、各教科の教諭が計17名参加した。

②英語教授法スキルアップ研修会は、当年度において本校が参加該当校ではなかったため、参加していない。(達成度:B)

○事業計画:高大連携教育の推進

事業概要:①文理学部併設校の利点を生かし、1年生全員に体験授業(年1回)を実施。

②2年生から大学の講義の一部を科目等履修生として受講。

進捗状況:①9月27日(日)に文理学部で開催した体験授業に、1年生414名全員が参加した。

②高大連携教育に関する協定を締結している文理学部、法学部及び経済学部の講義を、2・3年生(延べ20名)が受講。(達成度:A)

○事業計画:本校教員及び外部講師による講習

事業概要:①本校教員による夏期講習を7/21~7/25に実施。

②外部講師による特別講習を7/21~7/31に実施する。

進捗状況:①夏期講習は全学年の希望者を対象に実施した。②特別講習は3年生の希望者を対象に実施した。(達成度:A)

○事業計画:習熟度別授業の実施

事業概要:英語と理系コースにおける数学の授業で、生徒の習熟度に合わせた少人数クラスを編成し授業を行う。

進捗状況:理系コースの2・3年生を対象に数学及び英語の授業で実施した。(達成度:B)

○事業計画:基礎学力養成講習の実施

事業概要:本校教諭による基礎学力養成講習を夏期休暇期間中の前半(7月下旬)に3日間、冬期休暇直前(12月中旬)に3日間実施する。

進捗状況:希望者を対象として、7/21~7/23に1年生54名・2年生67名が受講した。

12/17~12/19に1年生46名・2年生67名が受講した。(達成度:A)

○事業計画:基礎学力向上補習の実施

事業概要:全学年の希望者を対象に、3年生は8月、1・2年生は3月に実施する。

進捗状況:3年生391名が8/22~8/27に、1年生231名・2年生304名が3/22~3/24に本校教員による基礎学力向上補習を受講した。(達成度:A)

○事業計画:大学本部交換留学生徒の交流プログラムの実施

事業概要:留学生を本校生徒の家庭にホームステイさせたり、交流イベントを開催する。

進捗状況:当年度は本部から要請がなかった。(達成度:C)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:文化祭模擬店収益金の寄付

事業概要:文化祭模擬店の収益金及び募金活動による寄付金を、各種団体等に寄付する。

進捗状況:エセ7協会・東日本大震災復興支援・児童養護施設等に毎年継続的に寄付している。当年度の寄付金合計額は439,438円であった。(達成度:A)

○事業計画:第3回烏山地域蘆花まつりへの参加

事業概要:同イベントにおいて、本校の吹奏楽部・バンドワラ部が行進・演奏を披露する。

進捗状況:10月25日(土)に実施した同イベントへの参加で、地域住民との親交を深め、より一層、本校を近隣にアピールした。(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画:SAKURAプロジェクトの発足

事業概要:平成28年度入試から入試制度改革(推薦基準変更、併願優遇措置導入、近隣中学校訪問の強化)を行い受験生確保を図った。平成30年度、カリキュラム改訂を実施し、特進コース(仮称)を設置することとしている。

進捗状況:平成28年度入学者数が増加した。カリキュラム改訂、特進コース設置については、進行中である。(達成度:B)

【施設設備】

○事業計画:新館・新体育館(仮称)新築工事

事業概要:校舎1(昭和35年竣工)、体育館(昭和38年竣工)及び生徒会館(昭和39年竣工)等の老朽化に伴い、代替施設として新館・新体育館(仮称)の新築工事を実施する。

進捗状況:解体工事後、10月15日(木)に地鎮祭を行い、現在、1階立ち上がり工事中である。(達成度:B)

【財政・各種基金】

○事業計画:第3号基本金引当資産への組入れ

事業概要:生徒に奨学金を給付するため、毎年度100万円を櫻丘高等学校創設50周年記念後援会奨学基金(第

3号基本金)に組み入れる。

進捗状況:組入計画に基づき、100万円を基金に組み入れた。(達成度:A)

○鶴ヶ丘高等学校

【教育研究】

- 事業計画:高大連携教育の拡大・充実
事業概要:生物資源科学部に加え、経済学部、理工学部においても実施
進捗状況:生徒の希望に合わせて、理系・文系に分かれて実施(達成度:A)
- 事業計画:海外留学制度の拡充
事業概要:大学入学前英国海外研修の実施、豪州交換留学制度の確立と選考
進捗状況:大学入学前英国海外研修は無事実施、交換留学制度を確立し選考も終了(達成度:A)
- 事業計画:21世紀型教育の研究・実践
事業概要:双方型授業の外部研修会への教員参加と校内研修の実施
進捗状況:各種研修会への教員参加、ICTを用いた授業についての校内研修実施(達成度:B)
- 事業計画:普通コース併願優遇措置対象者への進路指導の充実
事業概要:普通コースの一般受験進学希望者に対する定期的な指導の実施
進捗状況:2年の一般受験進学希望者に対する定期的な指導の実施、次年度3年次からの受験コースの設置(達成度:B)
- 事業計画:杉並和泉学園との更なる連携強化
事業概要:本校生徒による杉並和泉学園小学生への学習サポート、入試基準の緩和等
進捗状況:小学生への学習サポートを定期的に実施、入試基準の緩和を実施、学園のICT授業を本校教員が見学(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:杉並和泉学園への本校施設貸出
事業概要:杉並和泉学園への本校グラウンド、生徒広場、多目的ホール等の貸出
進捗状況:運動会の練習のため本校グラウンドを貸出、写生のため生徒広場を貸出(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:入試改革の推進
事業概要:推薦地域限定基準の策定と、来年度スタートする普通コース内の受験クラスへの進路指導
進捗状況:推薦人数の昨年度からのプラス約30名確保と受験クラス導入準備完了(達成度:A)
- 事業計画:教員組織の構成の適正化
事業概要:中、長期的な各教科年齢バランスを考えた計画採用と、専任・非常勤講師のバランスの適正化
進捗状況:学校経営を見ながら、計画し採用(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:3号館防火戸新設工事及び校舎防火戸改修工事
事業概要:3号館防火戸新設工事及び校舎防火戸の改修を行う。
進捗状況:平成27年9月にて工事完了。(達成度:A)

【財政・各種基金】

- 事業計画:財政基盤の確立
事業概要:各種引当特定資産への繰入

進捗状況:年次計画による、特定目的引当特定資産への繰入を行った。(達成度:A)

- 事業計画:事業資金の確保
事業概要:新校舎建設資金の確保
進捗状況:27年度新入生から学費の値上げを行うなどにより、事業資金の確保を図った。(達成度:B)

○藤沢高等学校,藤沢中学校共通

【教育研究】

- 事業計画:基本的生活習慣の指導
事業概要:基本的生活習慣の実践、挨拶指導、躰教育の実践
進捗状況:「躰教育の徹底」を教育方針の1つに掲げ、生活指導部を中心に全教職員が熱心に指導を実施している。(達成度:A)
- 事業計画:国際感覚の育成
事業概要:少人数教育、海外語学研修、学術交流の充実及び英語検定受験の奨励
進捗状況:1クラスを2つに分けて英会話の授業をネイティブ講師により実施。語学研修は中高両方で実施。自主的に熱心に活動していた。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:課外活動・社会貢献の推進
事業概要:部活動奨励による心身の育成
進捗状況:部活への参加を奨励し、学生生活の活性化を図ることが出来た。部活動の中には、全国大会等で活躍する生徒もいた。地域のイベントへの参加や、養老施設慰問などで社会貢献を果たした。(達成度:A)

○藤沢高等学校

【教育研究】

- 事業計画:基礎学力の養成と大学進学率の向上
事業概要:授業等におけるきめ細かな個人指導の充実。
進捗状況:夏季・冬季休暇中の希望者対象講習、成績不振者への補習、3年生対象の夏季勉強合宿、放課後講座等を実施した。(達成度:A)

○藤沢中学校

【教育研究】

- 事業計画:農業体験の実施
事業概要:農場でのフィールドワーク、食品加工実習の実施
進捗状況:隣接する生物資源科学部の農場や食肉加工施設を利用し、体験学習を通じて食の教育が実践出来た。(達成度:A)

○藤沢小学校

【教育研究】

- 事業計画:併設小学校の設立・募集・教育
事業概要:英語の能力別クラスの実践、校外学習による協調性・創造性の育成、複数教員による授業に対する児童の理解力増進
進捗状況:英語教育においては、英語の音を聞き声に出すことが出来た。校外学習においては、志賀高原の山頂まで登り切ったことによる達成感を感じ取ることが出来た。児童の学力を見極め一人ひとりの力を伸ばしている。(達成度:A)

○豊山高等学校,豊山中学校共通

【教育研究】

○事業計画:中高6か年一貫システムの推進

事業概要:新校舎竣工後,中学の学則定員を240名とし,中高一貫教育校(併設型)を実施する。キャリア教育を軸とし,目標をもった生徒を育成する。

進捗状況:基礎充実期に挨拶がしっかりできる凜とした生徒を育てるために,発展期(中3)には特進クラス,向上期(高1)からは特進及び体育クラスを設置した。応用完成期には,文系・理系について個々の能力に応じた指導を行い,学力の充実・強化を図った。なお,平成26年度の進学率は93.4%(日大77.1%),平成27年度の進学率は93.6%(日大76.8%)(H28.03.02現在)である。(達成度:A)

○事業計画:教育・研究活動の推進

事業概要:自己点検・自己評価を踏まえ,各教科の研究授業の充実と検証を行い,その成果を紀要に掲載し,各教科の教授法等指導体系を確立する。

進捗状況:研究誌「紀要」の充実及び教員の研修意欲高揚と各教科授業教授法のスキルアップを図り,授業に反映させた。なお,教員のスキルアップを図るために,国内・国外研修制度を設け,より広い世界的視野を備えた教員育成を行っており,平成27年度実績では,国外2名,国内へは環境教育の推進を図るために北海道の自然観察及び実地踏査を3名で実施した。(達成度:A)

○事業計画:学力向上推進プロジェクト

事業概要:英語科の自学習教材の開発と提供,数学科教授法の実践,サプリメンタルプログラムの開発に取り組む。

進捗状況:[英語科]HP上に自習用英語基礎知識教材約4000題を掲出。また,本校で開発した各単元の授業内容DVD教材を活用。聞く力を高めるための教材を開発。「数学科」高3文系進学クラスに少人数の学習到達度別授業の実践。中高教検を実施。(達成度:B)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:本校生徒による近隣小学校児童との交流

事業概要:近隣の青柳小学校との交流

進捗状況:双方がお互いの学校を行ききし,本校吹奏楽部の生徒が,隣接の青柳小学校児童の鼓笛隊の音楽指導を実践し,双方にとって人的及び物的効果が見られた。(達成度:A)

○事業計画:ボランティア活動の推進

事業概要:通学路の交通整理活動,募金活動,学祖墓所清掃等を実施

進捗状況:交通安全委員会に所属する生徒の日常における交通安全活動が認められ,大塚警察署より表彰された。また,清掃活動については,アメリカフットボール愛好会の生徒が毎朝自主的に町内清掃に当たっている。(達成度:A)

○事業計画:施設の貸出し

事業概要:プール・体育館等の貸出し。

進捗状況:地域住民とのコミュニケーション・融和の一環として,北島アクアティクス(スイム教室)へ定期的にプールの貸出しを行った。(達成度:A)

○事業計画:同窓会との連携

事業概要:同窓会の奨学金制度や同窓生からの支援。

進捗状況:校舎を同窓会総会の会場として提供し,また,同窓会の奨学金制度や同窓生より各種支援を受けた。(達成度:A)

○事業計画:地域社会との連携

事業概要:交通安全キャンペーン活動,文京福祉センター祭への参加

進捗状況:大塚警察署の要請により生徒会役員等生徒で組織する「日大豊山大塚地区「ボーズ」」が警察と連携,交通安全キャンペーン活動を展開した。また,祭の準備・手伝いを行ったり,吹奏楽部が演奏行進するなど,文京区地域住民との交流を図った。(達成度:A)

○事業計画:防災対策

事業概要:大規模災害等不測の事態に備えた防災活動の実施及び普通救命講習の開催。

進捗状況:護国寺・真言宗豊山派宗務所と本校による災害時応援協定を締結し,「文化財防火デー」には本校自衛消防隊が放水訓練へ参加した。また,隣地護国寺への避難訓練の実施を実施。自衛消防活動の充実により教職員の防災知識の向上を更に図った。さらに,専任教職員が普通救命講習を受講し,AEDの操作方法等を習得することにより,緊急時の対応を推進した。(達成度:A)

○事業計画:環境教育における他校との連携

事業概要:生徒及び教員が環境体験学習の活動成果を意見交換する。

進捗状況:東京環境教育実践研究会に所属し,環境体験学習の一環として,他校の生徒とともに「ハイク」に参加した。また埼玉県防災センター(場所:北本市)にて実地研修を行った。(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画:志願者増対策及び広報活動の拡充

事業概要:学校説明会及び募集広告等の見直し,近県・都下をターゲットとする広報活動の展開

進捗状況:一般入試を2回へ変更し,一般入試に併願優遇を導入,一人1塾以上訪問の実践や事例研究会等への積極的参加を図り,受験生の大幅増を達成することができた。(達成度:A)

○事業計画:適正な教員採用

事業概要:定年退職を迎える専任教員が多い中での後任補充の適切な人員配置のための計画的採用を実施する。

進捗状況:今年度は5名の退職者に対し,5名の新規採用を行った。教員数の増減はないが,今後の定年退職予定者や教員の年齢構成及び教科ごとの教員数などを考慮し,充足すべき計画的採用を実施した。(達成度:A)

【施設設備】

○事業計画:キャンパス整備事業

事業概要:地下2階地上11階(延床面積25,408.55㎡)を新築完成。3月から,3号館・4号館・5号館・6号館を解体し,部室棟及びゴミ置き場等,校庭を整備。

進捗状況:平成28年2月20日にキャンパス整備事業に関する全ての工事が完了した。(達成度:A)

○豊山高等学校

【教育研究】

○事業計画:生産工学部との高大連携教育推進

事業概要:学部入学内定者が与えられた課題を本校内で行う形式により履修する。課題評価により入学後に単位認定。

進捗状況:学部入学後の単位認定(2単位)のメリットがある。平成25年度は13名履修,4名取得/平成26年度は28

名履修, 28 名取得/平成 27 年度は 26 名履修, 26 名取得した。(達成度:A)

- 事業計画:経済学部との高大連携教育推進
事業概要:学部進学希望者(高 1~高 3)が同学部へ出向き講座を受講し,入学後に単位認定。
(前期型(4月~9月)/後期型(10月~3月))
進捗状況:平成 25 年度は 6 名が前期型・後期型を受講/平成 26 年度は高 3 で 1 名・高 2 で 1 名が前期型・後期型を受講/平成 27 年度は高 3 で 4 名・高 2 で 5 名が前期型・後期型を受講している。なお,平成 28 年度は高 2 に 15 名の受講希望者があり,受講希望者は増加した。(達成度:A)
- 事業計画:法学部との高大連携教育推進
事業概要:学部進学希望者(高 1~高 3)が同学部へ出向き指定講座を受講し,入学後に単位認定。
進捗状況:平成 25 年度は受講希望者なし/平成 26 年度は高 3 で 1 名・高 2 で 1 名が受講/平成 27 年度は高 2 で 4 名が受講している。なお,平成 28 年度は高 3 で 1 名・高 2 で 9 名の受講希望者があり,受講希望者は増加している。(達成度:A)

○豊山中学校

【教育研究】

- 事業計画:第 3 学年に特進クラスを 1 クラス設置
事業概要:数学,英語の教科で先取り学習を導入し,発展的な学習に取り組む。
進捗状況:日本大学医学部・歯学部・松戸歯学部・生物資源科学部(獣医)進学を目標に,学部訪問を行うなど,キャリア教育を実践。(達成度:B)

【経営・人事】

- 事業計画:学校説明会の実施方法等の見直し
事業概要:保護者対象の説明会実施時に小学生に中学校を理解してもらうイベントを導入。
進捗状況:保護者への説明会を実施している間,小学生を対象に体験授業,部活動体験,過去問題の解説,入試問題解法の講座,学校施設案内などを行い,昨年度よりも参加者がかなり増加した。(達成度:A)

○豊山女子高等学校,豊山女子中学校 共通

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:リサイクル運動
事業概要:エコキャップ運動
進捗状況:ペットボトルキャップを日常的に回収し,リサイクルしている。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:スクールバスの充実
事業概要:赤羽駅と本校間のスクールバスは,現在 6~7 便,練馬駅と本校間は 2~3 便を運行している。平成 27 年度は利用者からの徴収額を変更する予定。
進捗状況:徴収額を予定どおり変更を行う。全体的な生徒数の減少と値上げの影響により,利用者が約 4 割減少した。それに伴って,バスの便数も 2~3 便減少した。(達成度:B)

【財政・各種基金】

- 事業計画:スクールバス利用料値上げ
事業概要:スクールバス委託料の値上げに伴い,利用者から徴収する金額の値上げを実施する。

進捗状況:徴収額に変更を行う。(達成度:B)

○豊山女子高等学校

【教育研究】

- 事業計画:海外語学研修
事業概要:高校 1・2 年生対象に 7・8 月の夏季休暇の 18 日間カナダセント・マガレットスクールにて語学研修を実施する。
進捗状況:平成 27 年 7 月 20 日(月)から 8 月 3 日(月)の 15 日間で実施した。(達成度:A)
- 事業計画:基礎学力の充実・理数科の充実
事業概要:①放課後学習を実施する。平常時補習を 1 年次から実施する。②理数科課題研究における数学・理科の少人数グループ研究を実施する。
進捗状況:①放課後学習を「BJ タイム」と命名して実施した。1 年次からの平常時補習を計画どおり実施することができた。(達成度:A)
②平成 27 年 7 月 15 日(水)に理数科課題研究発表会を実施し,各グループとも興味深い研究発表を行うことができた。(達成度:A)
- 事業計画:TOEIC 講座の実施
事業概要:平常時補習時に全学年を対象に,TOEIC 講座を実施する。
進捗状況:夏季休暇中(8 月 20 日・21 日・24 日・25 日)に受講希望者に対して TOEIC 講座を実施した。平常時補習時にネイティブによる TT 授業で英検対策講座を行った。(達成度:A)
- 事業計画:キャリア教育の充実
事業概要:大原簿記学校講師による各種資格講座と職業選択に係る講演を実施する。
進捗状況:大原学園より講師を招へいし,特別講座を実施した。(達成度:A)
- 事業計画:教員採用
事業概要:新規で 3 名の専任教員採用を実施した。平成 26~29 年度に 8 名の定年退職者があるので,順次対応する。
進捗状況:新規採用教員 3 名(達成度:A)

【財政・各種基金】

- 学費値上げ
事業概要:経済状況を勘案し,収支改善に向けて,学費の値上げを実施する。
進捗状況:年額で高校普通科 3 万円,高校理数科 3.6 万円の値上げを行った。(達成度:B)

○豊山女子中学校

【教育研究】

- 新教育課程の実施
事業概要:主要 5 教科の授業時間を確保し,さらに国語,数学,英語の授業時間を増加し,基礎学力の充実を図る。数学,英語では少人数制の授業を実施する。英語ではネイティブによる TT 授業を実施する。総合的な学習の時間・内容の充実を図り,情報,英会話,茶道を実施する。
進捗状況:各学年とも授業時数を大幅に増やし,充実を図った。(達成度:B)

【財政・各種基金】

- 事業計画:学費値上げ
事業概要:経済状況を勘案し,収支改善に向けて,学費の値上げを実施する。
進捗状況:年額で中学 3 万円の値上げを行った。(達成度:B)

○三島高等学校,三島中学校共通

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:ボランティア活動

事業概要:①日本赤十字献血への協力②銀杏並木清掃
進捗状況:①高校3年生の希望者を対象に,平成28年2月に学内にて献血を実施し,90名が行った。(達成度:A)
②11月~12月にかけて定期的に学校前の通りの落ち葉拾いや清掃作業を行った。(達成度:A)

○事業計画:地域社会との連携

事業概要:三島夏まつり参加
進捗状況:地域貢献の一環として,生徒会が中心となり三島の夏まつりに協力し,応援部・女子ソフトボール部・男子サッカー部がみしまサハに参加。(達成度:A)

○事業計画:環境問題への取組

事業概要:①省エネ・節電②ゴミの分別及び古紙等資源再利用・エコキャップ運動への参加
進捗状況:①校舎内における昼間の共有スペース・廊下等をこまめに消灯し,19時に空調・換気を一斉OFF。(達成度:A)
②日常の清掃時からの分別回収の徹底。生徒会が中心となりペットボトルのフタを分別回収し,ポリオのワチンとして提供した。(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画:生徒募集の強化

事業概要:多様な学校説明会及び学校訪問
進捗状況:4月~12月の期間にわたり,教員による小学校・中学校進学塾訪問を実施。8月の学校説明会は3日間で3,828名の来場があり,10月は1,107名の来場,地区別説明会(伊豆・小田原・秦野・御殿場・静岡・富士)は,261名の来場があった。(達成度:A)

○事業計画:教員の計画的採用

事業概要:定年退職者及び生徒数等を中長期的に勘案し専任及び兼任教員を採用
進捗状況:専任教員は,教科間の年齢構成,生徒数の推移・クラス数を考慮し,5名を採用した。(達成度:A)

【施設設備】

○事業計画:総合体育館新築工事

事業概要:体育館3棟と食堂・講堂棟に替わり,これら機能を集約した総合体育館の新築
進捗状況:平成26年9月に新築工事が開始され,新築工事定例打合せ会議を27回開催している。
平成28年6月に竣工予定(達成度:B)

○三島高等学校

【教育研究】

○事業計画:国際化教育の推進

事業概要:①国際クラス海外留学及び豪州からの留学生受入れ②海外語学研修の実施③国際関係学部との高大連携教育の推進
進捗状況:①国際クラス2年生15名が約1年間のオーストラリアでの留学を終え,平成27年12月に帰国。平成28年1月には国際クラス1年生11名が留学のため出発。また,平成27年4月に,約3週間の日程でオーストラリアから6名の留学生を受入れ国際交流を図った。(達成度:A)
②国際クラスの海外留学の事前研修として,夏季休暇中に約1か月のオーストラリア語学研修を実施,11名が参加した。また別プログラムとして,夏季休暇中に3週間のテキスト語学研修を実施し,49名が参加した。(達成度:A)

③締結した覚書に基づき,国際関係学部への進学を希望する生徒20名が大学の授業を受講し,国際関係学部入学後に単位認定を行う。(達成度:A)

○事業計画:進路指導の充実

事業概要:日本大学各学部・国立大・他大学進路ガイダンスの実施
進捗状況:2年生を対象とした日本大学各学部の模擬授業を3月に行い,3年生を対象とした学部説明会を6月~7月にかけて行った。(達成度:A)

○事業計画:奨学金制度の充実

事業概要:現行の後援会奨学金制度を生徒募集PRに活用し優秀な生徒を確保する。
進捗状況:学力優秀者及びスポーツ能力の高い者や生活困窮者に対して後援会が支援し,112名に奨学金を給付した。(達成度:A)

○三島中学校

【教育研究】

○事業計画:外国語教育の充実

事業概要:①英検取得推進・ネイティブスピーカーの職員室配置・英語教育国内合宿②欧州修学旅行
進捗状況:①英検の取得を奨励した結果,2級4名,準2級26名,3級42名となった。なお,中学2・3年生の希望者を対象者に,2泊3日で福島県の語学研修施設,ブリティッシュビルで語学研修を実施。2年生33名が参加。ネイティブスピーカーは職員室に3名配置。(達成度:A)

②ロンドンでは現地の語学学校のカイトとともに班別行動で研修をしながら英語で交流を図り,パリでは事前学習を入念に行い,文化の違いを体験できた。(達成度:A)

○事業計画:きめ細かな学習指導の実践(三島中学校)

事業概要:①学習到達度別補習・補講の実施②少人数クラスによる英語・数学の授業
進捗状況:①英会話クラスを二つに分け,ネイティブと日本人教員の2名が週3~4コマの授業を担当した。数学は習熟度別に2クラスに分け同時展開で授業を実施。(達成度:A)
②英語は英検の受験クラスに分けて補習を実施。また,大半の教科においては成績下位者を対象に追試・特別補習を実施。(達成度:A)

【施設設備】

○事業計画:14号館空調設備改修工事(三島中学校)

事業概要:中学校舎である14号館の空調設備を改修し,授業等の教育環境の整備を行う。
進捗状況:平成28年7月~8月にかけて実施。(達成度:A)

○明誠高等学校

【教育研究】

○事業計画:英会話授業における実践指導

事業概要:ネイティブスピーカーによる英会話授業を実践する。
進捗状況:平成25年度入学生からの,新教育課程導入に伴い学年進行で実施。平成27年度は全学年において実施。(達成度:A)

○事業計画:教員の資質向上・教科指導の充実・学習支援体制の確立

事業概要:学校自己点検・評価,生徒の授業評価の実施による教員の自己努力,授業改善を図る。
進捗状況:研究授業の充実,シラバスの活用,補習授業(成績不振者補習・基礎学力到達度テスト対策補習)を実施し,学習支援体制の確立に努めた。(達成度:B)

- 事業計画:漢字検定及び TOEIC Bridge (TOEIC) の実施
事業概要:国語力・英語力向上のため、1 学年全員に漢字検定、全学年に TOEIC Bridge を受検させる。
進捗状況:漢字検定は 1 学年全員で実施し、TOEIC Bridge は全学年を対象としたが、特進コース全員と普通コース希望者には TOEIC を実施した。また、新たに数学検定を全学年(希望者)で実施した。受検体制は定着してきているが、結果の活用が課題である。(達成度 B)
- 事業計画:魅力ある学校づくりと社会的評価の向上
事業概要:特進コースの授業の充実と国公立をはじめ有名私立大学への進学率を向上させるため、特進コースの土曜日授業の実施。
進捗状況:特進コースは、特進コース主任の下で指導体制が整い、また、特進・普通コース 1・2 年生に対して、2・3 年次を見据えた補習を、また出口指導として学部長講話、キャリアガイダンスを実施した。平成 27 年度は、日本大学 166 名(58.5%)、他大学 75 名(26.4%)の進学実績を達成した。(達成度 A)
- 事業計画:2 学期制から 3 学期制への移行
事業概要:基礎学力到達度テスト実施に伴い学期を変更。
進捗状況:生徒・保護者への事前周知を図り、混乱なく移行。(達成度 A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:地元主催音楽祭等への吹奏楽部の参加
事業概要:社会に貢献するための発表会を実施する。
進捗状況:例年、吹奏楽部は地元主催音楽祭「上野原吹奏楽祭」「北都留支部音楽祭」に参加し高い評価を得ている。また、吹奏楽部以外にも、運動部の上野原駅伝への参加、ダンス・チア部の Jリーガーファンフォーレ甲府・上野原市サクスデー等への参加を実施している。(達成度 A)
- 事業計画:「オムニキ飛ばそう会」への協力
事業概要:地域社会との強い結びつきを得る。
進捗状況:地元と協力して校地内に生息環境を整えた。今後の環境維持にも努める。(達成度 A)
- 事業計画:学校施設の開放
事業概要:学校施設の地域住民への開放
進捗状況:グラウンドは地域のサッカーチーム、ラグビーチーム、体育館は空手道大会などに貸し出している。(達成度 A)
- 事業計画:生徒会募金活動による天災被災地への支援
事業概要:社会に貢献するための義援活動
進捗状況:N 募金、日本エネジ募金、赤い羽根募金、文化祭模擬店売上金の募金を実施した。(達成度 A)
- 事業計画:カーボン・フットプリントの実施や冷暖房の温度抑制など、CO2 排出削減に努める。
事業概要:地球温暖化防止対策活動
進捗状況:夏期における軽装の実施、エアコン温度の控えめな設定、照明設備・電気機器の節電などを実施し、合わせて、教職員・生徒へ省エネに関する周知活動から省エネ意識の定着化を図った。(達成度 A)
- 事業計画:「クリーンキャンパス(校内外美化活動)」の実施と環境保護の指導徹底
事業概要:生徒のモラルや環境に対する意識向上に繋げる。
進捗状況:学校内はもとより、最寄り駅(上野原駅)までの通学路を中心に、年間を通して美化運動を実施した。(達成度 A)
- 事業計画:生徒会によるペットボトルキャップ回収活動の実施
事業概要:資源の大切さやリサイクル意識向上になるとともに、回収キャップを NPO 法人を通じてリサイクル活動に役立てる。

進捗状況:生徒会を中心に、年間を通じペットボトルキャップ回収を実施、発展途上国のワクチン接種の一環として寄与した。(達成度 A)

【経営・人事】

- 事業計画:生徒募集対策リサーチ委託
事業概要:学校運営の専門家に調査を依頼し、教育内容・進路指導等の合理的・効果的施策を構築し、生徒の夢を実現できる魅力ある学校を目指す。
進捗状況:調査会社と業務委託契約を締結し、新入生・保護者、教員並びに在校生へのヒアリング、中学校・進学塾へのアンケート調査を実施し、その結果を踏まえ 7 月に報告書が学校に提出され、教職員に対し説明会を実施した。(達成度 A)
- 事業計画:健全な経営基盤確立のため、募集定員以上の確保
事業概要:学校の財政基盤安定と施設設備充実にを図る。
進捗状況:募集定員以上の確保を目指し、年間を通じ全教職員が尽力した結果、募集人員以上の入学者を獲得(達成度 A)
- 事業計画:広報活動の充実
学校案内及び学校紹介 DVD の制作、学校ホームページの充実
事業概要:本校の知名度アップや学習環境の良さなどをアピールする。
進捗状況:毎年度、学校案内や学校紹介 DVD を充実させ、的確な学校情報の伝達を図っている。
学校の出来事を毎日ホームページ内で更新することで、保護者及び中学生等へのアピールができています。(達成度 A)
- 事業計画:教育内容に影響を及ぼさない範囲でコスト管理を徹底する
事業概要:徹底した経費節減を図る。
進捗状況:収支改善を目指し、教職員の予算執行時の節約意識が向上している。(達成度 A)
- 事業計画:教員採用長期計画
事業概要:若手教員の採用を行い、将来の年齢構成並びに財政負担の適正化を図る。
進捗状況:採用計画に基づき、国語科 2 名、数学科 1 名、理科 1 名、保健体育科 1 名を採用した。(達成度 A)

【施設設備】

- 事業計画:キャンパス整備計画の検討
事業計画:マスタープランに基づいて新校舎建設へ向けキャンパス整備の計画を検討し、安心・安全で楽しく学べる魅力ある学校を目指す。
進捗状況:コンサルタント業者と契約を行い、新校舎建設等に向け、マスタープラン(概要)を策定した。(達成度 A)
- 事業計画:講堂兼体育館耐震補強工事
事業計画:耐震補強によって、地震時の生徒・教職員の安全性が向上し、「安心・安全なキャンパス」が確保できるとともに、地域住民の安全な避難場所が確立でき、地域住民からより高い信頼を得ることができる。
進捗状況:平成 28 年 2 月に工事は完了した。(達成度 A)
- 事業計画:家庭科実習室改修工事
事業計画:平成 27 年度から開始される家庭科の授業のため経年劣化した設備・備品を更新。
進捗状況:授業開始前に工事は完了(達成度 A)
- 事業計画:教員用パソコン購入
事業計画:機能向上による作業の効率化を図るため、ノートパソコン 17 台、デスクトップパソコン 2 台を購入。
進捗状況:計画どおり実施(達成度 A)

【財政・各種基金】

- 事業計画:予算計上の案件についても、執行時に再検討を行い、優先順位に基づく執行を図る

事業概要:収支改善のため予算執行時の経費節約意識を定着させる。

進捗状況:全教職員の努力により、募集定員確保を達成し、収入の安定に寄与できた。さらに教職員の予算執行時の節約意識が向上している。(達成度:A)

- 事業計画:入学者確保による財政基盤の安定を図る
事業概要:志願者増加を図るため、ホームページの効果的な活用や学校案内・学校紹介DVDの充実、中学校訪問・入試説明会・進学塾説明会を一層充実させ、受験生が入学したくなる高校になるよう工夫する。
進捗状況:ホームページをほぼ毎日更新しており、アクセスは増加の一途である。(達成度:A)
- 事業計画:新校舎建設資金の積み立て
事業概要:学校の財政基盤安定並びに施設設備充実を図る。
進捗状況:収入増及び経費節減に努めた結果、当初の予算どおり蓄財できることになった。(達成度:A)

○山形高等学校

【教育研究】

- 事業計画:収容定員の変更
事業概要:平成25年度から収容定員を1,550名から平成26年度1,450名、平成27年度に1,350名に変更する。
進捗状況:平成27年度に完成年度となった。(達成度:A)
- 事業計画:クラブ活動の充実
事業概要:多くのクラブが全国大会に出場することにより、実力の向上と共に活気あふれる学校を目指すことができる。
進捗状況:今年度は12のクラブが全国大会に出場することができた。(達成度:A)
- 事業計画:教員の資質向上の推進
事業概要:各種セミナー・研究・国内外研修会への参加、校内研修会の実施。
進捗状況:各機関の研修・セミナーに参加し、生涯教育・国際化への対応、情報化社会等の問題について自己を再点検すると共に、これからの学校運営や教育活動に役立てることができた。(達成度:A)
- 事業計画:学力向上対策プロジェクトの設置
事業概要:基礎学力到達度テスト等の対策として、よりきめ細やかな学習指導のノウハウを探りながら、生徒の学力向上と教員のスキルアップを図る。
進捗状況:プロジェクト会議を開催し、各チームの進捗状況を報告している。(達成度:B)
- 事業計画:きめ細やかな学習指導の推進
事業概要:1クラス35名を目安としながら少人数授業を実施する。
進捗状況:基礎学力を向上させるため、「学習方法習得体験」を1・2年生対象に5教科で行うことができた。また長期休暇時に、原則全員参加の講習を実施した。(達成度:B)
- 事業計画:高大連携教育の推進
事業概要:学部との遠隔授業を通じて、大学の高度な学びに触れさせ、進学への意欲を高める。
進捗状況:生産工学部との遠隔授業による高大連携教育を実施し、理解を深めるとともに進学意識を高揚できた。(達成度:A)

- 事業計画:生徒支援の推進

事業概要:本校独自の山形高等学校奨学金、コ・ラー育英奨学金をはじめ、山形県高等学校奨学金など公的奨学金の存在を保護者に積極的に告知する。

進捗状況:学業成績優良で運動能力及び人物が優れた健康な生徒に奨学金を支給した。さらに上記奨学金の他、多くの生徒を対象に様々な民間の奨学金も告知した。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:地域社会・同窓会・校友会との連携
事業概要:町内会や同窓会及び校友会との情報交換を密にし、校友会各支部総会への参加を通じて情報収集や意見交換を図る。
進捗状況:本校の社会貢献等多くの情報を発信することに努め、地域社会から理解を得ることができた。また保護者や同窓会と連携を図り、就職活動の推進を図ることができた。(達成度:A)
- 事業計画:ボランティア活動の推進
事業概要:生徒を中心に、献血の協力、あしなが学生街頭募金、赤い羽根募金などの募金活動を実施するほか、ペットボトルのキャップ、書き損じはがきの回収などを実施する。
進捗状況:ボランティア活動に対する生徒の理解と関心は高く、善意を寄せ合う心の大切さを学ぶとともに社会へ奉仕することや、他人を思いやる心を養うことができた。(達成度:A)
- 事業計画:環境への取組等
事業概要:環境美化のため、生徒会と連携し、校舎内の清掃及び花壇づくりを実施する。
進捗状況:生徒会と環境整備委員及び本校職員(管財係)の協力により、校内の環境美化に努めたが、更に推進する必要がある。(達成度:B)
- 【経営・人事】
- 事業計画:新教務システムの構築
事業概要:担当教員の業務負担を軽減、さらに、生徒の成績・健康面のデータを一元化することにより、一貫した指導の適正化を望むことができる。
進捗状況:業者を選定し導入することができた。平成28年度より総合学術情報センターにサーバを設置し、本格稼働する。(達成度:B)
- 事業計画:新就業システムの導入
事業概要:教職員の出勤をコンピュータ管理することにより、安全衛生管理面からも教職員の健康管理の充実を図ることが可能となり、各種統計調査への対応も用意になる。
進捗状況:平成27年4月から、導入することができた。(達成度:A)
- 事業計画:危機管理への対応・対策
事業概要:生徒・教職員用として、防災用品を備蓄する。また、保護者向け緊急連絡メール連絡網を整備し、情報伝達の迅速性・確実性を得る。
進捗状況:防災用品は年次計画で整備することができ、平成27年度は発電機を整備した。(達成度:B)
- 事業計画:障害者雇用の推進
事業概要:障害者の雇用の促進等に関する法律により、臨時職員として採用する。

進捗状況:平成 25 年 12 月 1 日付けにて、図書室の臨時職員を採用することができた。(達成度:A)

- 事業計画:進路指導活動推進による大学志願者数増
事業概要:本校の進学状況における特色面をアナウンスし、日本大学をはじめ難関大学への進路実績や恒常的な進学者数の多さをアピールし、生徒募集活動につなげていく。

進捗状況:大学への進路決定者は、例年 60%から 70%であり、今年度は国公立大学や歯学部、獣医系の学部への進学者が多く見られた。(達成度:A)

- 事業計画:特別支援教育事業の推進
事業概要:特色ある教育の施策として、不登校・発達障害を疑われる生徒への支援体制を策定し、特別支援教育の充実を図る。

進捗状況:導入している学校を視察し、規程等を整備するため準備をしている。また専任教員をコーディネートとして配置した。(達成度:C)

- 事業計画:学校説明会及び入試相談会の推進
事業概要:学校説明会を年 5 回開催、県内中学校への訪問、各中学校主催学校説明会へ参加。

進捗状況:学校説明会や中学校教員向け説明会を実施することにより、本校を希望する生徒や保護者との距離が縮まる。本校の教育内容及び入試情報等を PR し志願者増を図る。(達成度:A)

- 事業計画:生徒の希望進路実現の推進
事業概要:各学年に応じた適切な進路指導計画を立案し実行する。

進捗状況:生徒や卒業生への各種教育情報データベースの利用や、同窓会の協力も得て、進路、進学説明会、職業講話、就職指導(企業訪問・模擬面接・公務員受験講座等)を実施した。(達成度:A)

- 事業計画:新規教員の採用等
事業概要:定年退職による教員の減に伴い、採用計画を立てる。

進捗状況:将来の各教科の教員構成、校務分掌等も考慮し収入とのバランスを図り、平成 28 年度は、2 名を採用予定である。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:カメラ監視装置の導入
事業概要:節電による経費節減を目指すとともに、生徒・教職員の省エネ意識の啓蒙触発に役立てることができる。

進捗状況:再度検討した結果、別途電気工事が必要となったため取り止めとなった。(達成度:D)

【財政・各種基金】

- 事業計画:財政基盤の確立
事業概要:教職員の学校経営に対する意識改革の徹底。
進捗状況:セパベース予算の徹底、冗費の節減により、経費節約等支出削減につなげる。

(達成度:B)

- 事業計画:学生生徒納付金の収入確保
事業概要:平成 27 年度より 2・3 年生の施設設備資金を年額 11 万円から 13 万円に 2 万円値上げし、安定した収入確保に努める。

進捗状況:学則変更をして値上げを実施した。(達成度:A)

○習志野高等学校

【教育研究】

- 事業計画:CST, GA, NP 各コースの設置
事業概要:平成 18 年度入学生から従来の文系・理系に加えて、CST(日本大学理工学部進学)コース, GA(総合進学)コース, NP(国公立進学)コースを設置した。更にコースの特色を生かした授業への取組み。

進捗状況:CST コースでは理工学部進学者増加及び高大連携教育の推進, GA・NP コースでは、それぞれのコースの特色を生かした授業展開及び効果の発揮を図った。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:ゴミの減量対策啓蒙運動
事業概要:学校行事及び生徒会活動の中で生徒にゴミの減量・資源の再利用について啓蒙活動を行っており平成 27 年度についても同様に啓蒙活動を行う。

進捗状況:生徒会によるペットボトルキャップの回収活動の実施(達成度:A)

- 事業計画:地球温暖化防止の取組
事業概要:カーボン・フットプリントの導入、冷房温度 28℃以上、暖房温度 20℃以下の温度設定管理の励行。

進捗状況:熱・電気等のエネルギー使用量の削減を図った。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:広報活動ほかの活発化
事業概要:予算編成基本方針及び予算編成留意事項に基づきコストパフォーマンスのとれた財政の実現を目指し予算編成を行う。志願者を増やすため更に積極的に広報活動を行う。

進捗状況:千葉県内で実施される進学相談会への参加だけでなく、学習塾や中学校にも積極的に接触し併せて、理工学部と同時開催の本校オープンキャンパスを充実させ受験生の確保を図った。(達成度:A)

- 事業計画:教員の新規採用
事業概要:若手教員の採用を促進し、教員の年齢構成をバランスよくすることによって効率的な人件費の支出を図る。

進捗状況:若手教員の採用を促進し、教員の年齢構成のバランスをとり効率的な人件費の抑制及び学校運営の円滑化を図った。(達成度:A)

【施設設備】

- 事業計画:習志野高等学校体育館屋根・外壁・外窓改修工事

事業概要:既存体育館の屋根・外壁等を改修し、建物の耐久性を高め学校行事・体育授業及び部活動等の使用時の安全性と快適性を向上する。

進捗状況:屋根の漏水、外壁のクラック、スチールサッシからアルミサッシへの取替により安全性と快適性を向上させた。

(達成度:A)

- 事業計画:(旧)習志野高等学校部室棟改修工事
事業概要:旧習志野高等学校敷地内にある経年劣化が著しい部室棟を改修し、建物の耐久性を高め部活動等使用時の安全性と快適性を向上する。

進捗状況:旧習志野高等学校 3 号館の空き教室が利用可能となり、工事の見直しを図り改修工事を見送った。(達成度 C)

○事業計画:船橋校地の建築基準法に基づく敷地分割
事業概要:資産の適正な管理と建築基準法に基づく申請が必要な新規事業計画における阻害要因の排除に推進する。

進捗状況:平成23年9月から測量を実施し、平成25年3月末に分割案作成が完了。確認申請物件の完了検査後に建物調査を行い精査し、平成27年6月に建築基準法第12条第5項に基づく報告書を船橋市建築指導課に届け出た。(達成度:A)

【財政・各種基金】

○事業計画:予算の効率的執行・運用

事業概要:限られた財源を考慮して高校運営に当たるため、従来にも増して予算制度の基本に立ち経費全体の徹底した見直しを図ったうえで、コストバランスを重視し、効果的かつ実行確実性のある予算編成に努める。

進捗状況:無駄のない予算の執行による教育環境の効果的充実及び各種教育サービスの充実を図る。(達成度:A)

○東北高等学校

【教育研究】

○事業計画:学習・学生生活の支援

事業概要:学費等の特別減免措置を実施し、生徒が経済的に安心して学べる環境を確保する。

進捗状況:生徒もしくは保護者から提出された日本大学特別措置の申請書に基づき、平成27年度については168名に対して学費の減免措置を行った。(達成度:A)

○事業計画:学生生活環境の安全・安心の確保

事業概要:震災対応のための防災用備品の整備

進捗状況:平成27年度については、540名分の非常食としてロングライフカロリーメイトを購入し、全生徒・教職員分の備蓄が完成した。(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画:入試広報の充実

事業概要:広報活動の充実により、本高校のイメージアップと入学者数の確保に努める。

進捗状況:中学校での広報活動及びCMによる広報活動により、オープンスクールでは生徒及び保護者合わせて2,114名の参加者があり、本校のイメージアップは達成されたと考える。(達成度:A)

【施設設備】

○事業計画:新校舎建設の早期実現

事業概要:当初の計画に基づき、早期の新校舎建設を実現する。

進捗状況:平成26年11月25日の本部承認の重要整備計画に基づき、平成28年度予定の設計実施に向けて、準備を進めている。(達成度:A)

【財政・各種基金】

○事業計画:本部の総合運用制度の積極的活用

事業概要:早期に財政基盤の再構築を図るべく、1年以上使用しない凍結資金については、本部の総合運用制度(0.4%)を積極的に活用する。

進捗状況:新校舎建設に向け建設資金の充実を目的に本部の特定目的引当特定資産に1億円を9月末に繰入れることができた。(達成度:A)

○事業計画:財政基盤の強化

事業概要:財政基盤の強化を図る。

ア 資金収支上の単年度黒字化を図り、5年後の引当資産プラス5億円を達成する。

イ 事業活動収支上、5年後の消費支出比率95%を達成する。

進捗状況:ア 決算見込みにおいては、資金収支上約2,300万円の収入超過であり、1億円を9月末に総合運用資金として繰入れた(平成26年度から累計2億円)。

イ 消費支出比率は予算ベースで94.94%であったが、決算見込みでは98.98%となっている。(達成度:B)

○日本大学幼稚園

【教育研究】

○事業計画:幼児の発達上の困難と課題への対応の重要性から専門家を交えた「幼児教育と発達」に関する研修実施とその実践の充実を図る。

事業概要:幼児教育と発達に関する知識と関心を深め実践力を維持向上できるよう専門家を迎え研修会を実施。

進捗状況:発達上の困難さや課題について全教員の共通認識や連携を保ち、実践向上に向け取り組むことができ、保育のあり方を考える貴重な場となった。(達成度:A)

○事業計画:運動・音楽療法(ヘルリズム)及び操作的造形的活動を感覚統合教育の視点から深める。

事業概要:運動・音楽療法(ヘルリズム)及び操作的造形的活動を通じて、幼児の心身のバランスがとれた発育を促し、自己コントロールする力を育む。

進捗状況:幼児の全身の感覚と機能の統合力の育ちが興奮機能と抑制機能に程よいバランスを生む上で有効となることが実践を通じて確かなものとなってきた。(達成度:A)

○事業計画:幼児が保育者と共に畑づくりを手掛け、季節毎の野菜等を栽培し育てることで、収穫の楽しみや喜びを友達や周囲の大人と分かち合う。

事業概要:野菜等栽培は幼児の自然への興味や関心を引き出す。探究心を沸き立たせ豊かな感性と人間関係を育み、ひいては表現活動にもつなげていく。

進捗状況:友達や異年齢間で交流しながら畑づくりを手掛けることで、野菜等栽培への興味や関心が深まり、育て収穫する楽しさや喜びを友だちや周囲の大人と味わうことができた。(達成度:A)

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:地域防災計画への参画

事業概要:災害時の近隣地域における本園の役割の明確化と地域貢献並びに災害ボランティア活動参加による社会貢献。

進捗状況:震災救護所運営連絡会(年6回)に積極的に参加し、近隣地域との密着した関係が継続できた。(達成度:A)

○事業計画:各種子育て支援(日常における各種相談・アドバイスの実施、春・夏期休暇期間中、通常保育後の預かり保育の実施)

事業概要:子育てにかかわる多様で難しい課題への一助と社会貢献。

進捗状況:教職員の連携を活かし、日常の各種相談を積極的に行ったことで、保護者からの信頼を得ることができた。(達成度:A)

○事業計画:発達の専門家を招いて在園児や地域の未就園児をもつ父母を対象に子育てに関する講演会を定期的に実施。

事業概要:地域貢献の観点から近隣児童館に周知の協力を求め、在園児以外の子育て中の保護者の講演会参加を受け付けた。

進捗状況:在園児以外の参加者は各回3~7名に留まったが、概ね好評を得ることができた。(達成度:B)

【経営・人事】

○事業計画:志願者増加を図り保育後3時間の預かり保育を実施。

事業概要:長時間保育を望む保護者の傾向への対応により志願者増加を図る。

進捗状況:保護者の要望にでき得る限り応えることができた。(達成度:A)

○事業計画:春季・夏期休暇期間中の預かり保育の実施。

事業計画:志願者・在園者の父母の要望に対応することにより、志願者増加へつながるとともに、子育て支援の一環としても貢献を図る。

進捗状況:仮設園舎移転に伴う引越準備等で冬期休暇期間中の預り保育が実施出来なかった。(達成度:B)

○事業計画:人件費削減を目指した教職員採用計画の見直し。

事業概要:教員採用計画の見直し、給食室調理要員の減員、事務職員の定期的な異動。

進捗状況:教員採用計画は専任教諭の採用を見送った(達成度:B)

【施設設備】

○事業計画:園内施設設備等の老朽化に伴う修繕

事業概要:園内施設設備等の経年的老朽化に伴う修繕。

進捗状況:園児が安全に過ごせることを念頭に置き、補修工事は優先順位をつけることで費用を抑えることができた。(達成度:A)

○事業計画:園舎建設と仮設園舎施設・用地の借用。

事業概要:園舎の経年的老朽化に伴う園舎等の建替えと建替え期間中の杉並区内施設の借用・改修。仮設園舎による保育の継続。

進捗状況:基本設計及び仮設園舎改修の設計が完了し、仮設園舎が竣工した。(達成度:A)

【財政・各種基金】

○事業計画:預かり保育実施に伴う収入源の確保と補助金獲得。

事業概要:補助金獲得により幼稚園の収入増加を図ることで収支改善へつなげる。

進捗状況:預かり保育を春期(5日間)、夏期(10日間)実施し、補助金を獲得することができた。(達成度:B)

○事業計画:3才児クラスのチーム保育実施に伴う補助金獲得。

事業概要:補助金獲得により幼稚園の収入増加を図ることで収支改善へつなげる。

進捗状況:3才児クラスのチーム保育実施により補助金を獲得することができた。(達成度:A)

○事業計画:園内の安全対応能力向上の取り組み実施による補助金獲得。

事業概要:補助金獲得により幼稚園の収入増加を図ることで収支改善へつなげる。

進捗状況:学校安全マニュアル・防犯マニュアルの策定と防犯訓練、日常の園全体での避難訓練等安全対応能力向上への取り組みにより補助金を獲得することができた。(達成度:A)

○事業計画:園内の事故対応能力向上の取り組み実施による補助金獲得。

事業概要:補助金獲得により幼稚園の収入増加を図ることで収支改善へつなげる。

進捗状況:近隣の消防署に依頼して教職員に対する AED 並びに心肺蘇生法実技講習会の実施により補助金を獲得することができた。(達成度:A)

○事業計画:近隣地域中学生の保育職場体験受け入れに伴う補助金獲得。

事業概要:補助金獲得により幼稚園の収入増加を図ることで収支改善へつなげる。

進捗状況:天沼中学校5名の保育職場体験受け入れにより補助金を獲得することができた。(達成度:A)

病院等

○日本大学病院

【社会貢献・環境活動】

○事業計画:市民公開講座の定期的な開催

事業概要:時節に合った病気の講演を企画して新規患者数の増加を図る。

進捗状況:年度内に6回、「健康に暮らそう」をテーマに開催した。院内広報及び区報、東京トコ広報誌にも掲載し多くの区民が受講された。また、受講された方にテーマに沿った受診予約を実施して新規患者の増加に貢献した。(達成度:A)

【経営・人事】

○事業計画:消耗品、医療材料費等の削減

事業概要:ジェネリック医薬品の積極採用、各種消耗品・医療材料費の抜本的削減

進捗状況:頭痛薬等使用量の多い医薬品をジェネリックに切り替えるとともに、全体的な費用削減のための会議体を組織して諸施策を検討及び実施した結果、目標額1,000万円に対して1,700万円程(平成28年2月現在)の削減を実現した。(達成度:B)

○事業計画:医療収入の増加

事業概要:医療連携の強化、病床利用率の向上、救急患者の積極的受入等

進捗状況:PET-CT 装置を導入、検査患者を獲得し2800万円程の収入を増加させるとともに、医療連携及び救急受入の強化により、病床稼働率90%を越える月もあり、入院患者数の維持が出来たとともに夜間看護職員配置加算、医師事務作業体制加算の取得により、対予算費比109.7%となり大幅な収入増となった。(達成度:A)

○事業計画:7対1看護体制の維持

事業概要:適正な稼働病床数維持と大幅な増員をしない看護体制の維持

進捗状況:入院患者数が増加したことと、年度内離職者及び育児休業者による人員減の状況で、大変困難な状況であったが、中途採用を実施せず人材派遣の活用により欠員補充をしない状態で、人件費を増やさずに7対1体制を維持した。(達成度:B)

○医学部付属板橋病院

【教育研究】

- 事業計画:専修医・研修医制度の充実(専修医・専修指導医の増員)
事業概要:専修医・専修指導医の増員
進捗状況:専修医・専修指導医の採用を随時行うよう医学部と共に対応をとっている。(達成度:A)
- 事業計画:充実した初期臨床研修プログラムの提供,プログラムの見直しを図る。
事業概要:臨床研修医の能力向上と人材確保を図る。
進捗状況:魅力あふれるプログラムを提供するために,本学部学生との意見交換の場を設け,要望を取り入れ,研修医の選択自由枠の大きいプログラムを作成している。(達成度:A)
- 事業計画:看護に求められる臨床研修の充実。
事業概要:看護部門の体制を樹実させるとともに看護部職員の能力向上を図る。
進捗状況:勉強会の開催や様々な研修会及び認定看護師の資格認定への参加を行っている。さらに,海外短期研修制度を設けている。(達成度:A)
- 事業計画:臨床検査技師の研修の充実。
以下の研修・学会での発表の義務化
・東京都臨床検査技師会研修会,国公立大学検査技師研修会,私立大学病院検査技師長会教育セミナー,日本臨床検査技師会医学検査学会,日本細胞診学会,日本病理学会,日本超音波学会,循環器学会,消化器肝臓学会など
事業概要:領域のトップリーダーになるための学会参加と学術発表の義務化。
進捗状況:様々な研修会,学会への積極的参加及び発表を行っている。さらに新たに設けられた学会の認定資格の取得ができるよう支援を行っている。(達成度:A)
- 事業計画:薬剤師の研修充実並びにがん専門薬剤師,救急認定薬剤師等の育成。
事業概要:薬剤師部門の体制を充実させるとともに,薬剤師の能力向上を図る。
進捗状況:様々な研修会,学会への積極的参加及び発表を行っている。さらに新たに設けられた学会の認定資格の取得ができるよう支援を行っている。(達成度:A)
- 事業計画:リハビリテーション部門の充実(理学療法士,作業療法士の補強)
事業概要:高齢化社会の医療の充実を図るため,臓器別,疾患別リハビリテーションの充実を図る。
進捗状況:作業療法士が欠員であり,補充活動中。(達成度:B)
- 事業計画:がん診療拠点病院の充実
事業概要:がん拠点病院の診療充実を図る。
進捗状況:ロボット手術支援システム(ダヴィンチ),放射線治療機器(IMRT)等の医療機器を整備し,最新のがん治療の機能強化を図った。(達成度:A)
- 事業計画:二次救急医療の充実
事業概要:二次救急医療の充実
進捗状況:総合科,救命救急センターを中心に全科によるバックアップ体制の強化により幅広い患者層に対応している。(達成度:A)
- 事業計画:医療安全管理の充実
事業概要:医療安全管理の充実
進捗状況:電子カルテの導入により,インシデント・アクシデント管理が容易に行え,管理体制の充実が図られた。また,患者急変時の対応システムの構築等,安全管理の充実も図った。(達成度:A)

○事業計画:臨床研究推進センターの充実

事業概要:臨床研究推進センターの充実進捗状況:臨床研究を推進するために,臨床研究・臨床治験・市販後調査といった受入窓口を臨床研究推進センターに集約すべく検討を進めており,臨床研究中核病院を目指している。なお,資本投下が可能となる体制を併せて検討している。(達成度:B)

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:大学病院の地域貢献。
救命救急センターの取り扱い患者数は毎年都内トップクラス。こども救命センターとスーパー周産期センター両方の指定を受けている医療機関は当院のみ。高度救急医療の最後の砦としての機能を果たしている。
事業概要:高度救急医療の最後の砦としての機能は果たす。
進捗状況:本年度も各種指定医療機関として指定を受け,高度救急医療の提供を行っている。(達成度:A)
- 事業計画:医療安全の充実,院内感染対策の体制強化。
事業概要:特定機能病院の役割,社会的責務の履行を図る。
進捗状況:今年度については,厚生労働省の特定機能病院タスクフォースによる立入検査,医療法改正による医療安全管理体制の拡充が求められる等,情勢の変化に対応している。(達成度:B)
- 事業計画:各拠点病院認定に伴う公開講座の開設。
事業概要:紹介患者等の増加を目指し,医療収入の増加を図る。
進捗状況:医師会や他大学病院と共に一般市民に分かりやすく脳卒中やがんの診療,予防等について定期的に開催している。(達成度:A)
- 事業計画:医師による国際学会における発表の推進とその支援。
事業概要:医療の最新化,教育・研究の促進と共に医学・医療情報の地域還元を図る。
進捗状況:医療の充実,教育・研究の促進のため学会出張について,部長会で承認のもと参加。(達成度:B)
- 事業計画:JICAなどを介して海外医療従事者の研修の受け入れ。
事業概要:海外医療従事者を対象に最先端医療やチーム医療の見学・研修を受け入れる。
進捗状況:臨床検査部や看護部での研修生の受け入れを行っている。(達成度:A)
- 事業計画:国内における講習会,治験説明,啓発事業などでの招聘要請に対する職員の派遣。
事業概要:国内における講習会,治験説明,啓発事業等での招聘要請に対する職員派遣。
進捗状況:治験講習会,啓発事業等での職員の招聘要請に随時職員を派遣している。(達成度:A)
- 事業計画:地域医療機関,医師会と本病院において外来化学療法の実施と地域連携バス(各種がん,脳卒中,糖尿病等)への取り組みの連携を図る。
事業概要:地域医療連携の推進,紹介患者の増加を図る。
進捗状況:都内医療機関が共通に使用できるバスにより,紹介を受けるだけでなく,退院及び転院への支援強化を図っている。(達成度:B)
- 事業計画:省エネ対策の強化。
事業概要:節水,節電等による照明器具等の効率化を図る。
進捗状況:休日,夜間のエレベーターの一部停止や空調機器の効率化を図っている。(達成度:A)

- 事業計画:廃棄物分別の徹底。
事業概要:再利用化の促進を図る。
進捗状況:分別処理,シュレッダーの活用で廃棄物処理経費の削減を図っている。また,職員に対して廃棄物の分別,減量化について啓蒙活動を行っている。(達成度:A)

【経営・人事】

- 事業計画:医療情報課の機能強化の検討
事業概要:ITによる情報管理と戦略の立案。
進捗状況:新たに任命した副病院長を経営担当と任命し,DPC解析に対する経営資源,戦略の検討を行っている。(達成度:B)
- 事業計画:電子カルテシステムの充実
事業概要:診療情報を一元管理することにより医療の質の向上が図れ,安定した病院機能を維持することができる。
進捗状況:平成26年1月から電子カルテが稼働し,診療情報の共有による医療の質の向上を図った。(達成度:A)
- 事業計画:経費の削減
消耗品,医療材料費等の削減を図る。
事業概要:継続的な後発医薬品(ジェネリック)への切替え。
進捗状況:随時,後発医薬品に切り替えが可能な医薬品においては,切り替えを実施している。(達成度:A)
- 事業計画:7対1看護体制の維持
事業概要:看護師の安定的採用により,7対1看護体制を維持する。
進捗状況:継続して維持を行っているが,入院患者の増加に伴い一時的な看護師不足となり,7対1看護体制を維持するよう体制を整えている。(達成度:B)
- 事業計画:患者未収入金回収事業
事業概要:弁護士事務所による患者未収入金回収事業。
進捗状況:事業継続により,未回収金は減少傾向にある。(達成度:A)
- 事業計画:特定機能病院の特徴を生かした高度先進医療への取り組み。
事業概要:効率化,高質化のなご一層の推進を図る。
進捗状況:新たに2件の先進医療の承認を受け,現在4件となったが,更なる充実を図るべく複数申請を予定している。(達成度:A)
- 事業計画:専門診療体制への取組み。
事業概要:新たに特化した専門診療科を設置して付加価値を高める。
進捗状況:自由診療によるアンチエイジング治療を開始した他,手術室の運用の効率化及び手術支援ロボット(ダヴィンチ)の導入等,既存の診療機能に対しての充実を図った。(達成度:B)
- 事業計画:サント・オレ・ニコ制度への対応
事業概要:患者の権利と安全確保を目指す。
進捗状況:サント・オレ・ニコ依頼に対して迅速に対応している。(達成度:A)
- 事業計画:診療環境の改善。
事業概要:適正病床数と療養環境改善の検討。
進捗状況:患者病室の設備充実を図る。(達成度:B)
- 事業計画:地域医療機関との連携の充実・強化。
事業概要:特定機能病院の役割を果たすと共に地域医療機関との連携の充実と強化を図る。
進捗状況:医療連携室の機能に加え専任医師,看護師を配置し,転院・退院支援を行い,地域医療機関との連携を強化。(達成度:A)
- 事業計画:ホームページの充実。
事業概要:日本工業規格のWebアクセシビリティ規定に基づくリニューアルを行い,総務省が推進しているホームページのバリア

フリー化を図る。
進捗状況:現在構築中であり,来年度にリニューアル予定。(達成度:B)

- 事業計画:地域への情報発信。
事業概要:地域医療の充実を図る。
進捗状況:ホームページによる情報発信以外に「日大板橋病院だより」を発行し,近隣医療機関等に情報提供を行っている。(達成度:B)
- 事業計画:国の医療政策としてあげられている5疾病(がん,脳卒中,急性心臓疾患,糖尿病,精神疾患)及び5事業(小児医療,救急医療,災害医療,周産期医療等)の各基幹あるいは中核病院認定に向けての院内整備。
事業概要:国や行政が最も重視する医療は次期第6次医療法改正においても重点項目として継続される見込みであり院内整備も継続して行っていく。
進捗状況:各種指定,認定病院を継続し,医療機能の充実を図っている。(達成度:B)
- 事業計画:変革する医療制度への対応
 - (1)医療連携センターの機能充実。
 - (2)総合診療科の充実による医療機関としての機能・役割
 - (3)地域がん診療連携拠点病院,東京都小児がん診療病院として「医療機関に対する研修制度」,「がん等の治療成績情報の管理」,「緩和ケアの充実」,「患者相談の対応」等の更なる充実を図る。
 - (4)災害拠点病院としての機器の整備を図る。
 - (5)院内通信設備(PHSの充実)による7対1看護体制のもと情報伝達の向上と医療安全の向上を図る。
事業概要:地域の拠点病院としての機能の充実。
進捗状況:地域の拠点病院としての機能を充実し,医療情報発信を図り,地域医療機関との連携強化に取り組んでいる。(達成度:B)
- 事業計画:自由診療項目の開始
事業概要:大学病院のみで可能な品質管理された自由診療の開始(美容整形等)
進捗状況:平成28年2月からレーザー治療による美容医療・アンチエイジング外来を開設。(達成度:A)
- 事業計画:高度先進医療の推進
事業概要:今後導入,発展するであろう再生医療の実施。
進捗状況:脱分化細胞を使用した再生医療の実現に向け,整備している。(達成度:B)
- 事業計画:病棟薬剤業務実施加算の請求
事業概要:病棟薬剤業務実施加算業務を開始し,入院収入の増加を図る。
進捗状況:薬剤師の充足により,平成28年8月から実施。(達成度:A)
- 事業計画:薬剤管理指導業務を全ての病棟で実施
事業概要:薬剤管理指導料の件数を増やし,入院収入の増加を図る。
進捗状況:薬剤師の充足により,全ての病棟で実施。(達成度:A)

○歯学部付属歯科病院

【社会貢献・環境活動】

- 事業計画:医療連携部を中心に地域医療機関や同窓会との更なる連携を図る
事業概要:歯科病院のホームページに医療連携の案内や各種様式を掲載し,また歯学部の同窓会誌に患者紹介についての案内を掲載するなどして,地域医療機関や同窓会との連携強化に努める。

進捗状況:初診患者における紹介状持参者の割合が、平成26年度40.74%、平成27年度(12月まで)40.62%と依然高い水準にあり、医療連携の強化が図られている。(達成度:A)

○事業計画:三島歯科医療センターの開設

事業概要:国際関係学部三島駅北口校舎に三島歯科医療センターを開設し、大学病院が有する高度な医療を地域に提供する。また、三島市歯科医師会に加入し、三島市の歯科検診実施機関になるなど地元への貢献に努める。

進捗状況:平成27年12月1日に三島歯科医療センターが開院したが、月間の患者数、医療収入共に目標に達していないため、国際関係学部の学生に対する2016年4月からの診療費補助の周知、口腔外科の高度医療のPRと地元歯科医院との連携強化などにより、今後更なる患者獲得と収入増加に努める。(達成度:B)

【経営・人事】

○事業計画:医療収入の増収

事業概要:①口腔外科における手術件数の増加とベッド稼働率の向上により、入院患者を増加させ、医療収入の増収に努める。

②同窓会との連携強化による紹介患者の受け入れ、患者1人当たりの来院日数の増加及び高度な歯科医療を提供する機関であることを広報するなどして外来患者の増加を図り、外来収入の増収に努める。

③適正なレプト作成に努めることにより、診療報酬の算定漏れや査定によるレプト返戻等を減少させ、医療収入の増収を図る。

進捗状況:①入院患者については、ベッド稼働率が平成26年度の1日平均10.0%に対して、平成27年度(12月まで)が1日平均10.7%と増加している。これは入院患者1人当たりの入院日数が増加しているためであり、手術件数は減少傾向にある。また、保険診療に比べて保険適用外診療が減少しており、入院収入は前年度に比べて減収となっている。②外来患者については、30分単位での診療予約の励行及び予後の経過観察などによる患者1人当たりの来院日数の向上により、外来患者数は増加傾向にある。しかし保険適用外診療の減少により全体として外来収入は減収となっている。③本部病院経営指導管理オフィスによる業務指導、保険委員会と同窓の保険審査員による加付指導及びレプトチェック業者による指摘事項を診療科別に開示するなどして、適正なレプト作成に努めている。(達成度:B)

○事業計画:病院経費の削減と業務の効率化(歯科病院)

事業概要:医療材料をマスター化することで業務の効率化を図るとともに、多数業者による見積り合せにより、安価な調達が可能となる。また低コストの材料を提案し、購入価格を下げる。

進捗状況:材料をより安価なものに見直し、更に新規業者の参入による見積り合せを行った。(達成度:A)

○松戸歯学部附属病院

【施設設備】

○事業計画:廃水処理施設改修工事

事業概要:竣工後30年近くが経過し、老朽化が著しいため改修工事を実施する。

進捗状況:本事業は27年度をもって完了した。(達成度:A)

Ⅲ 事業の概要 (データ編)

1 一般入学試験志願者数

学部第一部

学部名	募集人員	志願者数	前年度最終数	前年度比
法学部	720	10,415	8,568	121.6
文理学部	961	15,178	14,629	103.8
経済学部	665	11,482	9,699	118.4
商学部	615	11,120	9,797	113.5
芸術学部	436	2,017	2,114	95.4
国際関係学部	380	1,309	1,354	96.7
危機管理学部	150	2,090	-	-
スポーツ科学部	110	1,521	-	-
理工学部	841	18,861	17,148	110.0
生産工学部	691	8,039	8,631	93.1
工学部	615	3,220	3,393	94.9
医学部	102	4,677	4,353	107.4
歯学部	65	679	584	116.3
松戸歯学部	68	560	533	105.1
生物資源科学部	745	10,925	10,970	99.6
薬学部	115	2,214	2,354	94.1
合 計	7,279	104,307	94,127	110.8

学部第二部

学部名	募集人員	志願者数	前年度最終数	前年度比
法学部	150	251	246	102.0
合 計	150	251	246	102.0

短期大学部

学科名	募集人員	志願者数	前年度最終数	前年度比
ビジネス教養学科	25	39	42	92.9
食物栄養学科	25	57	67	85.1
建築・生活デザイン学科	44	232	180	128.9
ものづくり・サイエンス総合学科	33	110	140	78.6
生命・物質化学科	22	78	87	89.7
合 計	149	516	516	100.0

合 計

学部・短期大学部 合計	募集人員	志願者数	前年度最終数	前年度比
	7,578	105,074	94,889	110.7

2 修了者数/卒業者数/博士学位授与者数

※（ ）内は9月修了者数。

修了者数

大学院研究科

研究科	博士前期・ 修士課程	博士後期・ 博士課程	専門職学位課程	合計
法学	21 (1)		—	21 (1)
新聞学	6		—	6 (0)
文学	55 (3)	7	—	62 (3)
総合基礎科学	41		—	41 (0)
経済学	32		—	32 (0)
商学	31		—	31 (0)
芸術学	53	2	—	55 (0)
国際関係	9		—	9 (0)
理工学	422	11 (2)	—	433 (2)
生産工学	145	5	—	150 (0)
工学	78	3	—	81 (0)
医学	—	37	—	37 (0)
歯学	—	34	—	34 (0)
松戸歯学	—	25	—	25 (0)
生物資源科学	86	7	—	93 (0)
獣医学	—	5	—	5 (0)
薬学	—	3	—	3 (0)
総合社会情報	48	8	—	56 (0)
法務	—	—	20 (1)	20 (1)
知的財産	—	—	17	17 (0)
計	1,027 (4)	147 (2)	37 (1)	1,211 (7)

卒業者数

学部

学部	卒業者数
法	1,478 (16)
文 理	1,982 (44)
経 済	1,438 (39)
商	1,266 (100)
芸 術	909 (7)
国際関係	657 (17)
理 工	1,919 (48)
生産工	1,447 (6)
工	760 (6)
医	111
歯	113
松戸歯	73
生物資源科	1,589 (12)
薬	140 (59)
(小計)	13,882 (354)
法(第二部)	113 (8)
経済(第二部)	3 (1)
(小計)	116 (9)
合計	13,998 (363)

通信教育部

学部	卒業者数
法	67 (19)
文 理	156 (54)
経 済	51 (15)
商	80 (27)
計	354 (115)

短期大学部

学 科	卒業者数
ビジネス教養	56 (2)
食物栄養	108 (2)
建築・生活デザイン	80 (4)
ものづくり・サイエンス総合	61 (2)
生命・物質化	30 (1)
生物資源	149
計	484 (11)

短期大学部専攻科

専攻	修了者数
食物栄養	16

幼稚園

学校	卒園者数
日本大学	74

高等学校

学校	卒業生数
日本大学	447
櫻丘	467
鶴ヶ丘	470
藤沢	539
豊山	470
豊山女子	240
三島	666
明誠	284
山形	368
習志野	441
東北	435
計	4,827

専修学校

学校	卒業生数
医学部附属看護専門学校	80
歯学部附属歯科技工専門学校	19
歯学部附属歯科衛生専門学校	37
松戸歯学部附属歯科衛生専門学校	51
計	187

中学校

学校	卒業生数
日本大学	247
藤沢	120
豊山	182
豊山女子	126
三島	49
計	724

博士学位授与者数

専攻分野の名称	論文博士		課程博士		合計
	27年度授与者数	累計(A)	27年度授与者数	累計(B)	(A)+(B)
環境科学	0	0	0	1	1
生命科学	0	0	0	6	6
法学	0	17	0	5	22
政治学	0	2	0	4	6
文学	2	106	2	37	143
社会学	0	1	0	9	10
教育学	3	15	1	15	30
心理学	0	11	4	51	62
経済学	0	38	0	14	52
商学	0	21	0	26	47
芸術学	1	13	2	88	101
国際関係	0	38	0	33	71
工学	10	955	18	687	1,642
理学	0	117	3	215	332
医学	9	2,962	37	1,559	4,521
歯学	7	2,420	59	1,945	4,365
生物資源科学	5	68	7	110	178
農学	0	162	0	91	253
獣医学	3	153	5	115	268
薬学	1	52	3	55	107
総合社会文化学	0	6	8	63	69
学術	1	13	0	5	18
計	42	7,170	149	5,134	12,304

3 海外学術交流提携校/外国人留学生数/地域別外国人留学生数

海外学術交流提携校

※平成27年3月31日現在

学 部 等	提 携 校	国・地域名	提携の形
大学	マッコーリ大学	オーストラリア	協定
	クィーンズランド大学	オーストラリア	協定
	クレムス応用科学大学	オーストリア	協定
	サンパウロ大学	ブラジル	協定
	トロント大学	カナダ	協定
	成都大熊猫繁育研究基地	中国	協定
	中国管理科学学会	中国	協定
	中国伝媒大学	中国	協定
	福建師範大学	中国	協定
	福建富閩基金会及び福建省対外友好協会	中国	協定
	遼寧大学	中国	協定
	遼寧省人民政府	中国	協定
	北京大学	中国	協定
	山東大学	中国	協定
	香港教育学院	中国	協定
	新疆医科大学	中国	協定
	鄭州大学	中国	協定
	オーフス大学	デンマーク	協定
	ラッペンランタ大学	フィンランド	協定
	アヴィニョン大学	フランス	協定
	ガーナ大学	ガーナ	協定
	ベルリン自由大学	ドイツ	協定
	ヨハネス・グーテンベルク大学	ドイツ	協定
	メイヌース大学	アイルランド	協定
	高麗大学校	韓国	協定
	慶熙大学校	韓国	協定
	延世大学校	韓国	協定
	モスクワ国立国際関係大学	ロシア	協定
	ロシア科学アカデミー	ロシア	協定
	マドリード・コンプルテンセ大学	スペイン	協定
	バリアドリード大学	スペイン	協定
	ストックホルム大学	スウェーデン	協定
	北西スイス応用科学・芸術大学	スイス	協定
	国立中興大学	台湾	協定
	国立台湾大学	台湾	協定
	ケンブリッジ大学	イギリス	協定
	エリザベスタウン・カレッジ	アメリカ合衆国	協定
	ジョージ・メイソン大学	アメリカ合衆国	協定
	ケント州立大学	アメリカ合衆国	協定
	アラバマ大学バーミングハム	アメリカ合衆国	協定

学 部 等	提 携 校	国・地域名	提携の形
	カリフォルニア大学サンタバーバラ校 ハワイ大学マノア校 オレゴン大学 ワシントン州立大学 ウェスタンミシガン大学	アメリカ合衆国 アメリカ合衆国 アメリカ合衆国 アメリカ合衆国 アメリカ合衆国	協定 協定 協定 協定 協定
法学部	北京大学国際関係学院 アヴィニョン大学 ヨハネス・グーテンベルク大学 新羅大学校 カリフォルニア州立ポリテクニク大学ポモナ校 カリフォルニア大学ヘイスティングス校 アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター	中国 フランス ドイツ 韓国 アメリカ合衆国 アメリカ合衆国 アメリカ合衆国及びカナダ	覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書
文理学部	華東師範大学 北京大学 高麗大学校文科大学 新羅大学校 モンゴル国立大学 国立台湾師範大学 トラキア大学 ケント大学 カンザス大学 ワシントン大学文理学部	中国 中国 韓国 韓国 モンゴル 台湾 トルコ イギリス アメリカ合衆国 アメリカ合衆国	覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書
経済学部	マウントロイヤル大学 復旦大学日本研究センター 対外経済貿易大学 フランス経済商科大学 スケマビジネススクール ボーフム大学経済学部及び東アジア研究学部 ブダペスト・コルピヌス大学 高麗大学校政治経済学部 西江大学校経済学部 マッセイ大学 フィリピン大学ディリマン校経済学部 コルドバ大学法経営経済学部 マドリード・コンプルテンセ大学経済・経営学部 タマサト大学経済学部 ケンブリッジ大学 ノッティンガム大学経済学部 オーバン大学経営学部	カナダ 中国 中国 フランス フランス ドイツ ハンガリー 韓国 韓国 ニュージーランド フィリピン スペイン スペイン タイ イギリス イギリス アメリカ合衆国	覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書
商学部	オデンシアグループ フロリダ州立大学	フランス アメリカ合衆国	覚書 覚書
芸術学部	グリフィス大学 中国伝媒大学	オーストラリア 中国	覚書 覚書
国際関係学部	マッコーリ大学	オーストラリア	覚書

学部等	提携校	国・地域名	提携の形
国際関係学部及び短期大学部 (三島)	北京大学国際関係学院	中国	覚書
	ノルテ大学	コロンビア	覚書
	フランス経済商科大学	フランス	覚書
	西カトリック大学	フランス	覚書
	ヨハネス・グーテンベルク大学	ドイツ	覚書
	ゴア大学	インド	覚書
	インドネシア教育大学	インドネシア	覚書
	慶熙大学校国際・経営学部	韓国	覚書
	デ・ラ・サール大学(マニラ校)教養学部	フィリピン	覚書
	サラマンカ大学	スペイン	覚書
	バリアドリード大学	スペイン	覚書
	アサンブション大学	タイ	覚書
	フェリシアン大学	アメリカ合衆国	覚書
	モンタナ州立大学	アメリカ合衆国	覚書
	ペンシルヴェニア州立大学	アメリカ合衆国	覚書
	セント・ノーバート・カレッジ	アメリカ合衆国	覚書
	ニューヨーク州立ストーニーブルック大学	アメリカ合衆国	覚書
	カリフォルニア大学サンタバーバラ校	アメリカ合衆国	覚書
	イリノイ州立大学文学部社会学・人類学科	アメリカ合衆国	覚書
	ウェスタン・インスティテュート・オブ・テクノロジー・アット・タラナキ	ニュージーランド	覚書
理工学部	西安建築科技大学	中国	覚書
	西安理工大学	中国	覚書
	ダルムシュタット工科大学	ドイツ	覚書
	全北大学校工科大学	韓国	覚書
	韓国海洋大学校海洋科学技術大学・工科大学	韓国	覚書
	フィリピン工科大学	フィリピン	覚書
	ミネソタ大学理工学部	アメリカ合衆国	覚書
生産工学部	全南大学校工科大学	韓国	覚書
	慶尚大学校工科大学	韓国	覚書
	中国科技大学規劃與設計學院・管理學院・資訊學院	台湾	覚書
	ケント州立大学	アメリカ合衆国	覚書
	ミシシッピ州立大学	アメリカ合衆国	覚書
工学部	ウメツ大学理工学部	スウェーデン	覚書
	テキサス大学オースチン校工学部	アメリカ合衆国	覚書
医学部	中国医科大学	中国	覚書
	中国医学科学院心血管病研究所・阜外医院	中国	覚書
	華中科技大学同済医学院	中国	覚書
	清華大学医学院	中国	覚書
	ボーフム大学附属ノルトラインヴェストファーレン州立バートユーン ハウゼン心臓病センター	ドイツ	覚書
	ヨルダン大学医学部	ヨルダン	覚書
	嘉泉医科大学	韓国	覚書
	ハワイ大学医学部	アメリカ合衆国	覚書
歯学部	山東大学歯学部	中国	覚書
	慶北大学校歯学部	韓国	覚書

学部等	提携校	国・地域名	提携の形
	ヘルスサイエンス大学	ラオス	覚書
松戸歯学部	マギル大学歯学部 天津医科大学口腔医学院 武漢大学口腔医学院 センメルワイズ大学歯学部 台北医学大学口腔医学院 高雄医学大学口腔医学院 タマサト大学歯学部	カナダ 中国 中国 ハンガリー 台湾 台湾 タイ	覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書
生物資源科学部	海南大学海洋学院・生命科学農学院 セベラス・マレット大学 大韓民国農村振興庁普及支援研究部 ピコール大学農林学部 極東連邦大学 メチョー大学農学部 ワシントン大学森林資源学部 カントー大学農学部	中国 インドネシア 韓国 フィリピン ロシア タイ アメリカ合衆国 ベトナム	覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書 覚書
大学院総合基礎科学研究科	国立ストラスブール高等物理学院(ルイ・パスツール大学) マーストリヒト大学大学院統治管理研究科及び経済・経営管理学部	フランス オランダ	覚書 覚書
大学院法務研究科	全北大学校法学部	韓国	覚書
現在有効な提携の合計数	123大学等	30か国1地域	

* 協定：大学（全体）単位での提携

覚書：学部等単位での提携

* **太字**は平成27年度新規提携校

* 大学等の合計は、重複する提携先機関を1校として数えた。

外国人留学生数

※平成27年5月1日現在

大学院研究科

研 究 科	博士前期・修士・専門職学位課程				博士後期・博士課程						合 計
	1年次	2年次	3年次	計	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	計	
法 学	2	3	—	5		1	2	—	—	3	8
新 聞 学	7	6	—	13	1	1		—	—	2	15
文 学	3	3	—	6			1	—	—	1	7
総合基礎科学	1		—	1				—	—		1
経 済 学	1	1	—	2				—	—		2
商 学	28	30	—	58	1	1	2	—	—	4	62
芸 術 学	13	16	—	29	3		2	—	—	5	34
国 際 関 係	1	6	—	7			2	—	—	2	9
理 工 学	20	16	—	36		3	5	—	—	8	44
生 産 工 学	4	5	—	9		1		—	—	1	10
工 学	2		—	2		1		—	—	1	3
医 学	—	—	—	—					—	—	
歯 学	—	—	—	—	1				—	1	
松 戸 歯 学	—	—	—	—					—	—	
生物資源科学	3	2	—	5	1				—	1	6
獣 医 学	—	—	—	—					—	—	
薬 学	—	—	—	—			1		—	1	1
法 務 学			1	1	—	—	—	—	—	—	1
知 的 財 産	1	1	—	2	—	—	—	—	—	—	2
計	85	88		176	7	8	15			30	206

学部

学部	1年次	2年次	3年次	4年次	5年次	6年次	計
法	15	7	13	21	—	—	56
文 理	47	32	30	42	—	—	151
経 済	25	45	44	47	—	—	161
商	18	11	31	36	—	—	96
芸 術	24	23	28	30	—	—	105
国 際 関 係	21	6	9	18	—	—	54
理 工	48	40	60	91	—	—	239
生 産 工	10	8	11	14	—	—	43
工	1	5	1		—	—	7
医							
歯							
松 戸 歯				1			1
生 物 資 源 科	8	8	2	5	—	—	23
薬							
計	217	185	229	305			936

短期大学部

学科	1年次	2年次	計
ビジネス教養		2	2
食物栄養			
建築・生活デザイン	1		1
ものづくり・サイエンス総合			
生命・物質化			
生物資源			
計	1	2	3

地域別外国人留学生数

大学院研究科（博士前期・修士課程）

地域	アジア
人数	173

大学院研究科（博士後期・博士課程）

地域	アジア	北米	計
人数	29	1	30

大学院研究科（専門職学位課程）

地域	アジア
人数	3

学部

地域	アジア	中近東	アフリカ	オセアニア	北米	南米	ヨーロッパ
人数	910	2	4	3	7	1	9

短期大学部

地域	アジア
人数	3

（参考）

アジア	インド、ネパール、スリランカ、ミャンマー、タイ、マレーシア、シンガポール、インドネシア、香港、韓国、モンゴル、ベトナム、中国、カンボジア、ラオス、台湾、
中近東	サウジアラビア
アフリカ	ケニア、ウガンダ
オセアニア	オーストラリア、トンガ
北米	アメリカ
南米	コロンビア
ヨーロッパ	フィンランド、スウェーデン、アイルランド、英国、ドイツ、フランス、スイス、ブルガリア、ロシア、ウズベキスタン

4 学内奨学金制度

大学院研究科・学部

種 別	年 額	人数	給付総額(円)			
古 田 奨 学 金	20万円	20	4,000,000			
ロバート・F・ケネディ奨学金	20万円	20	4,000,000			
エヌドット奨学金	36万円	84	30,240,000			
アスリート奨学金	第1種 入学金, 授業料, 施設設備資金及び図書費	5	11,900,000			
	第2種 授業料, 施設設備資金及び図書費	15	30,960,000			
附属高等学校等出身アスリート奨学金	第1種 入学金, 授業料, 施設設備資金及び図書費	5	11,900,000			
	第2種 授業料, 施設設備資金及び図書費	0	0			
小 澤 奨 学 金	12万円	9	1,080,000			
オリジナル設計奨学金	20万円	5	1,000,000			
日本大学事業部奨学金	24万円	98	23,520,000			
創立100周年記念外国人留学生奨学金	授業料相当額	28	20,040,000			
法 学 部 奨 学 金	第1種 30万円	22	6,600,000			
	第2種 授業料1年分相当額を上限とする	0	0			
	第3種 往復航空運賃+留学先授業料1年分相当額を上限とする	2	331,400			
法 学 部 永 田 奨 学 金	12万円	13	1,560,000			
法 学 部 山 岡 奨 学 金	12万円	12	1,440,000			
法 学 部 杉 林 奨 学 金	12万円	9	1,080,000			
法 学 部 校 友 会 奨 学 金	第1種 授業料半期分相当額を上限とする	0	0			
	第2種 24万円	4	960,000			
	第3種 12万円	5	600,000			
大 学 院 法 務 研 究 科 奨 学 金	第1種	既修	98万円	14	13,720,000	
		未修	98万円	5	4,900,000	
	第2種	既修(第3種支給額適用)		98万円	0	0
		未修(第3種支給額適用)		50万円	9	4,500,000
		未修(第3種支給額適用)		98万円	1	980,000
	第3種	既修		50万円	6	3,000,000
		未修		98万円	3	2,940,000
	第4種	既修		50万円	1	500,000
		未修		50万円	1	500,000
	第5種	既修		50万円	5	2,500,000
未修		50万円	0	0		
文 理 学 部 奨 学 金	第1種	学 部	24万円	52	12,480,000	
		大学院	40万円	4	1,600,000	
	第2種	学 部	24万円	2	480,000	
		大学院	40万円	1	400,000	
第3種	学費相当額を限度とする			0	0	
文 理 学 部 後 援 会 奨 学 金	学費支弁の困難な者	24万円	50	12,000,000		
文 理 学 部 校 友 会 奨 学 金	学費支弁の困難な者	24万円	10	2,400,000		
文 理 学 部 大 学 院 特 別 奨 学 金	授業料相当額	4	2,600,000			
経 済 学 部 奨 学 金	第1種	36万円	6	2,160,000		
	第2種	24万円	4	960,000		
	第3種		24万円	0	0	
(後期採用者)		12万円	1	120,000		
経 済 学 部 後 援 会 奨 学 金	第1種		24万円	34	8,160,000	
		(後期採用者)	12万円	3	360,000	
	第2種	36万円	3	1,080,000		
経 済 学 部 校 友 会 奨 学 金	12万円	7	840,000			
経 済 学 部 特 別 研 究 生 奨 学 金	授業料相当額+図書費+施設設備資金相当額(大学院)	1	1,300,000			
商 学 部 後 援 会 奨 学 金	授業料相当額の半額	25	8,125,000			

種 別	年 額		人数	給付総額(円)	
商 学 部 校 友 会 奨 学 金	授業料相当額の半額		5	1,625,000	
校 友 会 準 会 員 商 学 部 奨 学 金	授業料相当額の半額		30	9,750,000	
商 学 部 菅 奨 励 金	30万円		0	0	
商 学 部 奨 学 金	第1種	授業料相当額	15	9,425,000	
	第2種	授業料相当額	13	8,450,000	
	第3種	授業料相当額の半額	30	9,552,500	
商 学 部 絆 奨 学 金	授業料相当額の半額		20	6,500,000	
芸 術 学 部 奨 学 金	第1種	学部	授業料1年分相当額	5	5,100,000
		大学院	50万円	0	0
	第2種	学部	30万円	4	1,200,000
		大学院	50万円	0	0
	第3種	学部	授業料1年分相当額	1	510,000
		大学院	授業料1年分相当額	0	0
	第4種	東アジア地域	10万円	0	0
		東アジア以外の地域	※20万円	13	2,274,810
芸術学部ジェームス&道子・ダン奨学金	10万円		2	200,000	
国 際 関 係 学 部 奨 学 金	第1種	学部	授業料1年分相当額の半額	3	1,140,000
		大学院	授業料1年分相当額の半額	0	0
		短大	授業料1年分相当額の半額	0	0
	第2種	学部	授業料1年分相当額の半額	0	0
		大学院	授業料1年分相当額の半額	0	0
		短大	授業料1年分相当額の半額	0	0
	第3種	学部	授業料1年分相当額の半額	1	380,000
		大学院	授業料1年分相当額の半額	0	0
		短大	授業料1年分相当額の半額	0	0
国 際 関 係 学 部 柳 川 海 外 交 流 奨 学 金	第1種	50万円	1	500,000	
	第2種	大学院	50万円	0	0
三 島 後 援 会 特 別 奨 学 金	下宿補助	学部	12万円	154	18,480,000
		大学院	12万円	0	0
		短大	12万円	4	480,000
	新幹線通学補助	学部	12万円	37	4,440,000
		大学院	12万円	0	0
		短大	12万円	0	0
	静岡駅利用者	学部	8万円	7	560,000
大学院		8万円	0	0	
短大		8万円	0	0	
国 際 関 係 学 部 校 友 会 奨 学 金	第1種	学部	25万円	14	3,500,000
		短大	25万円	2	500,000
	第2種	学部	25万円	2	500,000
		短大	25万円	0	0
日 本 大 学 三 島 同 窓 会 奨 学 金	国家試験	学部	5万円	0	0
		短大	5万円	0	0
理 工 学 部 奨 学 金	第1種	学部	40万円	30	12,000,000
		大学院	50万円	90	45,000,000
		短大	40万円	2	800,000
	第2種 (留学生)	学部	40万円	2	800,000
		大学院	50万円	5	2,500,000
短大	40万円	0	0		
理 工 学 部 後 援 会 奨 学 金	50万円		40	20,000,000	
理 工 学 部 校 友 会 奨 学 金	12万円		10	1,200,000	
生 産 工 学 部 奨 学 金	第1種	60万円		9	5,400,000
	第2種	前期	30万円	3	900,000
		後期	30万円	2	600,000
	第3種	60万円		2	1,200,000

種 別	年 額	人数	給付総額(円)	
生産工学部校友会奨学金	30万円,20万円,10万円から経済的困窮度に応じ	6	1,800,000	
工 学 部 奨 学 金	第1種 60万円	6	3,600,000	
	第2種 授業料相当額	4	3,600,000	
	第3種 授業料の20%相当額	1	180,000	
	第4種 36万円	18	6,480,000	
工学部父母会奨学金	半期25万円	8	2,000,000	
工学部五十嵐奨学金	10万円	10	1,000,000	
医学部土岐奨学金	20万円	3	600,000	
医学部永澤奨学金	20万円	1	200,000	
医学部同窓会60周年記念医学奨励金	30万円	3	900,000	
医学部特定医療奨学金	60万円	0	0	
医学部同窓会就学奨学金	教育ローン利子相当額	1	188,650	
歯 学 部 佐 藤 奨 学 金	第1種			
		20万円	6	1,200,000
		10万円	27	2,700,000
歯 学 部 同 窓 会 奨 学 金	第2種	10万円	5	500,000
	第3種	海外50万円以内	11	1,799,000
歯 学 部 同 窓 会 奨 学 金	学部	10万円	3	300,000
	大学院	5万円	5	250,000
松 戸 歯 学 部 鈴 木 奨 学 金	第1種	10万円	39	3,900,000
	海外研修	20万円	2	400,000
	第2種			
	海外	50万円以内	12	1,895,460
	国内	5万円以内	58	2,027,700
松 戸 歯 学 部 大 竹 奨 学 金	10万円	2	200,000	
生物資源科学部奨学金	授業料・施設設備資金相当額	3	4,350,000	
生物資源科学部大森奨学金	20万円	11	2,200,000	
生物資源科学部特別研究生奨学金	大学院 授業料相当額	11	6,900,000	
生物資源科学部後援会奨学金	25万円以上60万円以内	41	17,800,000	
生物資源科学部校友会奨学金	25万円以上60万円以内	16	7,050,000	
薬 学 部 奨 学 金	第1種	50万円	1	500,000
	第2種	30万円	6	1,800,000
	第3種	30万円	0	0
薬学部校友会奨学金	20万円	2	400,000	
薬学部校友会準会員奨学金	30万円	7	2,100,000	
薬学部校友会(桜薬会)奨学金	20万円	2	400,000	
薬学部マツモトキヨシ奨学金	第1種 30万円	6	1,800,000	
通信教育部奨学金	授業料相当額	5	450,000	
通信教育部坂東奨学金	授業料相当額	1	90,000	
大学院総合社会情報研究科坂東奨学金	20万円	3	600,000	
計		1,513	497,744,520	

※芸術学部奨学金第4種の東アジア以外の地域の受給者で、他奨学金受給により減額となっている者がいるため、端数金額となっている。

本学独自の奨学金（貸与）大学院研究科・学部

種 別	年 額	人 数	貸与総額(円)
医学部同窓会就学奨学金	授業料相当額を限度	0	0
歯学部佐藤奨学金	授業料相当額を限度	0	0
松戸歯学部鈴木奨学金	授業料相当額を限度	0	0
計		0	0

高等学校

学 校	名 称	年 額 (円)	人 数	給付総額 (円)	
付 属 1 1 校	日本大学付属高等学校奨学金	240,000	0	0	
	日本大学付属高等学校特待生	480,000	4	1,920,000	
日 本 大 学	日本大学高等学校奨学金	第1種	8	1,600,000	
		第2種	2	400,000	
		第3種	4	400,000	
	日本大学高等学校・中学校杉山奨励金	50,000	7	350,000	
	日本大学高等学校・中学校後援会奨学金	第1種	12	1,200,000	
		第2種	4	400,000	
日本大学高等学校・中学校同窓会奨学金	第1種	3	300,000		
	第2種	2	200,000		
櫻 丘	日本大学付属高等学校特待生	444,000	4	1,776,000	
	櫻丘高等学校創設50周年記念後援会奨学金	100,000	3	300,000	
	櫻丘高等学校後援会奨学金	第1種	7	700,000	
第2種		2	200,000		
鶴 ケ 丘	日本大学付属高等学校特待生	420,000	4	1,680,000	
	鶴ヶ丘高等学校奨学金	第1種	8	3,360,000	
		第2種	6	2,664,000	
	鶴ヶ丘高等学校英明奨学金	150,000	12	1,800,000	
藤 沢	日本大学付属高等学校特待生	468,000	2	936,000	
	藤沢高等学校奨学金	第1種	17	1,700,000	
		第2種	4	400,000	
		第3種	3	300,000	
	藤沢高等学校スポーツ奨学生	第1種1号	863,000	4	3,452,000
		第1種2号	431,500	2	863,000
		第2種1号	603,000	5	3,015,000
		第2種1号	633,000	4	2,532,000
		第2種2号	301,500	2	603,000
		第2種2号	316,500	2	633,000
	藤沢高等学校特待生内規	学力A特待生	468,000	4	1,872,000
		学力A特待生	438,000	2	876,000
		技能B特待生	234,000	4	936,000
		技能B特待生	6	1,404,000	
		学力B特待生	219,000	2	438,000
技能B特待生	3	657,000			
豊 山	日本大学付属高等学校特待生	450,000	1	450,000	
	豊山高等学校育友奨学金	第1種	3	1,242,000	
			150,000	5	750,000
			120,000	5	600,000
		90,000	1	90,000	
		70,000	1	70,000	
		600,000	2	1,200,000	
	第3種	564,000	5	2,820,000	
		150,000	7	1,050,000	
	豊 山 女 子	日本大学付属高等学校特待生	426,000	3	1,278,000
豊山女子高等学校・中学校奨学金		100,000	7	700,000	
三 島	日本大学付属高等学校特待生	348,000	5	1,740,000	
	三島高等学校・中学校奨学金	第2種	100,000	5	500,000
			480,000	6	2,880,000
		第1種	340,000	13	4,420,000
			240,000	4	960,000
	三島後援会奨学金	第2種	170,000	14	2,380,000
			160,000	7	1,120,000
	第3種	120,000	50	6,000,000	
120,000		15	1,800,000		
明 誠	日本大学付属高等学校特待生	372,000	3	1,116,000	
	明誠高等学校奨学金	120,000	10	1,200,000	
	明誠高等学校永田奨学金	100,000	14	1,400,000	
山 形	日本大学付属高等学校特待生	360,000	4	1,440,000	
	山形高等学校スポーツ奨学金	第1種	27	9,720,000	
		第2種	5	1,350,000	
		第3種	48	8,640,000	
		第4種	21	1,890,000	
	山形高等学校奨学金	120,000	12	1,440,000	
習 志 野	日本大学付属高等学校特待生	348,000	4	1,392,000	
	石川奨学金	第1種	2	744,000	
		348,000	4	1,392,000	
	習志野高等学校後援会奨学金	第1種	15	1,500,000	
		第3種	5	500,000	
東 北	日本大学付属高等学校特待生	324,000	4	1,296,000	
	東北高等学校奨学金	第1種	10	3,240,000	
		第2種	5	1,620,000	
東北高等学校桜薔会奨学金	200,000	19	3,800,000		
計			531	116,473,000	

中学校

学 校	名 称	年 額 (円)		人 数	給付総額 (円)
日 本 大 学	日本大学付属高等学校特待生	480,000		3	1,440,000
	日本大学高等学校・中学校後援会奨学金	第1種	100,000	4	400,000
		第2種		2	200,000
	日本大学高等学校・中学校杉山奨励金	50,000		1	50,000
藤 沢	日本大学付属高等学校特待生	468,000		1	468,000
		438,000		1	438,000
	藤沢高等学校奨学金	第1種	100,000	4	400,000
	藤沢高等学校特待生内規	学力A特待生	468,000	1	468,000
		学力A特待生	438,000	1	438,000
		学力B特待生	234,000	1	234,000
学力B特待生		219,000	1	219,000	
豊 山	日本大学付属高等学校特待生	414,000		3	1,242,000
	豊山高等学校育友奨学金	第1種	150,000	2	300,000
			120,000	2	240,000
			90,000	1	90,000
			70,000	1	70,000
豊 山 女 子	日本大学付属高等学校特待生	426,000		2	852,000
	豊山女子高等学校・中学校奨学金	第1種	100,000	4	400,000
三 島	日本大学付属高等学校特待生	348,000		2	696,000
	三島高等学校・中学校奨学金	第2種	100,000	2	200,000
	三島後援会奨学金	第3種	120,000	2	240,000
		第4種	120,000	1	120,000
計				39	9,205,000

5 就職状況

※平成28年3月31日現在

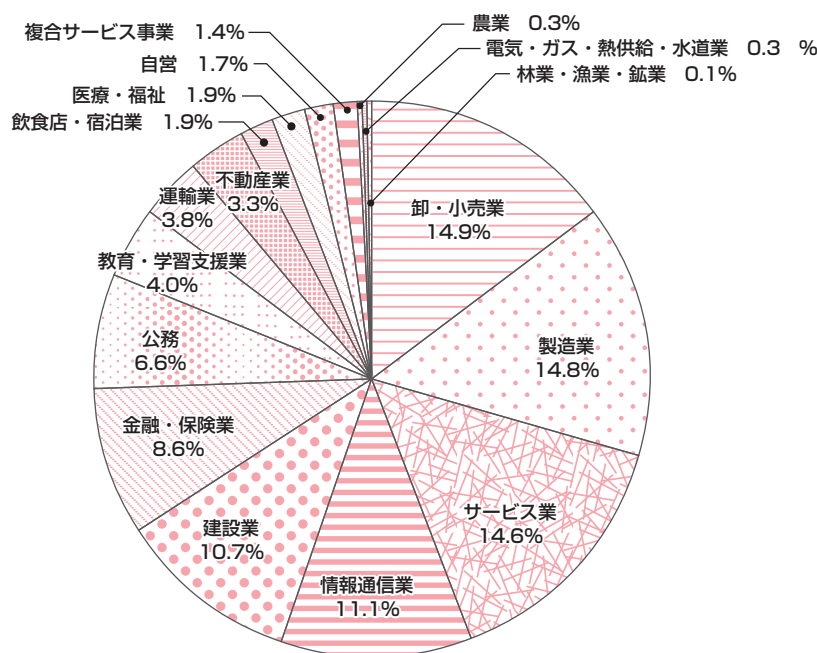
就職率

学部名	卒業生数	就職者数 ①	就職活動中 ②	就職希望者 (①+②=③)	就職率 ①/③
法学部	1,478	1,194	79	1,273	93.79%
文理学部	1,982	1,534	79	1,613	95.10%
経済学部	1,438	1,233	76	1,309	94.19%
商学部	1,266	1,098	40	1,138	96.49%
芸術学部	909	638	111	749	85.18%
国際関係学部	657	550	34	584	94.18%
理工学部	1,919	1,366	18	1,384	98.70%
生産工学部	1,447	1,191	13	1,204	98.92%
工学部	760	607	4	611	99.35%
生物資源科学部	1,589	1,291	85	1,376	93.82%
薬学部	140	129	0	129	100.00%
合計	13,585	10,831	539	11,370	95.26%

※ 法学部と経済学部は第一部のみ

※ 9月卒業生は含まない

業種別就職状況



主な就職先

大成建設(株), 清水建設(株), (株)鹿島建設, (株)大林組, 積水ハウス(株), 大和ハウス工業(株), (株)伊藤園, 山崎製パン(株), (株)ヤクルト本社, MeijiSeikaファルマ(株), 三菱電機(株), 富士通(株), (株)日立製作所, トヨタ自動車(株), 本田技研工業(株), 富士重工業(株), 東京電力(株), 東京瓦斯(株), 東日本電信電話(株), KDDI(株), ソフトバンク(株), 凸版印刷(株), 大日本印刷(株), 日本放送協会, (株)電通, (株)博報堂, 松竹(株), 全日本空輸(株), 日本航空(株), 東日本旅客鉄道(株), 東海旅客鉄道(株), 東京地下鉄(株), 日本通運(株), ヤマト運輸(株), (株)JTB首都圏, 近畿日本ツーリスト(株), (株)エイチ・アイ・エス, (株)オリエンタルランド, 日本たばこ産業(株), 楽天(株), (株)大塚商会, (株)三越伊勢丹, (株)セブン-イレブン・ジャパン, (株)マツモトキョシ, (株)三菱東京UFJ銀行, (株)みずほフィナンシャルグループ, (株)三井住友銀行, (株)りそなホールディングス, (株)横浜銀行, (株)千葉銀行, 城北信用金庫, 城南信用金庫, 野村證券(株), SMBC日興証券(株), 日本生命保険(相), 第一生命保険(株), 東京海上日動火災保険(株), 損害保険ジャパン日本興亜(株), 日本郵便(株), 総合警備保障(株), 法務省, 財務省, 国土交通省, 厚生労働省, 経済産業省, 防衛省, 東京都庁, 東京都特別区, 神奈川県庁, 埼玉県庁, 千葉県庁, 静岡県庁, 各自治体市役所, 警視庁, 各県警察本部, 各自治体消防局, 各都県教育委員会

6 保健体育審議会所属競技部の主な成績

団体優勝部

競技部名	大会
陸上競技部	日本学生対校選手権大会(男子総合団体・フィールド・多種目) 関東学生対校選手権大会(男子総合団体・フィールド・多種目)
ボート部	全日本大学選手権大会(総合団体・ダブルスカル・舵手無ペア・舵手付フォア) 全日本選手権大会(エイト・舵手無クォドルプル)
相撲部	全国学生選手権大会 全日本大学選抜宇和島大会 全国大学選抜宇佐大会 全国選抜・実業団刈谷大会 全日本大学選抜十和田大会 東日本学生リーグ戦 東日本学生選手権大会 全国学生女子選手権大会
弓道部	全国大学選抜大会(女子総合団体)
馬術部	全日本学生三大大会(総合団体・賞典馬場馬術) 関東学生三大大会(総合団体・学生賞典馬場競技・学生賞典総合競技) 東都学生大会(総合団体・障害飛越競技・学生賞典馬場競技・複合競技) 東都トーナメント 関東学生馬術争覇戦 関東学生女子自馬競技大会(女子総合団体・馬場馬術競技・障害飛越競技)
自転車部	全日本大学対抗選手権大会(男子ロード部門)
空手部	和道全国大会(男子総合団体・女子総合団体)
射撃部	全日本学生選手権大会(男女総合団体・男子総合団体・50m3×40M・50mP60M・10mS60M) 東日本学生選手権大会(男子総合団体・10mS60M) 春季関東学生選手権大会(男子総合団体・50m3×40M・10mS60M・女子50m3×20W) 秋季関東学生選手権大会(男子総合団体・50m3×40M・10mS60M)
重量挙げ部	全日本大学対抗選手権大会 東日本大学対抗選手権大会
ボクシング部	全日本大学王座決定戦 関東大学リーグ戦
フェンシング部	全日本選手権大会(男子エペ) 関東学生リーグ戦(男子総合団体・男子フルーレ・男子エペ)
ゴルフ部	全国大学対抗戦(男子総合団体・女子総合団体) 関東大学春季Aブロックリーグ戦

※優勝部12部(全日本12部)

個人優勝者

競技部名	氏名	大会	種目
陸上競技部	鈴木愛勇	日本学生対校選手権大会	砲丸投
	福永拓也	日本学生個人選手権大会	800m
	橋本孝興	日本学生対校選手権大会	400mH
	小田大樹	日本学生対校選手権大会	走幅跳
	パトリック・マセンゲ・ワンブイ	日本学生対校選手権大会	10000m
水泳部	小堀勇氣	FINAワールドカップ東京大会	200m自由形
	三井梨紗子	日本学生選手権大会	ソロ
	池田匠見	日本室内選手権大会	1m飛板飛込
	山根優衣	国民体育大会	200m自由形フリーリレー
	寺村美穂	日本学生選手権大会	200m個人メドレー
	大塚千誠	日本学生選手権大会	高飛込
柔道部	向翔一郎	全日本ジュニア体重別選手権大会	90kg以下級
	滝川真央	アジアジュニア選手権大会	78kg超級
	福岡克仁	全日本学生体重別選手権大会	73kg以下級
相撲部	佐々木耕大	全国選抜大学実業団対抗和歌山大会	135kg未満級
	木崎信志	全国学生個人体重別選手権大会	
	トウルボルド	全日本選手権大会	中量級 軽量級
	兼平志織	国際女子選抜堺大会	
松尾清香	全国学生女子選手権大会		
馬術部	沖廣諒一	全日本学生三大大会	学生賞典馬場馬術競技大会
自転車部	吉田悠人	全日本大学対抗選手権大会	男子個人ロードレース
	坂井洋	全日本学生選手権大会	スプリント
空手部	多田野彩香	アジア選手権大会	女子50kg以下級
射撃部	小林郁弥	全日本学生選手権大会	50m3×40M
	小林由斉	日本学生選抜選手権大会	10mS60M
重量挙げ部	持田龍之輔	全日本選手権大会	105kg級 (スナッチ・ジャーク・トータル)
	押田真	国民体育大会	56kg級 ジャーク
	多田佳弘	全日本学生個人選手権大会	105kg級(ジャーク・トータル)
	近内三孝	全日本学生個人選手権大会	69kg級(スナッチ・トータル)
	村上英士朗	全日本ジュニア選手権大会	105超級スナッチ
ボクシング部	坪井智也	全日本選手権大会	ライトフライ級
スキー部	藤ノ木光	全日本学生選手権大会	男子リレー
	渡邊歩実	全日本学生チャンピオン大会	女子回転
	狩野悠希	全日本学生選手権大会	女子リレー
	小島寛則	全日本学生選手権大会	男子リレー
	渡部陸太	全日本学生選手権大会	スペシャルジャンプ
	星野壮生	全日本学生選手権大会	男子リレー
	松村亜斗夢	全日本学生選手権大会	男子リレー
	土屋正恵	全日本学生選手権大会	女子リレー
	小千田晴海	全日本学生選手権大会	女子リレー
	スケート部	長谷川翼	日本学生氷上競技選手権大会
磯賢汰		国民体育大会	成年男子2000mリレー
後藤卓也		全日本学生選手権大会	スプリント部門 500m
佐々木奨之		日本学生氷上競技選手権大会	2000mリレー
山田将矢		日本学生氷上競技選手権大会	2000mリレー
伊藤貴裕		全日本学生選手権大会	総合部門 10000m
レスリング部	山本康稀	全日本大学選手権大会	フリースタイル97kg級
	小山内光	全日本大学選手権大会	フリースタイル74kg級
	矢後佑華	ビル・ファーレル国際大会	フリースタイル48kg級
	阿部梨乃	世界ジュニア選手権大会	フリースタイル72kg級
	坂野結衣	全日本学生選手権大会	フリースタイル60kg級
	白井勝太	JOCジュニアオリンピックカップ	フリースタイル86kg級
	倉舘愛	全日本社会人選手権大会	フリースタイル55kg級
	古市雅子	世界ジュニア選手権大会	フリースタイル67kg級
	〃	全日本学生選手権大会	フリースタイル69kg級
フェンシング部	黒木夢	全日本女子選手権大会	女子エペ
ゴルフ部	松原大輔	国民体育大会	

※個人優勝者75名(全日本58名, 東日本関東17名)

7 校友数/校友会組織/年間行事/校友会事業

校友数

校友数

1,130,385名(正会員23,586名)

※ 平成28年3月現在

校友会組織

日本大学校友会（校友会本部事務局）

都道府県支部（65支部）

北海道ブロック(札幌・旭川・稚内・小樽・十勝・留萌・苫小牧・網走・釧路)
東北ブロック(青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島)
関東ブロック(茨城・栃木・群馬・埼玉・千葉・神奈川・川崎・山梨)
東京ブロック(東京都第一:千代田・中央・港・新宿・文京・台東), (東京都第二:品川・大田)
(東京都第三:目黒・世田谷), (東京都第四:渋谷・中野・杉並)
(東京都第五:豊島・北・板橋・練馬), (東京都第六:墨田・江東・荒川・足立・葛飾・江戸川)
(東京都第七:23区以外全域)
東海ブロック(岐阜・静岡・愛知・三重)
北信越ブロック(新潟・富山・石川・福井・長野・長野北信)
近畿ブロック(滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山)
中国ブロック(鳥取・島根・岡山・広島・山口)
四国ブロック(徳島・香川・愛媛・高知)
九州ブロック(福岡・北九州・佐賀・長崎・佐世保・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄)

学部別部会（16部会）

本部大学院・法・文理・経済・商・芸術・国際・理工・生産工・工・医・歯・松戸歯・生物資源科・薬・通信教育部

職域別部会（4部会）

全国桜師会・桜門会計人会・日本大学法曹会・全国桜門スポーツ部会

桜門会（79団体）

鴻池組桜門会桜鴻会, 八丁堀警備桜門会, ライフ桜門会, 町田桜門会, フジパスク(株)世田谷桜門会, 土浦桜門会, 日本大学櫻門三崎倶楽部, 日本大学相撲桜門会, 日本大学全国相撲桜門会, 柔道桜門会, フェニックス桜門会, 関電工桜門会, 桜門六会会, 日大テニス桜門会, 日本大学応援団本部(桜応会), 日本大学剣道部桜門会, 日本大学弓道桜門会, 日本大学準硬式野球部桜門会, 体操桜門会, 重量挙げ桜門会, 山岳部桜門会, スキー部桜門会, 日本大学スケート部桜門会, 日本大学バスケットボール桜門会, レスリング桜門会, 八幡山サッカー桜門会, ヨットクラブ桜門会, 日本大学フェンシング部桜門会, ハンドボール桜門会, 飛鳥桜門会, 射撃部桜門会, 桜門・報道クラブ, 六興電気(株)桜門会, 日本大学湘南桜門会, ホクシング部桜門会, 日本大学自動車部桜門会, 不動産・建設桜門会, 成田桜門会, TSUCHIYA桜門会, 日本大学合唱団桜門会, 全国社会保険労務士桜門会, 新生テクナス桜門会, NBS桜門会, (株)ライクス桜門会, ニッタン桜門会, レディース桜門会, 沼津桜門会, 日本大学櫻下桜門会, 日本大学拳法部桜門会, 日本大学空手部桜門会, 佐藤工業桜門会, 行政書士桜門会, ラグビー桜門会, 日本大学税理士桜門会, 日本大学バレーボール部桜門会, 村本建設桜門会, (株)加賀田組桜門会桜友会, 日本大学自転車部桜門会, ゴルフ部桜門会, 東京美装興業桜門会, ホート部桜門会, 池田建設桜門会, 桜門ニューリーダーズ倶楽部, 宮崎日本大学学園桜門会, 桜門社長会, アインク桜門会, 日本電設工業桜門会, 坂田桂三ゼミ桜門会, しんきん桜門会, 桜門工業クラブ桜友会, 長谷川体育施設(株)桜門会, 桜門水泳会, 桜門卓球会, 弁理士桜門会, 駅伝桜門会, バドミントン桜門会, 合気道桜門会, 日本大学少林寺拳法部桜門会, 清瀬桜門会

海外特別支部（8支部）

韓国・ブラジル・ロサンゼルス・台湾・サンフランシスコ・スペイン・ニューヨーク・インドネシア

校友会関係行事

地区	行事	実施日(場所)
校友会本部	全国校友大会	11/6(東京ドームホテル)
	校友会役員総会	7/3(東京ドームホテル)
	校友会常任委員会(2回)	6/19, 12/11(日本大学桜門会館)
	校友会会長・副会長会(3回)	6/19, 12/11, 28/3/11(日本大学桜門会館他)
	校友会常任会(7回)	4/3,5/8,6/5,10/2,10/30,12/4,28/2/5(日本大学桜門会館)
	総務委員会(5回)	4/22,5/20,10/21,28/2/17,28/3/23(日本大学桜門会館)
	財務委員会(7回)	4/17, 5/7, 5/28, 11/25, 28/1/25,28/2/9,28/3/16(日本大学桜門会館)
	企画委員会(3回)	4/27,10/26, 28/2/26(日本大学桜門会館)
	広報委員会(2回)	6/29, 28/3/9(日本大学桜門会館)
	組織委員会(2回)	4/16, 28/2/29(日本大学桜門会館)
	桜門会館運営委員会(2回)	11/26, 28/2/25(日本大学桜門会館)
	スポーツ振興特別委員会(1回)	5/15(日本大学会館)
北海道	札幌支部総会	7/1(札幌パークホテル)
	旭川支部総会	7/16(ホテルクレッセント旭川)
	小樽支部総会	10/17(ホテルノルド小樽)
	十勝支部総会	5/30(アパホテル<帯広駅前>)
	苫小牧支部総会	28/2/27(グランドホテルニュー王子)
	釧路支部総会	10/9(ANAクラウンプラザ釧路)
東北	青森県支部総会	5/24(ラ・プラス青い森)
	岩手県支部総会	10/3(ホテルメトロポリタン盛岡ニューウイング)
	宮城県支部総会	7/28(ホテルメトロポリタン仙台)
	秋田県支部総会	9/12(秋田キャッスルホテル)
	山形県支部総会	7/10(ホテルメトロポリタン山形)
	福島県支部総会	9/5(郡山ビューホテルアネックス)
関東	茨城県支部総会	5/15(水戸京成ホテル)
	栃木県支部総会	6/26(二荒山会館)
	群馬県支部総会	7/18(前橋テルサ)
	埼玉県支部総会	28/3/19(ラフォーレ清水園)
	千葉県支部総会	10/24(京成ホテルミラマーレ)
	神奈川県支部総会	7/17(ローズホテル横浜)
	川崎支部総会	7/15(煌蘭川崎店)
	山梨県支部総会	28/1/28(ベルクラシック甲府)
東京	東京都第一支部総会	6/23(アルカディア市ヶ谷)
	東京都第二支部総会	10/15(銀座アスター蒲田賓館)
	東京都第三支部役員総会	28/2/5(文理学部)
	東京都第四支部総会	11/12(日本大学桜門会館)
	東京都第五支部総会	9/18(日本大学桜門会館)
	東京都第六支部総会	6/17(アンフェリシオン)
	東京都第七支部総会	9/26(八王子エルシイ)
東海	岐阜県支部総会	9/6(ロワジールホテル大垣)
	静岡県支部総会	28/2/27(ホテルアソシア静岡)
	愛知県支部総会	10/26(名鉄ニューグランドホテル)
	三重県支部総会	28/2/7(ホテルグリーンパーク鈴鹿)
北信越	新潟県支部総会	7/18(長岡グランドホテル)
	富山県支部役員総会	8/2(ホテルニューオータニ高岡)
	石川県支部役員会	7/18(ANAクラウンプラザホテル金沢)
	福井県支部総会	11/21(ザ・グランユアーズフクイ)
	長野県支部総会	—
	長野県北信支部総会	6/12(長野ホテル犀北館)
近畿	滋賀県支部総会	6/6(叶匠壽庵「寿長生の郷」)
	京都支部総会	11/1(山ばな平八茶屋)
	大阪支部総会	11/3(ウェスティンホテル大阪)
	兵庫県支部総会	6/20(ホテル北野プラザ六甲荘)
	奈良県支部総会	5/23(奈良ロイヤルホテル)
	和歌山県支部総会	7/4(ホテルグランヴィア和歌山)
中国	鳥取県支部総会	8/30(皆生グランドホテル天水)
	島根県支部総会	10/25(松江ニューアーバンホテル)
	岡山県支部総会	6/20(岡山ロイヤルホテル)

地区	行事	実施日(場所)
	広島県支部総会 山口県支部総会	8/29(神楽門前湯治村) 5/30(萩本陣)
四 国	徳島県支部総会 香川県支部総会 愛媛県支部総会 高知県支部総会	11/3(阿波観光ホテル) 11/14(リーガホテルゼスト高松) 11/15(松山全日空ホテル) 28/3/12(ホテル日航高知旭ロイヤル)
九 州	九州・沖縄ブロック支部長会議 福岡県支部総会 北九州支部総会 佐賀県支部総会 長崎支部総会 佐世保支部総会 熊本県支部総会 大分県支部総会 宮崎県支部総会 鹿児島県支部総会 沖縄県支部総会	11/21(ホテルサンデイズイン鹿児島) 7/25(ホテルニューオータニ博多) 10/17(ステーションホテル小倉) 11/14(旅館あけぼの) 7/25(京華園) 7/24(JAさせぼホール) 8/29(鶴屋百貨店東館7階カーネーションサロン) 7/18(トキハ会館) 28/1/23(宮崎観光ホテル) 9/18(山形屋) 8/21(ホテルロイヤルオリオン)
学部別部会	本部・大学院校友会役員会 法学部校友会総会 文理学部校友会総会 経済学部校友会役員総会 商学部校友会総会 芸術学部校友会総会 国際関係学部校友会総会 理工学部校友会総会 生産工学部校友会総会 工学部校友会総会 医学部同窓会総会 歯学部同窓会総会 松戸歯学部同窓会総会 生物資源科学部校友会総会 薬学部校友会総会 通信教育部校友会総会	28/3/16(日本大学桜門会館) 5/16(アルカディア市ヶ谷) 6/6(日本大学桜門会館) 5/21(日本大学桜門会館) 5/21(ハイアットリージェンシー東京) 6/20(芸術学部) 7/18(みしまプラザホテル) 6/19(東京ガーデンパレス) 6/20(市川グランドホテル) 4/25(工学部50周年記念館) 4/19(日本大学病院5階大会議室) 5/24(歯学部) 6/21(日本大学桜門会館) 7/11(生物資源科学部) 6/27(薬学部) 5/23(日本大学桜門会館)
職域別部会	全国桜師会創設50周年記念式典 日本大学法曹会総会 桜門会計人会総会 全国桜門スポーツ部会総会	7/31(日本大学会館) 5/22(日本大学桜門会館) 7/2(日本大学桜門会館) 6/18(日本大学会館)
桜門会	町田桜門会総会 成田桜門会総会 湘南桜門会総会 全国社会保険労務士桜門会総会 沼津桜門会総会 税理士桜門会総会 桜門社長会総会	4/11(ホテルラポール千寿閣) 5/23(成田ビューホテル) 28/3/5(湘南クリスタルホテル) 6/19(日本大学会館) 10/16(たくみ農園) 7/18(日本大学桜門会館) 5/12(日本大学桜門会館)

校友会事業

会報

会報誌名	配布対象	発行回数	発行部数
kizuna	校友	年1回	55万部
桜縁	正会員・準会員	年2回	各15万部

校友会正会員事業

- 1 校友子女入試の推進
- 2 全国校友大会の開催
- 3 箱根駅伝を含む日大スポーツの振興と推進

校友会準会員事業

- 1 スポーツ優勝者表彰
- 2 スポーツに対する奨励金交付
- 3 全学文化事業(NU祭)支援
- 4 校友会(準会員)の診療費助成
- 5 校友会独自の奨学制度
- 6 校友子女入試における特別優待生制度の拡大
- 7 就職活動への支援

8 公開講座

名 称	テ ー マ
第38回日本大学軽井沢公開講座 後援：軽井沢町 軽井沢町教育委員会	「高齢化により要介護となる脳の病気とその対応 (脳血管障害・認知症・パーキンソン病)」 「唾液－あなたの体を守る免疫最前線－」
文理学部公開講座 前期テーマ： 「省エネルギー・防災・安全キャン パス作り～地域における大学と省エ ネルギー型キャンパス創生 (日本大学理事長特別研究)～」	スマートコミュニティ (1) スマートコミュニティ (2) ロハスの家と浅部地中熱利用技術 地中熱・地下水利用の高度化 自立共生の住環境を支える水循環システム構築への挑戦 都市部での災害と対策 (地震動と集中豪雨) 社会調査から考える地震災害と人々の対応 インターネットとセンサーを利用した環境調査
文理学部公開講座 後期テーマ： 「古都鎌倉にみる時代と場所の検 証」	鎌倉から全国に発信されるもの 鎌倉・京都・平泉を考える 関東武士団と鎌倉 鎌倉武士と中世文学とのかかわり 中世の日記・紀行文にみる鎌倉 近代文学や映画の中の鎌倉 鎌倉と東京の“らしさ”を写真で語る 古都の風土を守った市民運動の歴史
商学部公開講演会 統一テーマ： 「ボーダーレス化する「食」」 後援：世田谷区	コンビニエンスストアにおける食への取り組み 食品小売業と飲食業の戦略 食文化、フードビジネスの国際比較
芸術学部江古田校舎公開講座 「スポーツ観戦の視点－スペシャリ ストが語るスポーツの見方－」 主催：芸術学部・練馬区共催	サッカー観戦が楽しくなる1から5～ゴールが生まれるために～ テニス－世界のテニス・日本のテニス・そして、錦織圭選手－ オリンピックで体操競技をより楽しく見る方法
芸術学部所沢校舎公開講座 「身体をデザインする」	筋肉をつくるダンベル体操 基礎体力をつくるトレーニング しなやかに動く身体をつくるストレッチ
国際関係学部 上期市民公開講座 統一テーマ：「世界の中の日本経済－資本主 義の終焉か日本の衰退か－」 後援：三島市、三島市教育委員会・ 裾野市教育委員会・清水町教 育委員会・長泉町教育委員会・ 函南町教育委員会 しずおか県民カレッジ連携講座	資本主義の終焉 資本主義の史的構造変化と日米経済の異相 成長調整に直面する中国 内外経済の現状と先行き 対論：資本主義の行方と日本 －資本主義の終焉か日本の衰退か？－
下期市民公開講座 統一テーマ：「文学に描かれたさまざまな愛」 後援：三島市、三島市教育委員会・ 裾野市教育委員会・清水町教 育委員会・長泉町教育委員会・ 函南町教育委員会 しずおか県民カレッジ連携講座	『アベラールとエロイズ』に見る「愛のことば」 －フランス文学における愛・情欲・信仰－ 愛に殉じた男たち－ゴーチェ、そしてハーン（八雲）－ アメリカ的愛の物語とは？－『緋文字』から『ギャッツビー』へ－ 戦争に翻弄される二つの愛－『クラウディアの祈り』を読む－ 柳原白蓮－歌に描かれた愛のかたち－
理工学部 第54回公開市民大学講座 「コミュニケーション」 後援：千葉県・船橋市・習志野 市・鎌ヶ谷市・八千代市 教育委員会 東葉高速鉄道株式会社	多言語国家ベルギー 初心者向けゴルフ教室 パソコン教室 (Excel初級編) 田山花袋の文学～柳田国男とともに～ テニス教室 (雨天のため中止) からだの理と転倒予防
生産工学部 公開講座(前期) 協力：習志野市	公開講座Ⅰ 防災講座2015
生産工学部 公開セミナー	公開セミナーⅠ 暮らしに活用！パソコン入門講座 ～調べて、まとめる～ 公開セミナーⅡ 生涯スポーツ (ゴルフ) 公開セミナーⅢ ロボットで遊ぼう 公開セミナーⅣ 生涯スポーツ (水泳) ～泳げるようになろう・楽に泳ごう～
生産工学部 公開講座(後期)	公開講座Ⅰ 建設とアニメのコラボに始まる未来 公開講座Ⅱ 知らなきや損する「健康保険制度を理解して賢く病院を受診しよう」
生産工学部公開セミナー	公開セミナーⅠ 少年野球教室

名 称	テ ー マ
工学部 教養講座 総合テーマ「感謝～東日本大震災から4年を経て～」	若者と安倍政権 原発とアベノミクスと積極的平和主義の真実 逆境に立ち向かう企業家たち～3.11直後、地域を守る行動をした中小企業家がいいた～ アスリートのキャリアトランジションに学ぶキャリアプランニング 鉱物を学び、地球を考える
歯学部 公開講座 後援：千代田区 協賛：日本大学総合生涯学習センター	口の中にもがんができるの？ —早期発見のセルフチェック法について—
歯学部 公開講座 後援：千代田区 協賛：日本大学総合生涯学習センター	若さと健康を保つために知っておきたい歯周病の知識—予防から治療法まで—
生涯学習講演会 「生涯学習シリーズ(18)」	口腔顔面の痛みを解明 ①原因不明の痛み ②痛みの発症メカニズム
生涯学習講演会 「生涯学習シリーズ(19)」	遠隔画像診断ってなんだろう？ ①パノラマから学ぶ歯科用CT画像診断—今日から役立つ臨床診断— ②遠隔画像診断サービスについて
松戸歯学部 公開講座 後援：松戸市教育委員会, 千葉県歯科医師会 松戸歯科医師会	頭痛持ちのあなたが仕事を休まないためのお話 そこ 生活習慣から見た、今“身体”にある危機
生物資源科学部 科学技術公開講座 後援：藤沢市教育委員会、大和市教育委員会、鎌倉市教育委員会、綾瀬市教育委員会	『医薬をつくるバクテリア、放(ほう)線(せん)菌(きん)』 ～ストレプトマイシンから現代薬にいたる開発の歴史と手法
生物資源科学部 市民講座 統一テーマ：「生物と光」 共催：藤沢市教育委員会	光と微生物の不思議な関係 昆虫と光—光による害虫防除 光による植物の形づくりと遺伝子の働き 植物工場と光質制御
生物資源科学部 秋季特別公開講座 後援：藤沢市教育委員会、大和市教育委員会、鎌倉市教育委員会、綾瀬市教育委員会	「食の安全・安心 正しい知識で食中毒から身を守る」
生物資源科学部 日本大学短期大学部(湘南)・六会公民館共催講座 テーマ：「くらしに役立つ園芸と食べものの科学」	「食べもの」の科学 —家庭でできるアイスクリーム— 「食べもの」の科学 —家庭でできるアイスクリーム— 「食べもの」の科学 —家庭でできるアイスクリーム— 「くだもの」の科学 —ブルーベリーのつみ取りとジャムづくり— 「くだもの」の科学 —ブルーベリーのつみ取りとジャムづくり—
生物資源科学部 全国農村サミット2015 全体テーマ： 「城学連携と教育—地域で活躍する人材を育成する教育とは」 後援：藤沢市	講演1 「東京農業大学の城学連携と教育」 講演2 「日本農業経営大学校の教育と就農」 講演3 「北里大学地域連携室の活動」
生物資源科学部 全国農村サミット in みなかみ町 全体テーマ： 「城学連携と教育—利根川源流域の地域資源の活用と農林業・観光産業の振興」 共催：全国農村サミット in みなかみ町実行委員会 後援：みなかみ町・林野庁関東森林管理局利根沼田森林管理署・群馬県利根沼田振興局・利根沼田森林組合・谷川岳エコツーリズム推進協議会・利根川源流森林整備隊・みなかみ町観光協会・みなかみ町体験旅行・みなかみ町商工会・みなかみ町新設10周年記念事業実行委員会	「みなかみ町の自然環境と農林業・観光産業の現状と課題」 「エコツーリズムの現状と課題」 「グリーンツーリズムの現状と課題」 「森林整備と森林整備隊の活動」
薬学部 公開講座 協賛：(公社)日本薬学会 後援：(一社)千葉県薬剤師会	講演会 「加齢と眼」 施設公開 薬用植物園
第20回薬学部薬草教室	講演会 「山百合の魅力、不思議 —知っていますか山百合を—」

名 称	テ ー マ
第21回薬学部薬草教室	薬用植物園ガイド 講演会 「薬園に学ぶ ―地球は大きな薬箱―」 薬用植物園ガイド
大学院総合社会情報研究科 公開講座	企業の活動と財務諸表 村上春樹文学のグローバル展開 合成生物学（人工生命）と人工知能 中小企業政策を考える―「小規模企業」の位置と役割―

9 学外研究費採択状況/学内研究/発明・技術移転

学外研究費採択状況

科学研究費助成事業—科研費—

学 部		採択(新規)		採択(新規・継続)			
		件数	交付額 (千円)	件数	直接経費	間接経費	交付額 (千円)
大学	法	1	1,430	11	15,600	4,680	20,280
	文理	15	21,430	63	83,600	23,940	107,540
	経済	9	13,260	29	37,500	11,250	48,750
	商	6	6,760	18	15,900	4,770	20,670
	芸術	4	4,940	10	7,000	2,100	9,100
	国際関係	0	0	6	4,200	1,260	5,460
	理工	27	69,420	81	115,500	34,650	150,150
	生産工	20	40,130	50	63,000	18,600	81,600
	工	14	50,960	52	80,000	24,000	104,000
	医	31	77,310	80	117,600	34,680	152,280
	歯	27	48,490	65	77,500	23,250	100,750
	松戸歯	21	32,240	56	58,450	17,535	75,985
	生物資源	35	65,920	81	110,200	32,670	142,870
	薬	5	8,450	13	15,000	4,500	19,500
	通信教育	1	1,300	2	1,500	450	1,950
	本部	1	1,950	11	20,200	6,060	26,260
	小 計	217	443,990	628	822,750	244,395	1,067,145
短期 大学部	三島	0	0	1	100	30	130
	船橋	1	2,470	3	8,100	2,430	10,530
	湘南	0	0	0	0	0	0
	小 計	1	2,470	4	8,200	2,460	10,660
合 計		218	446,460	632	830,950	246,855	1,077,805

私立大学戦略的研究基盤形成支援事業採択状況

採択年度	学部	研究組織	事業の別	研究課題	事業費 (千円)
27年度	医学部	医学部総合医学研究所 (免疫・アレルギー学グループ)	研究拠点を形成する 研究	難治性免疫・アレルギー疾患の病態 の解明と新規治療法の開発	255,000

大学教育・学生支援関係プログラム等の取組状況

プログラム等名称	申請学部等	取組名称等	期間
大学間連携共同教育推進事業	工学部 ※1	ふくしまの未来を拓く「強い人材」 づくり共同教育プログラム	平成24年度～ 平成28年度
	生物資源科学部 ※2	グローバル社会を担う次世代型獣医 学系大学教育機構の構築	平成24年度～ 平成28年度

※1 福島大学ほか14の大学・短大・高等専門学校と共同

※2 東京大学, 日本獣医生命科学大学, 麻布大学と共同

日本大学理事長特別研究・学長特別研究

日本大学理事長特別研究は、本学の研究成果を広く社会に還元すると共に、本学の教育研究及び運営にも積極的に活用できる研究を推進するため、組織運営、危機管理、人事管理、広報管理、教育方法、教育支援、研究支援等の本学の教育研究活動及び運営に対して、直接的または間接的に活かすことができるプロジェクトとして、教員・職員が共同してプロジェクトを組織する新たな研究プロジェクト組織を構築して実施された。学長特別研究は、日本大学学術研究戦略の基本方針、理念、目標をもとに学術研究を推進している中、学長が社会や本学の状況を鑑み、特に重点を置くべきと考える研究を優先的に推進するため、研究テーマを定めて実施された。理事長特別研究及び学長特別研究ともに平成24年度から平成26年度までを第1期とし、7課題が実施された。平成27年度からは第2期として、5課題が採択された。なお、第2期の学長特別研究の研究テーマは、『本大学のもつ学問領域の幅広さを活かし、国際活動への発展や将来にわたる持続的な成長と社会の発展の実現を目指す、あるいは我が国が直面する重要課題に対応する総合的・統合的な研究課題を求める。』とし、更に6つの個別テーマ ① 安全・安心かつ豊かで質の高い生活を実現する研究、② 大規模な自然災害や気候変動などの地球規模の問題解決に先導的に取り組む研究、③ 世界に誇るべき我が国の多彩な文化芸術の創造と国際的な交流の推進に関する研究、④ グリーン・イノベーションを推進し、クリーンで経済的なエネルギーシステムを実現する研究、⑤ ライフイノベーションに立脚する高度医療、介護、高齢者対策等、法的・経済的支援を含む総合的視点から、『人を守る』ことを基軸とした研究、⑥ 新フロンティア開拓のための科学技術基盤を構築、領域横断的な科学技術の強化を目的とした研究、を設定して募集を行い、第1期同様、ネットワークを用いて教職員の投票を行い審査の基礎とし、審査の結果、①及び⑤の個別テーマに基づいた研究が採択され、本学が一体となって研究を推進している。

理事長特別研究

研究課題	研究代表者	研究連携学部	申請総事業費 (千円)
危機管理学の構築とレジリエントな大学の創造のための総合的研究	教授 福田 充	教員:法学部, 文理学部, 商学部, 総合科学研究所 職員:理工学部, 本部学生支援部, 本部総務部, 豊山高校	59,154
「自主創造型パーソン」の育成を目標とした全学共通教育における効果的なアクティブ・ラーニング開発に関する研究—学部横断型教育の実現と中途退学者防止対策を含む学修支援体制の構築について—	教授 近藤 健史	教員:通信教育部, 法学部, 文理学部, 経済学部, 商学部, 生産工学部, 医学部, 医学部看護専門学校, 歯学部, 松戸歯学部, 薬学部, 生物資源科学部, 短期大学部(船橋校舎), 日本大学高校, 豊山女子高校 職員:法学部, 文理学部, 商学部, 薬学部, 通信教育部, 本部学務部, 総合学術情報センター情報事務局	44,580
8K映像技術による世界最先端の革新的医療開拓のための臨床応用評価および実用化連携—8Kプロジェクト—	教授 千葉 敏雄	教員:総合科学研究所, 工学部, 医学部 職員:医学部(板橋病院), 工学部	82,000

学長特別研究

研究課題	研究代表者	研究連携学部	申請総事業費 (千円)
成熟細胞脱分化による組織再生メカニズムの解明と脱分化培養技術を用いた細胞治療開発	教授 松本 太郎	医学部, 生産工学部, 歯学部, 生物資源科学部	116,000
日本大学発 スマートアグリカルチャーの創出と産業化を目指した技術開発	准教授 窪田 聡	生物資源科学部, 国際関係学部, 理工学部, 薬学部	73,800

※平成28年3月31日現在

発明関係

発明届出件数	特許出願件数		計
	国内	国外	
91	69	28	97 (単年度)

情報開示件数

1,012

保有特許件数

国内	外国	〔 情報開示件数及び保有特許 件数は、いずれも累計数 〕
366	106	

技術移転関係

技術移転件数	ロイヤルティー	
	延べ件数	入金額(円)
26	112	90,791,149 (単年度)

10 主な工事/土地・建物延面積/土地購入/蔵書数

主な工事

部 科 校 名	工 事 内 容
本 部	新学部校舎新築工事 1号館：鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造・鉄筋コンクリート造 地下2階地上8階建 延床面積41,811.25㎡ 2号館：鉄骨造一部鉄筋コンクリート造 地下2階地上3階建 延床面積3,157.89㎡
	新学部校舎新築工事に伴う土壌汚染対策工事
	目黒（東が丘）学生寮（仮称）新築工事 鉄骨造 3階建 延床面積4,774.23㎡
	郡山学生寮（仮称）新築工事 鉄骨造 2階建 延床面積4,199.58㎡
	稲城キャンパスサッカー場改修工事
法 学 部	5号館新築工事 鉄骨造一部鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上10階建 延床面積2,990.49㎡
文 理 学 部	1号館耐震補強工事
理 工 学 部	船橋校舎9号館改修工事
松 戸 歯 学 部	廃水処理施設改修工事
生 物 資 源 科 学 部	60周年記念棟（仮称）新築工事 低層棟：鉄筋コンクリート造 2階建 延床面積4,559.01㎡
	総合グラウンド改修工事
豊山高等学校・中学校	キャンパス整備事業に伴う新校舎建設の設計及び工事 部室棟：鉄筋コンクリート造 2階建 延床面積189.56㎡ グラウンド
明 誠 高 等 学 校	講堂兼体育館耐震補強工事

土地・建物延面積

部 科 校 名	土地(実測面積) (㎡)	建物(公簿延面積) (㎡)
本部	906,098.44	170,867.51
日本大学病院	0.00	29,569.61
法学部	184,441.51	80,175.65
文学部	137,378.68	107,706.80
経済学部	125,824.85	41,899.18
商学部	124,034.81	52,558.51
芸術学部	147,547.75	93,241.53
国際関係学部	215,108.17	79,068.01
理工学部	629,553.33	174,247.56
生産工学部	224,674.07	135,983.14
工学部	402,364.47	128,195.79
医学部	56,254.22	43,881.57
板橋病院	15.19	55,789.76
歯学部	29,647.38	20,716.75
歯科病院	0.00	6,222.48
松戸歯学部	47,964.24	41,263.78
松戸歯科病院	2,830.71	9,638.17
生物資源科学部	27,696,997.88	208,328.50
薬学部	52,053.19	31,844.43
通信教育部	912.95	4,596.22
横浜学園	37,984.93	29,242.87
豊山学園	50,883.34	27,026.06
豊山女子学園	36,497.96	17,338.03
明誠高等学校	103,800.91	13,383.53
山形高等学校	75,035.99	23,383.51
幼稚園	1,902.57	1,650.33
計	31,289,807.54	1,627,819.28

土地購入

板橋（大山）校地隣接地（医学部）

東京都板橋区大谷口上町31番27 1筆 195.64㎡

蔵書数

※平成28年3月31日現在

部科校名	種類	一般教育図書（冊）	専門図書（冊）	学術雑誌・その他（冊）	合計（冊）
本	部	2,295	191,353	75,096	268,744
日本大学病院		0	0	0	0
法学部		97,891	239,946	171,894	509,731
文理学部		349,450	367,541	248,201	965,192
経済学部		68,249	209,581	150,521	428,351
商学部		95,104	267,269	113,640	476,013
芸術学部		110,199	275,094	65,079	450,372
国際関係学部		180,404	232,169	59,161	471,734
(国際関係学部)		(31,005)	(164,422)	(28,193)	(223,620)
(短期大学部(三島))		(109,458)	(67,747)	(27,098)	(204,303)
(三島高等学校)		(38,845)	(0)	(3,784)	(42,629)
(三島中学校)		(1,096)	(0)	(86)	(1,182)
理工学部		105,221	269,899	185,119	560,239
(理工学部)		(58,637)	(237,095)	(164,643)	(460,375)
(短期大学部(船橋))		(16,969)	(32,804)	(18,669)	(68,442)
(習志野高等学校)		(29,615)	(0)	(1,807)	(31,422)
生産工学部		46,021	84,476	106,949	237,446
工学部		161,425	96,135	111,756	369,316
(工学部)		(133,579)	(96,135)	(109,798)	(339,512)
(東北高等学校)		(27,846)	(0)	(1,958)	(29,804)
医学部		11,481	39,103	154,424	205,008
板橋病院		0	0	0	0
歯学部		17,086	34,150	50,062	101,298
歯科病院		0	0	0	0
松戸歯学部		29,407	36,705	64,022	130,134
松戸歯科病院		0	0	0	0
生物資源科学部		113,318	119,541	113,325	346,184
(生物資源科学部)		(58,557)	(105,909)	(110,109)	(274,575)
(短期大学部(湘南))		(9,277)	(13,632)	(3,166)	(26,075)
(鶴ヶ丘高等学校)		(24,576)	(0)	(50)	(24,626)
(藤沢高等学校)		(20,908)	(0)	(0)	(20,908)
薬学部		11,857	25,920	31,325	69,102
通信教育部		0	5,911	166	6,077
横浜学園 (日本大学高等学校・中学校)		17,948	0	950	18,898
豊山学園 (豊山高等学校・中学校)		12,840	0	0	12,840
豊山女子学園 (豊山女子高等学校・中学校)		35,835	0	0	35,835
明誠高等学校		4,918	0	0	4,918
山形高等学校		16,736	0	0	16,736
日本大学幼稚園		719	0	0	719
計		1,488,404	2,494,793	1,701,690	5,684,887

IV 財務の概要

(注)

備考：「IV財務の概要」を構成する次の計算書類は、東陽監査法人の監査を受けて承認された計算書類を基に作成したものである。

- 1 平成27年度資金収支計算書（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）
- 2 平成27年度事業活動収支計算書（平成27年4月1日から平成28年3月31日まで）
- 3 貸借対照表（平成28年3月31日現在）
- 4 財産目録（平成28年3月31日現在）

1 平成27年度資金収支計算書

〔平成27年4月1日から
平成28年3月31日まで〕

収入の部

(単位:円)

科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	104,855,850,000	103,986,004,998	869,845,002
手数料収入	3,896,340,000	4,132,351,270	△ 236,011,270
寄付金収入	4,242,470,000	4,174,219,476	68,250,524
補助金収入	16,042,360,000	15,507,836,530	534,523,470
資産売却収入	183,090,000	184,237,690	△ 1,147,690
付随事業・収益事業収入	2,912,980,000	2,968,681,940	△ 55,701,940
医療収入	48,195,650,000	49,615,503,109	△ 1,419,853,109
受取利息・配当金収入	1,980,440,000	1,900,155,046	80,284,954
雑収入	5,057,410,000	5,642,960,605	△ 585,550,605
借入金等収入	14,200,000,000	14,100,000,000	100,000,000
前受金収入	19,464,020,000	19,476,603,319	△ 12,583,319
その他の収入	33,925,120,000	48,508,638,280	△ 14,583,518,280
資金収入調整勘定	△ 28,976,930,000	△ 30,395,768,122	1,418,838,122
当年度収入合計	225,978,800,000	239,801,424,141	△ 13,822,624,141
前年度繰越支払資金	32,821,200,000	37,334,447,448	△ 4,513,247,448
収入の部合計	258,800,000,000	277,135,871,589	△ 18,335,871,589

支出の部

(単位:円)

科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	100,077,720,000	100,436,506,904	△ 358,786,904
教育研究経費支出	1,000,000,000 59,888,480,000	61,043,286,170	△ 154,806,170
(教育研究経費支出)	46,183,680,000	46,035,679,579	148,000,421
(医療経費支出)	1,000,000,000 13,704,800,000	15,007,606,591	△ 302,806,591
管理経費支出	7,287,980,000	6,931,236,376	356,743,624
借入金等利息支出	166,740,000	157,340,544	9,399,456
借入金等返済支出	1,340,000,000	1,340,000,000	0
施設関係支出	26,890,050,000	25,657,490,767	1,232,559,233
設備関係支出	7,153,020,000	6,599,932,131	553,087,869
資産運用支出	17,714,440,000	35,666,016,440	△ 17,951,576,440
その他の支出	9,756,390,000	8,746,670,170	1,009,719,830
〔予備費〕	(1,000,000,000) 0		0
資金支出調整勘定	△ 8,191,940,000	△ 7,349,311,369	△ 842,628,631
当年度支出合計	223,082,880,000	239,229,168,133	△ 16,146,288,133
翌年度繰越支払資金	35,717,120,000	37,906,703,456	△ 2,189,583,456
支出の部合計	258,800,000,000	277,135,871,589	△ 18,335,871,589

(注) 予算の上段数字は予備費の使用額を示す。

2 資金収支計算書の概要

資金収支計算書は、当該会計年度の教育・研究その他諸活動に対応するすべての収支内容並びに支払資金の収支のてん末を明らかにするものである。

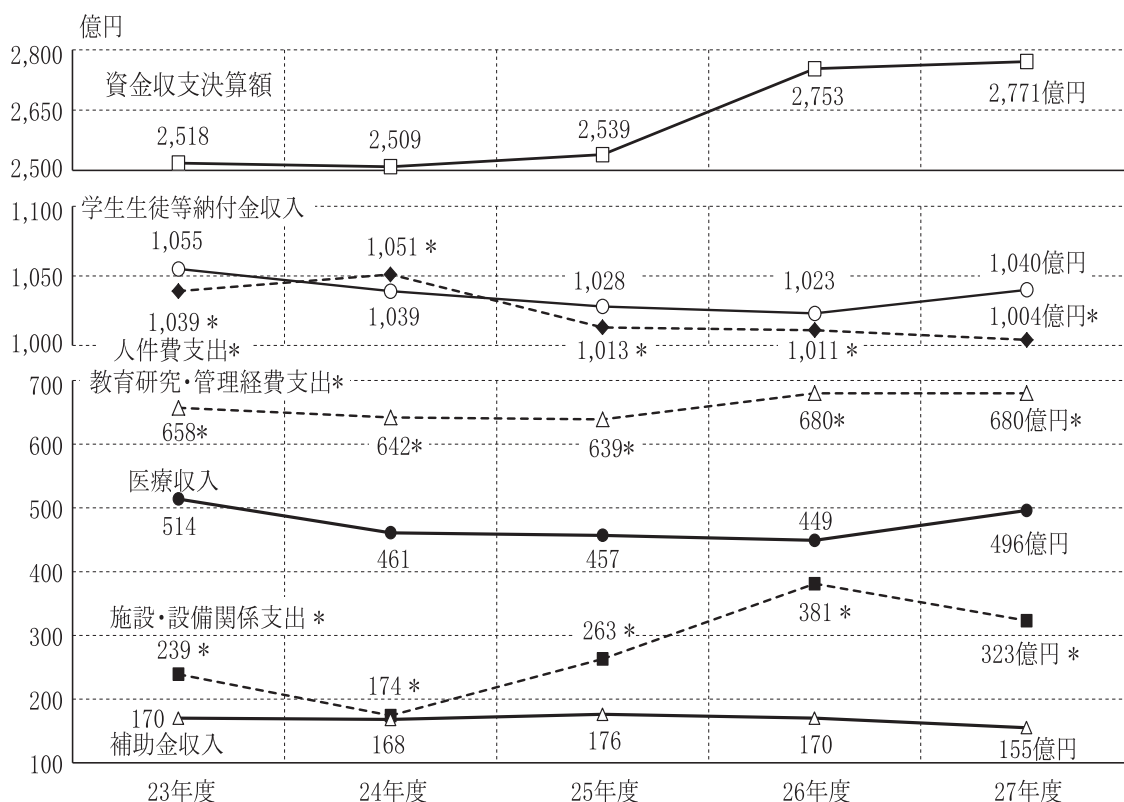
平成 27 年度の資金収支決算総額は、2,771 億 3,587 万 1,589 円になり、予算対比で 183 億円の増加になった。

予算対比での主な差異額・差異事由を見ると、収入の部では、学校法人の収入の根幹を成すべき学生生徒等納付金収入が 9 億円の減収、補助金収入が 5 億円の減収、医

療収入が 14 億円の増収になった。

支出の部では、管理経費支出が危機管理学部・スポーツ科学部校舎建設に係る既存校舎等解体工事の平成 26 年度実施により 4 億円の支出減、施設関係支出が校舎建設での工事計画変更により 12 億円の支出減、設備関係支出が学生寮及び校舎建設での購入機器見直しにより 6 億円の支出減となったが、中科目・医療経費支出が患者数増加により 13 億円の支出増になった。

平成 23 年度～平成 27 年度 資金収支決算の推移



— 活動区分資金収支計算書について —

活動区分資金収支計算書は、学校法人会計基準の改正により、平成27年度決算より作成が義務付けられた計算書であり、資金収支を「教育活動」・「施設整備等活動」・「その他の活動」に区分し、活動区分ごとの資金の流れを明らかにするものである。

平成27年度決算では、教育活動資金収支差額は175億円の収入超過、施設整備等活動資金収支差額は458億円の支出超過になり、合計は283億円の支出超過になった。また、その他の活動資金収支差額は289億円になり、当年度の支払資金の増減額は6億円になった。

平成27年度 活動区分資金収支計算書

1 教育活動による資金収支

(単位:円)

科 目	決 算	科 目	決 算
人 件 費 支 出	100,436,506,904	学 生 生 徒 等 納 付 金 収 入	103,986,004,998
教 育 研 究 経 費 支 出	61,043,286,170	手 数 料 収 入	4,132,351,270
(教 育 研 究 経 費 支 出)	46,035,679,579	寄 付 金 収 入	4,129,288,138
(医 療 経 費 支 出)	15,007,606,591	経 常 費 等 補 助 金 収 入	15,115,841,081
管 理 経 費 支 出	6,904,723,082	付 随 事 業 収 入	2,968,681,940
		医 療 収 入	49,615,503,109
		雑 収 入	5,616,805,947
教育活動資金支出計(イ)	168,384,516,156	教育活動資金収入計(ア)	185,564,476,483
差引(ア)-(イ)=(ウ)	17,179,960,327		
調 整 勘 定 等 (エ)	347,932,394		
教育活動資金収支差額(ウ)+(エ)=①	17,527,892,721		

2 施設整備等活動による資金収支

科 目	決 算	科 目	決 算
施 設 関 係 支 出	25,657,490,767	施 設 設 備 寄 付 金 収 入	44,931,338
設 備 関 係 支 出	6,599,932,131	施 設 設 備 補 助 金 収 入	391,995,449
施設整備等活動引当特定資産繰入支出	16,901,000,000	施 設 設 備 売 却 収 入	184,237,690
		施設整備等活動引当特定資産取崩収入	2,720,000,000
施設整備等活動資金支出計(B)	49,158,422,898	施設整備等活動資金収入計(A)	3,341,164,477
差引(A)-(B)=(C) △	45,817,258,421		
調 整 勘 定 等 (D) △	40,952,866		
施設整備等活動資金収支差額(C)+(D)=② △	45,858,211,287		
教育活動資金収支差額+施設整備等活動資金収支差額①+②=③ △	28,330,318,566		

3 その他の活動による資金収支

科 目	決 算	科 目	決 算
借 入 金 等 返 済 支 出	1,340,000,000	借 入 金 等 収 入	14,100,000,000
その他の引当特定資産等繰入支出	18,765,016,440	その他の引当特定資産取崩収入	32,876,843,138
借 入 金 等 利 息 支 出	157,340,544	受 取 利 息 ・ 配 当 金 収 入	1,900,155,046
そ の 他 支 出 等	316,455,146	そ の 他 収 入 等	577,866,127
その他の活動資金支出計(b)	20,578,812,130	その他の活動資金収入計(a)	49,454,864,311
差引(a)-(b)=(c)	28,876,052,181		
調 整 勘 定 等 (d)	26,522,393		
その他の活動資金収支差額(c)+(d)=④	28,902,574,574		
支 払 資 金 の 増 減 額 ③ + ④	572,256,008		
前 年 度 繰 越 支 払 資 金	37,334,447,448		
翌 年 度 繰 越 支 払 資 金	37,906,703,456		

3 平成27年度事業活動収支計算書

平成27年4月1日から
平成28年3月31日まで

(単位：円)

区分	科目	予算	決算	差異
【教育活動収支】				
事業活動収入の部	学生生徒等納付金	104,855,850,000	103,986,004,998	869,845,002
	手数料	3,896,340,000	4,132,351,270	△ 236,011,270
	寄付金	4,186,090,000	4,186,706,157	△ 616,157
	経常費等補助金	15,406,510,000	15,115,841,081	290,668,919
	付随事業収入	2,912,980,000	2,968,681,940	△ 55,701,940
	医療収入	48,195,650,000	49,615,503,109	△ 1,419,853,109
	雑収入	5,057,410,000	5,616,805,947	△ 559,395,947
	教育活動収入計	184,510,830,000	185,621,894,502	△ 1,111,064,502
事業活動支出の部	人件費	350,550,000 96,908,150,000	97,258,695,104	4,896
	教育研究経費	391,140,000 78,994,610,000	79,385,741,678	8,322
	(教育研究経費)	65,289,810,000	64,378,135,087	911,674,913
	(医療経費)	391,140,000 13,704,800,000	15,007,606,591	△ 911,666,591
	管理経費	8,113,440,000	7,722,278,522	391,161,478
	徴収不能額等	28,200,000	30,528,877	△ 2,328,877
	教育活動支出計	741,690,000 184,044,400,000	184,397,244,181	388,845,819
教育活動収支差額	△ 275,260,000	1,224,650,321	△ 1,499,910,321	
【教育活動外収支】				
事業活動収入の部	受取利息・配当金	1,980,440,000	1,900,155,046	80,284,954
	教育活動外収入計	1,980,440,000	1,900,155,046	80,284,954
事業活動支出の部	借入金等利息	166,740,000	157,340,544	9,399,456
	教育活動外支出計	166,740,000	157,340,544	9,399,456
教育活動外収支差額	1,813,700,000	1,742,814,502	70,885,498	
経常収支差額	1,538,440,000	2,967,464,823	△ 1,429,024,823	
【特別収支】				
事業活動収入の部	資産売却差額	50,000	1,052,140	△ 1,002,140
	その他の特別収入	908,680,000	680,558,934	228,121,066
	特別収入計	908,730,000	681,611,074	227,118,926
事業活動支出の部	資産処分差額	1,488,860,000	1,880,036,592	△ 391,176,592
	その他の特別支出	0	63,206,903	△ 63,206,903
	特別支出計	1,488,860,000	1,943,243,495	△ 454,383,495
特別収支差額	△ 580,130,000	△ 1,261,632,421	681,502,421	
〔予備費〕		(741,690,000) 258,310,000		258,310,000
基本金組入前				
当年度収支差額	700,000,000	1,705,832,402	△ 1,005,832,402	
基本金組入額合計	△ 22,000,000,000	△ 13,302,868,629	△ 8,697,131,371	
当年度収支差額	△ 21,300,000,000	△ 11,597,036,227	△ 9,702,963,773	
前年度繰越収支差額	△ 293,247,450,000	△ 293,247,410,271	△ 39,279	
翌年度繰越収支差額	△ 314,547,450,000	△ 304,844,446,498	△ 9,703,003,502	
(参考)				
事業活動収入計	187,400,000,000	188,203,660,622	△ 803,660,622	
事業活動支出計	186,700,000,000	186,497,828,220	202,171,780	

(注) 予算の上段数字は予備費の使用額を示す。

4 事業活動収支計算書の概要

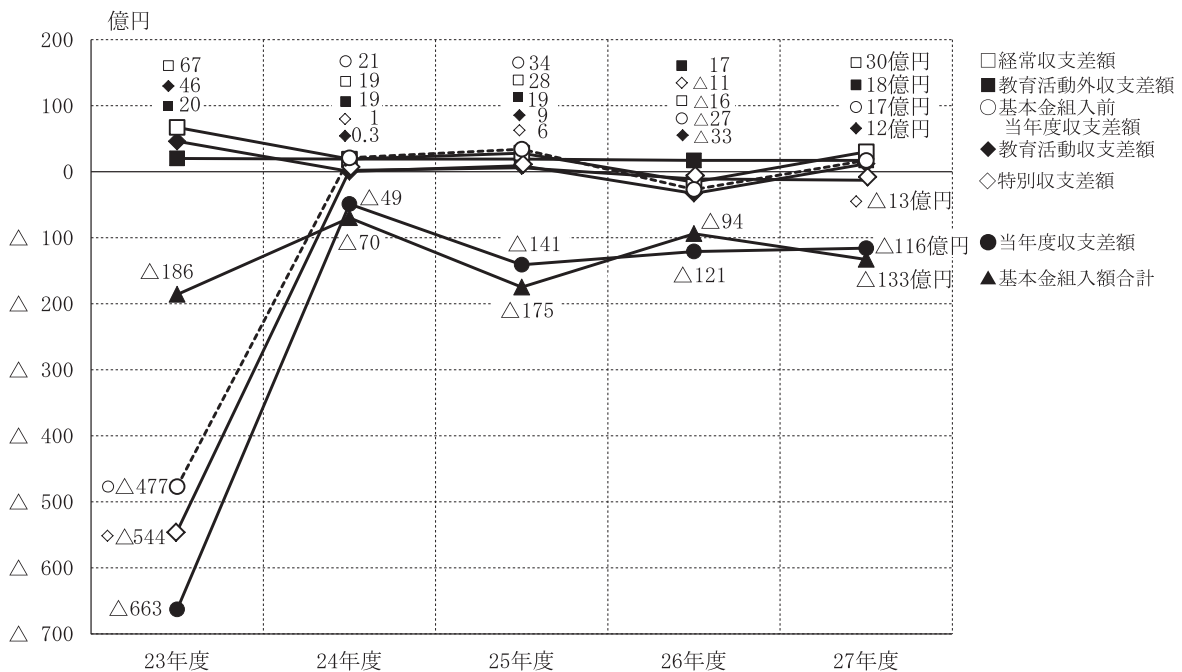
事業活動収支計算書は、平成 27 年度からの学校法人会計基準の改正により、従来の消費収支計算書を「教育活動」・「教育活動以外の経常的な活動」・「それ以外の活動」の 3 つに区分したものであり、活動区分ごとの事業活動収入及び事業活動支出の内容並びに基本金組入額を含めた収支の均衡状態を示すものである。

平成 27 年度の活動区分ごとの収支差額は、教

育活動収支差額は 12 億円の収入超過，教育活動外収支差額は 18 億円の収入超過，その合計である経常収支差額は 30 億円の収入超過になった。また，特別収支差額は 13 億円の支出超過になった。

この結果，基本金組入前当年度収支差額は 17 億円の収入超過になり，7 億円の収入超過であった予算比で 10 億円増加した。

平成 23 年度～平成 27 年度 事業活動収支決算の推移



(注) ① 平成 23～26 年度の金額は、消費収支決算額を、平成 27 年度からの学校法人会計基準改正によって変更された事業活動収支に置き換えて表示している。

② 平成 23 年度には、文部科学省による退職給与引当金計上基準変更に係る特別繰入額が含まれている。

5 貸借対照表（平成28年3月31日現在）

資 産 の 部

（単位：円）

科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減 (△)
固 定 資 産	686,515,190,086	675,259,100,159	11,256,089,927
有 形 固 定 資 産	450,899,379,349	439,545,105,074	11,354,274,275
土 地	128,407,696,374	128,581,433,363	△ 173,736,989
建 物	226,964,902,641	214,795,414,689	12,169,487,952
構 築 物	13,886,776,073	12,714,403,772	1,172,372,301
教育研究用機器備品	24,641,391,499	25,093,546,890	△ 452,155,391
管理用機器備品	827,301,162	705,510,759	121,790,403
図 書	50,113,160,368	50,439,130,740	△ 325,970,372
建 設 仮 勘 定	5,939,275,760	7,103,645,416	△ 1,164,369,656
そ の 他	118,875,472	112,019,445	6,856,027
特 定 資 産	230,504,519,160	230,435,345,858	69,173,302
第2号基本金引当特定資産	5,400,000,000	6,800,000,000	△ 1,400,000,000
第3号基本金引当特定資産	95,028,520,000	94,483,720,000	544,800,000
退職給与引当特定資産	40,781,473,403	42,211,488,714	△ 1,430,015,311
その他の引当特定資産	89,294,525,757	86,940,137,144	2,354,388,613
そ の 他 の 固 定 資 産	5,111,291,577	5,278,649,227	△ 167,357,650
借 地 権	2,381,672,678	2,381,672,678	0
施 設 利 用 権	449,963,295	448,194,845	1,768,450
教育研究用ソフトウェア	974,633,857	1,096,723,695	△ 122,089,838
管理用ソフトウェア	278,753,193	210,390,658	68,362,535
敷 金 ・ 保 証 金	279,552,931	280,065,051	△ 512,120
長 期 貸 付 金	416,726,865	529,923,500	△ 113,196,635
そ の 他	329,988,758	331,678,800	△ 1,690,042
流 動 資 産	50,753,781,213	51,168,097,333	△ 414,316,120
現 金 預 金	37,906,703,456	37,334,447,448	572,256,008
未 収 入 金	11,557,153,180	12,451,946,210	△ 894,793,030
短 期 貸 付 金	300,158,700	284,431,000	15,727,700
棚 卸 資 産	384,532,049	466,638,312	△ 82,106,263
前 払 金	547,247,263	560,301,541	△ 13,054,278
仮 払 金	57,986,565	70,332,822	△ 12,346,257
資 産 の 部 合 計	737,268,971,299	726,427,197,492	10,841,773,807

負債の部

科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減 (△)
固 定 負 債	129,937,604,516	121,523,055,458	8,414,549,058
長期借入金	26,158,870,000	13,340,000,000	12,818,870,000
退職給与引当金	90,625,496,452	93,803,308,252	△ 3,177,811,800
そ の 他	13,153,238,064	14,379,747,206	△ 1,226,509,142
流 動 負 債	36,100,642,913	35,379,250,566	721,392,347
短期借入金	1,281,130,000	1,340,000,000	△ 58,870,000
未 払 金	6,592,181,001	7,496,109,923	△ 903,928,922
前 受 金	19,496,680,392	18,919,530,719	577,149,673
そ の 他	8,730,651,520	7,623,609,924	1,107,041,596
負債の部合計	166,038,247,429	156,902,306,024	9,135,941,405

純資産の部

科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減 (△)
基 本 金	876,075,170,368	862,772,301,739	13,302,868,629
第 1 号 基本金	763,902,650,368	749,744,581,739	14,158,068,629
第 2 号 基本金	5,400,000,000	6,800,000,000	△ 1,400,000,000
第 3 号 基本金	95,028,520,000	94,483,720,000	544,800,000
第 4 号 基本金	11,744,000,000	11,744,000,000	0
繰 越 収 支 差 額	△ 304,844,446,498	△ 293,247,410,271	△ 11,597,036,227
翌年度繰越収支差額	△ 304,844,446,498	△ 293,247,410,271	△ 11,597,036,227
純資産の部合計	571,230,723,870	569,524,891,468	1,705,832,402

科 目	本 年 度 末	前 年 度 末	増 減 (△)
負債及び純資産の部合計	737,268,971,299	726,427,197,492	10,841,773,807

6 貸借対照表の概要

貸借対照表は、平成28年3月31日現在の財政状態を示している。

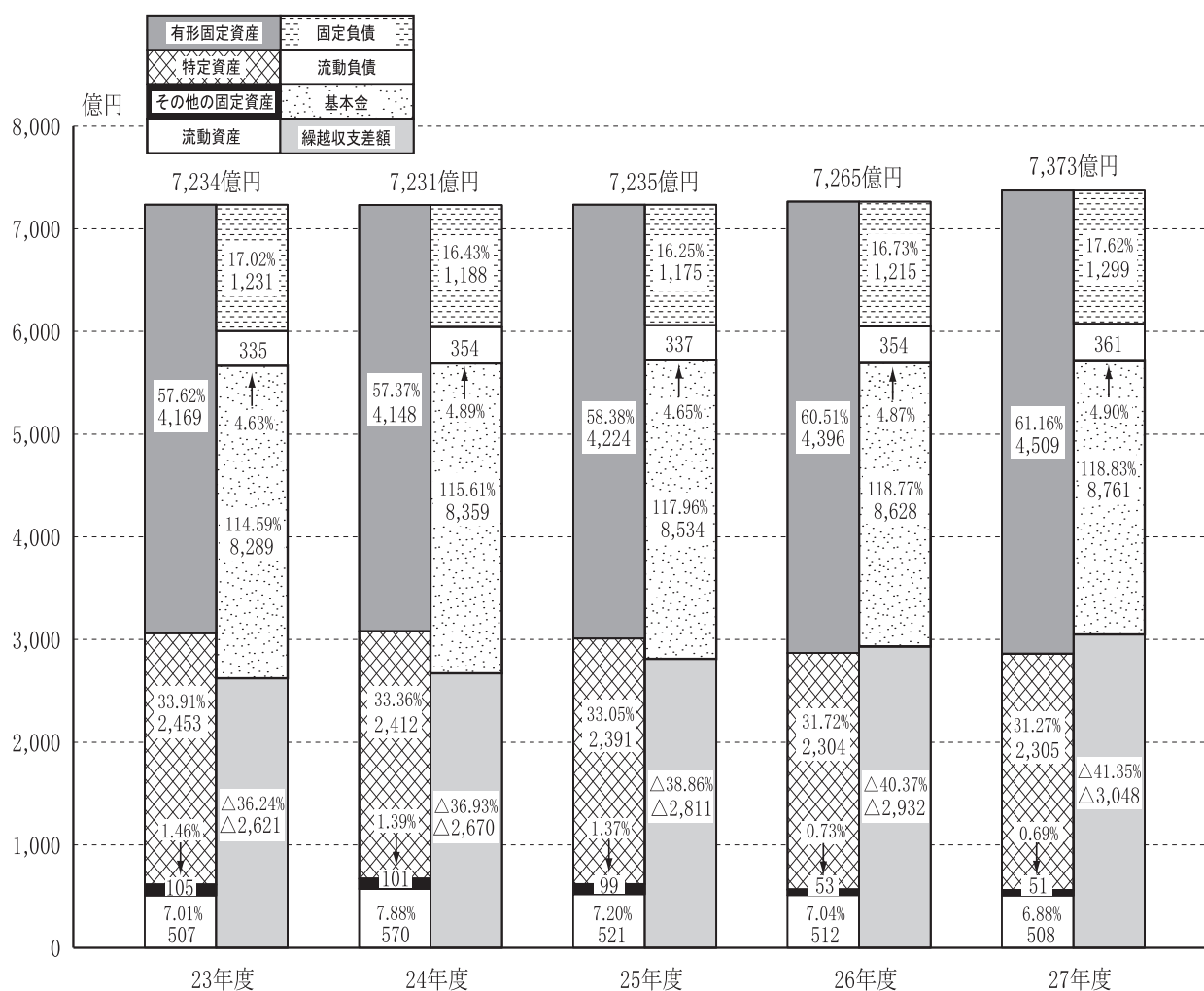
本年度末の資産総額は7,373億円で、前年度末に比較して108億円増加した。負債総額は1,660億円で、前年度末に比較して91億円増加した。

また、基本金は8,761億円で、前年度末に比較して133億円の増加、翌年度へ繰り越す繰越収支

差額は、支出超過額が前年度末より116億円増加し3,048億円になった。

この結果、基本金と繰越収支差額の合計で、資産総額から負債総額を差し引いた額に相当する純資産総額は5,713億円で、前年度末に比較して17億円増加した。

平成23年度～平成27年度 貸借対照表構成比率の推移



7 財産目録（平成28年3月31日現在）

財産目録は、平成28年3月31日現在の基本財産、運用財産、負債額を示している。

I 資産総額	737,268,971,299 円
内 基本財産	460,759,369,971 円
運用財産	276,509,601,328 円
II 負債総額	166,038,247,429 円
III 純資産	571,230,723,870 円

科 目	数 量	年 度 末
(一) 基 本 財 産	—	460,759,369,971 円
1 土 地	31,289,807.64 m ²	128,407,696,374 円
2 建 物	1,627,819.28 m ²	226,964,902,641 円
(1) 校 舎	1,138,792.22 m ²	145,137,664,189 円
(2) 図 書 館	69,703.23 m ²	9,013,681,912 円
(3) 講 堂 ・ 体 育 館	111,570.75 m ²	11,486,790,867 円
(4) そ の 他	307,753.08 m ²	61,326,765,673 円
3 図 書	5,684,887 冊	50,113,160,368 円
4 教 具 ・ 校 具 ・ 備 品	312,028 点	25,468,692,661 円
5 構 築 物	6,403 件	13,886,776,073 円
6 そ の 他	—	15,918,141,854 円

科 目	年 度 末
(二) 運 用 財 産	276,509,601,328 円
1 現 金 預 金	37,906,703,456 円
2 積 立 金	130,075,999,160 円
3 第 3 号 基 本 金 引 当 特 定 資 産	95,028,520,000 円
4 有 価 証 券	234,574,090 円
5 貸 付 金	716,885,565 円
6 未 収 入 金	11,557,153,180 円
7 そ の 他	989,765,877 円

科 目	年 度 末
(三) 負 債 額	166,038,247,429 円
1 固 定 負 債	129,937,604,516 円
(1) 長 期 借 入 金	26,158,870,000 円
(2) 退 職 給 与 引 当 金	90,625,496,452 円
(3) 預 り 金	11,463,981,877 円
(4) そ の 他	1,689,256,187 円
2 流 動 負 債	36,100,642,913 円
(1) 短 期 借 入 金	1,281,130,000 円
(2) 未 払 金	6,592,181,001 円
(3) 前 受 金	19,496,680,392 円
(4) 預 り 金	8,686,960,784 円
(5) そ の 他	43,690,736 円

科 目	年 度 末
(四) 基 本 財 産 + 運 用 財 産	737,268,971,299 円
(五) 純 資 産 (四 - 三)	571,230,723,870 円

8 参考資料

① 平成23年度～平成27年度 財務比率の推移

事業活動収支計算書財務比率の推移						
名称	算式	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
(1) 人件費比率	$\frac{\text{人件費}}{\text{経常収入}} \times 100$	52.8%	54.7%	53.8%	53.6%	51.9%
(2) 人件費依存率	$\frac{\text{人件費}}{\text{学生生徒等納付金}} \times 100$	95.1	97.2	95.5	95.9	93.5
(3) 借入金等利息比率	$\frac{\text{借入金等利息}}{\text{経常収入}} \times 100$	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1
(4) 教育研究経費比率	$\frac{\text{教育研究経費}}{\text{経常収入}} \times 100$	39.8	40.1	40.4	42.7	42.3
(5) 管理経費比率	$\frac{\text{管理経費}}{\text{経常収入}} \times 100$	3.9	4.1	4.2	4.5	4.1
(6) 補助金比率	$\frac{\text{補助金}}{\text{事業活動収入}} \times 100$	8.9	9.0	9.5	9.2	8.2
(7) 事業活動収支差額比率	$\frac{\text{基本金組入前当年度収支差額}}{\text{事業活動収入}} \times 100$	△ 24.9	1.1	1.8	△ 1.5	0.9
(8) 基本金組入後収支比率	$\frac{\text{事業活動支出}}{\text{事業活動収入 - 基本金組入額}} \times 100$	138.4	102.7	108.4	106.9	106.6
貸借対照表財務比率の推移						
(9) 固定比率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産}} \times 100$	118.7	117.1	117.3	118.6	120.2
(10) 固定長期適合率	$\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産 + 固定負債}} \times 100$	97.5	96.9	97.3	97.7	97.9
(11) 流動比率	$\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \times 100$	151.2	161.1	154.7	144.6	140.6
(12) 総負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{総資産}} \times 100$	21.6	21.3	20.9	21.6	22.5
(13) 負債比率	$\frac{\text{総負債}}{\text{純資産}} \times 100$	27.6	27.1	26.4	27.5	29.1
(14) 繰越収支差額構成比率	$\frac{\text{繰越収支差額}}{\text{総負債 + 純資産}} \times 100$	△ 36.2	△ 36.9	△ 38.9	△ 40.4	△ 41.3

(注) 平成23年度の事業活動支出には、文部科学省による退職給与引当金計上基準変更に係る特別繰入額が含まれている。

② 平成23年度～平成27年度 資金収支決算の推移

(単位：千円)

区分	科 目	23年 度		24年 度		25年 度		26年 度		27年 度	
		決 算	構 成 比 (%)	決 算	構 成 比 (%)	決 算	構 成 比 (%)	決 算	構 成 比 (%)	決 算	構 成 比 (%)
収入の部	1 学生生徒等納付金収入	105,489,768	41.90	103,858,846	41.40	102,847,268	40.50	102,332,826	37.17	103,986,005	37.52
	2 手数料収入	3,507,907	1.39	3,752,262	1.50	3,836,221	1.51	3,773,399	1.37	4,132,351	1.49
	3 寄付金収入	3,774,770	1.50	4,109,183	1.64	4,329,824	1.71	4,009,146	1.46	4,174,220	1.51
	4 補助金収入	17,000,172	6.75	16,818,013	6.70	17,631,661	6.94	17,040,569	6.19	15,507,837	5.60
	5 資産売却収入	1,597	0.00	416,878	0.17	6,247	0.00	8,064	0.00	184,238	0.07
	6 付随事業・収益事業収入	2,915,756	1.16	3,041,831	1.21	3,018,923	1.19	3,038,941	1.10	2,968,682	1.07
	7 医療収入	51,350,933	20.40	46,095,619	18.37	45,729,863	18.01	44,895,186	16.31	49,615,503	17.90
	8 受取利息・配当金収入	2,122,807	0.84	1,961,639	0.78	1,966,650	0.77	1,804,101	0.66	1,900,155	0.69
	9 雑収入	4,964,939	1.97	6,887,445	2.75	5,131,869	2.04	7,623,171	2.76	5,642,961	2.03
	10 借入金等収入	0	0.00	1,500,000	0.60	2,000,000	0.79	8,000,000	2.91	14,100,000	5.09
	11 前受金収入	17,940,973	7.13	18,196,220	7.25	18,797,080	7.40	18,900,860	6.86	19,476,603	7.03
	12 その他の収入	37,134,471	14.75	39,984,356	15.94	36,879,741	14.52	56,791,461	20.63	48,508,638	17.50
	13 資金収入調整勘定	△ 31,431,057	△ 12.48	△ 31,956,164	△ 12.74	△ 29,822,760	△ 11.75	△ 31,198,210	△ 11.33	△ 30,395,768	△ 10.97
当年度収入合計	214,773,036	85.31	214,666,128	85.57	212,352,587	83.63	237,019,514	86.09	239,801,425	86.53	
14 前年度繰越支払資金	36,983,227	14.69	36,198,849	14.43	41,565,952	16.37	38,308,033	13.91	37,334,447	13.47	
収入の部合計	251,756,263	100.00	250,864,977	100.00	253,918,539	100.00	275,327,547	100.00	277,135,872	100.00	
支出の部	1 人件費支出	103,911,760	41.27	105,052,045	41.88	101,318,498	39.90	101,116,843	36.73	100,436,507	36.24
	2 教育研究経費支出	59,064,087	23.47	57,378,477	22.88	57,010,472	22.45	60,562,626	22.00	61,043,286	22.02
	(1) (教育研究経費支出)	44,433,617	17.66	43,702,244	17.43	43,194,981	17.01	46,790,142	17.00	46,035,679	16.60
	(2) (医療経費支出)	14,630,470	5.81	13,676,233	5.45	13,815,491	5.44	13,772,484	5.00	15,007,607	5.42
	3 管理経費支出	6,669,238	2.65	6,831,164	2.72	6,936,971	2.73	7,409,732	2.69	6,931,236	2.50
	4 借入金等利息支出	98,974	0.04	84,482	0.03	77,891	0.03	89,885	0.03	157,341	0.06
	5 借入金等返済支出	1,101,400	0.44	1,040,800	0.41	1,040,000	0.41	1,340,000	0.49	1,340,000	0.48
	6 施設関係支出	18,411,994	7.31	13,087,660	5.22	19,595,711	7.72	26,485,956	9.62	25,657,491	9.26
	7 設備関係支出	5,450,206	2.16	4,297,719	1.71	6,727,097	2.65	11,642,534	4.23	6,599,932	2.38
	8 資産運用支出	20,929,763	8.31	22,152,489	8.83	20,403,090	8.04	29,084,357	10.56	35,666,017	12.87
	9 その他の支出	10,925,748	4.34	11,246,041	4.48	12,327,464	4.85	9,016,973	3.27	8,746,670	3.16
10 資金支出調整勘定	△ 11,005,756	△ 4.37	△ 11,871,852	△ 4.73	△ 9,826,688	△ 3.87	△ 8,755,806	△ 3.18	△ 7,349,311	△ 2.65	
当年度支出合計	215,557,414	85.62	209,299,025	83.43	215,610,506	84.91	237,993,100	86.44	239,229,169	86.32	
11 翌年度繰越支払資金	36,198,849	14.38	41,565,952	16.57	38,308,033	15.09	37,334,447	13.56	37,906,703	13.68	
支出の部合計	251,756,263	100.00	250,864,977	100.00	253,918,539	100.00	275,327,547	100.00	277,135,872	100.00	

③ 平成23年度～平成27年度 事業活動収支決算の推移

区分	科目	23年度		24年度		25年度		26年度		27年度	
		決算	事業活動収入比(%)	決算	事業活動収入比(%)	決算	事業活動収入比(%)	決算	事業活動収入比(%)	決算	事業活動収入比(%)
【教育活動収支】											
事業活動収入の部	1 学生生徒等納付金	105,489,768	55.09	103,858,846	55.54	102,847,268	55.67	102,332,826	55.38	103,986,005	55.25
	2 手数料	3,507,907	1.83	3,752,262	2.01	3,836,221	2.08	3,773,399	2.04	4,132,352	2.20
	3 寄付金	3,512,720	1.83	3,770,384	2.02	4,365,560	2.36	4,044,847	2.19	4,186,706	2.22
	4 経常費等補助金	16,170,420	8.45	15,163,668	8.11	15,535,154	8.41	15,701,949	8.50	15,115,841	8.03
	5 付随事業収入	2,915,756	1.52	3,041,831	1.63	3,018,924	1.63	3,038,941	1.64	2,968,682	1.58
	6 医療収入	51,350,933	26.82	46,095,619	24.65	45,729,863	24.75	44,895,186	24.29	49,615,503	26.36
	7 雑収入	5,031,524	2.63	6,904,539	3.68	5,143,159	2.79	7,648,891	4.14	5,616,806	2.99
教育活動収入計		187,979,028	98.17	182,587,149	97.64	180,476,149	97.69	181,436,039	98.18	185,621,895	98.63
事業活動支出の部	1 人件費	100,325,577	52.40	100,970,983	54.00	98,190,740	53.15	98,155,123	53.12	97,258,695	51.68
	2 教育研究経費	75,567,957	39.47	74,078,975	39.60	73,631,655	39.85	78,250,410	42.34	79,385,742	42.18
	(1) (教育研究経費)	60,937,272	31.83	60,402,697	32.29	59,815,664	32.37	64,476,956	34.89	64,378,135	34.21
	(2) (医療経費)	14,630,685	7.64	13,676,278	7.31	13,815,991	7.48	13,773,454	7.45	15,007,607	7.97
3 管理経費	7,358,600	3.84	7,492,709	4.01	7,689,555	4.16	8,309,868	4.50	7,722,278	4.10	
4 徴収不能額等	92,254	0.05	14,895	0.01	68,405	0.04	24,001	0.01	30,529	0.02	
教育活動支出計		183,344,388	95.76	182,557,562	97.62	179,580,355	97.20	184,739,402	99.97	184,397,244	97.98
教育活動収支差額		4,634,640		29,587		895,794		△ 3,303,363		1,224,651	
【教育活動外収支】											
事業活動収入の部	8 受取利息・配当金	2,122,807	1.11	1,961,639	1.05	1,966,650	1.06	1,804,101	0.98	1,900,155	1.01
	教育活動外収入計	2,122,807	1.11	1,961,639	1.05	1,966,650	1.06	1,804,101	0.98	1,900,155	1.01
事業活動支出の部	5 借入金等利息	98,974	0.05	84,482	0.05	77,891	0.04	89,885	0.05	157,341	0.08
	教育活動外支出計	98,974	0.05	84,482	0.05	77,891	0.04	89,885	0.05	157,341	0.08
教育活動外収支差額		2,023,833		1,877,157		1,888,759		1,714,216		1,742,814	
経常収支差額		6,658,473		1,906,744		2,784,553		△ 1,589,147		2,967,465	

(単位:千円)

区分	科目	23年度		24年度		25年度		26年度		27年度	
		決算	事業活動 収入比(%)	決算	事業活動 収入比(%)	決算	事業活動 収入比(%)	決算	事業活動 収入比(%)	決算	事業活動 収入比(%)
事業 収入 の部	9 資産売却差額	30	0.00	195,872	0.10	2,745	0.00	7,862	0.00	1,052	0.00
	10 その他の特別収入	1,375,624	0.72	2,254,380	1.21	2,305,692	1.25	1,544,936	0.84	680,559	0.36
	特別収入計	1,375,654	0.72	2,450,252	1.31	2,308,437	1.25	1,552,798	0.84	681,611	0.36
事業 支出 の部	6 資産処分差額	1,243,894	0.65	2,301,712	1.23	1,714,676	0.93	2,689,616	1.46	1,880,036	1.00
	7 その他の特別支出	54,517,141	28.47	0	0.00	0	0.00	0	0.00	63,207	0.03
	特別支出計	55,761,035	29.12	2,301,712	1.23	1,714,676	0.93	2,689,616	1.46	1,943,243	1.03
特別 収入 支出 差額	△ 54,385,381		148,540		593,761		△ 1,136,818		△ 1,261,632		
基 本 年 度	収入 前 差 額	△ 47,726,908	△ 24.93	2,055,284	1.10	3,378,314	1.83	2,725,965	△ 1.48	1,705,833	0.91
	支出 合 計	△ 18,599,877	△ 9.71	6,950,004	△ 3.72	17,472,240	△ 9.46	9,380,065	△ 5.08	13,302,869	△ 7.07
当 年 度	収入 支 差 額	△ 66,326,785		4,894,720		△ 14,093,926		△ 12,106,030		△ 11,597,036	
前 年 度	繰越 収 支 差 額	△ 195,825,949		△ 262,152,734		△ 267,047,454		△ 281,141,380		△ 293,247,410	
翌 年 度	繰越 収 支 差 額	△ 262,152,734		△ 267,047,454		△ 281,141,380		△ 293,247,410		△ 304,844,446	
(参 考)											
事 業 活 動	収入 計	191,477,489	100.00	186,999,040	100.00	184,751,236	100.00	184,792,938	100.00	188,203,661	100.00
事 業 活 動	支出 計	239,204,397	124.93	184,943,756	98.90	181,372,922	98.17	187,518,903	101.48	186,497,828	99.09

(注)①平成23年度のその他の特別支出には、文部科学省による退職給与引当金計上基準変更に係る特別繰入額が含まれている。
 ②平成23～26年度決算額は、消費収支決算を、平成27年度からの学校法人会計基準改正によって変更された事業活動収支に置き換えて表示している。

④ 平成23年度～平成27年度 貸借対照表の推移

(単位：千円)

科 目	23 年 度		24 年 度		25 年 度		26 年 度		27 年 度	
	決 算	構成比 (%)	決 算	構成比 (%)	決 算	構成比 (%)	決 算	構成比 (%)	決 算	構成比 (%)
固 定 資 産	672,748,608	92.99	666,086,713	92.12	671,383,469	92.80	675,259,100	92.96	686,515,190	93.12
有 形 固 定 資 産	416,874,631	57.62	414,804,600	57.37	422,356,077	58.38	439,545,105	60.51	450,899,379	61.16
特 定 資 産	245,345,708	33.91	241,221,891	33.36	239,082,726	33.05	230,435,346	31.72	230,504,519	31.27
退職給与引当特定資産	46,788,231	6.47	44,951,754	6.22	43,544,262	6.02	42,211,489	5.81	40,781,473	5.53
その他の引当特定資産	198,557,477	27.44	196,270,137	27.14	195,538,464	27.03	188,223,857	25.91	189,723,046	25.74
その他の固定資産	10,528,269	1.46	10,060,222	1.39	9,944,666	1.37	5,278,649	0.73	5,111,292	0.69
流 動 資 産	50,686,871	7.01	56,967,517	7.88	52,066,312	7.20	51,168,097	7.04	50,753,781	6.88
現金預金	36,198,849	5.00	41,565,952	5.75	38,308,033	5.30	37,334,447	5.14	37,906,703	5.14
その他の流動資産	14,488,022	2.01	15,401,565	2.13	13,758,279	1.90	13,833,650	1.90	12,847,078	1.74
資産の部合計	723,435,479	100.00	723,054,230	100.00	723,449,781	100.00	726,427,197	100.00	737,268,971	100.00
固 定 負 債	123,096,477	17.02	118,822,087	16.43	117,539,236	16.25	121,523,055	16.73	129,937,604	17.62
長期借入金	5,560,000	0.77	6,020,000	0.83	6,680,000	0.92	13,340,000	1.84	26,158,870	3.55
退職給与引当金	103,973,848	14.37	99,892,786	13.82	96,765,028	13.38	93,803,308	12.91	90,625,496	12.29
その他の固定負債	13,562,629	1.88	12,909,301	1.78	14,094,208	1.95	14,379,747	1.98	13,153,238	1.78
流 動 負 債	33,521,743	4.63	35,359,600	4.89	33,659,688	4.65	35,379,251	4.87	36,100,643	4.90
短期借入金	1,040,800	0.14	1,040,000	0.14	1,340,000	0.19	1,340,000	0.18	1,281,130	0.17
前受金	17,960,647	2.48	18,226,441	2.52	18,820,351	2.60	18,919,531	2.60	19,496,680	2.64
その他の流動負債	14,520,296	2.01	16,093,159	2.23	13,499,337	1.86	15,119,720	2.09	15,322,833	2.09
負債の部合計	156,618,220	21.65	154,181,687	21.32	151,198,924	20.90	156,902,306	21.60	166,038,247	22.52
基 本 金	828,969,993	114.59	835,919,997	115.61	853,392,237	117.96	862,772,301	118.77	876,075,170	118.83
第1号基本金	717,836,823	99.23	724,834,477	100.25	741,377,517	102.48	749,744,581	103.21	763,902,650	103.61
第2号基本金	6,410,000	0.89	5,910,000	0.82	6,410,000	0.89	6,800,000	0.93	5,400,000	0.73
第3号基本金	92,979,170	12.85	93,431,520	12.92	93,860,720	12.97	94,483,720	13.01	95,028,520	12.89
第4号基本金	11,744,000	1.62	11,744,000	1.62	11,744,000	1.62	11,744,000	1.62	11,744,000	1.60
繰越収支差額	△ 262,152,734	△ 36.24	△ 267,047,454	△ 36.93	△ 281,141,380	△ 38.86	△ 293,247,410	△ 40.37	△ 304,844,446	△ 41.35
純資産の部合計	566,817,259	78.35	568,872,543	78.68	572,250,857	79.10	569,524,891	78.40	571,230,724	77.48
負債及び純資産の部合計	723,435,479	100.00	723,054,230	100.00	723,449,781	100.00	726,427,197	100.00	737,268,971	100.00

大学施設等所在地一覧(平成 28 年 3 月 31 日現在)

<学部 (含本部) >

- 本部 (日本学生会館)
〒102-8275 千代田区九段南 4-8-24
- 同 (日本学生会館第二別館)
〒102-8251 千代田区五番町 12-5
- 法学部
〒101-8375 千代田区三崎町 2-3-1
- 文理学部
〒156-8550 世田谷区桜上水 3-25-40
- 経済学部
〒101-8360 千代田区三崎町 1-3-2
- 商学部
〒157-8570 世田谷区砧 5-2-1
- 芸術学部
〒176-8525 練馬区旭丘 2-42-1
- 同 所沢校舎
〒359-8525 所沢市中富南 4-21
- 国際関係学部, 短期大学部
〒411-8555 三島市文教町 2-31-145
- 理工学部
〒101-8308 千代田区神田駿河台 1-8-14
- 同 船橋校舎, 短期大学部
〒274-8501 船橋市習志野台 7-24-1
- 生産工学部
〒275-8575 習志野市泉町 1-2-1
- 同 実籾校舎
〒275-8576 習志野市新栄 2-11-1
- 工学部
〒963-8642 郡山市田村町徳定字中河原 1
- 医学部
〒173-8610 板橋区大谷口上町 30-1
- 歯学部
〒101-8310 千代田区神田駿河台 1-8-13
- 松戸歯学部
〒271-8587 松戸市栄町西 2-870-1
- 生物資源科学部, 短期大学部
〒252-8510 藤沢市亀井野 1866
- 薬学部
〒274-8555 船橋市習志野台 7-7-1
- 通信教育部
〒102-8005 千代田区九段南 4-8-28

<大学院>

- 大学院総合社会情報研究科
〒359-0003 所沢市中富南 4-25
- 大学院法務研究科
〒110-0061 千代田区三崎町 2-2-3
- 大学院法学研究科
●大学院知的財産研究科
〒101-8375 千代田区三崎町 2-3-1
- 大学院文学研究科
●大学院総合基礎科学研究科
●大学院理工学研究科 (地理学)
〒156-8550 世田谷区桜上水 3-25-40
- 大学院経済学研究科
〒101-8360 千代田区三崎町 1-3-2
- 大学院商学研究科
〒157-8570 世田谷区砧 5-2-1
- 大学院芸術学研究科
〒176-8525 練馬区旭丘 2-42-1
- 大学院国際関係研究科
〒411-8555 三島市文教町 2-31-145
- 大学院理工学研究科
〒101-8308 千代田区神田駿河台 1-8-14
- 大学院生産工学研究科
〒275-8575 習志野市泉町 1-2-1
- 大学院工学研究科
〒963-8642 郡山市田村町徳定字中河原 1
- 大学院医学研究科
〒173-8610 板橋区大谷口上町 30-1
- 大学院歯学研究科
〒101-8310 千代田区神田駿河台 1-8-13
- 大学院松戸歯学研究科
〒271-8587 松戸市栄町西 2-870-1
- 大学院生物資源科学研究科
●大学院獣医学研究科
〒252-8510 藤沢市亀井野 1866
- 大学院薬学研究科
〒274-8555 船橋市習志野台 7-7-1

< 付属高等学校・中学校・幼稚園 >

- 日本大学高等学校・中学校
〒223-8566 横浜市港北区箕輪町 2-9-1
- 櫻丘高等学校
〒156-0045 世田谷区桜上水 3-24-22
- 鶴ヶ丘高等学校
〒168-0063 杉並区和泉 2-26-12
- 藤沢高等学校・中学校・小学校
〒252-8505 藤沢市亀井野 1866
- 豊山高等学校・中学校
〒112-0012 文京区大塚 5-40-10
- 豊山女子高等学校・中学校
〒174-0064 板橋区中台 3-15-1
- 三島高等学校・中学校
〒411-0033 三島市文教町 2-31-145
- 明誠高等学校
〒409-0195 上野原市上野原 3200
- 山形高等学校
〒990-2433 山形市鳥居ヶ丘 4-55
- 習志野高等学校
〒274-8504 船橋市習志野台 8-35-1
- 東北高等学校
〒963-1165 郡山市田村町徳定字中河原 1
- 幼稚園
〒167-0032 杉並区天沼 1-31-14

< 専修学校 >

- 医学部附属看護専門学校
〒173-0032 板橋区大谷口上町 71-12
- 歯学部附属歯科技工専門学校, 歯科衛生専門学校
〒101-8310 千代田区神田駿河台 1-8-13
- 松戸歯学部附属歯科衛生専門学校
〒271-8587 松戸市栄町西 2-870-1

< 付属病院 >

- 日本大学病院
〒101-8309 千代田区神田駿河台 1-6
- 医学部付属板橋病院
〒173-8610 板橋区大谷口上町 30-1
- 歯学部付属歯科病院
〒101-8310 千代田区神田駿河台 1-8-13
- 松戸歯学部付属病院
〒271-8587 松戸市栄町西 2-870-1
- 生物資源科学部付属家畜病院
〒252-8510 藤沢市亀井野 1866

< 関連施設 >

- 日本大学総合学術情報センター
〒359-0003 所沢市中富南 4-25
- 日本大学校門会館
〒102-0076 千代田区五番町 2-6

< 関連組織 >

- 株式会社日本大学事業部
〒156-0044 世田谷区赤堤 5-36-20

< 学生寮・セミナーハウス・厚生施設等 >

- 武蔵俊英学寮
〒180-0014 武蔵野市関前 3-1-18
- バンデリアン町田
〒194-0031 町田市南大谷 916-2
- バンデリアン松戸
〒271-0092 松戸市松戸 2221-1
- レガーマリアン赤堤
〒156-0044 世田谷区赤堤 5-23-1
- レガーマリアン宮坂
〒156-0051 世田谷区宮坂 1-30-20
- 軽井沢研修所(本部)
〒389-0102 長野県北佐久郡軽井沢町軽井沢 1052-1
- 塩原研修所(本部)
〒329-2921 栃木県那須塩原市塩原 198
- 山中湖セミナーハウス(文理学部)
〒401-0502 山梨県南都留郡山中湖村
平野字向切詰 506-296
- 菅平研修所(経済学部)
〒386-2204 長野県上田市菅平高原 1278-467
- 館山セミナーハウス(芸術学部)
〒294-0306 千葉県館山市加賀名 97
- 八海山セミナーハウス(理工学部)
〒949-7121 新潟県南魚沼市山ノ口 1666
- 演習林水上実習所(生物資源科学部)
〒379-1727 群馬県利根郡みなかみ町大穴 171-1
- 下田臨海実験所(生物資源科学部)
〒415-0014 静岡県下田市須崎池ノ段 1237-1
- 富士自然教育センター(生物資源科学部)
〒418-0107 静岡県富士宮市佐折字狂入 632-3